



ワシントンDC電気通信ネットワーク クインベントリ

最終更新日: 2025年12月17日

自動翻訳

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

目次

Telecommunications Network Inventory.....	6
Telecommunications Network Inventory の詳細.....	7
Telecommunications Network Inventory のデータモデル.....	9
ワークフローの Telecommunications Network Inventory モデリング.....	13
ネットワークインベントリワークスペース.....	22
回路の可視化.....	31
属性パック.....	32
在庫番号の割り当て.....	33
での 5G xNF のモデル化 Telecommunications Network Inventory.....	36
構成アイテムの改訂、運用化、および廃止.....	36
キャパシティ管理.....	37
ネットワークトポロジーの可視化.....	38
Flow Designer の通信ネットワークインベントリワークフロー.....	40
ラックの可視化.....	42
Telecommunications Network Inventory の構成.....	44
Telecommunications Network Inventory のインストール.....	44
のユーザーロールのアサイン Telecommunications Network Inventory.....	46
場所階層の定義.....	47
メーカーコードとベンダーコードの作成.....	48
電話番号のコンポーネントを作成する.....	49
の意思決定テーブルの構成 Telecommunications Network Inventory.....	52
電気通信ネットワークインベントリ属性の設定.....	54
属性パック表の構成.....	55
キャパシティ管理の構成.....	57
他のアプリケーションとの Telecommunications Network Inventory の統合.....	59
Telecommunications Network Inventory と ハードウェア資産管理 との統合.....	59
Telecommunications Network Inventory and Order Management for Telecommunications and Media.....	60
Telecommunications Network Inventory の使用.....	63
ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更 新.....	64
在庫モデルの作成.....	109
ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレート を作成していま す.....	123
インベントリテンプレートの関係を作成しています.....	126
設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化.....	138
ワークスペースでの CMDB ネットワークインベントリ構成アイテムの表示.....	149
ネットワーク図の使用.....	153
CI レコードの属性パックの使用.....	154
ネットワーク トポロジーの使用.....	155

Telecommunications Network Inventory 参照.....	155
キャパシティ定義フォーム.....	155
キャパシティ機能の追加フィールド.....	156
キャパシティ機能フォーム.....	157
変更要求関連のタブ.....	158
パス計算エラーメッセージ.....	159
ケーブルフォーム.....	159
ストランドフォーム.....	162
ケーブル モデル フォーム.....	165
[ストランドモデル] フォーム.....	167
一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド.....	170
一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド.....	175
[会社] フォーム.....	176
[論理接続を作成] フォーム.....	176
[物理接続を作成] フォーム.....	177
デフォルトテンプレートフォーム.....	178
GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て.....	179
機器所有者フォーム.....	181
GPON ブロードバンド変更モデルフォーム.....	184
インターフェイスカードフォーム.....	186
インベントリモデルフォーム.....	186
在庫モデルの追加タブ.....	194
在庫番号フォーム.....	195
場所フォーム.....	196
論理接続フォーム.....	198
関連するテンプレートの命名規則.....	201
ネットワークインベントリ変更要求フォーム.....	201
[接続要素] フォーム.....	205
ネットワーク在庫フォームの関連タブ.....	206
ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ.....	211
[ネットワーク モデルの関係] フィールド.....	212
[ネットワーク サイト] フォーム.....	217
ネットワークトポロジフォーム.....	218
物理接続フォーム.....	218
[ルーター]、[スイッチ]、[ファイアウォール]、[仮想マシン]、[ロードバランサー]、および [サーバー] フォーム.....	222
電気通信機器フォーム.....	224
TNI CI 属性フォーム.....	224
IP アドレスインベントリ管理データモデル.....	226
Telecommunications Network Inventory 機能カタログ.....	228
Telecommunications Network Inventory サブフロー.....	249
電話番号在庫管理データモデル.....	252

機器所有者拡張クラス..... 253

設備拡張クラス..... 256

変更要求フォームおよび変更タスクフォーム..... 277

管理対象ネットワークフォーム..... 297

パックテーブル.....300

パス計算エラーメッセージ..... 304

関連テンプレートフォーム..... 304

Telecommunications Network Inventory

ServiceNow Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用すると、物理ネットワークと論理ネットワーク、および顧客にプロビジョニングされるサービスのデジタル表現を構築できます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

詳細を読む  プロバイダーが Telecommunications Network Inventory.	構成  を計画し構成します Telecommunications Network Inventory.	統合  他のアプリケーションと統合することで Telecommunications Network Inventory 機能を拡張します。
使用  包括的なネットワークインベントリモデルを作成および確認するために使用します Telecommunications Network Inventory .	参照  参照情報を取得します Telecommunications Network Inventory .	

自動翻訳

Telecommunications Network Inventory の詳細

この Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用して、組織が物理ネットワークと論理ネットワーク Now Platformのデジタル表現を に作成する方法について説明します。

概要

Telecommunications Network Inventory このアプリケーションを使用すると、統合された正確なネットワークインベントリを使用して電気通信サービスエクスペリエンスを再定義し、組織内のリソースとサービスのライフサイクルを自動化できます。アプリケーションを使用すると Telecommunications Network Inventory、物理ネットワーク、論理ネットワーク、および顧客にプロビジョニングされたサービスのデジタル表現を構築できます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

ネットワークインベントリの詳細を ServiceNow 構成管理データベース (CMDB) 保存します。この情報を使用して、ネットワーク インフラストラクチャを監視し、ネットワークの整合性、安定性、および継続的なサービス運用を確保できます。

このアプリケーションの主な用途 Telecommunications Network Inventory は次のとおりです。

ネットワーク資産ライフサイクル管理

サービスプロバイダーが、予備の在庫機器、ネットワークに現在展開されている資産、および新しいネットワークの空き容量(使用可能なスロットやポートなど)を把握できるようにします。正確なリソースライフサイクルデータを信頼できる唯一の情報源としてキャプチャ、保存、維持します。プラットフォームワークフローを活用して、組織全体のリソースとサービスのライフサイクルを管理します。

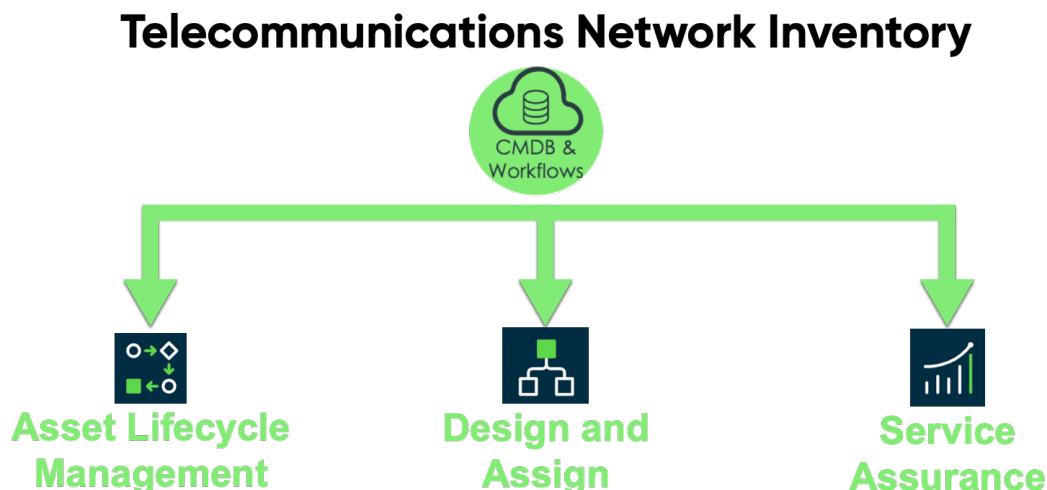
電気通信回路の設計とリソースの割り当て

ネットワークサービスの作成方法を自動化します。変更ワークフローを開始する設計基準を設定して、必要な機器を割り当てることができます。

正確なネットワークインベントリに基づく電気通信サービス保証

サービスプロバイダーが、物理機器に関連する回路、サービス、および顧客を理解できるようにします。サービスを物理ネットワークリソースにマッピングして、サービスへの影響の分析を迅速化できるようにします。構成可能なダッシュボードを通じて、リソース使用率を正確に把握します。

次の例は、Telecommunications Network Inventory アプリケーションの一般的な使用法を示しています。



す。

福利厚生

には Telecommunications Network Inventory、次の利点と機能があります。

機能の **Telecommunications Network Inventory** メリット

メリット	機能
電気通信サービスプロバイダーのニーズをサポートするための電気通信業界標準である Configuration Management Database (CMDB) クラスを活用します	Telecommunications Network Inventory のデータモデル
機器をすばやくモデル化し、複雑なテンプレートを設計	ワークフローの Telecommunications Network Inventory モデリング
必要な機器を割り当てる変更ワークフローを開始する複雑な設計基準を設定することで、ネットワークサービスの作成を自動化します	電気通信の設計と割り当て
パーソナライズされた構成可能なワークスペースとダッシュボードにより、ネットワークインベントリ運用の可視性を深める	ネットワークインベントリワークスペース
電話番号と IP アドレスを割り当てる	在庫番号の割り当て
5G ネットワークのモデル化	での 5G xNF のモデル化 Telecommunications Network Inventory
顧客の注文を必要なネットワークリソースに関連付けて、シームレスなサービスデリバリエクスペリエンスを提供する	Telecommunications Network Inventory and Order Management for Telecommunications and Media
資産を使用して機器テンプレートをインスタンス化し、資産を調達するためのサービス要求を生成します	Telecommunications Network Inventory とハードウェア資産管理 との統合
ユーザー定義情報を使用してパックを定義し、CI レコードに対して更新する	属性パック
回路とその基礎となる接続要素を視覚化します	回路の可視化
機能カタログとサブフローを使用して、ネットワークインベントリの設計とアサインのプロセスを自動化します	Flow Designer の通信ネットワークインベントリワークフロー
ネットワーク内のさまざまな要素が編成され、相互に接続されているトポロジを視覚化します	ネットワークトポロジーの可視化
ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算して、リソースを計画、監視、および最適化します	キャパシティ管理
構成アイテムの変更と運用化	構成アイテムの改訂、運用化、および廃止
ラックの視覚化と管理	ラックの可視化

Telecommunications Network Inventory のデータモデル

のデータ Telecommunications Network Inventory モデルは、ネットワーク資産、インフラストラクチャ、およびサービスの間の関係を表示します。この情報を使用して、新しいサービスのプロビジョニング、既存サービスの変更、ネットワークの保守、組織内のネットワーク拡張の予測の計画を行うことができます。

概要

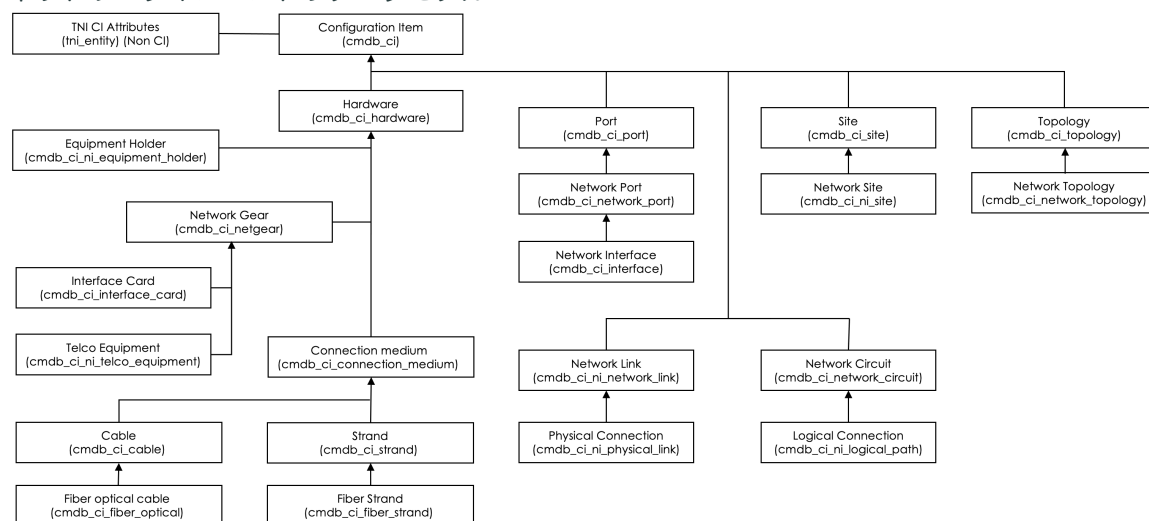
データモデルには、ELCO機器の構成データ、フレームワークのポートの可用性、サイトとサービス間の帯域幅割り当てなど、ネットワーク資産に関する詳細が含まれています。このデータモデルを使用すると、ネットワークインフラストラクチャとサービスを構築、管理、維持、および割り当てることができます。さらに、このデータモデルは、カスタマーサービスオーダーと内部ネットワークオーダーをサポートするネットワーク機器と接続の設計と作成を自動化します。

資産、サービス、およびネットワークインベントリの関係によって、電気通信ネットワークのインフラストラクチャが定義されます。この情報を使用して、ネットワークを計画および予測できます。資産のデータをネットワークインベントリレコードに保存できます。

Telecommunications Network Inventoryアプリケーションは、構成アイテム (CI) クラス階層を構成管理データベース (CMDB)拡張するネットワークインベントリ拡張クラスを使用します。これらの拡張機能により、ネットワーク CMDB インベントリ情報を保存できます。また、これらの拡張クラスは、TeleManagement (TM) Forum や Metro Ethernet Forum (MEF) などの電気通信業界の標準化団体に沿った標準化と一貫性を提供します。ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラスの詳細については、次を参照してください [Telecommunications Network Inventory 拡張クラス](#)。

次の図は、ネットワークインベントリのデータモデルの拡張クラスを示しています。

ネットワークインベントリデータモデル



ネットワークサイトとネットワークの場所

アプリケーションのネットワークサイトレコード Telecommunications Network Inventory は、ネットワーク機器とリソースの物理的な場所に関する情報を提供します。ネットワーク サイト レコードを使用して、次のことができます。

- ネットワーク接続の発信元と終了元を監視する
- ネットワーク資産が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、および部屋を監視します
- ネットワーク サイトの運用状態を追跡する
- サービスポートロジでのネットワークサイトのマッピング

- 物理的な場所をネットワークサイトにリンクして、見やすくする
- ネットワーク障害と機能停止を特定する

ネットワーク サイトは、ネットワーク サイト内の機器と接続から派生するアプリケーション内の Telecommunications Network Inventory 構成アイテム (CI) であり、場所は単なる物理アドレスです。

Telecommunications Network Inventory 拡張クラス

Telecommunications Network Inventoryアプリケーションは、次の表に示すように、クラス階層を拡張するCMDB汎用構成アイテム (CI) クラスを使用します。次の表では、アプリケーション内で使用されるクラスについて説明します。

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス

Telecommunications Network Inventory クラス	汎用 CI クラスを拡張する	説明
TNI CI 属性 [tni_entity]	非 CI クラス	TNI CI 属性レコード。 共通 Telecommunications Network Inventory 属性のコレクションを表します。TNI CI 属性レコードを使用して、CI レコードに関連する Telecommunications Network Inventory 共通の属性を作成し、CI レコードとの関係を作成します。詳細については、「 TNI CI 属性フォーム 」を参照してください。
ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site]	サイト [cmdb_ci_site]	ネットワークサイト。 機器が配置されているネットワーク センター、建物、フロア、部屋など、各ネットワークサイトの場所固有の属性をキャプチャして管理します。 ネットワークサイトレコードを使用すると、ある場所にあるすべての機器を表示できます。割り当てられたタイプ、ロール、または機能カテゴリで場所をフィルタリングできます。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder]	ハードウェア [cmdb_ci_hardware]	機器所有者 電気通信機器を収容する物理ユニット (ケージ、ベイ、キャビネット、スロット、リレーラッ

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

Telecommunications Network Inventory クラス	汎用 CI クラスを拡張する	説明
		クなど) を表します。機器ホルダーには、他の機器ホルダーを含めることができます。たとえば、ラインナップには個々のリレーラックが含まれ、各リレーラックには機器シェルフが含まれます。 機器所有者レコードを使用して、ネットワーク資産を追跡および管理します。詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita」を参照してください。 機器ホルダの拡張クラスの詳細については、「」を参照してください 機器所有者拡張クラス。
電気通信機器 [cmdb_ci_ni_telco_equipment]	ネットワーク機器 [cmdb_ci_netgear]	電気通信機器 ネットワークで技術的な機能を提供するデバイスを表します。例としては、ルーター、モデム、モバイルデバイス、光ケーブル、リレー、スイッチなどがあります。機器にはスロット、カード、またはポートを含めることができます。すべての機器がラックにマウントされているわけではないため、機器は機器ホルダー内に存在することも、単独で存在することもあります。 機器レコードを使用して、電話会社の機器の詳細を追跡および管理します。詳細については、以下を参照してください。 電気通信機器インスタンスの作成。 装置拡張クラスの詳細については、次を参照してください 設備拡張クラス。
ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface]	ネットワークポート [cmdb_ci_ni_network_port]	Network Interface ネットワークインターフェイスの機器固有の属性をキャプチャして維持します。詳細について

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

Telecommunications Network Inventory クラス	汎用 CI クラスを拡張する	説明
		は、「 ネットワークインターフェイスの詳細の定義 」を参照してください。
インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card]	ネットワーク機器 [cmdb_ci_netgear]	ネットワークインターフェイスカード ネットワークに格納されているインターフェイス カードを表します。カードは複数のスロットを占有することができます。またカードには、他のカードを含めることができます。機器の物理ポートまたは論理 (仮想) ポートにすることができます。各ポートには帯域幅の値がアサインされます。帯域幅は、ネットワーク設計でポートを使用すると消費されます。 詳細については、「インターフェイスカードの詳細の定義」を参照してください。
物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link]	ネットワークリンク [cmdb_ci_network_link]	物理接続 ネットワーク内のインターフェイスカードの物理ポート接続を表します。詳細については、「物理接続の詳細を定義する」を参照してください。
論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path]	ネットワーク回路 [cmdb_ci_network_circuit]	論理接続 ネットワークインターフェイスカードの論理ポートまたは仮想ポートの接続を表します。論理接続は通常、インターフェイスカード上の複数の物理接続を表します。 詳細については、「論理接続の詳細の定義」を参照してください。
トポロジ [cmdb_ci_topology]	ネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology]	ネットワークトポロジ ノード (機器)、エッジ (接続)、終端ポイント (インターフェイス) などのネットワーク エLEMENT のグループと、それらがどのように編成され、相互に接続されているかを表します。

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

Telecommunications Network Inventory クラス	汎用 CI クラスを拡張する	説明
		詳細については、「 ネットワークポロジの可視化 」を参照してください。

関連情報

[Network Inventory \(NI\) extension classes](#)

ワークフローの Telecommunications Network Inventory モデリング

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワークインベントリレコードを作成して、ネットワーク資産の詳細を保存する方法について説明します。レコードを作成するときに、ネットワークのデジタル モデルを設計できるように、各インベントリ レコード間の関係を定義することもできます。

概要

ネットワークの正確なデジタル表現を構築することで、物理リソースと論理リソースを表示し、それらのリソースの使用方法を改善し、ネットワークの運用コストを削減できます。

電話会社の機器やネットワークインターフェイスなどの一連のフォームを使用して、ネットワークインベントリレコードを作成および管理します。これらのフォームには、リストビューの [インベントリ] ノード Network Inventory ワークスペース からアクセスできます。

ネットワークインベントリレコードを作成する方法

アプリケーションで、次の 2 つの方法のいずれかを使用して Telecommunications Network Inventory ネットワークレコードを作成できます。

1. 在庫フォームを使用して、ネットワーク在庫レコードを手動で作成します。これらのフォームを使用して、ネットワーク在庫レコードを作成および確認し、それらの間の関係を定義できます。インベントリフォームには、リストビューの [インベントリ] ノード Network Inventory ワークスペース からアクセスできます。詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー](#)」を参照してください。
2. 設計およびアサイン機能を使用してネットワークインベントリレコードを作成します。設計と割り当て機能を開始する前に、設計基準の在庫モデル、テンプレート、およびモデル関係を設定します。設計およびアサイン機能を使用して、インベントリ タスクを実行し、変更ワークフローを開始するネットワーク設計基準を設定します。これらのワークフローでは、在庫リソースを割り当て、ネットワーク在庫レコードをインスタンス化できます。設計と機能の割り当ての詳細については、「[電気通信の設計と割り当て](#)」を参照してください。
3. Resource Inventory Open API を使用してネットワークインベントリレコードを作成します。Resource Inventory Open API は、ネットワーク内のリソースを作成、取得、および削除するためのエンドポイントを提供します。外部システムと統合している場合は、Resource Inventory Open API を使用して在庫レコードを取得できます。インベントリレコードのクエリーと操作 [ネットワークインベントリテンプレート](#) を可能にする機能の詳細については、[Resource Inventory Open API](#) を参照してください。

インベントリモデルとテンプレート

インベントリモデルとテンプレートは、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワークインベントリレコードを作成するためのフレームワークを提供します。ネッ

トワークインベントリモデルには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。テンプレートには、ネットワーク資産をネットワーク内どのように構成する必要があるかに関するビジネスガイダンスルールが含まれています。

モデル、テンプレート、およびそれらの間の関係を作成できます。ネットワークインベントリテンプレートは、複数の設定が可能です。

- 在庫モデルの詳細については、「」を参照してください [ネットワークインベントリモデル](#)。
- 在庫テンプレートの詳細については、以下を参照してください [ネットワークインベントリテンプレート](#)。
- 在庫モデルの関係の詳細については、「」を参照してください [ネットワーク・インベントリー関係のモデル化](#)。

ネットワークインベントリモデル

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory インベントリモデルを定義すると、電気通信機器やネットワークインターフェイスなどのネットワーク資産に関するメーカーからの技術情報を追跡できます。

概要

ネットワークインベントリモデルには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。インベントリモデルには、メーカーの名前、番号、分析コード、互換性のあるインターフェイスカード、および構成のメタデータが含まれています。設計と割り当て機能を使用して在庫レコードをインスタンス化すると、在庫レコードにはこの標準製造元情報が含まれます。インベントリモデルレコードの作成方法の詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの作成](#)。

インベントリモデルを作成したら、さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義できます。これらのエンティティ間の互換性を定義することもできます。モデルの関係の詳細については、「」を参照してください [ネットワークモデルの関係](#)。

インベントリモデルの種類

次のタイプの在庫モデルを作成できます。

設備モデル

機器モデルは、ベンダーまたはメーカーから機器に提供されるメタデータを表します。これは、機器に対して作成されたさまざまなインスタンス間で一貫した特性を定義します。インスタンスは、サイトまたはデータセンターでのネットワーク資産の個々の発生です。。詳細については、「[機器モデルの作成](#)」を参照してください。

機器所有者モデル

機器ホルダーモデルは、ベイ、キャビネット、ケージ、ラインアップ、リレーラック、スロットなど、コンテナの表現のメタデータを表します。**[Container Type (コンテナタイプ)]** フィールドは、機器モデルが表すコンテナのタイプを参照します。詳細については、「」を参照してください [機器所有者モデルの作成](#)。

スロットのモデリング ガイドラインは、通信サービス プロバイダーによって異なります。個々のスロットモデルは、スロットのタイプで表されます。例としては、ルートプロセッサ スロット、電源スロット、ファン スロット、または汎用スロット モデルがあります。。詳細については、「[機器所有者モデルの作成](#)」を参照してください。

インターフェイスカードモデル

カードモデルは、カードのメタデータを定義します。これは、そのモデルのさまざまなインスタンス化されたカード間で一貫した属性です。。詳細については、「[カードモデルを作成](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイスモデル

ネットワークインターフェイスモデルは、製品メーカーによって指定された、ネットワークインターフェイスの動作に関する物理的特性とデータをキャプチャします。詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルの作成](#)」を参照してください。

物理接続モデル

物理接続モデルは、物理接続のメタデータをキャプチャします。詳細については、「[物理接続モデルを作成する](#)」を参照してください。

論理接続モデル

論理接続モデルは、論理接続のメタデータをキャプチャします。詳細については、「[論理接続モデルの作成](#)」を参照してください。

カードモデル

ケーブル モデルは、ケーブルのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ケーブル モデルを作成する](#)」を参照してください。

ストランドモデル

ストランド モデルは、ストランドのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ストランドモデルの作成](#)」を参照してください。

ネットワークトポロジモデル

ネットワーク トポロジ モデルは、トポロジのメタデータを取得します。詳細については、「[ネットワーク トポロジ モデルの作成](#)」を参照してください。

ネットワークモデルの関係

モデル関係は、在庫モデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワーク モデル エンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性も定義できます。

モデル関係を設定するときは、[関係性タイプ] フィールドで次のいずれかのオプションを選択します。

-- なし --

ネットワーク モデルの関係が存在しません。

ラックからスロット

ラックモデルとスロットモデルの関係。この関係性は、ラックとスロットのモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。

設備からスロット

機器モデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットの数とスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。

注:

- [親製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連するTelecommunications Network Inventoryすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、スロットモデルのみが表示されます。

機器からネットワークへのインターフェイス

機器モデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、インターフェイスモデルと、機器モデルと互換性がありサポートされているインターフェイスの数を示します。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連するTelecommunications Network Inventoryすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連するTelecommunications Network Inventoryすべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

スロットからインターフェイスカード

スロットモデルとインターフェイスカードモデルの関係。この関係は、機器モデルまたはカードモデルを選択する必要がある ルート製品モデル フィールドを強制します。

i 注:

- [ルート製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連するTelecommunications Network Inventoryすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [親製品モデル] フィールドには、スロットとサブスロットの両方のモデルが表示されます。
- [子製品モデル (**Child product model**)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。

スロットへのインターフェイスカード

インターフェイスカードモデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットモデルがインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。

i 注:

- [親製品モデル (**Parent product model**)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、サブスロットのモデルのみが表示されます。

インターフェイスカードからネットワークインターフェイス

インターフェイスカードモデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、ネットワークインターフェイスモデルのインターフェイスの数がインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。

i 注:

- [親製品モデル (**Parent product model**)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

物理接続から論理接続

物理接続と論理接続のモデル間の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。

論理接続から論理接続

ある論理接続モデルから別の論理接続モデルとの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。

物理接続からネットワークインターフェイス

物理接続とネットワークインターフェイスの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

論理接続からネットワークインターフェイス

論理接続とネットワークインターフェイスの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

ラックから設備

ラックと 機器の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、[コンテナ タイプ] が [ラック] であるすべての機器ホルダーが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連するTelecommunications Network Inventoryすべての機器モデルが表示されます。

キャビネットから設備

キャビネットと機器の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、[コンテナタイプ] が [キャビネット] であるすべての機器ホルダーが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連するTelecommunications Network Inventoryすべての機器モデルが表示されます。

論理接続からチャンネル

論理接続とチャンネルの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- 子製品モデル フィールドには、チャンネルとして動作を持つすべてのチャンネルモデルのリストが表示されます。

ネットワークインベントリをモデル化する方法の詳細については、次を参照してください [ネットワーク・インベントリ関係のモデル化](#)。

在庫モデルフォームへのアクセス

インベントリモデルフォームには、リストビューの [インベントリモデル] ノード Network Inventory ワークスペースからアクセスできます。

ネットワークインベントリテンプレート

電気通信プロバイダーからのビジネスガイダンスルールを含むネットワークインベントリテンプレートを Telecommunications Network Inventory アプリケーションで定義します。

概要

テンプレートには、機器構成の生成方法に関するルールが含まれており、メーカーの運用要件に基づいています。また、他のタイプのハードウェアとの構成および機器の互換性情報も含まれています。ネットワークインベントリテンプレートとその関係の詳細については、次を参照してください [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレート](#) を作成しています。

ネットワークインベントリテンプレートのタイプ

インベントリテンプレート

ネットワークインベントリテンプレートには、通信事業者からの詳細なビジネスガイダンスルールのセットが含まれています。これらのルールは、機器構成の生成方法を示しており、特定の運用要件に基づいています。たとえば、開発した機器モデルに基づいて、人口密度の高い大都市圏で使用するテンプレートを作成し、次に、人口の少ない農村地域で使用する別の機器モデルテンプレートを作成できます。在庫テンプレートの作成方法の詳細については、以下を参照してください [インベントリテンプレートを作成する](#)。

インベントリテンプレートには、インベントリテンプレートリストのエントリが単一のテンプレートなのか、テンプレートの関係なのかを示す内部属性もあります。テンプレート関係は、このテンプレートと別のテンプレートの間に関係があることを指定します。これらの関連テンプレートは、在庫テンプレートフォームの [関連テンプレート] タブに表示されます。テンプレートの関係の詳細については、次を参照してください [インベントリテンプレートを作成しています](#)。

デフォルトテンプレート

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートがインベントリテンプレートに関連付けられると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

さまざまな属性デフォルト値のセットを取得するビジネス要件が複数ある場合は、設備などの単一の CI に対して複数のデフォルトテンプレートを定義できます。デフォルトテンプレートを作成して CI を選択するときに、その CI の関連属性を選択して値を設定することもできます。

デフォルトテンプレートの作成方法の詳細については、「」を参照してください [デフォルトテンプレートの作成](#)。

ネットワークインベントリテンプレートノードへのアクセス

インベントリテンプレートには、リストビューの [ネットワークインベントリテンプレート] ノード Network Inventory ワークスペース からアクセスできます。

ネットワーク・インベントリー関係のモデル化

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク在庫関係をモデル化し、在庫テンプレート関係で使用するネットワーク在庫レコードを作成できるようにします。

概要

モデル関係は、在庫モデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワーク モデル エンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性も定義できます。インベントリテンプレートは、モデル関係を使用してテンプレート関係を作成します。インスタンス化プロセスでは、ネットワークインベントリレコードを生成するときに作成したインベントリテンプレートの関係が使用されます。たとえば、機器テンプレートまたはカードテンプレートを作成すると、モデル関係のデータを使用して、関連するスロットとインターフェイステンプレートが自動的に作成されます。モデルの関係が作成されていない場合、システムは関連するテンプレートを作成しません。

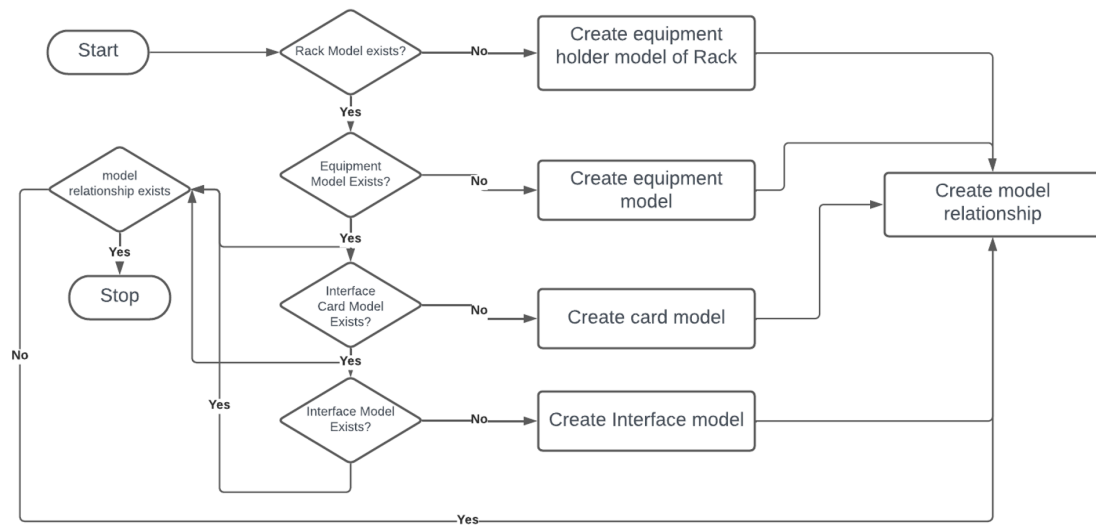
インベントリモデリングプロセス

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 機器在庫の在庫モデルを作成するときは、下から上または上から下のいずれかのアプローチを使用できます。どちらのシーケンスも許容され、終了するとどちらも同じ結果が得られます。

- ボトム・ツー・トップのアプローチでは、 ネットワークインターフェイスモデル > インターフェイスカードモデル > スロットモデル > 機器モデル > 機器ホルダーモデル(ラック)。
- トップ・ツー・ボトムのアプローチで、モデル化は 機器ホルダーモデル(ラック) > 機器モデル > スロットモデル > インターフェイスカードモデル > ネットワークインターフェイスモデル。

次の図は、在庫モデリング プロセスの上から下へのアプローチを示しています。

上から下までの在庫モデリング



在庫の上から下までモデリングする手順は次のとおりです。

1. 使用可能なラックモデルを確認します。
2. ラックモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、ラックの機器ホルダーモデルを作成します。
3. 機器モデルを確認します。
4. 機器モデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、機器モデルを作成します。
5. インターフェイス カードのモデルを確認します。
6. インターフェイスカードモデルが利用可能な場合は、モデル関係を確認します。そうでない場合は、インターフェイスカードモデルを作成します。
7. ネットワーク・インターフェイス・モデルを確認します。
8. ネットワークインターフェイスモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、ネットワークインターフェイスモデルを作成します。
9. 各在庫モデルを作成した後、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、モデルの関係を作成します。

このプロセスにより、すべてのモデルとモデル関係がメーカーの推奨に従って作成されます。

電気通信の設計と割り当て

設計および割当機能を使用すると、ネットワークインベントリとネットワークサービスのデジタル表現をアプリケーション内で Telecommunications Network Inventory 構築することができます。

概要

設計および割当機能を使用して、インベントリタスクを順次または並行して実行し、変更ワークフローを開始するネットワーク設計基準を設定します。これらのワークフローでは、在庫リソースを割り当て、ネットワーク在庫をインスタンス化できます。また、得意先指図から収集した情報を使用して、設計および割当機能を実行することもできます。

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 設計およびアサイン機能を実行する場合は、およびフローデザイナーアプリケーションの標準プロセス変更管理を使用します。変更要求

を作成すると、ネットワーク サービス トポロジをサポートするネットワーク インベントリ リソースをインスタンス化できます。正確なリソース割り当てにより、新しいネットワーク容量を効率的に構築できます。また、ワークフローを自動化して、ネットワーク サービスを作成および拡張することもできます。

単純な回線と複雑なネットワーク インフラストラクチャの両方を設計および構成できます。その後、ネットワーク割り当てのパス解析と計算を実行できます。また、仮想ローカル エリア ネットワーク (VLAN) およびリンク アグリゲーション グループ (LAG) の割り当てルールをパッシブ光ネットワーク (PON) に適用することもできます。設計および割り当て機能を使用すると、ネットワーク・リソースの設計および割り当て時に、テクノロジーおよびプロセスの制限を強制することができます。

ワークフローの設計とアサイン

設計と割付け機能を開始する前に、設計基準のモデル、モデル関係、テンプレート、およびテンプレート関係を定義します。次に、ネットワーク Now Platform インベントリのインスタンス化に必要なすべてのタスクを実行する自動ワークフローが生成されます。

インベントリテンプレートまたはカタログマネージャーは、次のタスクを実行してネットワークインベントリをインスタンス化できます。

1. インベントリモデルを作成します。インベントリモデルを作成して、ネットワーク資産に関するメーカーからの技術情報を追跡します。在庫レコードをインスタンス化すると、在庫レコードにこの標準メーカー情報が含まれます。詳細については、「[在庫モデルの作成](#)」を参照してください。
2. モデルの関係を作成します。モデルリレーションシップは、在庫モデル間のリレーションシップをキャプチャします。詳細については、「[ネットワーク・インベントリ関係のモデル化](#)」を参照してください。
3. インベントリテンプレートを作成します。電気通信プロバイダーからのビジネスガイダンスルールを含むネットワークインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートを作成しています](#)」を参照してください。

その後、変更管理ワークフローを使用して新しいネットワークインベントリレコードをインスタンス化し、ネットワーク設計を履行できます。インベントリエージェントは、次のタスクを実行します。

1. 変更モデルを使用して変更要求を作成します。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。
2. 変更要求から変更タスクを作成します。ネットワーク資産のインスタンス化は、アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) または変更要求から作成した変更タスクを使用して行われます。詳細については、「[での変更タスクの作成および実行 Telecommunications Network Inventory](#)」を参照してください。

タスクを完了すると、次の処理が行われます。

- ネットワークインベントリレコードが生成されます。レコードは、在庫テンプレートおよび関連する在庫モデルに対して定義したものと同一構造上の関係に基づいています。構成されたアイテムは、インベントリモデルと関連するすべてのインベントリモデルで構成されます。
- 他の運用サポートシステムやビジネスサポートシステムと統合すると、プロセスによって内部ワークフローがトリガーされます。このワークフローは、指定されたサイトでネットワーク資産の購入、インストール、出荷、およびインスタンス化を完了します。この内部ワークフローは、のフローデザイナーインベントリモデルに関連付けられている個々のタスクまたはタスクのリストに基づいています。

インスタンス化の例

設計およびアサイン機能を使用して、ギガバイトパッシブ光通信網 (GPON) ブロードバンドの注文要求を満たすための一連のネットワークインベントリレコードを作成できます。詳細については、「[GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て](#)」を参照してください。

関連情報

[Flow Designer](#)

[Change Management](#)

[ネットワークインベントリモデル](#)

[ネットワークインベントリテンプレート](#)

[ネットワーク・インベントリ関係のモデル化](#)

ネットワークインベントリワークスペース

これにより Network Inventory ワークスペース、ネットワーク運用担当者は、ネットワークインベントリを視覚化し、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 日常のタスクを実行できます。は Network Inventory ワークスペース、ネットワークインベントリの主要な運用コンポーネントを管理する管理者、マネージャー、およびエージェントが使用するように設計されています。

概要

アプリケーションは Telecommunications Network Inventory、インベントリモデルの作成やネットワークの設計などの機能を実行するネットワーク運用担当者の複数のペルソナをサポートしています。アサインされたロールとペルソナに応じて、担当者 Network Inventory ワークスペース が日常的に使用する機能へのアクセスに必要な情報が提供されます。

ネットワークインベントリワークスペースは UI 上に Next Experience 構築されています。これは、担当者がネットワークインベントリを表示および更新できるようにする一連のツールです。ワークスペースは、ランディングページ、リストビュー、さまざまなダッシュボード、フォームで構成されており、集中して作業する 1 つの領域内にあります。この 1 つのワークスペースから、ネットワークインベントリの作成と管理に必要な任意のフォームにアクセスできます。詳細については、「[Next Experience UI での作業](#)」を参照してください。

福利厚生

ネットワークインベントリワークスペースを使用すると、ネットワーク運用担当者は次のタスクを実行できます。

- すべてのネットワーク サイトのマップされた場所を図で表示します。
- ネットワークサイトとそのサイトに存在する機器エンティティの全体的な運用ステータスをすばやく判断します。
- ネットワーク機器に関する詳細情報にアクセスして表示および更新し、必要に応じてネットワークエンティティをすばやく作成します。
- オープンインシデントを管理し、即時の応答が必要なタスクを変更します。
- モデルメタデータの定義、インベントリテンプレートの作成、管理タスクなど、リストビューからペルソナ固有の日次タスクを実行します。

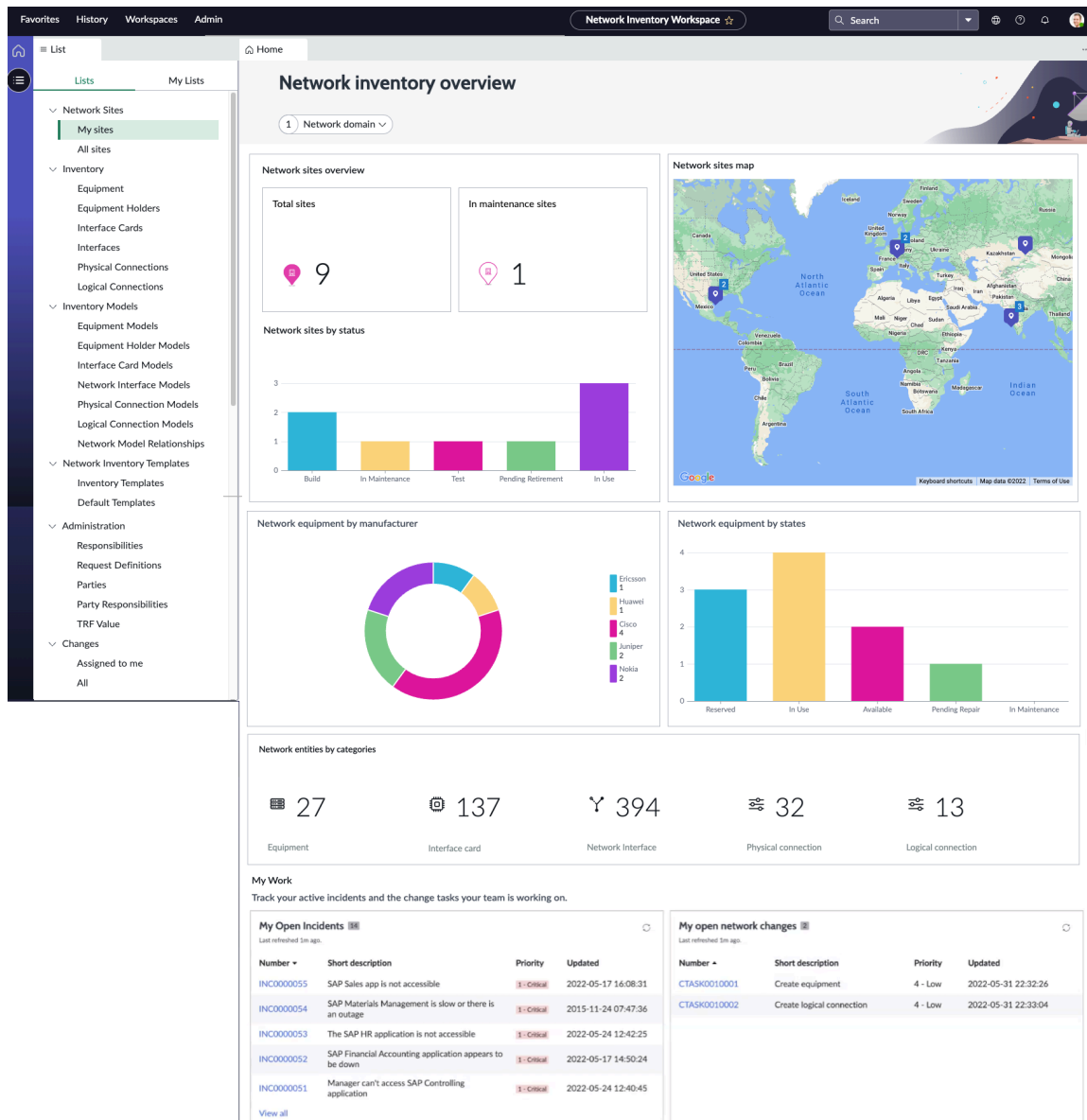
ネットワークインベントリワークスペースランディングページ

Network Inventory ワークスペース ランディングページからネットワークインベントリをリアルタイムで可視化し、日常のタスクを実行します。

Network Inventory ワークスペース ランディングページには、インベントリ、ネットワークサイト、インシデント、および変更タスクのステータスが表示されます。このページを使用して、インベントリおよびアサインのステータスのリアルタイムデータを取得できます。オープンインシデントと変更タスクを即座に可視化できます。ネットワークサイトマップを展開すると、選択したネットワークサイトに関する詳細情報にアクセスしたり、表示したり、更新したりできます。

次の図は、ネットワークインベントリホームページを示しています。

ネットワークインベントリワークスペースのランディングページとリストビュー



ネットワークインベントリワークスペースウィジェット

ウィジェットを使用して Network Inventory ワークスペース、インベントリのリアルタイム データとアサインのステータスを取得します。

は Network Inventory ワークスペース、次のウィジェットで構成されています。

- ネットワークサイトの概要
- ネットワークサイトマップ
- カテゴリ別のネットワークエンティティ
- メーカー別のネットワーク機器

- ステータス別のネットワーク機器
- 自分の作業

ネットワークサイトの概要

このウィジェットは、ネットワーク サイトの詳細な概要を提供します。ネットワークサイトレコードには、機器が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、部屋など、各ネットワーク サイトの場所固有の属性が格納されます。このウィジェットを使用すると、選択したネットワーク サイトに関する詳細情報にアクセスしたり、表示したり、更新したりできます。必要に応じて、ネットワークサイトレコードを作成することもできます。

合計サイト数

選択したネットワークドメイン内のサイトの数。個々のネットワーク サイトを確認するには、合計数を選択して [合計サイト数] リストにアクセスし、表示または更新する個々のネットワーク サイトを選択できます。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita](#)」を参照してください。

メンテナンスサイト内

選択したネットワークドメイン内のメンテナンス中のサイトの数。個々のネットワーク サイトを確認するには、合計数を選択して [メンテナンス サイト] リストにアクセスし、表示または更新する個々のネットワーク サイトを選択できます。

ステータス別ネットワークサイト

選択したネットワークドメイン内のサイト数を運用ステータス別に示す棒グラフ。運用ステータスは次のとおりです。

ビルド

構築中または定義されているが、運用されていないネットワークドメイン内のネットワークサイトの数。

メンテナンス

選択したネットワークドメイン内でメンテナンス中で運用されていないネットワークサイトの数。

使用中

選択したネットワークドメイン内で運用されているネットワークサイトの数。

廃止処理待ち

選択したネットワークドメイン内の廃止待ちのネットワークサイトの数。

テスト

選択したネットワークドメイン内で、テストステータスにあり、運用されていないネットワークサイトの数。

i 注:

ワークスペースのランディングページでカウントデータを収集して更新する方法の詳細については、「」を参照してください [ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのデータ収集と更新](#)。各ウィジェットに表示されるコンテンツをカスタマイズする方法については、「」を参照してください [ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのコンテンツのカスタマイズ](#)。

ネットワークサイトマップ

このウィジェットには、選択したネットワーク・ドメイン内のネットワーク・サイトがどこにあるかを視覚的にマップ表現したものが含まれます。

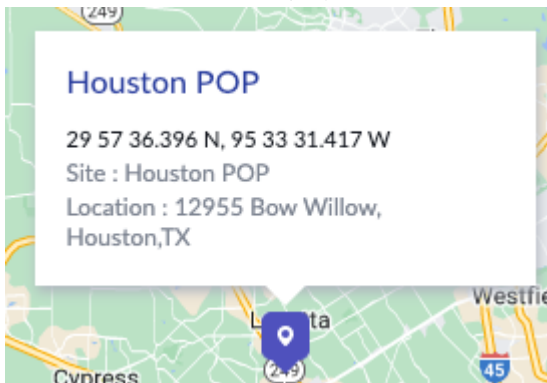
- マップナビゲーションに使用できるキーボードショートカットのリストを表示するには、[キーボードショートカット] を選択します。
- マップを移動するには、マップを選択してドラッグします。
- マップを縮小するには、マイナス記号 (-) を選択します。縮小すると、地理的に近接しているサイトがマップ上にクラスターとして表示されます。クラスターの横の数字は、そのクラスター内のサイトの数を示します。次の例は、ネットワークサイトクラスターを示しています。

ネットワークサイトクラスター



- マップを拡大するには、プラス記号 (+) を選択します。ズームインすると、マーカーは各ネットワークサイトの地理的な位置を示します。マーカーを選択すると、次の例に示すように、ネットワークサイトの地理情報が表示されます。

ネットワークサイトの場所



- 注:**
ドメインで ServiceNow インスタンスを使用している場合は、sn-fam-map プラグインの使用を可能にするデフォルトの Google マップ ID があります。インスタンスにドメインが ServiceNow ない場合は、Google Maps ID を購入してこのプラグインを使用できるようにする必要があります。詳しくは、[Google Maps API の設定](#) をご覧ください。

カテゴリ別のネットワークエンティティ

このウィジェットには、選択したネットワークドメイン内のエンティティの個々のネットワーク資産インスタンスの数が含まれています。このウィジェットを使用すると、個々のネットワーク資産インスタンスの詳細情報にアクセスして表示および更新でき、必要に応じて作成することもできます。

ネットワークエンティティには、個別の通信機器、インターフェイスカード、ネットワークインターフェイス、物理接続、および論理接続が含まれます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。これらのネットワークエンティティは次のとおりです。

設備

選択したネットワークドメイン内の個々の通信機器の数。個々のネットワークサイトを確認するには、数を選択して機器リストにアクセスします。機器リストでは、表示または更新する通信機器を個別に選択できます。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)」を参照してください。

インターフェイスカード

選択したネットワークドメイン内の個々のインターフェイスカードの数。個々のインターフェイスカードを確認するには、カウントを選択してインターフェイスカードリストにアクセスし、表示または更新するインターフェイスカードインスタンスを選択します。詳細については、「[インターフェイスカードの詳細の定義](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイス

選択したネットワークドメイン内の個々のネットワークインターフェイスの数。個々のネットワークインターフェイスを確認するには、カウントを選択してネットワークインターフェイスリストにアクセスし、表示または更新するインターフェイスを選択します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスの詳細の定義](#)」を参照してください。

物理接続

選択したネットワークドメイン内の個々の物理接続の数。個々の物理接続を確認するには、カウントを選択して [物理接続] リストにアクセスし、表示または更新する物理接続を選択します。詳細については、「[物理接続の詳細を定義する](#)」を参照してください。

論理接続

選択したネットワークドメイン内の個々の論理接続の数。個々の論理接続を確認するには、カウントを選択して論理接続リストにアクセスし、表示または更新する論理接続を選択します。詳細については、「[論理接続の詳細の定義](#)」を参照してください。

i 注:

機器リストなどのリストから個々のネットワークエンティティにアクセスする場合、アクセスするフォームは次のセクションで構成されます。

- 各ネットワーク資産の識別特性を定義するために使用する一般的な詳細セクション。
- ネットワーク資産の構成特性を定義するために使用する構成セクション。
- 各セクションは、そのネットワーク資産の一意のフィールドと、ほとんどのネットワーク資産フォームに共通するフィールドのコレクションで構成されます。これらの共通フィールドの詳細については、次のトピックを参照してください。
 - [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)
 - [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)

メーカー別のネットワーク機器

このウィジェットは、ネットワークドメイン内のネットワークエンティティを、それらを提供するメーカー別にグループ化した円グラフです。このウィジェットには、最も有名な通信機器メーカー 5 社の標準セットが含まれています。メーカーごとに、各メーカーから供給されているネットワークエンティティまたは機器の合計数を表示できます。このウィジェットを使用すると、製造ソース別の設備の全体的な分布を判断するのに役立ちます。

i 注:

このウィジェットやその他のウィジェットに表示されるデータをカスタマイズする方法については、「[ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのコンテンツのカスタマイズ](#)」を参照してください。

ステータス別のネットワーク機器

このウィジェットは、ネットワークドメイン内のエンティティの数を現在の運用ステータス別に棒グラフで表したものです。

予約済み

構築中または定義中であるが、運用されていないネットワーク サイトの数。

使用中

ネットワークドメイン内で運用中および使用中のネットワークサイトの数。

利用可能

運用中で使用可能なネットワークエンティティの数。

修理待ち

修復待ちのネットワークエンティティの数。

メンテナンス中

メンテナンス中で運用されていないネットワークエンティティの数。

自分の作業

このウィジェットを使用すると、現在アサインされているオープンインシデントとネットワーク変更要求を表示できます。

自分のオープンインシデント (My open incidents)

itil ユーザーロールがアサインされている場合は、自分にアサインされているすべてのオープンネットワークサービスインシデントを表示できます。詳細については、「[インシデント管理](#)」を参照してください。

i 注:

itil ロールがアサインされていないログインユーザーには、自分のオープンインシデントウィジェットは表示されません。代わりに、[自分のオープン変更タスク] ウィジェットが代わりに使用されます。

自分のオープン変更タスク

アサインされているすべてのオープンネットワーク変更要求を表示できます。このウィジェットでは既存の変更要求のみを表示できますが、ネットワークインベントリワークスペース自体内で変更要求を作成または更新することはできません。

ネットワークインベントリワークスペースのリストビュー

リストビューを使用して、ネットワークインベントリタスクを実行するためのインベントリクラスと機能にアクセスします。

の左側 Network Inventory ワークスペースにある [リスト] ビューから、ほとんどの Telecommunications Network Inventory クラスと関数にアクセスできます。リストビューにアクセスするには、リストアイコン () を選択します。

次のクラスにアクセスできます。

ネットワークインベントリクラス

クラス	詳細
ネットワークサイト	ネットワークサイトのリストを表示します。ネットワークサイトの詳細を更新または作成します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
Inventory	ネットワーク資産の個々のインスタンスを手動で作成し、それらの相互関係を定義します。詳細については、「 ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー 」を参照してください。

ネットワークインベントリクラス (続く)

クラス	詳細
インベントリ番号割り当て	アプリケーションの在庫番号割り当て機能 Telecommunications Network Inventory を使用して、仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) を管理します。詳細については、「 在庫番号の割り当て 」を参照してください。
インベントリモデル	インベントリモデルのメタデータを作成し、ネットワーク資産のインスタンス化のためにそれらの関係を相互に定義します。詳細については、以下を参照してください。 • ネットワークインベントリモデル • 在庫モデルの作成
ネットワークインベントリテンプレート	インベントリとデフォルトテンプレートを作成し、ネットワーク資産のインスタンス化のためにそれらの関係を相互に定義します。詳細については、以下を参照してください。 • ネットワークインベントリテンプレート • ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレート を作成しています
管理	Telecommunications Network Inventory アプリケーションを構成します。詳細については、「 Telecommunications Network Inventory の構成 」を参照してください。 注: [リスト] ビューのすべての選択は、[管理] ノードの次の選択を含むすべてのユーザーロールからアクセスできます。ただし、admin ロールが割り当てられたユーザーのみが、管理機能で書き込みまたは削除のアクセス権を持っています。

在庫管理ビュー

ワークスペースのインベントリ管理ビュー Telecommunications Network Inventory を使用して、選択したネットワークサイト内のネットワークインベントリの詳細を表示します。

インベントリ管理ビューには、機器情報や、選択したネットワークサイト内のラック、ポート、およびスロットの可用性など、ネットワークインベントリの詳細が表示されます。任意の複数ネットワークサイトを選択できます。

次のタブを使用して、在庫の詳細を表示し、適切なアクションを実行します。

概要

モデル、メーカー、ライフサイクルステータス別にグループ化された機器の合計数、ラック、ポート、およびスロットの可用性など、さまざまなインベントリデータを表示します。

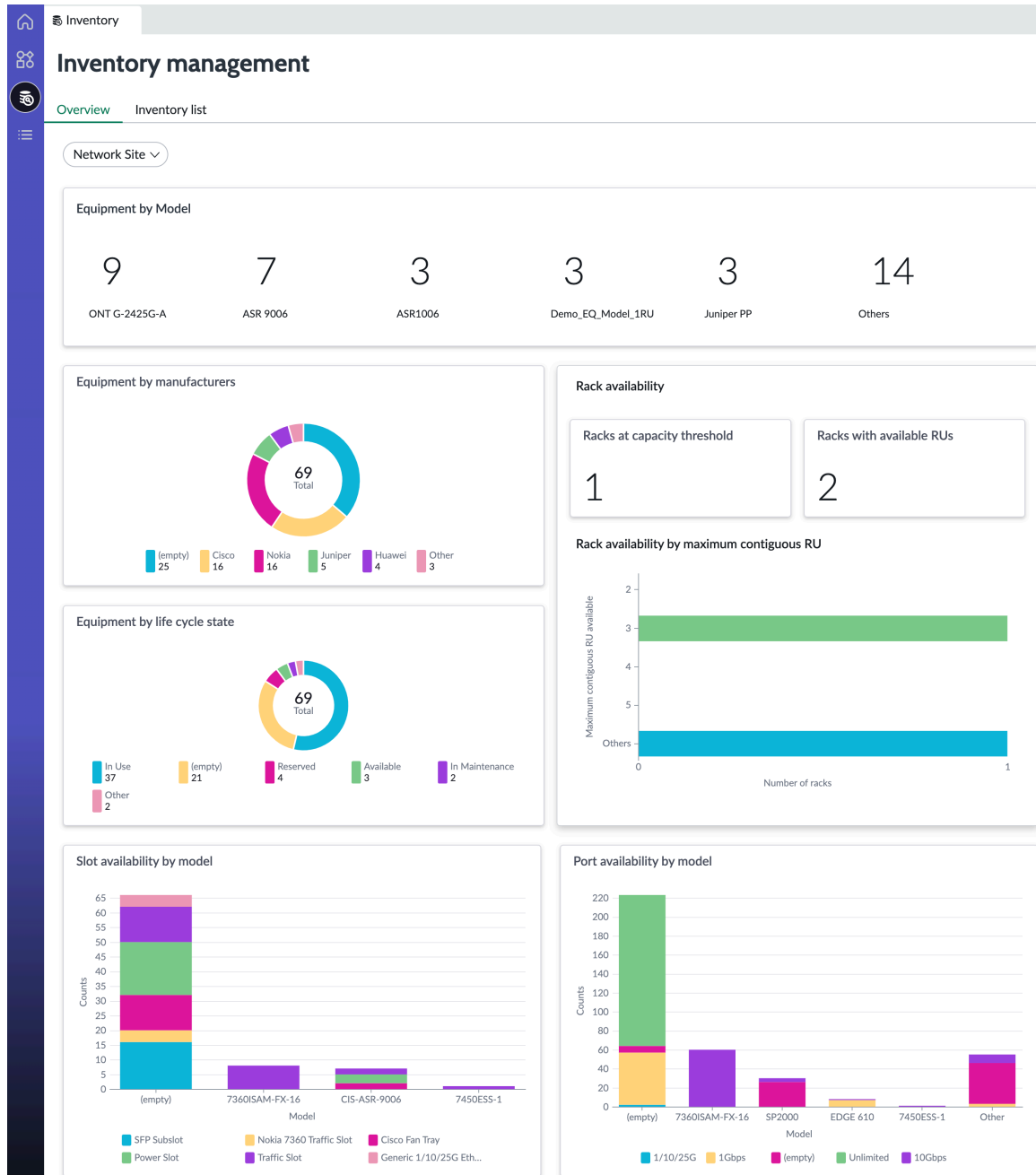
インベントリリスト

左側のパネルで選択したオプションに基づいて、ネットワークサイトまたはネットワーク資産のリストを表示します。

[概要] タブ

[概要] タブを使用して、さまざまなネットワーク インベントリ データをウィジェットまたはチャートとして統合ビューします。

在庫管理ビュー



任意のウィジェットまたはチャートを選択して、アクションが必要なアイテムのリストを表示します。

在庫管理ウィジェット

ウィジェットまたはチャート	説明
モデル別の機器	モデル別にグループ化された個々の機器の数。ウィジェットには、最もよく使用される 5 つの電気通信機器モデルの標準セットが含まれています。各機器モデルについて、機器の合計数を表示できます。
メーカー別の機器	ドーナツグラフでは、機器を供給するメーカー別に機器をグループ化しています。このウィジェットには、最も使用されている 5 つの電気通信機器メーカーの標準セットが含まれています。メーカーごとに、機器の合計数を表示できます。
ライフサイクルステータス別の機器	ドーナツグラフでは、現在のライフサイクルステータス別に機器をグループ化しています。ウィジェットには、選択したネットワークサイト内の機器の数が含まれ、次のライフサイクルステータス別にグループ化されます。 • 使用中 • 空 • 予約済み • 利用可能 • メンテナンス中 • その他
キャパシティしきい値に達したラック	しきい値容量を超えて占有されているラックの数。
使用可能な RU があるラック	利用可能なラックユニットがあるラックの数。
最大隣接 RU によるラックの可用性	最大連続ラックユニットを持つ利用可能なラックの棒グラフ表現。
モデル別のスロット可用性	さまざまな機器モデルで利用可能なスロットの棒グラフ表現。ウィジェットには、利用可能なスロットの数が最も多い、最も認識しやすい 4 つの機器モデルの標準セットが含まれています。
モデル別のポート可用性	さまざまな機器モデルで利用可能なポートを棒グラフで表したものの。ウィジェットには、利用可能なポートの数が最も多い、最も認識しやすい 4 つの機器モデルの標準セットが含まれています。

[在庫リスト] タブ

[インベントリ リスト (**Inventory list**)] タブを使用して、左側のパネルで選択した項目に基づいてネットワーク サイトまたはネットワーク アセットのリストを表示し、適切なアクションを実行します。左側のパネルには、グローバルな場所で利用可能なすべてのネットワークサイトと、各ネットワークサイトに関連付けられたネットワーク資産が一覧表示されます。

[在庫リスト] タブ

Inventory management

Overview **Inventory list**

200 South James street, Atl
3260 Jay Street, Santa Clar

Logical connection 5

Last refreshed just now.

Name	Site A	Site Z	Life Cycle Stage	Life Cycle Sta
AR-OR-ENET-100G-001	ARIZONA-CO-001	OREGON-CO-001	Operational	In Use
AR-SF-ENET-100G-001	ARIZONA-CO-001	SANFRANCISCO-CO-001	Operational	In Use
AR-TE-ENET-100G-001	ARIZONA-CO-001	TEXAS-CO-001	Operational	In Use
SA-AR-ENET-100G-001	SEATTLE-CO-001	ARIZONA-CO-001	Operational	In Use
TE-AR-ENET-100G-001	TEXAS-CO-001	ARIZONA-CO-001	Operational	In Use

[インベントリリスト] タブでは、次のアクションを実行できます。

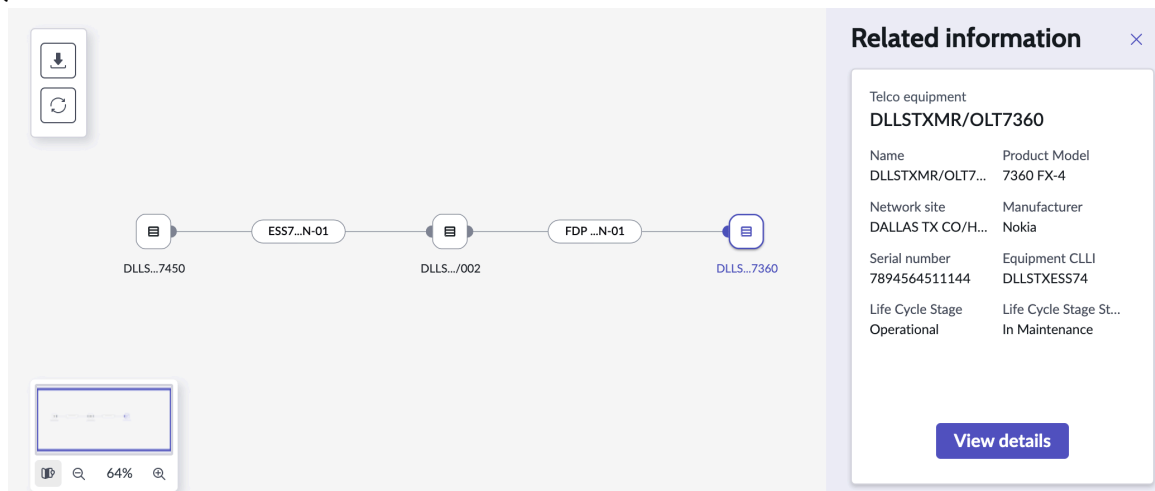
- 左側のパネルで、各場所を展開して、関連付けられたネットワークサイトを表示します。
- 関連するネットワークサイトレコードをリストビューで表示する場所を選択します。
- 左側のパネルで、各ネットワークサイトを展開して、関連付けられている接続または機器を表示します。
- 接続または機器を選択すると、関連付けられた接続または機器レコードのリストが表示されます。
- リストビューでレコードを選択すると、そのフォームビューにリダイレクトされます。

回路の可視化

Telecommunications Network Inventory アプリケーションのネットワーク図は、ホームノードである構成アイテム (CI) を中心に、回路とその基礎となる接続要素の階層マップをグラフィカルに表示します。

ネットワーク図には、物理接続要素と論理接続要素の回路、および各要素の詳細がグラフィカルに表示されます。ネットワークインフラストラクチャとその接続方法の詳細な概要を提供します。

次の例は、Telecommunications Network Inventory アプリケーションのネットワーク図を示しています。



す。

ネットワーク図には、次の 2 つのパネルが含まれています。

- [マップ] ペインには、選択した CI のマップが表示されます。
- 右側の [詳細] ペインには、現在の選択に従って CI の関連情報が表示されます。

ネットワーク図の使用方法の詳細については、「[ネットワーク図の使用](#)」を参照してください。

マップペイン

マップには、ホームノード CI から始まり、指定されたレベルまでの階層内のすべての CI が表示されます。階層レベルを最大 3 レベルまで展開し、基礎となるすべての接続を表示できます。マップペインには、機器の IP アドレスも表示されます。下に接続要素がある接続のみを展開できます。

マップペインでは、次のアクションを実行できます。

- [追加] アイコン () を選択し、基礎となるすべての接続を表示します。
- マップを再ロードして初期ビューに戻すには、[リフレッシュ] アイコン () を選択します。
- ズームコントロールを使用して、マップをズームインまたはズームアウトします。

詳細ペイン

マップペインでノードが選択されている場合、詳細ペインにはそのノードの関連情報が表示されます。たとえば、ネットワーク図で論理接続ノードを選択すると、その論理接続に関連するすべての詳細が詳細ペインに表示されます。詳細ペインで [詳細を表示] を選択すると、対応する CI フォームにリダイレクトできます。マップペインの空きスペースを選択すると、詳細ペインが非表示になります。

アクセス

次のように、Telecommunications Network Inventory ワークスペースからネットワーク図にアクセスできます。

- 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- 目的の物理レコードまたは論理レコードを開きます。
- [ネットワーク図] タブを選択して、それぞれの CI のマップを開きます。

属性パック

属性パックを使用して、Telecommunications Network Inventory アプリケーションの構成アイテム (CI) の一連のレコードに対して定義した属性をキャプチャします。CI に属する在庫フォームで、ネットワーク資産に関する追加情報をキャプチャできます。

概要

属性パックは、CI のサブセットに関連付けることができる属性のコレクションです。パックは、追加の属性セットです。これらの属性は、標準 Now Platform テーブルおよび列として定義されます。

属性パックテーブルを作成し、パックテーブルと CI の間のマッピングを構成します。CI レコードを作成または更新するときに、パックテーブルを追加し、在庫オブジェクトに関する追加情報を指定できます。

属性パックを使用すると、CI とその属性をより詳細に管理できます。たとえば、サーバーを CI と見なす場合、サーバーの属性パックには、ホスト名や IP アドレスなどの属性を含めることができます。これらの属性は、ライフサイクル全体でサーバーを管理および追跡するのに役立つ、サーバーに

関する追加情報を提供します。在庫フォームで属性パックを使用する方法の詳細については、「[在庫フォームでの属性パックの使用](#)」セクションを参照してください。

属性パックを使用して、組織または CI のサブセットの要件に従って属性をカスタマイズします。このカスタマイズにより、組織は現在および将来の在庫管理のニーズを拡張できます。

在庫フォームでの属性パックの使用

在庫フォームで属性パックを使用するには、管理者として次のタスクを実行する必要があります。

- 定義した属性を使用してパックテーブルを作成します。詳細については、「[属性パック テーブルの作成](#)」を参照してください。
- パックテーブルと、それを使用する在庫オブジェクトの間のマッピングを構成します。詳細については、「[構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成](#)」を参照してください。

パックテーブルを作成して構成した後、CI レコードで使用できます。詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

在庫番号の割り当て

アプリケーションのインベントリ番号割り当て Telecommunications Network Inventory を使用して、IP アドレス、電話番号の割り当て、仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN)、またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) を管理できます。この機能を使用すると、物理番号と論理番号を整理、追跡、および管理できます。

福利厚生

番号管理ツールには、組織に次のメリットがあります。

1. 正確で一貫性のあるデータ。
2. より効率的で効果的な運用につながる傾向とパターンをフォローする能力。
3. コストを削減して、リソースとプロセスを最適化または合理化できるようにします。
4. リソースの使用状況を追跡および分析する。
5. 重要業績評価指標 (KPI) を追跡して、組織のパフォーマンスを監視して改善できるようにします。
6. ステークホルダーがビジネスのパフォーマンスを理解できるように、データを明確に提示します。

番号管理ツール

この Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用すると、以下を管理できます。

1. IP アドレス。詳細については、「[IP アドレスの割り当て](#)」を参照してください。
2. 電話番号。詳細については、「[電話の割り当て](#)」を参照してください。
3. VLAN と LAG。詳細については、「[在庫番号の定義](#)」を参照してください。

IP アドレスの割り当て

アプリケーションの IP アドレス割り当て Telecommunications Network Inventory を使用すると、IP プール、IP ネットワークサブネット、割り当てられた IP アドレス、およびクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR) を作成、確認、および更新できます。

IP アドレステーブル

- **IP プール:** IP プールは、/16 または /24 IP アドレスのサブネット マスクなど、大規模ネットワークに割り当てられる IP アドレスのシーケンシャルな範囲です。
- **IP ネットワーク サブネット:** IP ネットワーク サブネットは、/28 または /29 アドレスのサブネット マスクなど、顧客に割り当てられる IP アドレスを表します。
- **割り当て済み IP アドレス:** 割り当て済み IP アドレスは、IP ネットワークサブネットの一部であり、構成アイテム (CI) に割り当てることができるすべての個々の IP アドレスのリストです。割り当てられた IP アドレスを使用して、ホストに IP アドレスを割り当てることができます。
- **管理対象ネットワーク:** 管理対象ネットワークは、既存のすべてのネットワークまたは新しいネットワークのリストです。管理対象ネットワークを使用すると、IP プールまたは割り当てられた IP アドレスにネットワークを割り当てることができます。詳細については、「[管理対象ネットワークを作成](#)」を参照してください。

IP アドレスの管理方法の詳細については、「」を参照してください [IP アドレスインベントリ管理データモデル](#)。

ユースケース

インターネットアクセスを必要としている会社が、サービスプロバイダーに注文要求を送信したとします。注文要求は、/30 のサブネットを持つ WAN IP アドレスと注文タスクを割り当てるための注文品目を生成します。IP アドレスを割り当てるために、変更要求が開始されます。この変更要求により、次の変更タスクが開始されます。

- 設計ガイドラインに従って、/30 IP アドレスのサブネットマスクの IP プールレコードを作成します。詳細については、「[IP プールレコードの作成](#)」を参照してください。
- サブネットマスクが /30 個の IP アドレスと 4 つの個別の IP アドレスの IP ネットワークサブネットを作成します。詳細については、「[IP アドレス](#)」を参照してください [IP ネットワークサブネットレコードの作成](#)。
- アプリケーションサービスを作成します。
- IP ネットワークサブネットを変更要求に関連付けます。

関連情報

[IP アドレス割り当ての作成](#)

電話の割り当て

電話ブロック、電話番号、および電話番号の割り当てについて説明します。また、それらの間のメリットと関係、およびそれらをより効果的に管理する方法についても学習できます。

電話番号インフラストラクチャ

- **電話ブロック:** 電話ブロックは、管理者によって電話事業者に割り当てられた電話番号のプールです。
- **電話番号:** 電話番号は、電話をかけたり受けたりするために電話回線またはデバイスに割り当てられる一意の数値識別子です。電話番号のリストを追加、確認、および更新できます。
- **電話番号の割り当て:** 電話番号の割り当ては、顧客に割り当てられているか、割り当て可能なすべての電話番号で構成されます。

詳細については、「[電話番号在庫管理データモデル](#)」を参照してください。

i 注:

- 電話番号でアクティビティを実行するには、在庫番号マネージャー (sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager) ロールが割り当てられていることを確認します。
- 電話ブロック、番号、または番号の割り当てを作成するには、必ず電話番号のコンポーネントを作成してください。詳細については、「[電話番号の構成要素](#)」を参照してください。

電話システムのユースケース

たとえば、ネットワーク事業者が、移植された番号、サードパーティの番号、所有する番号、およびその他のタイプの番号を含む一連の番号を大量に持っているとします。これらの番号を管理するために、在庫番号マネージャーは電話ブロックを作成できます。詳細については、「[電話ブロックを作成する](#)」を参照してください。

現在、Voice over Internet Protocol (VoIP) または Unified Communication as a Service (UCaaS) ベースのサービスを利用している顧客は、一連の番号の要求をオペレーターに送信します。要求された一連の番号は、3 つの異なる地域、国、または一連の番号に属しています。

前のシナリオを満たすために、在庫エージェントは電話番号の割り当てを作成するか、特定のブロック内のエリアまたは地域の電話番号を作成できます。詳細については、「[電話番号割り当ての作成](#)」と「[エリアまたは地域の電話番号を作成する](#)」を参照してください。このプロセスは、オペレーターが次の問題を特定するのに役立ちます。

- 電話番号割り当てを使用した番号の可用性
- 移植された番号と移植された番号
- 国または地域に割り当てられた番号

電話番号の構成要素

電話番号は、電話をかけたり受けたりするために電話回線またはデバイスに割り当てられた一意の数値識別子です。番号の構成要素は、本社コード、国コード、市外局番、およびレートセンターです。

本社コード、国コード、市外局番、およびレートセンター

- **本社コード** : 本社コード。交換コードとも呼ばれます。特定の市外局番内の電話交換機を識別し、ローカル電話ネットワーク内で通話をルーティングするのに役立ちます。詳細については、「[本社コードの作成](#)」を参照してください。
- **国コード** - 国コードは、国際ダイヤル コードとも呼ばれます。これは通常、他の国に連絡するときに市外局番と電話番号の前にダイヤルされる1〜3桁のコードです。詳細については、「[国コードの作成](#)」を参照してください。
- **市外局番** - 市外局番は、国内の地理的地域を識別するために使用される番号です。詳細については、「[市外局番を作成する](#)」を参照してください。
- **レートセンター** - レートセンターは、電話サービスに関連する料金と請求を決定するために使用される地理的領域です。これは通常、電話交換機またはローカル通話エリア内の交換機のクラスターによって定義されます。各料金センターには、そのエリア内の通話に対する独自の料金体系と請求体系があります。詳細については、「[レートセンターの作成](#)」を参照してください。

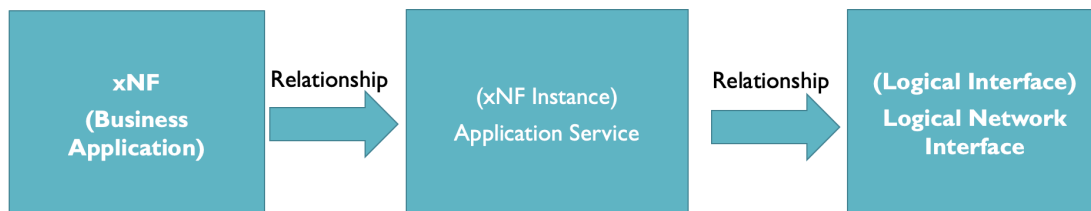
電話番号の詳細、および電話番号を管理および割り当てる方法については、以下を参照してください。 [電話インフラストラクチャの構築](#)

での 5G xNF のモデル化 Telecommunications Network Inventory

この Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用して、5G ネットワークをモデル化し、すべての xNF (任意のタイプのネットワーク機能) を管理できます。モデルを使用すると、ネットワークを作成、確認、更新、および削除できます。

5G ネットワークモデル

次の図に示すように、5G ネットワークをモデル化するには、ビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、およびネットワークインターフェイスを作成する必要があります。



- **ビジネスアプリケーション:** ビジネスアプリケーションテーブルには、すべての xNF が格納されます。ビジネスアプリケーションは、管理対象ネットワーク機能の一種として、3GPP によって提案されたすべてのクラスのラベルを記録します。詳細については、「[xNF を作成する](#)」を参照してください。
- **アプリケーションサービス:** アプリケーションサービスは、対応するネットワーク機能のインスタンスを格納します。これは、DU や CU-CP などのタイプを示すためにビジネスアプリケーションに関連付けられています。関数の各インスタンスは、アプリケーションサービス内にレコードを持ちます。ビジネスアプリケーションおよびネットワークインターフェイスとの関係を作成できます。詳細については、「[xNF インスタンスを作成または追加する](#)」を参照してください。
- **ネットワーク インターフェイス:** ネットワーク インターフェイスには、管理対象ネットワークに割り当てられているすべての論理 IP インターフェイスが格納されます。論理インターフェイスは、ピアツーピア関係を表します。分散ユニット (DU) と集中型ユニット (CU) コントロールプレーンまたはユーザー プレーン (UP) 機能の間に接続がある場合、論理インターフェイス間に論理接続が作成されます。関係エディターを使用すると、アプリケーションサービスとの関係を作成できます。詳細については、「[CI 関係エディター](#)」を参照 [ネットワークインターフェイスの詳細の定義](#)して関係を作成または編集してください。

TM

*3GPP TS28.541 V18.2.2にインスパイアされた属性は、パケットテーブルとして提供されています。詳細については、「[パケットテーブル](#)」を参照してください。属性パックの詳細については、[属性パック](#)を参照してください。

※3GPPはETSIの商標です。

関連情報

[xNF および xNF インスタンスの作成](#)

構成アイテムの改訂、運用化、および廃止

構成アイテム (CI) の改訂により、Telecommunications Network Inventoryアプリケーションを使用して、属性、接続要素、関係などの構成アイテムのネットワーク属性を更新できます。CI の改訂を使用すると、ネットワークインフラストラクチャを安全かつ効率的に更新できます。

概要

CI の改訂を使用すると、運用構成アイテムのネットワーク設定属性と接続要素を変更できます。CI の改訂は、論理接続と物理接続の CI にのみ適用されます。そのため、必要に応じて改訂 CI とそのサブフローを利用して、接続のすべての構成アイテムを更新できます。

CI の改訂を使用すると、運用構成アイテムのネットワーク設定属性と接続要素を変更できます。CI の改訂は、論理接続と物理接続の CI にのみ適用されます。そのため、論理接続または物理接続の構成アイテムを作成した後、改訂 CI とそのサブフローを利用して、必要に応じて構成アイテムを更新できます。

運用化と廃止のフロー

この変更を使用すると、CI レコードの改訂要求を作成した後に、選択した CI のクローンが作成されます。このプロセスでは、構成アイテムとそのすべての関連テーブル (属性、接続要素、関係など) のクローンが作成されます。クローン作成プロセスまたは関連テーブルをカスタマイズするには、「[CI クローン作成プロセスのカスタマイズ](#)」を参照してください。

クローンが正常に作成されると、必要に応じて、クローンが作成された構成アイテムレコードの変更を実行できます。運用化プロセスを使用して、変更を結合して確定できます。さらに、すべての変更が元の構成アイテムに適用され、クローンが作成された構成アイテムは自動的に廃止されます。ただし、アクティブな改訂済み構成アイテムの改訂を作成することはできません。クローンが作成された構成アイテムは、必要に応じていつでも更新できます。CI レコードを運用可能にしたり廃止したりするには、それぞれ「[構成アイテムの変更](#)」および「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。

ユースケース

たとえば、2 つの ENET を持つ論理接続の場合、LAG 容量を増やすために別の ENET を追加します。したがって、このシナリオでは、安全な LAG 更新のために CI の改訂を使用します。

CI の改訂により、LAG とそのすべての接続のクローンが作成されます。次に、クローンが作成された LAG 構成アイテムで、目的の ENET メンバーを追加し、CI の運用化を使用して元の CI に結合します。運用化が正常に完了すると、ネットワークを中断することなく、3 つの ENET すべてが元の CI に追加されます。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」、「[構成アイテムの運用化](#)」を参照してください。ここでは、クローンが作成された CI は自動的に廃止されます。詳細については、「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。

たとえば、ネットワーク内のルーターの IP アドレスを更新する必要があるとします。このルーターは複雑なネットワークの一部であり、IP アドレスの変更がネットワークの他の部分にどのように影響するかはわかりません。したがって、このシナリオでは、ルーターの IP アドレスを安全に更新するために、CI の改訂を使用します。

CI の改訂では、まずルーター CI とそのすべての関連データを複製します。次に、重複したルーターの IP アドレスを変更し、CI の運用化を使用して元の CI に結合します。その結果、ネットワークを中断することなく、変更が元のルーターに適用されます。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」と「[構成アイテムの運用化](#)」を参照してください。

キャパシティ管理

の Telecommunications Network Inventory キャパシティ管理を使用すると、ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算できます。キャパシティを効果的に管理することで、リソースを計画、監視、最適化して、ネットワークが現在および将来の需要を効率的に満たせるようにすることができます。

概要

の Telecommunications Network Inventory キャパシティ管理では、関数とメトリックを使用して、ネットワーク資産のキャパシティを計算してレポートします。キャパシティ・メトリックは、通信ネットワーク内のポート、スロット、ラックなど、最大、占有、および使用可能なネットワーク・リソースを推定します。この測定基準の結果を使用して、ネットワーク設計の将来の拡張に使用できるネットワーク資産のキャパシティをレポートできます。

キャパシティ計算のユースケース

設計とアサイン機能を使用して構成アイテム (CI) を作成すると、関連付けられた CI の使用可能なキャパシティが自動的に計算されます。システムは、事前定義された関数と測定基準を使用してキャパシティを計算します。そのため、現在の設計に変更が加えられるたびに、システムによってキャパシティ計算が自動的にトリガーされ、測定基準が更新されます。このアプローチにより、リソース消費が効果的に管理されます。また、この計算により、設計と代入機能の精度が向上します。

たとえば、新しい機器をラックに追加する場合、機器ホルダー内で使用可能なラックを決定することが重要です。機器レコードを作成すると、事前定義されたキャパシティ定義が実行され、測定基準によってラック可用性データが自動的に更新されます。キャパシティ定義には、最大ラックと占有ラックを判別する機能が含まれています。続いて、最大ラックと占有ラックの差を計算します。例えば、ラックの最大数が 10 で、占有されているラックが 7 の場合、使用可能なラックは 3 つあります。ラックの最大数が 10 で、占有されているラックが 10 の場合、使用可能なラック数は 0 で、使用可能なラックがないことを示します。次に、システムはその結果をキャパシティ メトリックに統合します。このプロセスにより、ラックの正確な容量と可用性に関する情報が得られます。

構成アイテム (CI) のタイプごとにキャパシティ計算をカスタマイズできます。この機能を使用すると、キャパシティを計算するための関数、定義、および測定基準を作成および構成できます。キャパシティ関数の設定と測定基準の作成の詳細については、「」を参照してください [キャパシティ管理の構成](#)。

キャパシティ管理ワークフロー

キャパシティ管理では、機能、定義、およびメトリックのテーブルを使用して、キャパシティを計算してレポートします。Telecommunications Network Inventory アプリケーションでキャパシティ機能を実行すると、結果がキャパシティ測定基準テーブルに集計されます。これにより、キャパシティの利用可能な測定基準と、利用可能なキャパシティのパーセンテージ値が格納される使用状況の測定基準が作成されます。設計変更が発生するたびに、システムは API をトリガーし、事前定義された関数と定義を使用して容量を計算します。

キャパシティ機能、定義、および測定基準の詳細については、次を参照してください [キャパシティ管理の構成](#)。

ネットワークトポロジーの可視化

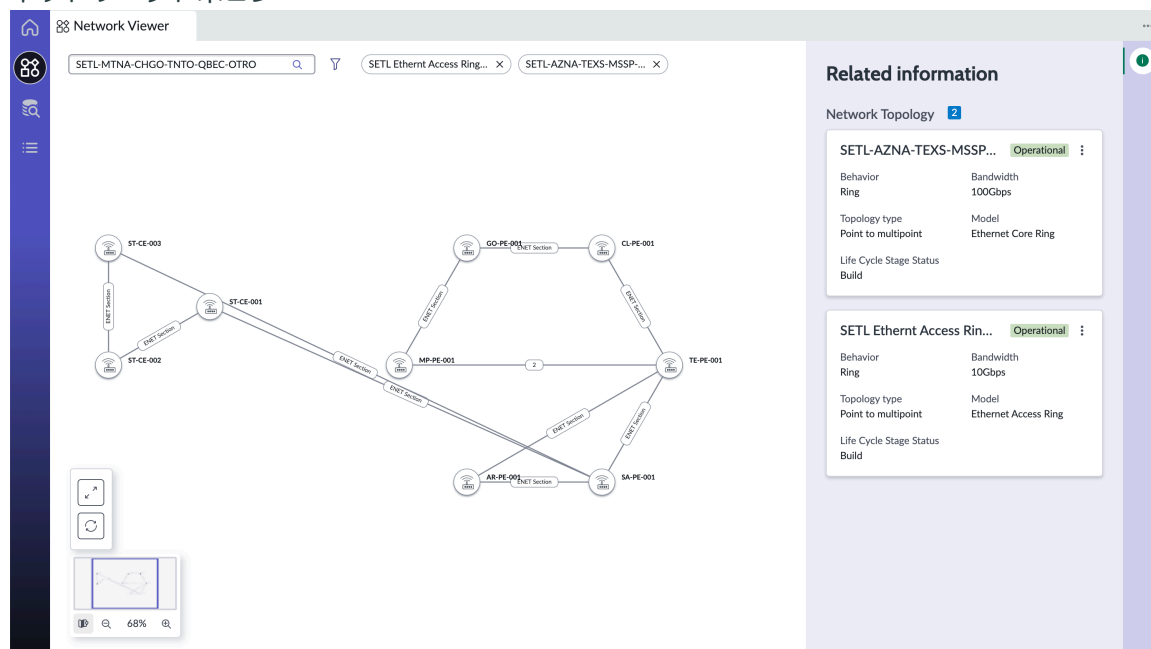
アプリケーションのトポロジー Telecommunications Network Inventory は、機器、接続、インターフェイスなどのネットワーク内のさまざまな要素がどのように編成され、相互に接続されているかをグラフィカルに表示します。トポロジーを使用すると、ネットワークを俯瞰的に把握できます。

概要

ネットワーク トポロジーは、ノード (機器)、エッジ (接続)、終端ポイント (インターフェイス) などのネットワーク エLEMENT と、それらがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚的に表現したものです。トポロジーは、リング、ツリー、メッシュ、スター、またはバスの構造にすることができます。トポロジーを使用すると、ネットワーク拡張を計画し、ネットワーク パフォーマンスを監視し、ネットワークで発生する障害のトラブルシューティングを行うことができます。

次の例は、Telecommunications Network Inventory アプリケーションのトポロジを示しています。

ネットワークトポロジ



トポロジは、ワークスペースの Telecommunications Network Inventory [ネットワーク ビューアー] ウィンドウで表示できます。「ネットワーク・ビューア」ウィンドウには、以下の項目があります。

- 検索ボックスと詳細フィルターを使用して、トポロジを選択できます。
- マップペインにネットワークトポロジが表示されます。
- 右側の詳細ペインには、現在の選択に従ってトポロジの関連情報が表示されます。

検索ボックス

検索ボックスを使用して、視覚化するトポロジを選択します。一度に複数のトポロジを選択できます。詳細フィルタオプションを使用すると、設定した条件に基づいてトポロジをフィルタリングできます。

マップペイン

マップ ペインには、検索ボックスで選択したトポロジが表示されます。マップ ペインでは、一度に多くのトポロジを表示できます。マップ ペインには、トポロジ内の各要素の名前も表示されます。

マップペインでは、次のアクションを実行できます。

- ノードをポイントすると、そのノードに関連付けられている接続が強調表示されます。
- トポロジから 1 つを選択して、それに関連付けられている要素をハイライト表示します。
- マップを再ロードして初期ビューに戻すには、[リフレッシュ] アイコン (🔄) を選択します。
- [画面に合わせる] アイコン (📐) を選択して、トポロジをマップペインのサイズに合わせて調整します。
- ズームコントロールを使用して、マップをズームインまたはズームアウトします。

詳細ペイン

詳細ウィンドウには、選択したトポロジ、ノード、または接続に関する関連情報が表示されます。情報アイコン () を選択すると、詳細ペインを表示できます。最初に詳細ペインには、トポロジレコードに関する関連情報が表示されます。ノードを選択すると、詳細ペインにそのノードに関する関連情報が表示されます。マップ ペインで空のスペースを選択すると、詳細ペインに、開いているトポロジに関する関連情報が表示されます。

詳細ペインで [詳細を表示] を選択して、対応する CI レコードにリダイレクトすることもできます。

アクセス

ワークスペース内の Telecommunications Network Inventory ネットワーク トポロジには、次のようにアクセスできます。

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワーク ビューア アイコン () を選択します。

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory トポロジを作成および表示する方法の詳細については、「」を参照してください [ネットワーク トポロジの使用](#)。

関連情報

[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)

Flow Designer の通信ネットワークインベントリワークフロー

機能カタログとサブフローを使用すること Telecommunications Network Inventory で、ネットワークインベントリの設計と割り当てのプロセスを自動化するのに役立つ機能にアクセスできます。

Telecommunications Network Inventory 機能カタログ

Telecommunications Network Inventory これらの機能を使用して、設計およびアサインプロセスの実行中に構成アイテム (CI) を作成、更新、および取得できます。たとえば、次のアクションを実行できます。

- 電気通信機器の作成
- インターフェイスカードの追加

次の表は、Telecommunications Network Inventory 機能別に分類された機能の一覧です。

Telecommunications Network Inventory 関数

関数タイプ	関数名
作成	• TNI テンプレートから CI を作成 • 論理接続を作成 • 論理インターフェイスを作成 • 物理接続を作成 • パス検索

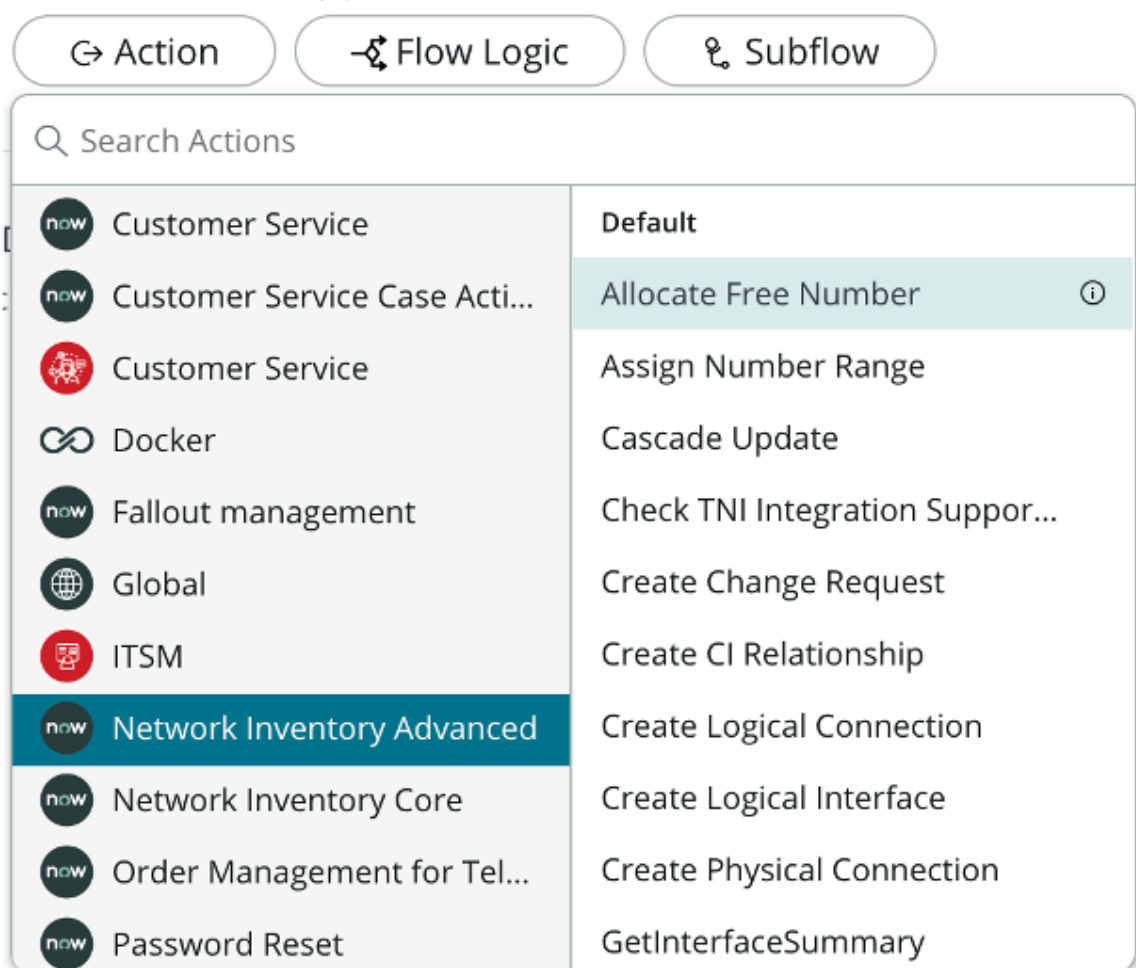
Telecommunications Network Inventory 関数 (続く)

関数タイプ	関数名
読み取り	• 空き番号を割り当てる • Summery インターフェイスを取得 • 次のハブを検索
更新	カスケード更新
ヘルパー関数	• 文字列の分割 • アレイからインデックスを取得

ネットワークインベントリ機能の詳細については、を参照してください [Telecommunications Network Inventory 機能カタログ](#)。

次の例は、アクションライブラリの フローデザイナー[ネットワークインベントリ 詳細] オプションで利用できる機能を示しています。これらの機能を使用して、在庫関連のデータ操作を実行することができます。

ネットワークインベントリ機能カタログの場所



これらの機能は、設計とアサインが一連のアクションであるため、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとして使用するフローデザイナーこともできます。再利用可能な フローデザイナー アクションにより、ワークフローでの論理的な接続の作成など、繰り返しの作業を自動化できます。アクションの詳細については フローデザイナー、「[Flow Designer](#)」を参照してください。

Telecommunications Network Inventory サブフロー

では フローデザイナー、設計とアサインプロセスの実行中に、サブフローとの間でデータをやり取りするための入力と出力を指定できます。必要に応じて、サブフローにフィールドを追加できます。サブフローの操作の詳細については、「[サブフローの構築](#)」を参照してください。の詳細については フローデザイナー、「[Flow Designer](#)」を参照してください。

Telecommunications Network Inventory アプリケーションには次のサブフローがあります。

論理接続の作成

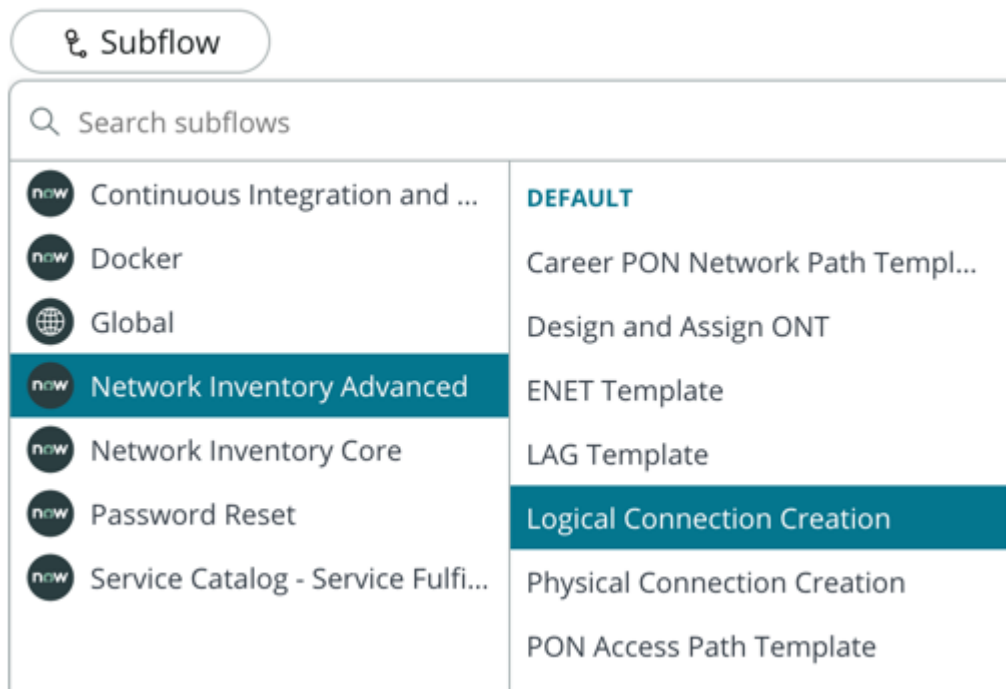
インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 論理接続レコードを作成します。詳細については、「[論理接続作成サブフロー](#)」を参照してください。

物理接続の作成

インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 物理接続レコードを作成します。詳細については、「[物理接続作成サブフロー](#)」を参照してください。

次の例は、アクションライブラリの フローデザイナー[ネットワークインベントリ 詳細] オプションで使用できるサブフローを示しています。これらの機能を使用して、在庫関連のデータ操作を実行することができます。

ネットワークインベントリサブフローの場所

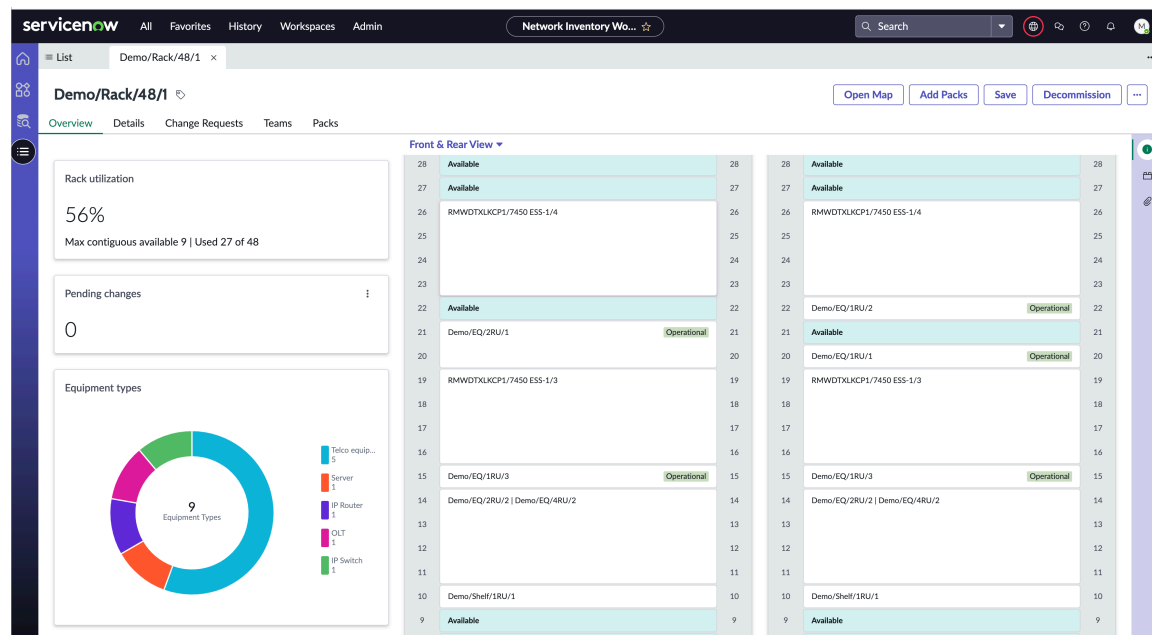


ラックの可視化

Telecommunications Network Inventory アプリケーションでラックの可視化を使用すると、キャンバス内のラックを可視化できます。ここでは、各アイテムを指定されたスロットに配置した状態で、正面と背面のアクセス可能なラックに機器とシェルフが搭載されている様子を観察できます。

概要

ラックの可視化は、すべての機器を保管および整理するために使用されるデータセンターラックをグラフィカルに表現したものです。



前のスクリーンショットはラックの例です。ラックの [概要] タブでは、次のことができます。

- ラック使用率を使用するラックの KPI (重要業績評価指標) を表示します。
- 保留中の変更タスクの数を表示します。
- さまざまな機器タイプの KPI を調べて、ルーター、シェルフ、またはその他のネットワークインフラストラクチャの配置を最適化します。
- ラックの正面図または背面図のみを表示します。
- ラックの正面図と背面図の両方を表示します。
- すべての予約ユニットと、どのユーザーが予約しているかを表示します。
- ラックおよびラックモデルを表示します。
- キャンパスからラックフォームに移動します。
- 機器のライフサイクルステージを表示します。
- 情報アイコン () を選択して、すべての機器とシェルフの詳細を表示します。
- 使用可能な連続スロットの数を表示します。
- 利用可能な合計スロットのうち、使用されているスロットの数を表示します。
- 環境設定を使用して、デフォルトビューとダークビューを切り替えます。

前提条件

ラックの作成をインスタンス化するには、次のことを行う必要があります。

1. 機器ラックモデルカテゴリを使用して機器ホルダーモデルでモデルを作成または選択して、ラックに関連付けます。

詳細については、「[機器所有者モデルの作成](#)」を参照してください。

2. ラックスロットの数を定義するために、ラック - スロット関係タイプのネットワークモデル関係で関係を作成または選択します。

詳細については、「[ネットワーク モデルの関係を定義する](#)」を参照してください。

3. ラックの [インベントリモデル] フィールドで、ラックモデルを使用してテンプレートを作成または選択します。

詳細については、「[インベントリテンプレートを作成する](#)」を参照してください。

ラックの可視化と管理

1. ラックモデルに基づいてラックの作成を開始し、テンプレートに基づいてラックスロットの作成を開始します。

詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

2. 機器を追加するか、ラックにシェルフします。

詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

3. 機器を取り外すか、ラックからシェルフします。

詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

Telecommunications Network Inventory の構成

電気通信ネットワークを定義し、包括的なネットワークインベントリモデルを作成できるように、アプリケーションを構成する Telecommunications Network Inventory 方法について説明します。

Telecommunications Network Inventory のインストール

管理者ロールをお持ちであれば、Telecommunications Network Inventory アプリケーションをインストールできます。アプリケーションには、デモデータと、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインのインストールが含まれます (まだインストールされていない場合)。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 [のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。
- Telecommunications Network Inventory のデモデータをインストールしてください。デモデータをインストールすると、フローとサブフローがトリガーされます。デモデータにより、OMT-TNI 統合のフローを理解できます。デモデータの一部として、必要な属性とともに、以下も作成されます。
 1. 注文 - ファイバーストックバンドデモデータのインストールの注文要求が含まれます
 2. 注文タスク - 注文が作成されると、注文タスクが自動的に作成されます。
 3. OMT タスク - 注文タスクの下に作成された注文管理タスク
 4. 変更の要求 - これには、ファイバーストックバンドのインストールに関する変更の要求の詳細が含まれます
 5. 変更タスク - 注文を履行するために複数のタスクが作成されます

i 注:

デモデータが正常にインストールされると、GPON ブロードバンドとデザインアサインリンク集計グループのデモデータが自動的に追加されます。

- 必要なロール :

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

Telecommunications Network Inventory とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- テーブル

アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの表示の詳細については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 **すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて**.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、Telecommunications Network Inventory アプリケーション (sn_ni_adv) を検索します。

i 注:

TNI Advanced をインストールすると、デモデータなしで TNI Core が自動的にインストールされます。TNI Core デモデータのデモデータを手動でロードまたはインストールする必要があります。

アプリケーションは名前 (ネットワークインベントリ) または ID で検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

依存するプラグインとアプリケーションがまだインストールされていない場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、Telecommunications Network Inventory をインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

**重要:**

インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

のユーザーロールのアサイン **Telecommunications Network Inventory**

ロールを割り当てて、アプリケーションの特定の機能やデータ Telecommunications Network Inventory へのユーザーアクセスを制御できます。これらのアサインされたロールは、指定されたロールを持つユーザーによる特定のフォームおよびプロセスへのアクセスのみを有効または禁止します。

Now Platform ユーザー管理機能を使用して、ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールを割り当てるには、「[ユーザーへのロールの割り当て](#)」を参照してください。
- グループにロールを割り当てるには、「[グループへのロールの割り当て](#)」を参照してください。

は Telecommunications Network Inventory、次のロールを提供します。

電気通信ネットワーク在庫ロール

ロール	説明
在庫管理者 [sn_ni_core.inventory_template_admin]	ユーザーに、アプリケーションに関連するすべての Telecommunications Network Inventory 機能に対する作成、読み取り、更新、および削除のアクセス権を与えるロール。
インベントリカタログマネージャ [sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager]	ユーザーに、すべてのネットワークインベントリエンティティのメタデータへの作成、読み取り、編集、および削除アクセス権を与えるロール。このロールでは、さまざまなエンティティのメタデータを関連付けることもできます。
インベントリテンプレートマネージャー [sn_ni_core.inventory_template_manager]	新規または既存のエンティティのネットワークインベントリテンプレートへの作成、読み取り、編集、および削除アクセス権をユーザーに与えるロール。また、このロールにより、ユーザーは既定のテンプレートに対して作成、読み取り、更新、削除 (CRUD) 操作を実行できます。
インベントリエージェント [sn_ni_core.inventory_agent]	ユーザーに次の権限を与えることができるロール: • すべての在庫 モデルおよびバック テーブルへの読み取りアクセス権。 • インベントリテーブルへの書き込み、更新、および削除アクセス権。 • テンプレート、変更要求、および変更タスク テーブルへの読み取りおよび書き込みアクセス。

電気通信ネットワーク在庫ロール (続く)

ロール	説明
	注: モデルとモデル関係テーブルを変更するには、インベントリエージェントロールがアサインされたユーザーが、資産ロールまたはインベントリユーザーロールも持っている必要があります。
在庫番号マネージャー [sn_inv_num_mgmt.inventory_number_management]	ユーザーに次の権限を与えることができるロール: - すべての電話番号テーブルへの読み取りアクセス。 - 電話番号テーブルに対する書き込み、更新、および削除アクセス権。

場所階層の定義

ネットワーク資産を追跡および管理できるように、フォームの場所 Telecommunications Network Inventory 階層を定義します。場所階層を定義することで、すべてのネットワーク機器がどこに配置されているかを確認できます。

始める前に

必要なロール：admin

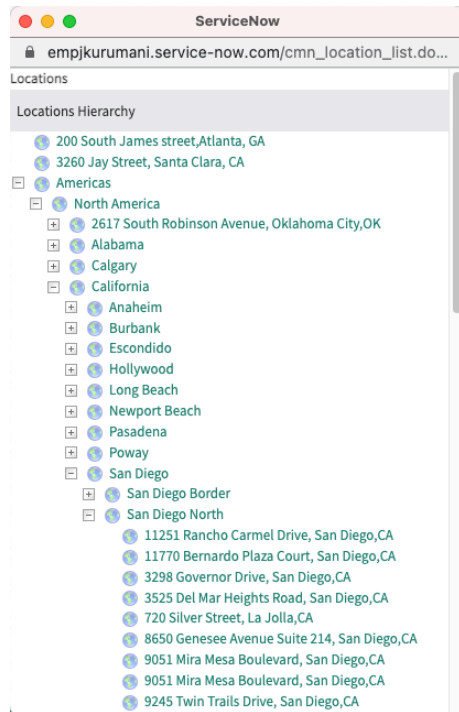
このタスクについて

場所レコードには、次のプロパティまたはプロパティのセットの少なくとも 1 つが含まれている必要があります。

- 住所
- 国
- 地域
- 緯度と経度

このフォームを使用して、場所階層を構築できます。たとえば、次の例は、ネットワークサイトフォームの [場所] フィールドで場所を検索するときに表示される一般的な場所階層を示しています。

場所階層



場所階層を作成するには、次の手順を実行します。

1. 下位の場所を含むトップレベルの場所を作成します。たとえば、場所階層では、最初に「Americas」を作成します。[親] フィールドは空のままにします。
2. 地域の場所を作成し、[親] フィールドで、最上位の場所をその親として選択します。たとえば、場所階層で「北米」を作成し、その親として「アメリカ」を選択します。
3. フォームの下部にある [場所] セクションで、[新規] をクリックし、その地域の場所に従属する下位レベルの子の場所ごとに場所レコードを作成します。

手順

1. 移動先 ユーザー管理 > 所在地.
2. 場所フォームで、場所レコードの住所と連絡先情報をフィールドに入力します。

注:

場所フォームのフィールドの詳細については、「」を参照してください [場所フォーム](#)。

3. フォームで、場所レコードの親の場所、地理的な場所、代替識別子、および地域情報をフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[場所フォーム - 親](#)」を参照してください。
4. [Submit (送信)] をクリックします。

メーカーコードとベンダーコードの作成

アプリケーションを使用して会社コードを登録します Telecommunications Network Inventory 。取引のあるメーカー、仕入先、または顧客ごとにコードを作成できます。これらのレコードを分類して、ネットワーク資産を分類できます。

始める前に

必要なロール：user_admin または管理者

手順

1. 移動先 ユーザー管理 > 会社。
2. **[New (新規)]** をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

i 注:

[会社] フォームのフィールドの詳細については、「」を参照してください [\[会社\] フォーム](#)。

4. **[Submit (送信)]** をクリックします。

電話番号のコンポーネントを作成する

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory、一連の電話番号の本社コード、国コード、市外局番、およびレートセンターを作成します。

本社コードの作成

本社コードを作成し、アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory 国の市外局番に割り当てます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

本社コードを作成、レビュー、更新、または削除できます。アプリケーションを使用して、市外局番の詳細を表示したり、本社コードを国の Telecommunications Network Inventory 市外局番に割り当てたりすることもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、管理 > 本社コード。
3. **[新規]** を選択します。
4. **[詳細]** タブのフォームで、フィールドに入力します。

ほとんどの **[在庫]** フォームと **[在庫番号割り当て]** メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** を選択します。
本社コードと市外局番が本社コードのリストビューに追加されます。
7. オプション: セントラル オフィス コードを削除する場合は、そのコードに移動し、オプション アイコン () を選択し、**[削除]** を選択し、確認ウィンドウが表示されたら **[OK]** を選択します。

次のタスク

国コードを作成します。詳細については、「[国コードの作成](#)」を参照してください。

国コードの作成

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory、国コードを作成、レビュー、更新、または削除します。国には、複数の電話形式と電話検証を設定できます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

国コードを作成して条件を追加し、管理、レビュー、または更新できるようにします。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、管理 > 国コード.
3.  注:
国コードのリストビューには、ほぼすべての国コードが含まれています。

[新規] を選択します。
4. [詳細] タブのフォームで、フィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[テリトリ電話の表示ルールを構成する](#)」を参照してください。
5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [保存] を選択します。
関連タブは [詳細] タブの横に表示されます。詳細については、「[テリトリ電話の表示ルールを構成する](#)」を参照してください。
7. オプション: 国コードを削除する場合は、その国コードに移動し、オプション アイコン () を選択し、[削除] を選択し、確認ウィンドウが表示されたら [OK] を選択します。

次のタスク

市外局番を作成します。詳細については、「[市外局番を作成する](#)」を参照してください。

市外局番を作成する

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory 市外局番を作成、確認、更新、または削除します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

国番号の市外局番を作成できます。同じ市外局番を異なる国コードに割り当てることができます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、管理 > 市外局番.
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブのフォームで、フィールドに入力します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** を選択します。
市外局番は、市外局番のリストビューに含まれます。
7. オプション: 市外局番を削除する場合は、その市外局番に移動し、オプション アイコン () を選択し、**[削除]** を選択し、確認ウィンドウが表示されたら **[OK]** を選択します。

次のタスク

レートセンターを作成します。詳細については、「[レートセンターの作成](#)」を参照してください。

レートセンターの作成

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory 、レートセンターを作成、レビュー、更新、または削除します。レートセンターを作成して、市内通話料金を決定し、電話番号を割り当てることができるようにします。

始める前に

- 必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

レートセンターは、電話番号、地域、または国に割り当てることができます。

- i 注:**
レートセンターは、主に北米とカナダの国で使用されています。そのため、Telecommunications Network Inventory レートセンターは他のコンポーネントや電話番号テーブルでは使用されません。

このタスクは、特定の電話番号、地域、または国にレートセンターを割り当てするのに役立ちます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、管理 > 市外局番.
3. **[新規]** を選択します。
4. **[詳細]** タブのフォームで、フィールドに入力します。

レートセンターフォーム

フィールド	説明
名前	このレートセンターの名前
ステータス	このレートセンターを割り当てるステータスの名前。
NPA	[採番計画区域] は、このレートセンターを割り当てる市外局番です。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** を選択します。
新しいレートセンターがレートセンターのリストビューに追加されます。
7. オプション: レートセンターを削除する場合は、そのレートセンターに移動し、オプションアイコン() を選択し、**[削除]** を選択して、確認ウィンドウが表示されたら **[OK]** を選択します。

次のタスク

電話ブロック、電話番号の割り当て、または電話番号を作成します。詳細については、「[電話インフラストラクチャの構築](#)」を参照してください。

意思決定テーブルの構成 **Telecommunications Network Inventory**

意思決定テーブルを構成して、アプリケーションの複雑なタスクを解決できます **Telecommunications Network Inventory**。たとえば、Decision Builder の意思決定テーブルでタスクのエントリを作成、レビュー、または削除できます。

意思決定テーブルを使用すると、タスクを自動化するために必要な条件を追加できます。Decision Builder の意思決定テーブルは、ビジネスロジックを一連の [if-then] 意思決定ルールに埋め込みます。意思決定テーブルは、入力からデータを読み取り、指定された条件に従ってデータを評価します。意思決定ルールのすべての条件が満たされると、意思決定テーブルは 1 つ以上の結果を返します。詳細については、「[Decision Tables](#)」を参照してください。

アプリケーションの意思決定テーブル **Telecommunications Network Inventory** を使用して、次のタスクを実行できます。

1. と **Telecommunications Network Inventory Order Management for Telecommunications**.
2. レコードプロデューサーフォームを変更要求に割り当てます。
3. レコードプロデューサーを変更要求の変更タスクに割り当てます。

関連情報

Order Management for Telecommunications の統合

Telecommunications Network Inventory 意思決定テーブルを使用して、アプリケーション **Order Management for Telecommunications** を統合します **Telecommunications Network Inventory**。

始める前に

- - **Telecommunications Network Inventory** 統合を有効にする **Order Management for Telecommunications** には、変更モデルと注文タスク変数を設定します。
- 必要なロール: `sn_ni_core.inventory_admin`

このタスクについて

意思決定エントリを作成、レビュー、更新、および削除できます。

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > 意思決定テーブル**
2. **TNI** レコードプロデューサーと変更モデルポリシー意思決定テーブルを選択します。
3. 注文タスクの意思決定テーブルに意思決定エントリーを作成します。
このエントリでは、次の項目を完了する必要があります。

- 注文タスク。
- 注文タスクの条件。意思決定テーブルで、注文タスクの [注文タスク.要求タイプ] 条件を検索して選択します。[回答] フィールドは、選択した条件に基づいて入力されます。
- レコードプロデューサー。
- 変更モデル。

すべての条件が満たされると、在庫アクションを必要とする注文タスクに対して変更要求が作成されます。この変更要求では、注文タスクがその親として割り当てられます。新しい変更要求は、注文タスクの関連リストにあります。このタスクにより、OMT タスクページから変更要求にリダイレクトされます。

4. TNI レコードプロデューサー変数ポリシー意思決定テーブルにエントリを作成して、注文特性をアプリケーションに Telecommunications Network Inventory 転送します。
構成アイテムの変更タスクが作成されます。

たとえば、ブロードバンドサービスカテゴリのサービスオーダーを追加するとします。この追加を行うと、[サービスオーダー履行ポリシー] の [ファイバーブロードバンドの TNI 設計アサイン (TNI Design Assign of Fiber Broadband)] フローがトリガーされます。このフローの一部として、TNI レコードプロデューサーおよび変更モデルポリシー意思決定テーブルで、GPON ブロードバンド変更モデルのギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンドレコードプロデューサーを使用して、顧客宅内機器 (CPE) 注文タスクの割り当てとアサインが作成されます。

TNI レコードプロデューサー変数ポリシー意思決定テーブルの注文特性を転送するには、注文特性をレコードプロデューサーにマッピングします。

変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て

アプリケーションの意思決定テーブル Telecommunications Network Inventory を使用して、レコードプロデューサーを変更要求にアサインします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > 意思決定テーブル**.
2. [**TNI 変更モデルからレコードプロデューサーポリシー (TNI Change Model To Record Producer Policy)**] 意思決定テーブルを選択します。
3. 意思決定テーブルの **条件** セクションで、新しい意思決定行を追加 ボタンを選択します。

タスクの結果

選択した場合 **変更あり > すべて** 追加した変更モデルの [次へ] ボタンをクリックすると、アサインされたレコードフォームが表示されます。

注:

すべてのレコードプロデューサーフォーム入力は、[詳細] タブの [変数] セクションに表示されます。必要に応じて詳細を表示および更新できます。

次のタスク

レコードプロデューサーを変更要求の変更タスクにアサインすることもできます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプのレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

変更タスクの要求タイプのレコードプロデューサーフォームのアサイン

アプリケーションの意思決定テーブル Telecommunications Network Inventory を使用して、レコードプロデューサーを変更要求の変更タスクにアサインします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

i 注:

デフォルトでは、アプリケーションは、Telecommunications Network Inventory 機器の作成、物理接続の作成、論理接続の作成、およびインターフェイスカードの追加の要求タイプをこの意思決定テーブルに追加しました。

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > 意思決定テーブル**.
2. レコードプロデューサーポリシー意思決定テーブルへの **TNI** 要求タイプを選択します。
3. 意思決定テーブルの **条件 セクション**で、新しい意思決定行を追加 ボタンを選択します。
追加した変更モデルの [変更タスク] タブで変更タスクを選択すると、割り当てられたレコードプロデューサーフォームが [タスク属性] タブに表示されます。

次のタスク

ネットワークインスタンスのインスタンス化を作成します。詳細については、「[設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

CI クローン作成プロセスのカスタマイズ

を使用して Telecommunications Network Inventory、CI (構成アイテム) のクローン作成プロセスと関連テーブルをカスタマイズします。このプロセスでは、サフィックスやプリフィックスの変更、コピーする関連テーブルの追加など、重複のために CI 属性と関連テーブルのリストをカスタマイズできます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > 意思決定テーブル**.
2. **TNI** 関連フロー定義ポリシー意思決定テーブルを選択します。
3. オプション: **[Decision table]** セクションで **[Flow Name]** を更新します。
 - デフォルトでは、関連アイテムをクローニングするためのフロー、および論理接続と物理接続の前処理のフローが追加されます。
 - CI 属性をカスタマイズするためのサブフローを作成するには、「**テンプレート:PrePersistence マップ**」をテンプレートとして処理に従います。
 - CI 関連アイテムをカスタマイズするためのサブフローを作成するには、「**テンプレート:関連アイテム**」をテンプレートとしてクローンに従います。

[End]

電気通信ネットワークインベントリ属性の設定

コア機器テーブルを構成して、CI レコードに表示される共通 Telecommunications Network Inventory 属性のコレクションを有効にします。これらの属性を使用して CI レコードを作成します Telecommunications Network Inventory。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
コア機器テーブルの機器汎用クラスを更新して、対応する CI レコード (サブクラス) に [インベントリ属性の設定] ボタンを表示します。インターフェイスカードテーブル (cmdb_ci_interface_card) を除き、機器汎用クラスのサブクラスであるすべてのテーブルは機器と見なされます。

手順

1. 移動先 **すべて > システムのプロパティ > すべてのプロパティ**.
2. `[sn_ni_core.equipment_tables]` テーブルを選択します。
3. [値] フィールドに、カンマを区切り文字として使用して設備汎用クラスを入力します。
次のジェネリック クラスを追加できます。
 - Computer (cmdb_ci_computer)
 - ネットワーク機器 (cmdb_ci_netgear)
 - 仮想マシンオブジェクト (cmdb_ci_vm_object)
 - Kubernetes コンポーネント (cmdb_ci_kubernetes_component)
 - App Service (cmdb_ci_service_auto)

属性パック表の構成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 定義した属性を使用して属性パックテーブルを作成したら、テーブルとそれを使用するインベントリオブジェクト間のマッピングを設定できます。

属性パック テーブルの作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 定義した属性を含む属性パックテーブルを作成し、これらの属性を CI レコードで使用できるようにします。

始める前に

- Attribute Pack プラグインがアプリケーションとともに Telecommunications Network Inventory インストールされていることを確認してください。
- アプリケーションスコープを [属性パック] に切り替えます。

必要なロール：admin

このタスクについて
保圧ベース (sn_attribute_pack_base) テーブルを拡張して、属性を持つアトリビュートパックテーブルを作成します。属性を定義して、パックベーステーブルに保存します。すべてのアプリケーションスコープに対して読み取りまたは書き込み権限を有効にすることができます。

手順

1. 移動先 **すべて > システム定義 > テーブル**.
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

属性パックテーブルフォーム

フィールド	値
ラベル	パックテーブルの名前。
名前	選択したラベル名に基づいて自動入力される名前 (sn_attribute_pack_<label name>。
拡張テーブル	パック (sn_attribute_pack_base)

4. [コントロール] タブで、[ユーザーロール] フィールドにロールを追加します。
ロールを追加して、パックテーブルへのアクセスを許可します。
5. **[Save (保存)]** を選択します。
6. 属性を追加または削除します。
7. [送信] を選択します。

タスクの結果

パックテーブルは、一連の属性で作成されます。

次のタスク

在庫フォームで梱包テーブルを使用するには、在庫オブジェクトにマップするように構成する必要があります。詳細については、「[構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成](#)」を参照してください。

構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成

アプリケーションのフィルター条件を使用して、構成アイテム (CI) に対して属性パックテーブルを構成します Telecommunications Network Inventory。パックテーブルを構成すると、パックを使用して CI レコードを作成できます。

始める前に

- Attribute Pack プラグインがアプリケーションとともに Telecommunications Network Inventory インストールされていることを確認してください。
- 一連の属性を持つパックテーブルを作成します。詳細については、「[属性パック テーブルの作成](#)」を参照してください。

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

在庫フォームで梱包テーブルを使用するには、フィルター条件を使用して CI に対して梱包テーブルを構成する必要があります。CI が別の CI に関連している場合は、関連する CI に対してパックテーブルをマップするためのフィルター条件を設定する必要があります。

手順

1. 移動先 **すべて > 管理 > パック構成**.
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

パック構成フォーム

フィールド	説明
名前	パック構成の名前。
アクティブ	CI レコードのパックテーブルを有効にするオプション。
構成アイテム	マッピングする CI テーブル。
フィルター	CI フォームで使用できるようにパックテーブルのフィルタリング方法をカスタマイズするフィルター条件属性。[条件の設定] を選択し、フィルター条件のフィールド演算子と値を入力します。
パックテーブル	CI に対してマッピングするパックテーブル。
関連した構成アイテムがある	関連 CI を追加するオプション。このチェックボックスをオンにすると、次のフィールドが表示されます。 関連した構成アイテム マッピングする関連 CI テーブル。 関連フィルター パックテーブルのフィルタリング方法をカスタマイズするフィルター条件属性を使用して、関連 CI フォームで使用できるようにします。[条件の設定] を選択し、フィルター条件のフィールド演算子と値を入力します。 i 注: CI のフィルター条件が満たされていない場合、システムは関連 CI のフィルター条件をチェックしません。CI および関連 CI のフィルター条件が満たされると、パックテーブルが関連 CI に対してマップされます。

4. [Save (保存)] を選択します。

タスクの結果

パックテーブルが CI に対してマッピングされ、[パック構成] リストに表示されます。

次のタスク

CI レコードのパックテーブルを使用します。詳細については、「[CI レコードで属性パックを使用する](#)」を参照してください。

キャパシティ管理の構成

アプリケーションでキャパシティ管理機能、定義、および測定基準を作成および構成します Telecommunications Network Inventory。キャパシティ管理を使用すると、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有容量、および利用可能なキャパシティを計算できます。

キャパシティ機能を作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory キャパシティ機能を作成します。この機能を使用して、ネットワーク資産の容量を計算できます。

始める前に

Capacity Management プラグインが Telecommunications Network Inventory アプリケーションと一緒にインストールされていることを確認してください。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

キャパシティ関数を作成して、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算します。容量の計算にはさまざまな方法を使用できます。キャパシティ機能を作成すると、キャパシティ機能 [sn_cap_mgmt_function] テーブルにレコードが保存されます。

手順

1. 移動先 **すべて** > **キャパシティ管理** > **関数**.
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[キャパシティ機能フォーム](#)」を参照してください。
4. **[送信]** を選択します。

タスクの結果

キャパシティ機能レコードが作成されます。

次のタスク

この機能は、キャパシティ計算に使用したり、定義レコード内で使用してキャパシティを決定したりできます。キャパシティ定義の作成方法の詳細については、以下を参照してください [キャパシティ定義の作成](#)。

キャパシティ定義の作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory キャパシティ定義を作成します。キャパシティ定義を使用して、ネットワーク資産のキャパシティを計算できます。

始める前に

- Capacity Management プラグインが Telecommunications Network Inventory アプリケーションと一緒にインストールされていることを確認してください。
- キャパシティ機能レコードを作成します。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

キャパシティ定義は、キャパシティ機能をトリガーする非同期の方法です。キャパシティ定義で複数の機能を使用して、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算できます。キャパシティ定義を作成すると、レコードはキャパシティ定義 [sn_cap_mgmt_definition] テーブルに保存されます。

手順

1. 移動先 **すべて** > **キャパシティ管理** > **定義**.
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[キャパシティ定義フォーム](#)」を参照してください。
4. **[送信]** を選択します。

タスクの結果

キャパシティ定義レコードが作成されます。

次のタスク

この定義は、キャパシティ計算に使用できます。キャパシティ定義を実行すると、測定基準が作成され、結果が集計されます。次に移動できます。すべて > キャパシティ管理 > メトリクス をクリックし、詳細を表示するキャパシティ測定基準レコードを開きます。

他のアプリケーションとの Telecommunications Network Inventory の統合

アプリケーションの機能 Telecommunications Network Inventory を拡張し、他の部門と接続して、他のアプリケーションと統合することで問題解決を支援することができます。

Telecommunications Network Inventory と ハードウェア資産管理 との統合

Telecommunications Network Inventory アプリケーションを ハードウェア資産管理 アプリケーションと統合することで、在庫テンプレートを使用してサービス要求を作成できます。ストックルームで利用可能な資産を関連付けて、機器をインスタンス化することもできます。

概要

この統合により、Telecommunications Network Inventory アプリケーションでレコードプロデューサーを使用して資産の部品表を作成できるようになります。次に、これらの資産を取得するサービス要求を作成できます。レコードプロデューサーの詳細については、「[Record Producer](#)」を参照してください。

サービス要求を作成する前に、資産を [カタログ定義] テーブルに追加してハードウェアカタログに公開する必要があります。詳細については、「[ハードウェアカタログへの資産の公開](#)」を参照してください。

ハードウェア資産管理 はサービス要求を履行し、ハードウェア資産管理 ワークスペースで資産を調達するワークフローを実行します。ハードウェア資産管理 ワークフローの詳細については、「[Procurement](#)」を参照してください。

資産が取得されるか、ストックルームで利用可能になると、調達マネージャーは ServiceNow 調達アプリケーションを使用してこれらの資産の構成アイテム (CI) を作成できます。これらの CI をタグ付けすることで、機器のインスタンス化に使用できます。

在庫テンプレートを使用してネットワークサイトで機器をインスタンス化すると、インターフェイスカードモデルと一致する資産が同じネットワークサイトの場所にある場合、システムはそれらの資産を選択します。それ以外の場合、アプリケーションはインターフェイスカードの CI を作成します。システムは、ストックルームで利用可能な他の資産との関係を作成します。これらの関係は、関連資産がストックルームで利用可能な場合にのみ作成されます。

ハードウェア資産管理 統合ワークフロー

この統合により、次のタスクを実行できるようになります。

1. 部品表のサービス要求を作成します。詳細については、「[資産を調達するためのサービス要求を作成](#)」を参照してください。
2. 利用可能なストックルームから資産を関連付けます。変更モデルを使用して機器を作成するときに、資産を関連付けることができます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

資産を調達するためのサービス要求を作成

レコードプロデューサーを使用して資産の部品表を作成し、それらの資産を調達するためのサービス要求を作成します。これらのアクションは両方とも、アプリケーションとのハードウェア資産管理アプリケーション統合を使用してTelecommunications Network Inventory実行できます。

始める前に

ハードウェアカタログに調達する資産を追加してください。詳細については、「[ハードウェアカタログへの資産の公開](#)」を参照してください。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

資産を調達するには、在庫テンプレートレコードプロデューサーを使用した部品要求を使用して、部品表のサービス要求を作成できます。レコードプロデューサーの詳細については、「[Record Producer](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 調達 > 要求。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. 在庫テンプレートを使用した部品要求レコードプロデューサーで、フィールドに入力します。

インベントリテンプレートレコードプロデューサーを使用した部品要求

フィールド	説明
インベントリテンプレート	調達する資産を含むインベントリテンプレート。テンプレートを選択すると、関連する資産リストが [資材数] セクションに表示されます。
数量	資産の数量。各資産の所要数量を [数量] フィールドに入力します。

5. **[送信]** を選択します。

タスクの結果

資産を調達するためのサービス要求が作成されます。

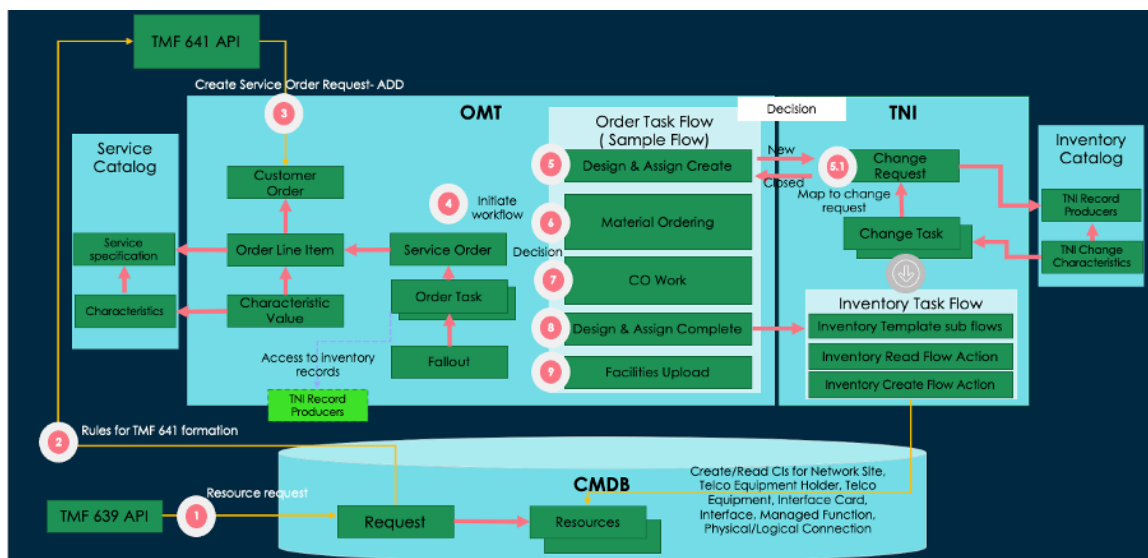
Telecommunications Network Inventory and Order Management for Telecommunications and Media

この Order Management for Telecommunications and Media アプリケーションを使用すると、すべての製品とサービスの注文を 1 か所から管理できます。これらの製品注文はサービス注文に分割され、サービス注文はさらにリソース注文に分割されます。

概要

注文ワークフローは、顧客向けサービス注文 (CFS) とリソース向けサービス注文 (RFS) を履行する注文タスクを生成します。インベントリ構成アイテム (CI)、モデル、およびテンプレートを含むネットワーク関連タスクは、アプリケーションと Telecommunications Network Inventory やり取りしてネットワーク CI を作成する場合があります。すべてのネットワーク関連のオーダータスクについて、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 変更要求を作成する必要があります。

次の図に、と Telecommunications Network Inventory Order Management for Telecommunications アプリケーションを統合するためのワークフローを示します。



ネットワーク CI を作成するために、と Order Management for Telecommunications アプリケーションが統合され、Telecommunications Network Inventory 設計やアサインなどのサービスまたは製品タスクを実行します。ネットワークインベントリ関連のアクションが必要なタスクに対して変更要求が開始されます。

次の条件が満たされていることを確認する必要があります。

1. とアプリケーションの両方の Telecommunications Network Inventory Order Management for Telecommunications ライセンスが同じインスタンスに存在する必要があります。
2. この統合では、サービスオーダー要求元の追加 Order Management for Telecommunications and Media アクションのみが提供されます。

管理者向け

変更要求を作成するには、管理者はネットワークインベントリアクションを必要とする注文タスクに対して次のタスクを実行する必要があります。

1. レコードプロデューサーを作成します。詳細については、「[レコードプロデューサーの作成](#)」を参照してください。
2. 変更モデルを作成します。詳細については、「[変更モデルの作成](#)」を参照してください。

デフォルトでは、アプリケーションは次の Telecommunications Network Inventory 表に記載されている変更モデルを提供します。

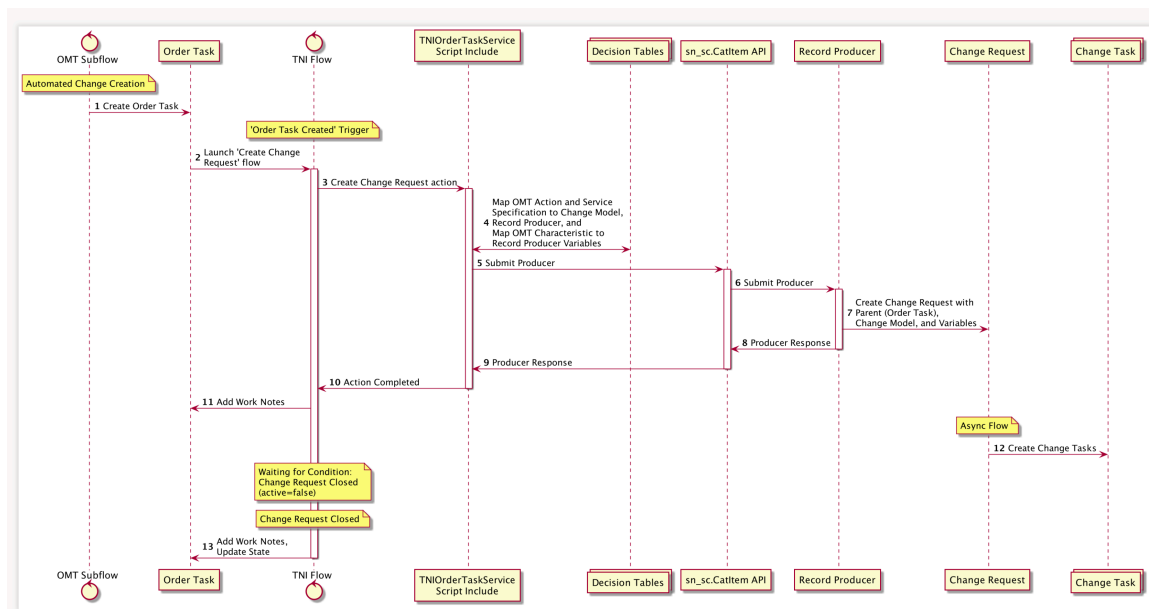
デフォルトの変更モデル

変更モデル	説明
プロビジョン LAG	ポート間にイーサネット リンクを作成し、それらのイーサネット リンク上に LAG 回線を作成します。LAG には仮想インターフェイスがあります。VLAN 範囲も作成され、LAG に関連付けられます。
GPON ブロードバンドサービス (自動化)	既存のネットワーク経路で GPON サービスをプロビジョニングします。

変更モデル	説明
Fiber-wise モビリティインフラストラクチャ	既存のネットワーク上にモビリティインフラストラクチャをプロビジョニングします。
電気通信機器の設計とアサイン	特定のネットワーク サイトで、事前定義されたテンプレートに従って機器を作成します。

以前の変更モデルのステータスは、[New]、[Implement]、[Review]、および [Closed] です。デフォルトでは、すべての新規変更モデルのステータスが [新規] に設定されます。

3. アプリケーションによって Telecommunications Network Inventory 提供される意思決定テーブルに意思決定エントリを作成します。エントリの作成方法については、「」を参照してください
[Order Management for Telecommunications の統合](#)。



自動翻訳

TNI-OMT 統合を使用して変更タスクを作成するためのワークフローは次のとおりです。

1. OMT サブフローは注文タスクを作成します。
2. [作成された注文タスク] トリガーを受信すると、TNI フローは [変更要求の作成] を起動し、後で [変更要求] アクションを作成します。
3. OMT アクションとサービス仕様は、TNI 注文タスク送信スクリプトインクルードテーブルと意思決定テーブルの変更モデル、レコードプロデューサーにマッピングされます。次に、OMT 特性がレコードプロデューサー変数にマッピングされます。
4. その後、プロデューサーはsn_scを介してレコードプロデューサーに送信されます。CatItem API。
5. 注文タスク、変更モデル、および変数に関する変更要求を作成します。また、sn sc を使用します。CatItem API を使用して結果を TNI フローに返します。
6. このアクションが完了すると、注文タスクに作業メモが追加されます。
7. 変更要求がクローズされると、注文タスクに作業メモが追加されます。

在庫エージェント向け

インベントリエージェントは、アサインされた変更タスクをオープン、検証、実装、およびクローズできます。実装後、作成された CI が [影響を受ける CI] タブに追加されます。注文タスクの作業メモは、注文タスクがクローズされると更新されます。

その結果、アプリケーションは影響を受ける CI のリストをフェッチし、Order Management for Telecommunications and Media 製品注文を CI に関連付けるためのインストールベースアイテムを作成します。詳細については、「[Order Management for Telecommunications, Media, and Technology](#)」での受注処理の構成 」を参照してください。

注:

- 注文タスクの変更要求は、意思決定エントリが作成された場合にのみ自動的に作成されません。
- 注文タスクの在庫アクションの必要性に基づいて、多数の変更要求が作成されます。
- デモデータとして:
 - Order Management for Telecommunications and Mediaアプリケーションでは、SD-WAN 製品には、アプリケーションへの機器作成変更要求をトリガーする CPE の割り当てとインストールタスクがあります Telecommunications Network Inventory。
 - アプリケーション Telecommunications Network Inventory には、機器の作成、リンクアグリゲーショングループ(LAG)のプロビジョニング、ギガバイトパッシブ光ネットワーク(GPON)ブロードバンドの自動化、およびワークフローとしての Telecommunications Network Inventory ファイバーワイズモビリティインフラに使用できるデモデータがあります。

Telecommunications Network Inventory の使用

この Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用して、物理ネットワークと論理ネットワークのデジタル表現を構築できます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

概要

アプリケーション内の Telecommunications Network Inventory 電気通信ネットワークインベントリの包括的なデジタルモデルを構成するネットワーク資産レコードを作成するには、複数の方法があります。

インベントリモデルとテンプレートを使用したネットワーク資産の生成

インベントリモデルとテンプレートは、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 電気通信機器の表現を作成するためのフレームワークを提供します。定義したインベントリテンプレートとモデルを使用することで、ネットワークのデジタルモデルを構成する個々のネットワーク資産インスタンスを生成できます。モデルとテンプレートの関係を作成すると、生成関数によって個々のネットワーク資産間の正式な関係も作成されます。この方法でこのタスクを実行することは、多くの場合、手動で行うよりも、ネットワーク インベントリのデジタル モデルを作成するための労力のかからない方法です。

[設計とアサイン] の [変更] フォームを使用して機器のインスタンス化を実行する方法については、以下を参照してください。

- [Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー](#)
- [在庫モデルの作成](#)
- [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレート](#) を作成しています
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

ネットワークインベントリでの個々のネットワーク資産インスタンスの手動作成

ネットワーク資産インスタンスの自動生成のためにインベントリモデルとテンプレートを定義する代わりに、ネットワーク資産とネットワークのデジタルモデルを手動で作成できます。ネットワークインベントリワークスペースからアクセスする一連のフォームを使用して、個々のネットワーク資産インスタンスを手動で作成および確認し、個々の資産間の関係を定義します。詳細については、以下を参照してください。

- [ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー](#)

ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新

ネットワークインベントリワークスペースを使用して、インベントリを管理し、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory タスクを実行します。

ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー

ワークスペースで実行できる主な機能は、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク資産とネットワークのデジタルモデルを手動で作成することです。この情報を使用して、新しいサービスのプロビジョニング、既存のサービスの変更、ネットワークのメンテナンス、およびネットワーク拡張の予測の計画を行うことができます。

概要

個々のネットワークインベントリレコードを手動で作成して確認し、各資産間の関係を定義するには、ワークスペースのランディングページから適切なフォームに簡単にアクセスできます。たとえば、ネットワークインベントリワークスペースランディングページのカテゴリ別ネットワークエンティティウィジェットでインターフェイスカード数を選択して、インターフェイスカードインスタンスを作成できます。

i 注:

個々のネットワーク資産インスタンスを手動で作成する代わりに、より自動化された、おそらく労力の少ない方法を使用できます。詳細については、以下を参照してください。

- [Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー](#)
- [在庫モデルの作成](#)
- [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレート](#) を作成しています
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

プロセス

電気通信ネットワークの包括的なデジタルモデルを手動で作成するには、ネットワークインベントリワークスペースのランディングページとリストビューから次のフォームにアクセスします。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

1. [ネットワークサイト] フォームで、ネットワーク機器を収容する個々の場所のネットワークサイトレコードを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita](#)」を参照してください。
2. [電気通信機器] フォームで、電気通信機器の個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)」を参照してください。

3. 機器所有者フォームで、機器所有者の個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita](#)」を参照してください。
4. [インターフェイスカード] フォームで、インターフェイスカードの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[インターフェイスカードの詳細の定義](#)」を参照してください。
5. [ネットワークインターフェイス] フォームで、ネットワークインターフェイスの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスの詳細の定義](#)」を参照してください。
6. [物理接続] フォームで、物理接続または有線接続ごとに個別のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[物理接続の詳細を定義する](#)」を参照してください。
7. [論理接続] フォームで、論理接続ごとに個別のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[論理接続の詳細の定義](#)」を参照してください。
8. ネットワークインベントリ内の各資産間の論理的および物理的な関係を作成します。
9. アプリケーションの仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) 接続またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) 接続 Telecommunications Network Inventory の番号付けを定義します。詳細については、「[在庫番号の定義](#)」を参照してください。

ネットワークサイトの詳細を定義する

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワークサイトレコードをレビュー、更新、または作成します。これらのレコードを使用すると、機器が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、部屋など、各ネットワークサイトの場所固有の属性を表示できます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_site_admin

このタスクについて

ネットワーク サイトは、ネットワーク機器を保管する物理的な場所です。ネットワークサイトレコードを使用すると、特定の場所にあるすべての機器を表示できます。割り当てられたタイプ、ロール、および機能カテゴリで場所をフィルタリングできます。詳細については、「[ワークスペースでのCMDB ネットワークインベントリ構成アイテムの表示](#)」を参照してください。

ネットワークサイトレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブルに作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

アプリケーションは Telecommunications Network Inventory 、物理ネットワーク接続、論理ネットワーク接続、およびネットワーク全体を含むリソース、およびネットワーク上にプロビジョニングされたサービスを格納します。TNI データモデルは階層構造に準拠しています。基盤となるのはネットワーク サイト (ここでは ネットワーク サイトと呼びます) です。

Network Site クラスは、機器とリソースが格納および保守され、ネットワーク接続が開始および終了するネットワーク上の物理的な場所を表します。ネットワーク サイトには物理的な場所への参照があり、そこから住所、緯度、経度などの主要な属性が派生します。

ネットワーク サイトと場所は似ていますが、その違いは TNI データ モデルのコンテキスト内で重要です。ネットワーク サイトは、TNI の構成アイテム (CI) です。これには、ネットワークサイト内の機器と接続から導出される運用ステータスがあります。CI として、ネットワーク サイトはサービスポートロジの固有の側面としてマップすることもできます。ネットワーク サイトと場所は互いに補完し合うため、組織に大きな価値をもたらします。

物理的な場所を TNI のネットワーク サイトに関連付けて、これらのネットワーク サイトをマップ上に視覚化できます。組織は、ネットワーク サイトと、サイトに存在する基礎となるすべての在庫コンポーネントの価値を最大化できます。TNI データモデルを使用すると、インシデントを特定し、イベントに関連付けて、ネットワーク障害や機能停止の根本原因を分析できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () をクリックし、 ネットワークサイト > すべてのサイト。

管理しているサイトを表示するには、次の場所に移動します。 ネットワークサイト > 自分のサイト。

注:

[ネットワークインベントリワークスペース] ランディングページの [ネットワークサイトの概要] ウィジェットで [合計サイト 数] または [メンテナンス 中のサイト 数] をクリックして、[合計サイト数] リストにアクセスすることもできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. [New (新規)] をクリックします。

4. [詳細] タブの [ネットワーク サイト] セクションで、フィールドに入力します。
[ネットワーク サイト] フォームに固有のフィールドの詳細については、「」を参照してください
[\[ネットワーク サイト\] フォーム](#)。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

5. [詳細] タブの [サイトの詳細] セクションで、サイトの詳細情報を入力します。
次の表は、[サイトの詳細] セクションに固有のフィールドの一覧です。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

ネットワークサイトフォーム - サイトの詳細

フィールド	説明
サービングワイヤーセンター	共通場所識別コード (CLLI) コード。このネットワーク サイトに電話サービスを提供している電話会社のセントラル オフィスを表します。
大腿	ネットワーク資産に割り当てられたローカルアクセスおよびトランスポートエリア (LATA) コード。これは、ネットワーク サイトが位置する米国の地理的領域を表します。
データセンターコード	このデータセンターの識別子。
高度	[高度の単位] フィールドでフィートまたはメートルとして選択したネットワーク サイトの高度。高度測定により、企業は連邦航空局 (FAA) の規制に準拠できます。

フィールド	説明
高度単位	[高度] フィールドでネットワークサイトの高度を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 フィート フィート単位で測定されるネットワークサイトの高度。これがデフォルト値です。 メートル ネットワークサイトの高度 (メートル単位)。

6. [ネットワーク サイト] フォームの属性を作成するには Telecommunications Network Inventory、[インベントリ属性の設定] をクリックします。
[インベントリ属性の設定] ボタンをクリックすると、CI テーブルに参照が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、CI レコードは作成されませんTelecommunications Network Inventory。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory、「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。

8. **[Save (保存)]** をクリックします。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドが [ネットワークサイト] フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

9. オプション: グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () をクリックします。

10. **[Save (保存)]** をクリックします。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

11. オプション: [マップを開く] を選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

12. オプション: 構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャするには、[パックを追加] を選択します。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: 依存関係ビュー マップを表示するには、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) Dependency Views マップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

14. オプション: 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()

(Optional) [インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

15. オプション: CI レコードを廃止するには、[廃止] を選択します。

詳細については、「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリ レコードを削除するには、「」を参照してください [インベントリレコードの削除](#)。

電気通信機器インスタンスの作成

ネットワーク内に電気通信機器インスタンスを作成します。アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるように、機器インスタンスを定義します Telecommunications Network Inventory。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

インベントリカテゴリが機器として設定されている機器インスタンスを作成できます。機器レコードを作成すると、対応する機器テーブルに構成アイテム (CI) レコードが作成されます。equipment 拡張クラスの詳細については、「」を参照してください [Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** > すべての機器。

[リスト] メニューからオプションを選択して、次の機器タイプを作成できます。

3. **新規** を選択し、一覧から設備タイプを選択します。

equipment 拡張クラスの詳細については、「」を参照してください [設備拡張クラス](#)。

4. [機器] フォームのフィールドに入力します。

設備フォームのフィールドの詳細については、「」を参照してください [product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)。

5. Telecommunications Network Inventory[在庫属性の設定] を選択して、[Telco 機器] フォームの属性を作成します。

[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。

注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードはTelecommunications Network Inventory作成されません。

6. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory、「」 [TNI CI 属性フォーム](#)を参照してください。

7. **[Save (保存)]** を選択します。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドが [Telco 機器] フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

8. オプション: 依存関係ビュー マップを表示するには、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) Dependency Views マップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

9. オプション: 構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャするには、[パックを追加] を選択します。

詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

10. オプション: CI レコードを廃止するには、[廃止] を選択します。

詳細については、「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。

11. [送信] を選択します。

選択した機器タイプの在庫レコードが作成されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリ レコードを削除するには、「」を参照してください [インベントリレコードの削除](#)。

電気通信機器の詳細の確認と更新

電気通信機器のネットワーク資産インスタンスを確認および更新します。アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるように、機器インスタンスを定義します Telecommunications Network Inventory。

始める前に

機器フォームを作成します。詳細については、「[電気通信機器インスタンスの作成](#)」を参照してください。

必要なロール:

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** > すべての機器。
[すべての機器] ウィンドウには、機器として設定されたインベントリカテゴリを持つ構成アイテム (CI) レコードが一覧表示されます。
3. 更新する CI レコードを選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
次の表は、Telco 機器フォームに固有のフィールドの一覧です。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

電気通信機器フォーム

フィールド	説明
名前	この電気通信機器の名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。

フィールド	説明
製品モデル	この電話会社機器が属する製品モデルの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。詳細については、「 機器モデルの作成 」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、電話会社の機器の構成情報を入力します。
Telco 機器フォームの [構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「」を参照してください [電気通信機器フォーム](#)。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

6. [Save (保存)] を選択します。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドが [Telco 機器] フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [Save (保存)] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

9. 依存関係ビュー マップを表示するには、[依存関係ビュー] を選択します。

Dependency Views マップには、ネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

10. [マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB Workspace](#)」を参照してください。

11. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン (🧱)

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。

機器ホルダーの定義

キャビネット、ラック、シェルフ、スロットなど、電気通信機器を収納する機器ホルダーを定義します。機器所有者を定義することで、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール:

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

機器所有者レコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが機器所有者拡張クラステーブルに作成されます。機器所有者拡張クラステーブルの詳細については、「」を参照してください [機器所有者拡張クラス](#)。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** > 機器所有者。
3. 新規 を選択し、リストから機器ホルダー タイプを選択します。
機器ホルダーのタイプの詳細については、「」を参照してください [機器所有者拡張クラス](#)。
4. [送信] を選択します。
選択した機器所有者タイプの在庫フォームが表示されます。
5. [詳細] タブで、フォームに入力します。
フィールド情報の詳細については、以下を参照してください。 [機器所有者フォーム](#)
6. [Telecommunications Network Inventory](#)[インベントリ属性の設定] を選択して、[機器所有者] フォームの属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。

注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードは[Telecommunications Network Inventory](#)作成されません。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については [Telecommunications Network Inventory](#)、「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。
8. **[Save (保存)]** を選択します。

[Telecommunications Network Inventory](#) TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドが機器所有者フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。
9. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
10. **[Save (保存)]** を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [Telecommunications Network Inventory](#)。
11. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。
12. [マップを開く] を選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「 [CMDB Workspace](#)」を参照してください。

13. オプション: 依存関係ビュー マップを表示するには、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) Dependency Views マップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

14. オプション: 構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャするには、[パックを追加] を選択します。
詳細については、以下を参照してください [CI レコードの属性パックの使用](#)。
15. オプション: CI レコードを廃止するには、[廃止] を選択します。
詳細については、以下を参照してください [インベントリレコードをデコミッションする](#)。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリ レコードを削除するには、「」を参照してください [インベントリレコードの削除](#)。

インターフェイスカードの詳細の定義

電気通信機器で使用するインターフェイスカードのネットワーク資産インスタンスをレビュー、更新、または作成します。アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク資産を追跡および管理できるように、これらの属性を定義します。

始める前に

必要なロール:

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_user

このタスクについて

機器のポートは、物理または論理 (仮想) にすることができます。ネットワーク インターフェイス データには、ポートの可用性、帯域幅、スロット、ソフトウェア バージョン、MAC アドレス、ファームウェア メーカー、およびバージョンが含まれます。ネットワークインターフェイスカード レコードを作成すると、インターフェイスカード [cmdb_ci_ni_interface_card] テーブルに対応する構成アイテム (CI) レコードが作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 **Inventory** > インターフェイスカード。

注:

ネットワークインベントリワークスペースランディングページのカテゴリ別ネットワークエンティティウィジェットで インターフェイスカード 数をクリックして、インターフェイスカードリストにアクセスすることもできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. **[詳細]** タブの **[インターフェイスカード]** セクションで、ネットワークインターフェイスカードの一般情報を入力します。
[インターフェイスカードフォーム](#) では、インターフェイスカードフォームに固有のフィールドについて説明します。

ほとんどの **[在庫]** フォームと **[在庫番号割り当て]** メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、インターフェイスカードの構成情報を入力します。
次の表は、[構成] セクションに固有のフィールドの一覧です。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

インターフェイスカードフォーム - 構成

フィールド	説明
ソフトウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。
MAC アドレス	ネットワーク資産に割り当てられたメディアアクセス制御 (MAC) アドレス。これは、ネットワークセグメント内の通信で使用されるネットワークアドレスです。
ファームウェアメーカー	ファームウェアのメーカー。
ファームウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。

6. インタフェースカードフォームの属性を作成するには Telecommunications Network Inventory、「インベントリ属性の設定」をクリックします。
[インベントリ属性の設定] ボタンをクリックすると、CI テーブルに参照が作成されます。

注:

[インベントリ属性の設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、CI レコードは作成されません Telecommunications Network Inventory。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory、「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。

8. [Save (保存)] をクリックします。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドがインターフェイスカードフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) をクリックします。
10. [Save (保存)] をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。
11. オプション: 依存関係ビュー マップを表示するには、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) Dependency Views マップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

12. 選択したレコードを視覚的に表示するには、[マップを開く] ボタンを選択します。

i 注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB Workspace](#)」を参照してください。

13. オプション: 構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャするには、[パックを追加] を選択します。

詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

14. オプション: CI レコードを廃止するには、[廃止] を選択します。

詳細については、「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。

15. 関連付けられたネットワーク インベントリを表示するには、ブリック アイコン()をクリックします。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリ レコードを削除するには、「」を参照してください [インベントリレコードの削除](#)。

ネットワークインターフェイスの詳細の定義

ネットワーク間のシグナリングおよび管理機能を制御するネットワークインターフェイスのネットワーク インスタンスをレビュー、更新、または作成します。これらの属性を定義して、アプリケーションでTelecommunications Network Inventoryネットワークインスタンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に

必要なロール:

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

ネットワーク インターフェイスは、シグナリングの相互接続、またはインターネット プロトコル (IP) または ATM ネットワークに使用されます。ネットワークインターフェイスレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークインターフェイス [cmdb_ci_interface] テーブルに作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () から、**Inventory** > インターフェイス。

i 注:

ネットワークインベントリワークスペースランディングページのカテゴリ別ネットワークエンティティウィジェットで [ネットワークインターフェイス 数] をクリックして、[ネットワークインターフェイス] リストにアクセスすることもできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. **[New (新規)]** をクリックします。

4. **[詳細]** タブの **[ネットワークインターフェイス]** セクションで、ネットワークインターフェイスの一般情報を入力します。

次の表のフィールドは、**[ネットワークインターフェイス]** フォームに固有のものです。

ほとんどの **[在庫]** フォームと **[在庫番号割り当て]** メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

ネットワークインターフェイスフォーム

フィールド	説明
名前	ネットワークインターフェイスの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。

5. **[詳細]** タブの **[構成]** セクションで、ネットワークインターフェイスの構成情報を入力します。

次の表は、**[構成]** セクションに固有のフィールドの一覧です。

ほとんどの **[在庫]** メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

ネットワークインターフェイスフォーム - 構成

フィールド	説明
電気通信機器	ネットワークに技術的な機能を提供するデバイス。
管理オプション	このエンドポイントの管理担当者または担当者を示す属性。
コネクタタイプ	ネットワークインターフェイスへのケーブルの接続に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ BNC ○ SC ○ LC ○ ST ○ ワイヤラップ ○ RJ45
ポートタイプ	ネットワークインターフェイス上のポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ イーサネット ○ オプティカル ○ シリアル番号
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。

フィールド	説明
	○ Tx ○ Rx ○ Tx/Rx ○ バス ○ ブロードキャスト
ポートの帯域幅	このネットワークインターフェイスのポートについて測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。
エンドポイントロール	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供するサービスのエンドポイントによって提供される機能です。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ Metro Ethernet Forum (MEF) によって定義されている ROOT または LEAF エンドポイントの役割。 ○ -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合は、
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。
ケーブル	インターフェイスが事前にケーブル接続されているかどうかを確認するオプション。

6. ネットワーク・インターフェイス・フォームの属性を作成するには Telecommunications Network Inventory、「インベントリ属性の設定」をクリックします。
[インベントリ属性の設定] ボタンをクリックすると、CI テーブルおよび Telecommunications Network Inventory CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、CI レコードは作成されません Telecommunications Network Inventory。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory、「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。

8. [Save (保存)] をクリックします。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドがネットワークインターフェイスフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) をクリックします。
10. オプション: 依存関係ビュー マップを表示するには、[依存関係ビュー] を選択します。
(Optional) Dependency Views マップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。
11. オプション: 構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャするには、[パックを追加] を選択します。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。
12. オプション: CI レコードを廃止するには、[廃止] を選択します。
詳細については、「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。
13. **[Save (保存)]** をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。
14. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン (🧱)
[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワーク在庫が表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリ レコードを削除するには、「」を参照してください [インベントリレコードの削除](#)。

ケーブルの詳細を定義する

ネットワーク内のさまざまなサイトを接続するケーブルのネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク資産を追跡および管理できるように、これらの属性を定義します。

始める前に

必要なロール:

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

光ファイバーケーブルは、オープンエンドポイントのあるサイト間に設置され、ケーブルが機器上で直接終端されていないことを示します。ケーブルはユーティリティ穴に通され、距離要件に応じてサイト間の接続を延長するために接続されます。ケーブルレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが光ファイバーケーブル [cmdb_ci_fiber_optical_cable] テーブルに作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、**Inventory** > ケーブル。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。
ケーブル フォームのフィールドの詳細については、「」を参照してください [ケーブルフォーム](#)。

5. ケーブル フォームの属性を作成するには Telecommunications Network Inventory 、[インベントリ属性の設定]を選択します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルおよび CI 属性 Telecommunications Network Inventory テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードはTelecommunications Network Inventory作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。

6. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory 、 「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。

7. [Save (保存)] を選択します。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドがケーブルフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

8. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) を選択します。

9. [Save (保存)] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

10. 選択したレコードを視覚的に表示するには、[マップを開く] ボタンを選択します。

i 注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB Workspace](#)」を参照してください。

11. オプション: [パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

12. 関連付けられたネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン () を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

ストランドの詳細を定義

ケーブル内のストランドのネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク資産を追跡および管理できるように、これらの属性を定義します。

始める前に

必要なロール:

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

ストランドとは、ケーブル内の個々の導体またはワイヤを指します。ケーブルは、撚り合わせられた、またはグループ化された複数のストランドで構成されています。ストランドレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがファイバーストランド [cmdb_ci_fiber_strand] テーブルに作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** > ストランド。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[ストランドフォーム](#)」を参照してください。
5. Telecommunications Network Inventory[インベントリ属性の設定] を選択して、ストランドフォームの属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルおよび CI 属性 Telecommunications Network Inventory テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードはTelecommunications Network Inventory作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。

6. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory、「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。

7. **[Save (保存)]** を選択します。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドがストランドフォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)] は表示されません。

8. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
9. **[Save (保存)]** を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。
10. [マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB Workspace](#)」を参照してください。

11. オプション: [パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

12. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

物理接続の詳細を定義する

ネットワーク内のインターフェイスカードの物理ポート接続のネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク資産を追跡および管理できるように、これらの属性を定義します。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

物理接続データには、リンクの種類、帯域幅、ポート、サイト、およびトポロジが含まれます。物理接続レコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] テーブルに作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () を選択し、**Inventory** > 物理接続。

注:

ネットワークインベントリワークスペースのランディングページのカテゴリ別のネットワークエンティティウィジェットで 物理接続 数を選択して、物理接続リストにアクセスすることもできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. **[New (新規)]** を選択します。

4. [詳細] タブの [物理接続] セクションで、物理接続の一般情報を入力します。

物理接続フォームに固有のフィールドの詳細については、「」を参照してください [物理接続フォーム](#)。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

[製品モデル] フィールドで [光ファイバー ケーブル] を選択した場合は、[ケーブル パラメーター] フォームが表示され、ケーブル パラメーターに関する情報を入力できます。フィールドの詳細については、「[\[ケーブル パラメータ\(Cable Parameters\)\] フォーム](#)」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、物理接続の構成情報を入力します。

[構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「」を参照してください [物理接続フォーム - 構成](#)。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

6. 「物理接続」フォームの Telecommunications Network Inventory 属性を作成するには、「インベントリ属性の設定」を選択します。

[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルおよび CI 属性 Telecommunications Network Inventory テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードは Telecommunications Network Inventory 作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory、「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。

8. [Save (保存)] を選択します。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドが物理接続フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) を選択します。

10. [Save (保存)] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

11. 選択したレコードを視覚的に表示するには、[マップを開く] ボタンを選択します。

i 注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB Workspace](#)」を参照してください。

12. オプション: 構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャするには、[パックを追加] を選択します。

詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: CI レコードを廃止するには、[廃止] を選択します。

詳細については、「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。

14. 関連付けられたネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン (🧱) を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリ レコードを削除するには、「」を参照してください [インベントリレコードの削除](#)。

論理接続の詳細の定義

ネットワークインターフェイスカード上の論理ポート接続または仮想ポート接続のネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワーク資産を追跡および管理できるように、これらの属性を定義します。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

論理接続は通常、インターフェイスカード上の複数の物理接続を表します。論理接続データには、リンクの種類、帯域幅、ポート、サイト、およびトポロジが含まれます。

論理接続レコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] テーブルに作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** > 論理接続。

 注:

[ネットワーク エンティティ] で [論理接続 数] を選択して、論理接続リストにアクセスすることもできます。論理接続数は、ネットワークインベントリワークスペースのランディングページのカテゴリウィジェットの下にあります。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. **[New (新規)]** を選択します。

4. [詳細] タブの [論理接続] セクションで、論理接続の一般情報を入力します。

論理接続フォームに固有のフィールドの詳細については、「」を参照してください [論理接続 フォーム](#)。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、論理接続の構成情報を入力します。

[構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「」を参照してください [論理接続 フォーム - 構成](#)。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

6. 論理接続フォームの Telecommunications Network Inventory 属性を作成するには、「インベントリ属性の設定」を選択します。

[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルおよび CI 属性 Telecommunications Network Inventory テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードはTelecommunications Network Inventory作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。

7. [TNI CI 属性] フォームのフィールドに入力します。

属性フィールドの詳細については Telecommunications Network Inventory、「」を参照してください [TNI CI 属性フォーム](#)。

8. [Save (保存)] を選択します。

Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性フォームを保存した後に、属性フィールドが論理接続フォームに表示されます。CI レコードを再度開いても、[インベントリ属性の設定 (Set Inventory Attributes)] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) を選択します。**10. [Save (保存)] を選択します。**

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

11. 選択したレコードを視覚的に表示するには、[マップを開く] ボタンを選択します。**i 注:**

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB Workspace](#)」を参照してください。

12. オプション: 構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャするには、[パックを追加] を選択します。

詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: CI レコードを廃止するには、[廃止] を選択します。

詳細については、「[インベントリレコードをデコミッションする](#)」を参照してください。

14. 関連付けられたネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン (🧱) を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリ レコードを削除するには、「」を参照してください [インベントリレコードの削除](#)。

ネットワークトポロジの手動作成

ネットワーク要素の編成で可視化するネットワークのトポロジ レコードを作成します。ネットワークトポロジを作成することで、アプリケーション内で Telecommunications Network Inventory ネットワーク要素がどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール :

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

ネットワークトポロジレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology] テーブルに作成されます。また、ルート ノードはトポロジ ルート ノード [cmdb_network_topology_root_node] テーブルに格納されます。トポロジ・データ・モデルの詳細については、次を参照してください [Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () から、 **Inventory** > ネットワークトポロジ。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フォームに入力します。
[Network Topology] フォームのフィールドの詳細については、「」を参照してください [ネットワークトポロジフォーム](#)。
5. 「ネットワーク・トポロジ・ルート・ノード」タブで、「新規」を選択し、フィールドに入力してルート・ノードを追加します。

ネットワークトポロジルートノードフォーム

フィールド	説明
ルートノード	トポロジのルートノード。
ノード数	作成したネットワークトポロジ。

6. **[Save (保存)]** を選択します。
7. **[詳細]** タブで、**[送信]** を選択します。

次のタスク

トポロジは [Network Viewer] ウィンドウで表示できます。詳細については、「[ネットワーク トポロジの表示](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークトポロジの可視化](#)

在庫番号の定義

アプリケーションの仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) 接続 Telecommunications Network Inventory の番号付けを定義します。これらの在庫番号を定義することで、ネットワーク資産を構成してネットワーク接続をアクティブ化できます。

始める前に

必要なロール :

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

このプロセスで定義する番号付けにより、VLAN と LAG の番号範囲が作成され、これらの範囲からネットワーク接続と機器ポートに番号を割り当てることができます。顧客の注文を履行するためにイーサネットネットワークインターフェイスを介してネットワーク接続をプロビジョニングする場

合は、ネットワークポロジをサポートする VLAN インターフェイスを作成します。このインターフェイスには、1 から 4096 までの VLAN 番号を割り当てる必要があります。この VLAN 番号を使用してインターフェイス名を作成し、ネットワーク上でインターフェイスをアクティブ化できるようにします。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 **Inventory** > インベントリ番号。
3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. **[詳細]** タブで、在庫番号の一般情報を入力します。
在庫番号フォームに固有のフィールドの詳細については、「」を参照してください [在庫番号フォーム](#)。
5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () をクリックします。
6. **[Save (保存)]** をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

次のタスク

インベントリ番号レコードを更新または削除するには、「」を参照してください [在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)。

在庫グループを定義する

インベントリ グループは、アプリケーション内のすべての Telecommunications Network Inventory CI に CI アクションを一括して適用できるようにする CI の集合です。インベントリグループを定義することで、さまざまな CI をグループ化し、すべての CI にアクションを適用できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

注:

インベントリエージェントとインベントリ管理者は、インベントリグループのレビュー、作成、更新のみを行うことができます。また、グループを削除できるのは在庫管理者のみです。

このタスクについて

インベントリ グループは、構成アイテム (CI) のグループを表します。グループには任意の CI を追加できますが、CI を複製することはできません。

在庫グループを作成すると、在庫グループ[cmdb_group]テーブルにグループが作成されます。詳細については、「[Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 **Inventory** > インベントリグループ
3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. **[詳細]** タブの **[CMDDB グループ]** セクションで、在庫グループに関する次の情報を入力します。

CMDB グループ

フィールド	説明
グループ名	在庫グループの名前
グループ タイプ	次のいずれかのグループタイプを選択します - CMDB Workspace - デフォルト - 健全性 - ネットワークインベントリグループ
説明	在庫グループについて説明してください
カテゴリ	次のカテゴリのいずれかを選択します - セグメント - セクション - ルーティング - その他

5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) をクリックします。

6. **[Save (保存)]** をクリックします。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

i 注:

最後に変更または更新された情報を確認するには、インベントリグループのリストビューを参照してください。

次のタスク

他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連するタブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。

インベントリレコードの削除

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 関連性がなくなった、または不要になったインベントリレコードを削除します。

始める前に

必要なロール: admin

このタスクについて

構成アイテム (CI) レコードを削除しても、CI に関連付けられた子要素は削除されません。手動で削除する必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.

2. リストアイコン () をクリックし、**Inventory**.

3. 在庫リストを開き、削除する CI レコードを選択します。

4. その他のオプションアイコン()をクリックし、[削除]を選択します。

タスクの結果

CI レコードが削除され、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 使用できなくなります。

インベントリレコードをデコミッションする

から Telecommunications Network Inventory削除するインベントリレコードをデコミッションします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

CI レコードを廃止すると、CI の関連テーブルがすべて削除され、この CI のライフサイクルステージとライフサイクルステータスが変更されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory**。

3. インベントリリストを開き、廃止するインベントリ CI レコードを選択します。

4. [使用停止] を選択します。

すべての関連テーブルが削除されます。また、資産が CI で使用されていない場合は、[**Life Cycle Stage**] フィールドは [**End of Life**] に設定され、[**Life Cycle Stage Status**] フィールドは [**Retired**] に設定されます。それ以外の場合、[ライフサイクルステージ] フィールドは [在庫] に設定され、[ライフサイクルステータス] フィールドは [利用可能] に設定されます。

注:

選択した CI に次のように子 CI がある場合、廃止は失敗します。

インベントリ名	廃止に失敗した関係
ネットワークサイト	サイト、機器、または機器ホルダー
インターフェイスカード	物理接続または論理接続で使用されるインターフェイス
ネットワークインターフェイス	物理接続または論理接続にリンクされたインターフェイス
物理/論理接続	別の接続によって接続要素として使用される任意の接続。
機器所有者	機器またはシェルフにリンクされたラック、機器にリンクされたシェルフ、スロット、またはカードにリンクされたサブスロット。
設備	接続にリンクされた物理インターフェイス、または論理接続を持つ物理インターフェイスにリンクされた物理インターフェイスまたは論理インターフェイス。

在庫番号の割り当て

Telecommunications Network Inventory アプリケーションの在庫番号の割り当てを使用すると、IP アドレスと電話番号を管理できます。さまざまな IP アドレスと電話番号レコードを確認、作成、更新、または削除できます。

詳細については、「[IP アドレス割り当ての作成](#)」と「[電話インフラストラクチャの構築](#)」を参照してください。

IP アドレス割り当ての作成

IP プール、IP ネットワークサブネット、割り当てられた IP アドレス、および IP アドレスレコードを作成、レビュー、更新、および削除して、IP アドレス割り当てを作成します。アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory、すべての IP アドレスを管理できます。

IP プールレコードの作成

ネットワーク内のすべての連続 IP アドレスを整理および分類できるように、IP プールレコードを作成します。アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory IP プールレコードを作成できます。

始める前に

- すべての高度なプラグインがインストールされていることを確認して、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワーク内の IP プールを確認、作成、または削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > **IP プール**。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、フィールドに入力します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「[」を参照してください 一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド。](#)

5. Telecommunications Network Inventory[インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)] ボタンを選択して、この IP プールフォームの属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと CI 属性テーブルに Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

注:

- [インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードはTelecommunications Network Inventory作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで、名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は **IP アドレス**として設定されます。

6. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「」を参照してください [属性パック](#)。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [Save (保存)] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。

9. [**Dependency View**] ボタンを選択して、作成した IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワークインスタンスごとにグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IP ネットワークサブネットレコードの作成

アプリケーションを使用して、ネットワーク内のすべての子 IP ネットワークサブネットを分類および管理できるように、IP ネットワークサブネットを定義します Telecommunications Network Inventory。IP サブネットワークを確認、作成、または削除することもできます。

始める前に

- すべての高度なプラグインがインストールされていることを確認して、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

IP サブネットワークを確認、作成、または削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** > **IP ネットワークサブネット**。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、フィールドに入力します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

5. Telecommunications Network Inventory[インベントリ属性の設定] を選択して、この IP ネットワークサブネットフォームの属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと CI 属性テーブルに Telecommunications Network Inventory TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードはTelecommunications Network Inventory作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで、名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は **IP** アドレスとして設定されます。

6. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「」を参照してください [属性パック](#)。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [Save (保存)] を選択します。

9. [**Dependency View**] ボタンを選択して、作成した IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワークインスタンスごとにグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

割り当て済み IP アドレスレコードの作成

アプリケーションを使用して、割り当てる準備ができていないすべての IP アドレスを定義し Telecommunications Network Inventory で分類します。ネットワークに割り当てられた IP アドレスを確認、作成、更新、または削除できます。

始める前に

- すべての高度なプラグインをインストールして、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

IP プール、IP サブネットワーク、および割り当てられた IP アドレスが互いにどのように関連しているかを理解するには、[IP アドレスインベントリ管理データモデル](#)を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory** > 割り当て済み **IP** アドレス。
3. [New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、フィールドに入力します。

割り当て済み IP アドレスフォーム

フィールド	説明
名前	この IP アドレスの分かりやすい名前。
IP アドレス	IPv4 または IPv6 IP アドレス。
ブロードキャストである	この IP アドレスがブロードキャストタイプの IP アドレスである場合に true に設定する値。
DHCP である	ネットワークレベルでこのオプションを使用してグリッド レベルの DHCP オプションを上書きする場合は、true に設定した値です。
DNS である	この IP アドレスにドメインネームシステム (DNS) 名が指定されている場合は true に設定する値。

5. Telecommunications Network Inventory[インベントリ属性の設定 (**Set Inventory Attributes**)]

ボタンを選択して、この IP プールフォームの属性を作成します。

[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと Telecommunications Network Inventory CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性を設定] ボタンを選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードは作成されません Telecommunications Network Inventory。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで、名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は **IP** アドレスとして設定されます。

6. [パックを追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「」を参照してください [属性パック](#)。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [Save (保存)] を選択します。

9. [**Dependency View**] ボタンを選択して、作成した IP プールの階層またはフローチャートを表示します。10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンスごとにグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IP アドレスの作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory IP アドレスを追跡および管理できるように、IP アドレスの属性を定義します。IP アドレスを確認、更新、または作成することもできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

注:

インベントリエージェントは、IP アドレスを作成、確認、更新、削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 **Inventory > IP アドレスes**。
3. [**New**] を選択します
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、一般情報を入力します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

次の表では、IP アドレスフォームに固有のフィールドについて説明します。

IP アドレスフォーム

フィールド	説明
IP アドレス	ネットワークインベントリで識別するために使用する Now Platform このネットワーク機能の名前。
IP バージョン	データベースの名前
ネットマスク	ネットワーク インスタンスの一意的 ID
構成アイテムが所有	ネットワーク機能のタイプ、仮想ネットワーク機能 (VNF)、またはクラウドネイティブ機能 (CNF)。

5. この IP プールフォームの属性を作成するには Telecommunications Network Inventory 、[インベントリ属性の設定] ボタンを選択します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルおよび CI 属性 Telecommunications Network Inventory テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、CI レコードはTelecommunications Network Inventory作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] はロールにのみ Telecommunications Network Inventory 表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで、名前は [名前] フィールドからフェッチされ、インベントリカテゴリ は **IP** アドレスとして設定されます。

6. [パックの追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。
パックの詳細については、「」を参照してください [属性パック](#)。
7. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。
8. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。
9. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()を選択します。
[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンスごとにグループ化された、関連するすべてのネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドのレビューや更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

電話インフラストラクチャの構築

電話ブロックと番号の割り当てを作成し、アプリケーションが提供する電話インフラストラクチャを使用して電話番号を割り当てます Telecommunications Network Inventory 。

電話ブロックを作成する

電話ブロックを作成し、アプリケーションを使用してエリア Telecommunications Network Inventory 内にあるすべての連続した電話番号を整理および分類します。

始める前に

- アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 電話番号のすべての必要なコンポーネントが含まれていることを確認してください。詳細については、次を参照してください [電話番号のコンポーネントを作成する](#)。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

1 つの電話ブロックに対して、複数の電話番号割り当てと電話番号を作成できます。また、電話ブロックを確認、作成、更新、または削除することもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 インベントリ番号割り当て > 電話ブロック。
3. **[New (新規)]** を選択します。

**注:**

ポートイン番号またはブロックを必要としない番号には、ブロックを使用せずに電話番号を作成して割り当てることができます。

4. フォームのフィールドに入力します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

ブロック作成フォーム

フィールド	説明
電話番号の割り当てと番号の作成	デフォルトでは、フィールドは true に設定されています。その結果、個々の電話番号と電話番号の割り当ては、指定された発信番号と宛先番号を使用して作成されます。このチェック ボックスをオフにすると、電話ブロックのみが作成されます。 注: a. 作成された割り当て数と電話番号は、割り当て可能として表示されます。 b. デフォルトでは、作成された番号のステータスは新規として設定されます。
発信番号	このブロックへの番号の追加を開始する系列の開始番号。
宛先番号	このブロックへの番号の追加を停止する系列の最後の番号。 注: 同じまたは重複する一連の数値は、ブロックに含めることができません。たとえば、100 ~ 200 のブロックが存在する場合、150 ~ 200 または 100 ~ 200 の新しいブロックを有効にすることはできません。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン ([) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

6. **[Submit (送信)]** を選択します。

入力した詳細に応じて、電話ブロックが作成されます。

7. [詳細] タブの [電話ブロック] フォームで、追加のフィールドに入力します。

[電話番号ブロック] フォーム

フィールド	説明
数量	選択した電話番号ブロック内にある電話番号の数。 i 注: このフィールドは、電話ブロックの作成後に自動入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じていつでも更新できます。
利用可能数量	割り当てられていない、または利用できない電話番号の数。 i 注: このフィールドは、電話ブロックの作成後に自動入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じていつでも更新できます。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

8. **[Save (保存)]** を選択します。

9. 関連タブで、関連タブ情報を表示または更新します。

関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係 (Infrastructure Relationships)] セクションには、ネットワーク インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

電話番号割り当ての作成

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory 電話番号のセットをグループ化し、必要な条件を適用できるように、電話番号の割り当てを作成します。電話番号の割り当てを確認、作成、更新、または削除することもできます。

始める前に

- アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 電話番号のすべての必要なコンポーネントが含まれていることを確認してください。それ以外の場合は、[電話番号のコンポーネントを作成する](#)。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

電話ブロックの作成中に [電話番号の割り当てと番号を作成] チェックボックスを true に設定すると、個々の番号と電話番号の割り当てが作成されます。1 つの電話番号割り当てに複数の電話番号

を割り当てることができます。1 つの電話番号割り当てを電話番号ブロックに割り当てると、そのブロックに一連の番号を割り当てることができます。

このタスクを完了すると、1 つの電話番号割り当てを 1 つの電話番号ブロックに割り当てると、そのブロックに一連の番号が割り当てられます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > 電話番号。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブの **[IP アドレスセクション]** フォームで、フィールドに入力します。

[電話番号割り当て] フォーム

フィールド	説明
名前	この割り当ての名前。
電話番号ブロック	番号を追加する電話番号ブロック。 i 注: ポートイン番号またはブロックを割り当てたくない番号については、ブロックを参照せずに電話番号と電話番号割り当てを作成できます。
可用性	このブロックの可用性。このブロックが利用可能な場合は、可用性を true に設定します。また、未アサインステータスの使用可能な番号の数を指定することもできます。
開始番号	このブロックを割り当てることができる系列の開始電話番号。
終了番号	このブロックにアサインできる系列の終了電話番号。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)。

- i 注:**
アサインまたは割り当て済みの電話番号に基づいて、既存の割り当ては個別の割り当てに分割されます。たとえば、1 から 100 のシリーズで、1 から 10 と 90 から 100 が割り当てられている場合、1 から 100 の割り当ては 3 つの割り当てに分割されます。可用性が [いいえ] で 1 ~ 10 と 90 ~ 100、11 ~ 89 が [はい] の 3 つの割り当てが作成されます。

エリアまたは地域の電話番号を作成する

電話番号を作成し、アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory その番号をエリアまたはリージョンに追加します。電話番号を確認、作成、更新、または削除できます。

始める前に

- アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 電話番号のすべての必要なコンポーネントが含まれていることを確認してください。それ以外の場合は、[電話番号のコンポーネントを作成する](#)。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

電話ブロックの作成中に [電話番号の割り当てと番号を作成] チェックボックスを true に設定すると、個々の番号と電話番号の割り当てが作成されます。電話番号割り当てに電話番号を追加することもできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > 電話番号。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [電話番号] セクションで、フィールドに入力します。

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「[」を参照してください 一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

[電話番号] フォーム

フィールド名	説明
スイッチ CLLI	任意の構成アイテムへの参照ですが、理想的には通信機器に推奨されます。
行番号	エリア内の個々の電話回線を一意に識別する電話番号の部分。シリーズ番号または個々の行番号は、xxxx-xxxx または xxxx、xxxx-xxxx の形式で指定できます。 注: 指定された行番号が一連の番号にない場合は、複数の番号 割り当て が作成されます。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [Save (保存)] を選択します。
電話番号は、市外局番、本社コード、番号のステータス、スイッチ CLLI、回線番号、および電話番号で作成されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

管理対象ネットワークを作成

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory すべてのネットワークと IP アドレスを管理する管理対象ネットワークを作成します。ネットワークを作成、レビュー、更新、および削除できます。

始める前に

- ネットワーク検出プラグインをインストールします。詳細については、「[ネットワーク検出](#)」を参照してください。

- 必要なロー

ル:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn

このタスクについて

管理対象ネットワークを使用すると、ネットワークに IP プールと IP ネットワーク サブネットを追加できます。また、ネットワークに重複した IP アドレスを含めることはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号割り当て > 管理対象ネットワーク。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブのフォームで、フィールドに入力します。
詳細については、「[管理対象ネットワークフォーム](#)」を参照してください。
5. **[パックを追加]** を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。

6. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
7. **[Save (保存)]** を選択します。
CMDB 360 のデータとパック関連のタブがフォームに表示されます。詳細については、「[ネットワーク在庫フォームの関連タブ](#)」を参照してください。
8. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドのレビューや更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[在庫番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

在庫番号割り当てのレコードの更新または削除

アプリケーションを使用して、IP アドレススペース要素のレコードを確認、更新、および削除します Telecommunications Network Inventory 。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

このタスクでは、任意の在庫番号割り当てのアイテムのレコードを更新および削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.

2. リストアイコン () を選択し、在庫番号の割り当て.

3. 棚卸番号割当の次の項目のいずれかを選択します。

- 電話ブロック
- 電話の割り当て
- 電話番号
- インベントリ番号
- IP プール
- IP ネットワークサブネット
- 割り当て済み IP アドレス
- IP アドレス
- 管理対象ネットワーク

4. 表示された各アイテムのリストから、更新するレコードを選択します。
レコードを削除するには、レコードを選択した後、次の手順に従います。

a. オプション () アイコンを選択します。

b. [削除] を選択します。



注:

警告ウィンドウには、この削除の影響を受けるトピックのリストが表示されます。

c. [削除] を選択してレコードを削除するか、[キャンセル] を選択して削除をキャンセルします。

5. 一般情報を更新するには、[詳細] タブにアクセスします。

さらに、このアイテムに関連付けられている関連タブを更新するには、その目的のために指定された対応するタブを選択します。たとえば、電話番号の割り当て がビジネスアプリケーションの関連タブである場合は、そのタブに移動して必要な更新を行います。

6. [詳細タブ] フォームで更新するフィールドの値を変更します。

7. 開いているアイテムの関連するタブを 1 つ選択します。

8. 関連タブでは、次の操作を実行できます。

- 既存の関連タブレコードの詳細を表示します。
- 既存のレコードを選択し、フィールドを更新します。
- 新規 を選択して、関連するタブの別のレコードを作成します。
- 関連タブで [新規] を選択すると、関連タブの対応するフォームが表示されます。フォームでフィールドに入力し、[保存] を選択します。
- 新しく作成されたレコードは、在庫番号割り当ての現在開いているアイテムに自動的に関連付けられます。

9. [Save (保存)] を選択します。

フィールドとレコードリストが更新されます。

xNF および xNF インスタンスの作成

すべての xNF を管理するためのアプリケーションサービス、ビジネスアプリケーション、およびネットワークインターフェイスを作成します。ここでは、Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用して、アプリケーションサービスとビジネスアプリケーションを作成、レビュー、更新、および削除できます。

5G ネットワークをモデル化するには、次の手順を実行します。

- xNF を作成します。詳細については、「[xNF を作成する](#)」を参照してください。
- xNF インスタンスの作成詳細については、「[xNF インスタンスを作成または追加する](#)」を参照してください。
- ネットワークインターフェイスを作成し、アプリケーションサービスとの関係を作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスの詳細の定義](#)」を参照してください。

xNF インスタンスを作成または追加する

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory 、xNF (さまざまなタイプのネットワーク機能) インスタンスを作成または追加します。xNF インスタンスを作成して、5G ネットワークをモデル化できます。

始める前に

- テーブル名:[cmdb_ci_service_auto]。
- 必要なロール:
sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

アプリケーションサービスは、ビジネスサービスまたはテクニカルサービスをサポートし、一般的なレポート用にアプリケーションサービステーブル [cmdb_ci_service_auto] に CMDB マッピングされます。このタスクでは、複数のインスタンスを作成、レビュー、更新、および削除できます。

手順

1. 移動先 すべて > **CSDM** > テクニカルサービスの管理 > アプリケーションサービス。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. [アプリケーションサービスの作成] フォームの [基本的な詳細] セクションで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明を取得するには、「[アプリケーションサービス](#)」を参照してください。
4. [リレーションシップの設定] セクションで、[ビジネスアプリケーション] タブを選択します。
5. 利用可能なボックスでビジネスアプリケーションを検索して選択します。
6. 選択したビジネスアプリケーションを選択したボックスに移動します。
選択したビジネスアプリケーションがこのアプリケーションサービスにアサインされます。
7. [親アプリケーションサービス] タブを選択し、該当する場合は、親アプリケーションサービスをこのアプリケーションサービスにアサインします。
8. [次へ] を選択します。
9. [方法の選択] を選択します。
10. [メソッドを選択してください] フォームのフィールドに入力します。

[メソッドを選択してください] フォーム

フィールド	説明
サービスの作成方法	アプリケーションサービスに構成アイテム (CI) を入力する方法。
CMDB テーブル	CMDB テーブル。選択した方法に基づいて、このフィールドは自動的に入力されます。
グループ名	グループ名。 i 注: このフィールドは、ダイナミック CI グループにのみ適用されます。
クラス	このアプリケーションサービスに追加する CI を選択できるクラス。 i 注: このフィールドは手動方式にのみ適用されます。
CI	このアプリケーションサービスに追加できる CI。 i 注: このフィールドは手動メソッドにのみ適用されます。
レベル	このアプリケーションサービスに適用する、相互接続された CI レベルの数。 i 注: このフィールドは、動的サービスメソッドにのみ適用されます。

11. 選択 保存.

12. オプション: [メソッドを追加] を選択して、別のメソッドを追加します。

13. [次へ] を選択します。

14. オプション: 次のタブで、リレーションシップの編集 を選択します。

- 関係性:ビジネスアプリケーションおよび親アプリケーションサービスとの関係を更新します。
- 作成方法の概要:既存の方法を更新するか、別の方法を追加します。

15. [完了] を選択します。

16. ネットワークインベントリワークスペースで、[マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

i 注:
ネットワークインベントリワークスペースでこのボタンを有効にするには、Workspace 3.5.0 以降のバージョンをインストールし CMDB ます。詳細については、「[CMDB Workspace](#)」を参照してください。

次のタスク

フィールドの確認、更新、関連するタブレコードの作成、またはレコードの削除を行うことができます。詳細については、「[サービスレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

xNF を作成する

アプリケーション内のすべての Telecommunications Network Inventory xNF (さまざまなタイプのネットワーク機能) を管理するビジネスアプリケーションを作成します。xNF を作成して、5G ネットワークをモデル化できます。

始める前に

- テーブル名 - [cmdb_ci_business_app]
- 必要なロール
ル:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

このタスクでは、すべての xNF を作成、確認、および更新できます。デフォルトでは、19 個の関数が含まれており、各レコードは関数です。

手順

1. 移動先 **すべて > CSDM > 設計 > ビジネスアプリケーション**.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの説明を確認するには、「[ビジネスアプリケーション](#)」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

次のタスク

フィールドの確認、更新、関連するタブレコードの作成、またはレコードの削除を行うことができます。詳細については、「[サービスレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

サービスレコードの更新または削除

アプリケーションを使用して、サービスレコードをレビュー、更新、または削除します
Telecommunications Network Inventory。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

このタスクを使用すると、任意のビジネス、アプリケーション、テクニカルサービス、またはビジネスアプリケーションのレコードをレビュー、更新、または削除できます。

手順

1. 移動先 **ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース**.
2. リストアイコン () を選択し、在庫番号の割り当て。
3. 在庫番号割当の次のいずれかの品目を選択します。
 - ビジネスサービス
 - アプリケーションサービス
 - テクニカルサービス
 - ビジネスアプリケーション

4. 表示されたアイテムのリストから、更新するレコードを選択します。
レコードを削除するには、次のアクションを実行します。

- a. オプションアイコン () アイコンを選択します。
- b. [削除] を選択します。



注:

警告ウィンドウには、この削除の影響を受けるトピックのリストが表示されます。

- c. [削除] を選択してレコードを削除するか、[キャンセル] を選択して削除をキャンセルします。
5. [詳細] タブで、一般情報を更新します。
このアイテムに関連付けられている関連タブを更新するには、その目的のために指定されたタブを選択します。たとえば、 **CMDB 360** データが ビジネスアプリケーションの関連タブである場合は、そのタブに移動して更新します。
6. [詳細タブ] フォームで更新するフィールドの値を変更します。
7. 開いているアイテムの関連タブを選択します。
8. 関連タブでは、次のタスクを実行できます。
 - 既存の関連タブレコードの詳細を表示します。
 - 既存のレコードを選択し、フィールドを更新します。
 - 新規 を選択して、関連するタブの別のレコードを作成します。関連タブで [新規] ボタンを選択すると、関連タブにフォームが表示されます。フォームで、フィールドに入力し、[保存] を選択します。新しいレコードは、在庫番号割り当てのオープンアイテムに自動的に関連付けられます。
9. [Save (保存)] を選択します。
フィールドとレコードリストが更新されます。

ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのデータ収集と更新

ネットワークインベントリワークスペースの Telecommunications Network Inventory ランディングページに表示されるデータの収集方法と更新方法について説明します。

概要

ネットワークインベントリワークスペースの応答性と速度を向上させるために、スケジュール設定済みジョブが 1 日 1 回実行され、ランディングページに表示されるカウントデータが収集されます。このジョブは、グループ [cmdb_group] テーブルからこのデータを収集します 構成管理データベース (CMDB)。

各ランディングページセクションまたはウィジェットには、割り当てられたグループがあり 構成管理データベース (CMDB)、表示されるカウントデータが提供されます。たとえば、ネットワーク サイトの概要ウィジェットには、サイトの合計数と、現在メンテナンス中のサイトの数が含まれています。カテゴリ別のネットワークエンティティウィジェットには、組織が所有するネットワーク機器 (インターフェイスカードや接続など) の各カテゴリの数が含まれています。

CMDB グループテーブル

CMDB グループテーブルには、各ランディングページウィジェットの合計数の基になるコンポーネントアイテム (CI) レコードが含まれています。CMDB グループデータベースでスケジュール設定済みジョブを実行すると、次のアクションが実行されます。

1. CMDB グループに記載されているクエリ条件を評価し、カウントデータを収集します。特定のロールが割り当てられた管理ユーザーは、これらのクエリに使用する特定の条件を定義して適用し、ランディングページのカウントデータを収集できます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのコンテンツのカスタマイズ](#)」を参照してください。
2. CMDB グループメタデータ [sn_cmdb_ws_group_metadata] テーブルにレコードを生成します。
3. CMDB グループメタデータテーブルで収集されたデータを使用して、ランディングページに表示される各カウントが更新されます。

ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのコンテンツのカスタマイズ

ネットワークインベントリワークスペースは、各ランディングページウィジェットの標準情報セットとともにベースシステムで提供されます。このコンテンツは簡単にカスタマイズして、他の Telecommunications Network Inventory データを含めることができます。

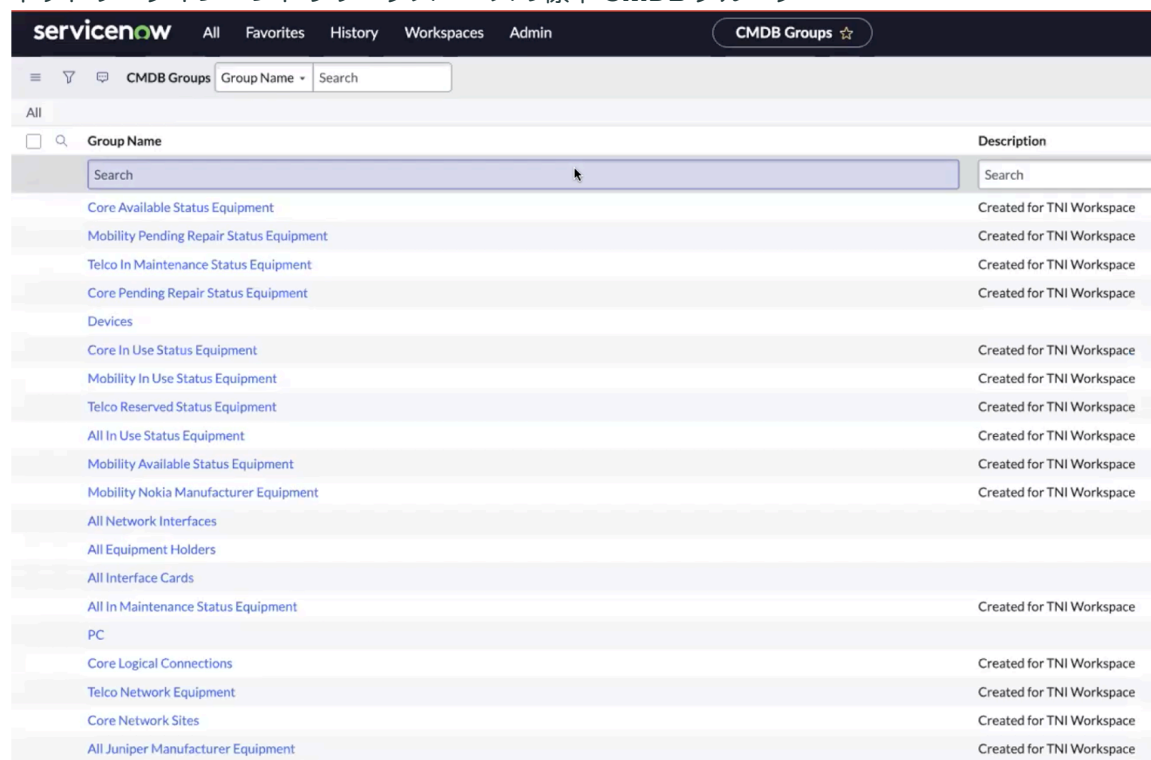
ネットワークインベントリワークスペースウィジェットデータの標準 CMDB グループと命名規則

ネットワークインベントリワークスペースのランディングページのデータ収集プロセスでは、標準 CMDB のグループ構造を使用して、ウィジェットに表示される次のようなデータを取得します。

- ネットワークサイトの概要
- カテゴリ別のネットワークエンティティ
- メーカー別のネットワーク機器
- ステータス別のネットワーク機器

たとえば、ネットワークインベントリワークスペースのデータ収集に使用される一部の CMDB グループのリストを次に示します。

ネットワークインベントリワークスペースの標準 CMDB グループ



Group Name	Description
Core Available Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Pending Repair Status Equipment	Created for TNI Workspace
Telco In Maintenance Status Equipment	Created for TNI Workspace
Core Pending Repair Status Equipment	Created for TNI Workspace
Devices	
Core In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Reserved Status Equipment	Created for TNI Workspace
All In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Available Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
All Network Interfaces	
All Equipment Holders	
All Interface Cards	
All In Maintenance Status Equipment	Created for TNI Workspace
PC	
Core Logical Connections	Created for TNI Workspace
Telco Network Equipment	Created for TNI Workspace
Core Network Sites	Created for TNI Workspace
All Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace

i 注:

データ収集プロセスの仕組みについては、次を参照してください [ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのデータ収集と更新](#)。

これらの CMDB グループは、次の標準命名規則に従います。

1. 最初のセグメントは、ネットワーク サイトとエンティティに割り当てられたドメインを表します。ネットワークインベントリワークスペースのネットワークドメインセクターを使用して、次のいずれかのタイプのネットワークドメインを選択して、表示されるデータをフィルタリングします。

コア

コア通信機器のネットワークドメイン。

モビリティ

移動体通信機器のネットワークドメイン。

Telco

電気通信機器全般のネットワークドメイン。

すべて

レポート目的で 1 つに結合されたすべての機器ネットワークドメイン。

2. 残りのセグメントは、特定のタイプのフィールドデータを表します。例：

利用可能ステータス 設備

機器の [利用可能] ステータスを報告します。

修理待ちステータス 設備

機器の [修理待ち] ステータスを報告します。

エリクソンメーカー機器

Ericsson が供給する全機器の割合を報告します。

ノキアメーカーの機器

Nokia から供給された全機器の割合を報告します。

次の例は、名前セグメントをグループ内で CMDB 組み合わせて、ネットワークインベントリワークスペースのウィジェットに表示されるデータを報告する方法を示しています。

利用可能なすべてのステータス機器

CMDB すべてのネットワークドメインで [利用可能] ステータスになっている機器の割合を報告するために、[ステータス別のネットワーク機器] ウィジェットで使用するグループデータ。

利用可能なコアステータス機器

CMDB [ステータス別のネットワーク機器] ウィジェットで使用するデータをグループ化し、コアネットワークドメイン内で [利用可能] ステータスになっている機器の割合を報告します。

モビリティ 修理待ちステータス 設備

CMDB [ステータス別のネットワーク機器] ウィジェットで使用するグループデータ。Mobilityネットワークドメイン内の [修理待ち] ステータスの機器の割合をレポートします。

エリクソン メーカーの全機器

すべてのネットワークドメインで Ericsson が供給する機器の合計個数をレポートするために、[メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットで使用する CMDB グループデータ。

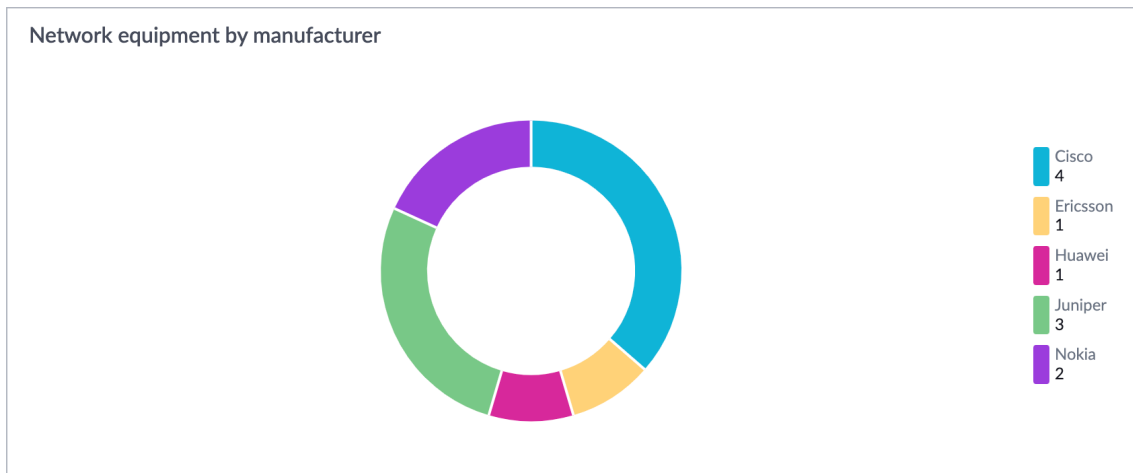
テレコムノキアメーカー機器

通信ネットワークドメインで Nokia から供給される機器の合計個数をレポートするために、[メーカー別ネットワーク機器] ウィジェットで使用される CMDB グループデータ。

メーカー別ネットワーク機器ウィジェットの変更

このウィジェットには、最も有名な電気通信機器メーカー 5 社の標準セットを含む円グラフが含まれています。

メーカー別ネットワーク機器ウィジェット



事前定義された CMDB グループ構造は、ウィジェット円グラフに表示されるデータの取得をサポートしています。次の例は、ネットワークインベントリワークスペースのメーカーデータを取得するために使用される標準 CMDB グループを示しています。

メーカー別ネットワーク機器ウィジェットに使用される標準 CMDB グループ

servicenow All Favorites History Workspaces Admin CMDB Groups ☆		
Group Name	Description	
*manufact	Search	
All Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
All Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Core Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Mobility Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	
Telco Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace	

ウィジェットのデータを追加または変更するには、[グループ]機能を使用して CMDB グループコードを作成する CMDB か、既存のグループコードに付随するクエリ条件を変更します。既存の

CMDB グループを更新するには、ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに使用される標準 CMDB のグループ命名規則に従う必要があります。

注:

グループの作成、更新、または名前付け CMDB の詳細については、「[CMDB グループ](#)」を参照してください。

たとえば、別の機器メーカーをウィジェットに追加するとします。このタスクを実行するには、各ネットワークドメインのメーカーの既存の CMDB グループを、新しいメーカーのベースとして使用します。この例では、Ericsson の既存の CMDB グループを、新しいメーカー用に作成する CMDB グループのベースとして使用します。

この表は、Ericsson の既存の CMDB グループ コードと、Dell の CMDB グループ コードを作成したときの外観を示しています。

CMDB グループの例

既存の CMDB グループ	既存の CMDB グループ
エリクソン メーカーの全機器	すべてのDell製造元機器
エリクソン・メーカーのコア機器	デルのコア製造元機器
モビリティエリクソンメーカー機器	Mobility Dellメーカー機器
Telco Ericsson メーカー機器	Telco Dell メーカー機器

データ収集プロセスで使用するグループを更新し **CMDB** ます

グループ機能を使用して CMDB 、ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに表示されるデータを追加または変更します。必要に応じてグループコードを登録する CMDB か、既存のグループコードのクエリ条件を変更します。グループを変更する CMDB と、ネットワークインベントリワークスペースのランディングページでウィジェットに対して収集プロセスが取得するデータに影響します。

始める前に

必要なロール:admin、cmdb_query_builder、itil、sn_cmdb_editor

このタスクについて

ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに使用される標準 CMDB のグループ命名規則に従う必要があります。詳細については、「ネットワークインベントリワークスペースウィジェットデータの標準 CMDB グループと命名規則」を参照してください。CMDB グループの作成、更新、または命名の詳細については、「[CMDB グループ](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 **すべて > 構成 > CMDB グループ**.
2. ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに関連付けられている CMDB グループのリストを表示するには、次の表を参照してください。
3. [グループの命名] リストで、[すべて] ドメインの既存のメーカーの CMDB グループを選択します。
たとえば、[すべてのエリクソンメーカー機器] を選択します。CMDB グループ フォームが表示されます。
4. [名前] フィールドで、追加するメーカーの名前で Ericsson を上書きします。
たとえば、[すべての **Ericsson Manufacturer Equipment**] を [All Dell Manufacturer Equipment] に変更します。

5. [**CMDB グループはエンコードクエリを含む (n)**] タブをクリックします。ここで、(n) は CMDB グループのエンコードクエリの数を表します。
6. [**CMDB グループはエンコードクエリを含む (n)**] タブの [クラス] フィールドで **[cmdb_ci_ni_telco_equipment]** を選択します。
CMDB グループを選択すると、選択した CMDB グループクラスのエンコードされたクエリの詳細が表示されます。
7. [条件] フィールドで、追加するメーカーの名前で Ericsson を上書きします。
たとえば、Ericsson を Dell で上書きします。
8. [Update (更新)] をクリックします。
9. 新しい製造元の残りのネットワークドメインごとに、これらの手順を繰り返します。
次の表では、残りのネットワークドメインに対して次の CMDB グループを作成します。これらのグループは、Ericsson の CMDB コードに基づいています。

CMDB グループの例

既存の CMDB グループ	既存の CMDB グループ
エリクソン・メーカーのコア機器	デルのコア製造元機器
モビリティエリクソンメーカー機器	Mobility Dellメーカー機器
Telco Ericsson メーカー機器	Telco Dell メーカー機器

タスクの結果

ネットワークインベントリワークスペースのデータ収集プロセスが実行されると、新しいネットワークメーカーが [メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットの円グラフに表示されます。新しい CMDB グループには、新しいメーカーに割り当てられたネットワーク機器レコードが含まれます。

ネットワークインベントリワークスペースへのアクセス

ネットワークインベントリワークスペースでネットワークドメインを設定し、選択したドメインに基づいてインベントリデータと割り当てを表示します。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

インベントリと割り当てを表示するようにネットワークドメインを設定します。

- 選択したドメインに応じて、各ランディングページウィジェットに表示される情報が更新されます。
- ランディングページには、ドメインフィルタリングを変更するまで、選択したドメインのデータが引き続き表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワークインベントリワークスペースに表示されるデータをフィルタリングするには、[ネットワークドメイン] を選択します
デフォルトでは、ネットワークインベントリワークスペースのランディングページに表示されるデータは、すべてのネットワークドメインを対象としています。
3. 「ネットワーク・ドメイン」を選択します。
選択したネットワークドメインが [適用済み] フィールドに表示されます。

4. 「使用可能」フィールドで、ネットワーク・ドメインを検索するか、その下のボックスに表示されている名前を選択します。
次のいずれかのドメインを選択できます。

5. [適用] を選択します。

ハードウェアカタログへの資産の公開

資産をハードウェアカタログに公開し、アプリケーションとアプリケーションの統合ハードウェア資産管理を使用してTelecommunications Network Inventory資産を調達できるようにします。

始める前に

資産をハードウェアカタログに公開する前に、その資産の在庫モデルレコードが既に作成されていることを確認してください。レコードがない場合は、インベントリモデルレコードを作成できます。詳細については、「[在庫モデルの作成](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

資産をハードウェアカタログに公開して、カタログアイテムとして使用できるようにすることができます。サービス要求を作成することで資産を調達できます。サービス・リクエストの作成方法の詳細については、次を参照してください [資産を調達するためのサービス要求を作成](#)。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリモデル > 設備モデル。
インターフェイス カードを公開するには、[インターフェイス カード モデル] を選択します。
3. レコードのリストから、必要なインベントリモデルレコードを選択します。
4. [ハードウェア カatalogに公開] を選択します。
インベントリ モデルが既にハードウェア カatalogに追加されている場合、[ハードウェア カatalogに公開] ボタンは表示されません。
5. [カテゴリ] フィールドで、ハードウェア資産を選択します。
6. [OK] を選択します。

タスクの結果

資産のカタログアイテムが作成されます。

在庫モデルの作成

インベントリ カatalog マネージャは、一連のフォームを使用して、の各 Telecommunications Network Inventoryネットワーク モデルのメタデータを定義できます。このプロセスでは、これらの各モデル間の関係も指定します。

概要

インベントリモデルで定義するメタデータは、関連するテンプレートを作成するとき、または機器のインスタンスをインスタンス化するとき重要な目的を果たします。これにより、機器ベンダーによって実施されている検証に確実に準拠し、サポートされていない機器が作成されないようにします。

- 名前、モデル番号、高さ、奥行きなどのインベントリモデルに含まれるメタデータは、その特定のタイプの機器の個々のインスタンスすべてで一貫性が保たれます。
- 在庫モデルの機器インスタンスを生成すると、すべてのインスタンスにこの標準メーカー情報が含まれます。

i 注:

テンプレートを作成し、モデルとテンプレートレコードからネットワーク資産を生成する方法の詳細については、以下を参照してください。

- [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレート](#) を作成しています
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

電気通信ネットワークの包括的なデジタルモデルを作成するには、次のタスクを実行します。

1. "機器モデル" フォームで、電気通信機器の在庫モデルを作成します。
 - 機器インベントリモデルの作成は、インベントリテンプレートを使用するときにネットワーク資産インスタンスを生成するプロセスを設定するための最初の要件です。
 - ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が使用する新しい機器を導入するたびに、機器モデルレコードを作成します。詳細については、「[機器モデルの作成](#)」を参照してください。
2. [機器所有者モデル] フォームで、機器所有者の在庫モデルレコードを作成します。詳細については、「[機器所有者モデルの作成](#)」を参照してください。
3. [ネットワークインターフェイスモデル] フォームで、ネットワークインターフェイスのインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[カードモデルを作成](#)」を参照してください。
4. [インターフェイスカードモデル] フォームで、ネットワークインターフェイスカードのインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルの作成](#)」を参照してください。
5. [物理接続モデル] フォームで、物理接続または有線接続ごとにインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[物理接続モデルを作成する](#)」を参照してください。
6. [論理接続モデル] フォームで、各論理接続のインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[論理接続モデルの作成](#)」を参照してください。
7. [ネットワークモデルの関係] フォームで、ネットワーク在庫の各モデルレコード間の関係を定義します。詳細については、「[ネットワーク モデルの関係を定義する](#)」を参照してください。

インベントリモデル関連タブ

インベントリモデルを作成すると、次の表の情報が各インベントリモデルレコードのこれらのタブに表示されます。

在庫モデルタブ

タブ	包含
帯域幅機能	帯域幅と、追加する必要がある物理および論理接続モデルとの関係。 i 注: [帯域幅機能] タブは、物理モデルと論理モデルでのみ使用できます。
資産	ネットワーク資産情報。

在庫モデルタブ (続く)

タブ	包含
構成アイテム	モデルに関連付けられている構成アイテム (CI)。
モデルコンポーネント	モデル内のコンポーネント。
ベンダーカタログアイテム	さまざまなベンダーから入手可能なネットワーク資産。
ハードウェアモデルのライフサイクル	ネットワーク資産に関するライフサイクル情報。
ネットワークモデルの関係	関連するネットワークインベントリモデル。

機器モデルの作成

ネットワーク資産インスタンスを生成するプロセスを設定するための最初の要件として、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 機器モデルを作成します。ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が使用する新しい機器を導入するたびに、機器モデルレコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

機器モデルは、ベンダーまたはメーカーから機器に提供されるメタデータを表します。これは、機器に対して作成されたさまざまなインスタンス間で一貫した特性を定義します。インスタンスは、サイトまたはデータセンターでのネットワーク資産の個々の発生です。このアプリケーションでは、製品メーカーの推奨に従ってネットワーク機器の物理特性データを定義します。機器モデルレコードを作成すると、機器モデル [sn_ni_core.equipment_product_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 インベントリモデル > 設備モデル。
3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。

機器モデル

フィールド	説明
表示名	機器モデルに表示される名前。システム プロパティは <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> 、機器モデルの表示名の生成方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。

フィールド	説明
名前	機器モデルの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 一般](#)」を参照してください。

7. 互換性のある機器モデルを追加するには、[互換性の追加] をクリックします。
機器モデルと連携するネットワーク資産を追跡できます。

注:
クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

8. 代替設備モデルを追加するには、[代替を追加] をクリックします。
別の機器モデルを置き換えるために使用できる機器モデルを追跡できます。

注:
クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) をクリックします。

10. **[Save (保存)]** をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。これらのタブで情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

11. モデルを削除するには、「保存」(**Save**) ボタンの隣にあるオプションアイコン (⋮) をクリックし、「削除」(**Delete**) をクリックします。

機器所有者モデルの作成

アプリケーションでTelecommunications Network Inventory機器ホルダーモデルを作成し、製品メーカーの推奨事項に従って機器ホルダーの物理的特性データを定義します。機器ホルダーモデルは、ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が使用する新しい機器ホルダーを導入するたびに作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

機器所有者モデルを作成すると、機器所有者モデル

[sn_ni_core.equipment_holder_product_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリモデル > 機器所有者モデル.
3. 新規 を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

機器所有者モデル

フィールド	説明
表示名	機器所有者モデルに表示される名前。システムプロパティは <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> 、機器ホルダーモデルの表示名の生成方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	機器所有者モデルの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のある機器ホルダーモデルを追加するには、[互換性の追加]を選択します。
機器モデルと連携できるネットワーク資産を追跡できます。

注:
クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

8. 代替機器ホルダーモデルを追加するには、[代替を追加]を選択します。
使用する機器モデルを追跡して、別の機器モデルに置き換えることができます。

注:
クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。

10. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン () を選択し、[削除] を選択します。

カードモデルを作成

アプリケーションでTelecommunications Network Inventoryカードモデルを作成し、製品メーカーの推奨に従ってインターフェイスカードの物理特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

カードモデルは、カードのメタデータを定義します。これは、そのモデルのさまざまなインスタンス化されたカード間で一貫した属性です。カードモデルを作成すると、カードモデル [sn_ni_core_interface_card_product_model] テーブルに モデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () をクリックし、 インベントリモデル > インターフェイスカードモデル.
3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

インターフェイスカードモデル

フィールド	説明
表示名	インターフェイスカードモデルに表示される名前。システムプロパティは <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> 、インターフェイスカードモデルの表示名の生成方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	インターフェイスカードモデルの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のあるインターフェイス カード モデルを追加するには、[互換性の追加(**Add Compatible**)] をクリックします。

インターフェイスカードモデルで動作するネットワーク資産を追跡できます。

i 注:

クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

8. 代替インターフェイス カード モデルを追加するには、[代替の追加(**Add Substitutions**)] をクリックします。

別のインターフェイスカードモデルを置き換えるために使用するインターフェイスカードモデルを追跡できます。

i 注:

クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) をクリックします。

10. **[Save (保存)]** をクリックします。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

11. モデルを削除するには、「保存」(**Save**) ボタンの隣にあるオプションアイコン (⋮) をクリックし、「削除」(**Delete**) をクリックします。

ネットワークインターフェイスモデルの作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワークインターフェイスモデルを作成し、メーカーの製品 推奨事項 に従ってネットワークインターフェイスの物理特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ネットワークインターフェイスモデルを作成すると、ネットワークインターフェイスモデル [sn_ni_core_network_interface_product_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、 インベントリモデル > ネットワークインターフェイスモデル。
3. 新規 を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

ネットワークインターフェイスモデル

フィールド	説明
表示名	ネットワークインターフェイスモデルに表示される名前。システムプロパティは <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> 、ネットワークインターフェイスモデルの表示名の生成方法を制御します。

フィールド	説明
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	ネットワークインターフェイスモデルの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

i 注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブのフォームで、フィールドに入力します。

i 注:
フィールドの詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルフォーム - \[情報\] タブ](#)」を参照してください。

7. 互換性のあるネットワーク・インターフェース・モデルを追加するには、「[互換性の追加](#)」を選択します。
ネットワークインターフェイスモデルで動作するネットワーク資産を追跡できます。

i 注:
クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

8. 代替ネットワーク・インターフェース・モデルを追加するには、「[置換の追加](#)」を選択します。
使用するネットワークインターフェイスモデルを追跡して、別のネットワークインターフェイスモデルを置き換えることができます。

i 注:
クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) を選択します。

10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン (⋮) を選択し、[削除] を選択します。

ケーブル モデルを作成する

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ケーブルモデルを作成し、メーカーの製品推奨事項に従ってケーブルの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ケーブル モデルを作成すると、ケーブル モデル [sn_ent_cable_model] テーブルにモデル レコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリモデル > ケーブルモデル.
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。



注:

フィールドの詳細については、「[ケーブル モデル フォーム](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイルアイコン) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します .
6. **[Save (保存)]** を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

次のタスク

モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン () を選択し、[削除] を選択します。

ストランドモデルの作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ストランドモデルを作成し、メーカーの製品推奨事項に従ってストランドの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ストランドモデルを作成すると、ストランドモデル [sn_ent_strand_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリモデル > ストランドモデル.
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。



注:

フィールドの詳細については、「[\[ストランドモデル\] フォーム](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイルアイコン) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します .
6. **[Save (保存)]** を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

次のタスク

モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン () を選択し、[削除] を選択します。

物理接続モデルを作成する

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 物理接続モデルを作成して、さまざまな物理接続のメタデータを定義します。物理接続モデルでは、モデルのインポート、ファイルまたはイメージの添付、省略可能なフィールドの追加または削除、互換性と置換の追加を行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

物理接続モデルレコードを作成すると、物理接続モデル [sn_ni_core_physical_connection_product_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、インベントリモデル > 物理接続モデル。
3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. **[詳細]** タブで、物理接続モデルの共通情報を入力します。
次の表は、物理接続フォームに固有のフィールドの一覧です。

物理接続モデル

フィールド	説明
表示名	物理接続モデルに表示される名前。システム プロパティは <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> 、物理接続モデルの表示名の生成方法を制御します。
名前	モデル管理者によって指定された物理接続モデルの製造元が割り当てた名前。

5. **[詳細]** タブで、物理接続モデルのフォームの **[全般]** セクションに入力します。

i 注:

フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 一般](#)」を参照してください。

6. **[詳細]** タブで、物理接続モデルのフォームの情報セクションに入力します。
次のフィールドは、**[情報]** セクションに固有のフィールドです。

物理接続フォーム - 情報

フィールド	説明
べき乗	電力 (ワット)。

フィールド	説明
音響パワー	ノイズ測定 (ベル) (1 ベル = 10 デシベル)。
接続タイプ	接続のタイプ: ケーブル マルチカラーケーブル接続。 接続 機器で確立する標準接続。たとえば、モニターとコンピューター間の接続などです。 ストランド マルチストランドファイバー接続。 ワイヤレス 3G、4G、または5Gワイヤレス接続。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の 3 次ディメンションを計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
測定単位	測定する単位を選択するオプション。

7. 互換性のあるモデルを追加するには、[互換性の追加] をクリックします。

互換性のリストは、歯車アイコン () を使用してカスタマイズできます。

i 注:

クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

8. 代替物理接続モデルを追加するには、「置換の追加」をクリックします。

使用するネットワークインターフェイスモデルを追跡して、別のネットワークインターフェイスモデルを置き換えることができます。

i 注:

クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () をクリックします。

10. [Save (保存)] をクリックします。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

11. モデルを削除するには、「保存」(**Save**) ボタンの隣にあるオプションアイコン (「」をクリックし、「削除」(**Delete**) をクリックします。

論理接続モデルの作成

アプリケーションで ServiceNow Telecommunications Network Inventory 論理接続モデルを作成して、さまざまな論理接続のメタデータを定義します。論理接続モデルでは、モデルのインポート、ファイルまたはイメージの添付、省略可能なフィールドの追加または削除、互換性と置換の追加を行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

論理接続モデル レコードを作成すると、論理接続モデル [sn_ni_core_logical_connection_product_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 インベントリモデル > 論理接続モデル。
3. 新規 を選択します。
4. [詳細] タブで、論理接続モデルの共通情報を入力します。
次の表は、論理接続フォームに固有のフィールドの一覧です。

論理接続モデル

フィールド	説明
表示名	論理接続モデルに表示される名前。システム プロパティは <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> 、論理接続モデルの表示名の生成方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	モデル マネージャーによって指定された論理接続モデルの製造元が割り当てた名前。

5. [詳細] タブで、論理接続モデルの一般セクション情報を入力します。

注:

フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、論理接続モデルの情報セクションに入力します。
次のフィールドは、[情報] セクションに固有のフィールドです。

論理接続フォーム - 情報

フィールド	説明
べき乗	電力 (ワット)。
音響パワー	ノイズ測定 (ベル) (1 ベル = 10 デシベル)。
動作	接続モードを選択するオプション。次のオプションのいずれかを選択します。 チャンネル チャンネル化とは、使用可能な帯域幅をより小さな帯域幅にサブレーティングすることを意味します。これにより、多くのデータ転送が混同されることなく同時に行われます。 接続 接続は、通常、インターフェイス カード上の複数の物理接続の集合を表します。
ルーティング動作	接続にルートが必要かどうかを指定するオプション。 - この接続タイプにルートが必要ない場合は、[ルートなし] を選択します。 「パラレル・シーケンシャル」を選択して、接続をルーティングするための複数経路接続リソースを有効にします。ルーティングされた接続にはパス要素が必要です。 i 注: ルーティングされた接続にはパス要素が必要です。

7. 互換性のあるモデルを追加するには、[互換性の追加] を選択します。

互換性テーブルのリストは、歯車 (カスタマイズアイコン) アイコンを使用してカスタマイズできます 

i 注:

クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

8. 代替論理接続モデルを追加するには、「置換の追加」を選択します。

使用するネットワークインターフェイスモデルを追跡して、別のネットワークインターフェイスモデルを置き換えることができます。

i 注:

クラシック環境では、この機能は管理者のみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) を選択します。

10. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプション アイコン () を選択し、[削除] を選択します。

ネットワークトポロジモデルの作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワークトポロジモデルを作成し、推奨事項に従ってトポロジのメタデータを定義します。トポロジモデルを使用すると、デザインとアサイン機能を使用してレコードを作成できます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ネットワークトポロジモデルレコードを作成すると、ネットワークトポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、インベントリモデル > ネットワークトポロジモデル.
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。

ネットワークトポロジモデルフォーム

フィールド	説明
動作	トポロジ構造のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 リング 各ノードはネイバーとリンクされ、閉じたネットワークを形成します。 リニアバス すべてのノードは、順番のチェーンで次々に接続されます。 メッシュ ノードは、できるだけ多くの他のノードに直接、動的、非階層的に接続され、相互に連携してデータをルーティングします。 星 すべてのノードは、通信リンクを使用して中央ハブに接続されています。 ツリー ノードは、木の葉、枝、幹に似た構成で配置されています。
ノード数	トポロジで許可されているノードの合計数。
タイプ	トポロジのタイプ。次のいずれかを選択します。 ○ 汎用 ○ 製品

5. **[Save (保存)]** を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連するタブの詳細については、「」を参照してください [在庫モデルの追加タブ](#)。

次のタスク

[設計と割り当て] 機能を使用して、トポロジ レコードを作成します。詳細については、「[デザインとアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークトポロジの可視化](#)

ネットワーク モデルの関係を定義する

ネットワークモデルエンティティ間の関係をキャプチャするネットワークモデルの関係をアプリケーションで Telecommunications Network Inventory 作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

モデル関係は、在庫モデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワーク モデル エンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性も定義できます。

たとえば、[関係タイプ] フィールドで [スロットする機器] を選択した場合は、特定の機器在庫モデルと特定のスロット在庫モデル間の関係を定義できます。この場合、指定されたスロットモデルのスロットの数が、指定された機器モデルと互換性があることがわかります。詳細については、「[ネットワーク・インベントリ関係のモデル化](#)」を参照してください。

ネットワーク モデルの関係を作成すると、ネットワーク モデル [sn_ni_core_network_model_relationship] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 インベントリモデル > ネットワークモデルの関係。
3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. 一般情報を入力して、ネットワーク モデルの関係を作成します。

注:

フィールドの詳細については、「[\[ネットワーク モデルの関係\] フィールド](#)」を参照してください。

5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) をクリックします。
6. **[Save (保存)]** をクリックします。
7. モデルを削除するには、「保存」 (**Save**) ボタンの隣にあるオプションアイコン (「」をクリックし、「削除」 (**Delete**) をクリックします。

ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートを作成しています

インベントリテンプレートマネージャーは、ネットワークインベントリワークスペースのリストビューからアクセスする機能を使用してテンプレートを作成します。これらのテンプレートには、機器を適切に構成できるように、詳細なビジネスガイドンスルールが含まれています。このプロセスでは、各在庫テンプレート間の関係も指定します。

概要

インベントリテンプレートには、機器を構成する適切な方法に関するルールが含まれています。これらの規則は、メーカーの操作要件に基づいています。テンプレートには、利用可能なスロットの数や、機器のハードウェアがそれに関連する機器と互換性があるかどうかなどの情報も含まれています。

ネットワークインベントリテンプレートは、ネットワークサービスプロバイダーがビジネスガイダンスに基づいてインスタンス化するネットワークエンティティの一意の構成を表します。テンプレートとその関係を適切に定義すると、インスタンス化プロセスでベンダーの構成ルールが使用され、サポートされていないネットワーク資産インスタンスは生成されません。

i 注:

テンプレートを作成し、モデルとテンプレートレコードからネットワーク資産を生成する方法の詳細については、「」を参照してください [ワークフローの Telecommunications Network Inventory モデリング](#)。

インベントリテンプレートを作成する

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory インベントリテンプレートを作成して、作成したインベントリモデルの構成を表します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

ネットワークインベントリテンプレートには、通信事業者からの詳細なビジネスガイダンスルールのセットが含まれています。これらのルールは、特定の運用要件に基づいて、機器構成を生成する方法を規定しています。インベントリテンプレートを作成すると、インベントリテンプレート [sn_ni_core_inventory_template] テーブルにテンプレートが作成されます。在庫テンプレートの詳細については、次のトピックを参照してください。

- [ネットワークインベントリテンプレート](#)
- [インベントリテンプレートの関係を作成しています](#)

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 ネットワークインベントリテンプレート > インベントリテンプレート。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、在庫テンプレートを作成するための一般情報を入力します。
次の表は、インベントリテンプレートに固有のフィールドの一覧です。

インベントリテンプレート

フィールド	説明
名前	モデル管理者によって指定された、この在庫テンプレートのメーカーが割り当てた名前。
インベントリモデル	に関連する Telecommunications Network Inventoryすべての製品モデルのリスト。 検索アイコン () を選択し、モデルを選択します。詳細については、「 在庫モデルの作成 」を参照してください。

フィールド	説明
デフォルトのフィールド値	デフォルトの CI 属性値を定義できるデフォルトのテンプレート。リスト内の値は、選択したインベントリモデルによって異なります。検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。詳細については、「 デフォルトテンプレートの作成 」を参照してください。
バージョン	テンプレートのバージョン
親帯域幅	親製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、関係タイプが [チャンネルへの論理接続] である論理接続モデルを選択した場合にのみ表示されます。
子帯域幅	子製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、関係タイプが [チャンネルへの論理接続] である論理接続モデルを選択した場合にのみ表示されます。

5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (添付ファイル ) を選択します。

6. [Save (保存)] を選択します。

[関連テンプレート] タブは、関連するテンプレートを表示、追加、更新、および削除できる [詳細] タブの横に表示されます。関連テンプレートの下に関連テンプレートを追加することもできます。

i 注:

- ラックとスロット、機器とスロット、機器とインターフェイス、インターフェイスカードとスロット、またはインターフェイスカードとインターフェイスの間のネットワークモデル関係を定義している場合、スロットとインターフェイスは、機器またはインターフェイスカードの [関連テンプレート(**Related Templates**)] の下に自動的に作成されます。それ以外の場合は、[新規] を使用して手動で追加します。
- 作成した各ラックユニットまたはスロットの [関連テンプレート] タブで、ラックまたはシェルフにシェルフ/機器を追加します。各シェルフに機器を追加することもできます。詳細については、「[関連テンプレートフォーム](#)」を参照してください。
- 各テンプレートの命名パターンは、関連するテンプレートの下 [名前パターン] 列から直接更新できます。作成されたスロットまたはインターフェイスの名前パターンは、モデルのデフォルトパターンから取得されます。詳細については、「[インベントリモデルフォーム - 情報](#)」を参照してください。
- スロットにインターフェイスカードを追加するには、スロット > 関連テンプレート > 新規 をクリックし、必要な詳細を入力します。

次のタスク

テンプレートを削除するには、オプション アイコン () を選択し、[削除] を選択します。

デフォルトテンプレートの作成

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory デフォルトテンプレートを作成して、特定の構成アイテム (CI) クラスのデフォルト属性定義をキャプチャします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートがインベントリテンプレートに関連付けられると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

[テンプレート] フィールドを使用して CI クラス情報を格納するテーブルを選択すると、特定の属性を選択して各属性のデフォルト値を設定できます。デフォルトテンプレートを作成すると、テンプレート [sn_ni_core_default_template] テーブルにデフォルトのテンプレートレコードが作成されます。デフォルトのテンプレートの詳細については、次を参照してください [ネットワークインベントリテンプレート](#)。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 ネットワークインベントリテンプレート > デフォルトテンプレート。
3. **[New (新規)]** をクリックします。
4. フォームで、一般情報を入力してデフォルトのテンプレートを作成します。
フィールドの詳細については、「[デフォルトテンプレートフォーム](#)」を参照してください。
5. **[Save (保存)]** をクリックします。
6. フォームをスケジュールするには、「スケジュール」をクリックし、「エンティティ生成スケジュール」フォームに入力します。

i 注:

スケジュールはクラシック環境でのみ使用できます。

フィールドの詳細については、「[予定エンティティ生成フォーム](#)」を参照してください。

インベントリテンプレートの関係を作成しています

機器のインベントリテンプレートを作成し、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 適切なテンプレート関係を確立する場合は、このシーケンスをガイドとして使用してください。

テンプレート関係を作成する順序

機器のインスタンス化、または作成したインベントリテンプレートの関係からネットワーク資産インスタンスを生成するタスクは、アプリケーションの重要な機能 Telecommunications Network Inventory です。適切に動作させるには、正確なインベントリモデル、デフォルトテンプレート、およびインベントリテンプレートを特定の順序で作成し、適切な機器関係を確立する必要があります。

i 注:

機器のインスタンス化の詳細については、以下を参照してください [電気通信の設計と割り当て](#)。

機器テンプレートまたはカードテンプレートを作成すると、モデルの関係のデータを使用して、関連するスロットとインターフェイステンプレートが自動的に作成されます。モデルの関係が作成されていない場合、関連するテンプレートは作成されません。この場合、テンプレートは手動で作成する必要があります。モデルの関係の詳細については、次を参照してください [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートを作成しています](#)。たとえば、機器モデルのテンプレートを作成すると、Telco 機器ホルダー (スロット) やインターフェイスなどの関連するテンプレートが自動的に作成されます。

これらの関連テンプレートの名前は、[機器モデル] フォームまたは [インターフェイスモデル] フォームの [情報] タブにある [スロット命名パターン] または [インターフェイス命名パターン] フィールドからマッピングされます。

- [スロット命名パターン] フィールドまたは [インターフェイス命名パターン] フィールドの詳細については、次を参照してください [インベントリモデルフォーム - 情報](#)。
- 命名規則の詳細については、を参照してください [関連するテンプレートの命名規則](#)。

機器のこれらの要素間に適切な関係を確立するには、これらのタスクを次の順序で実行します。

デフォルト・テンプレートの確立

このプロセスの最初のステップは、在庫テンプレートの関係シーケンスで使用する適切なデフォルトテンプレートを作成することです。

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートがインベントリテンプレートに関連付けられると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

詳細については、「[デフォルトテンプレートの作成](#)」を参照してください。

次のステップ

デフォルトテンプレートを確立したら、機器モデルの在庫テンプレートを作成してシーケンスを開始します。詳細については、「[機器モデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

機器モデルのインベントリテンプレートの作成

ネットワークインベントリワークスペースリストビューのインベントリテンプレートフォームで、機器モデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

機器在庫モデルを作成するときは、次の情報を入力する必要があります。

1. [名前] フィールドと [在庫モデル] フィールドでは、名前と在庫モデル番号は、その機器に対して一意である必要があり、他の機器と同じにすることはできません。
2. [在庫モデル] フィールドに、機器モデルへの参照修飾子を入力する必要があります。
3. 「デフォルト・フィールド値」フィールドで、デフォルト属性値のタグ付け用のデフォルト・テンプレートを選択する必要があります。

i 注:

これらのルールは、このプロセスの残りのステップにも適用されます。詳細については、以下を参照してください。

- [インベントリテンプレートを作成する](#)
- [デフォルトテンプレートの作成](#)

設備モデルのインベントリテンプレート

7450 ESS-1 Template

Details Related Templates (2)

Inventory Template

Name * 7450 ESS-1 Template

Inventory model * Nokia 7450 ESS-1

Inventory template

Parent

Available templates

Default Field Values Edge Router Default Data

Version

Name Pattern

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

次のステップ

次に、関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートの作成

ネットワークインベントリワークスペースリストビューのインベントリテンプレートフォームで、機器インベントリテンプレートに関連付けられているインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

次の例は、インターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを示しています。

インターフェイスカードモデルのインベントリテンプレート

Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

Details Related Templates (1)

Inventory Template

Name * Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

Inventory model * Nokia 7450 ESS-1 MDA CARD MODULE

Inventory template

Parent

Available templates

Default Field Values Edge Interface Card Default Data

Version

Name Pattern Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

i 注:

機器モデルがインターフェイスカードの複数のモデルをサポートしている場合は、モデルごとに個別のインベントリテンプレートを作成する必要があります。

次のステップ

次に、関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートの作成

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューのインベントリテンプレートフォームで、機器インベントリテンプレートに関連付けられているネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

次の例は、ネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを示しています。

ネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレート

注:

機器モデルが複数のモデルのネットワークインターフェイスをサポートしている場合は、モデルごとに個別のインベントリテンプレートを作成する必要があります。

次のステップ

次に、機器テンプレートにスロットを追加します。詳細については、「[機器在庫テンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

機器在庫テンプレートへのスロットの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用してスロットの関連付けを作成します。次の例は、機器モデルの関連在庫テンプレートを追加する方法を示しています。

手順

1. 「関連テンプレート」 タブで、「新規」をクリックします。

機器モデルインベントリテンプレート - 関連テンプレート

7450 ESS-1 Template

Details Related Templates

Related Templates

Last refreshed just now.

Attachments

2. [名前] フィールドに、スロットの一意の名前を入力します。ネットワーク資産インスタンスを生成すると、生成プロセスによってこの名前がスロットに割り当てられます。
3. [在庫モデル] フィールドに、この機器在庫テンプレートに関連付けられている機器所有者モデルが表示されます。機器所有者関係との既存の関係がない場合は、必要に応じて任意のスロットモデルを選択できます。

注:

[関連テンプレート] タブに添付されているスロットに対してインベントリテンプレートが作成されているように見えますが、デフォルトのテンプレート値のみが作成され、保存されます。それらに対して作成されたレコードは、正式なインベントリテンプレートとは見なされませんが、Template=N の属性で内部的にフラグが付けられます。

スロットへのインターフェース・カードの追加

Slot-1

Details Related Templates (1)

Inventory Template

Name *

Slot-1

Inventory model *

Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot

Relationship type *

Contains::Contained by

Inventory template

Parent

7450 ESS-1 Template

Available templates

Default Field Values

Traffic Slot Default Data

Version

Name Pattern

Slot-1

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

すべての関連スロットを作成すると、すべてのスロットが [関連テンプレート] タブに表示されます。

関連するすべてのスロットを含む機器インベントリテンプレート

7450 ESS-1 Template Save ...

Details Related Templates (2)

Related Templates 2 Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Slot-2	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:05:32	Slot-2
Slot-1	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:12:08	Slot-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

i 注:

スロットのインベントリテンプレートがない場合は、[デフォルトフィールド値] フィールドでデフォルトテンプレートを選択して、割り当てられたスロットのデフォルト属性を設定します。

次のステップ

次に、機器テンプレートにネットワークインターフェイスを追加します。詳細については、「[機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加](#)」を参照してください。

機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用して、関連するネットワークインターフェイスを追加します。

手順

ネットワーク インターフェイスを追加するには、スロットを追加したのと同じ方法で行います。詳細については、「[機器在庫テンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

機器モデルのインベントリテンプレート - 関連テンプレート

7450 ESS-1 Template Save ...

Details Related Templates (2)

Inventory Template

Name * 7450 ESS-1 Template

Inventory model * Nokia 7450 ESS-1

Inventory template

Parent

Available templates

Default Field Values Edge Router Default Data

Version

Name Pattern

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

1. 「関連テンプレート」 タブで、「新規」をクリックします。
2. 「名前」フィールドに、ネットワーク・インターフェースの一意の名前を入力します。ネットワーク資産インスタンスを生成すると、生成プロセスによってこの名前がスロットに割り当てられます。

[在庫モデル] フィールドに、備品在庫テンプレートに関連付けられている備品在庫モデルが表示されます。在庫モデルが関連付けられている場合は、必要に応じて選択できます。

ネットワーク・インターフェースの追加

The screenshot shows the '10 GigabitEthernet Template' details page. The 'Name' field is '10 GigabitEthernet Template'. The 'Inventory model' is '10 GigabitEthernet'. The 'Inventory template' field is empty. The 'Available templates' field is empty. The 'Default Field Values' field is 'High Speed Interface Default Data'. The 'Version' field is empty. The 'Name Pattern' field is '10 GigabitEthernet Template'. The 'Attachments' section on the right shows 'No Attachments Available' and a 'Browse' button.

次のステップ

次に、インターフェイスカードをスロットに追加します。詳細については、「[スロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加](#)」を参照してください。

スロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用して、選択したスロットにインターフェイスカードを追加します。

手順

[関連テンプレート(**Related Templates**)] タブで、インターフェイスカードを追加するスロットを選択します。

関連するすべてのスロットを含む機器インベントリテンプレート

7450 ESS-1 Template

Details Related Templates (2)

Related Templates 2

Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Slot-2	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:05:32	Slot-2
Slot-1	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:12:08	Slot-1

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

スロットレコードが表示されたら、[**Related Templates** (関連テンプレート)] タブで **[New (新規)]** をクリックします。関連するインターフェイスカードのインベントリテンプレートを作成します。

関連するインターフェイスカードのインベントリテンプレート

card compatibilities of ESS

Details

Inventory Template

Name *

card compatibilities of ESS

Inventory model *

Nokia 7450 ESS-1 MDA CARD MODULE

Relationship type *

Contains::Contained by

Inventory template

Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

Available templates

ESP 20 Card Template X 4780423f54e18110f87749bbc4ad3822 X

Default Field Values

Version

Name Pattern

card compatibilities of ESS

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

1. [名前(**Name**)] フィールドに、インターフェイス カードの名前を入力します。
2. [インベントリモデル (**Inventory model**)] フィールドで、指定されたスロットとインターフェイスカードのモデル関係に従って関連付けられたネットワークインターフェイスカード。在庫モデルが関連付けられている場合は、必要に応じて選択できます。

フォームを送信すると、関連するスロットの [関連テンプレート] タブにインターフェイスが表示されます。インターフェイスカードが関連付けられている場合は、機器テンプレートのすべてのスロットをペアリングするまで、この手順を繰り返します。

次の例は、インターフェイスカードが関連付けられているスロットのインベントリテンプレートを示しています。

自動翻訳

インターフェイスカードが関連付けられたスロット

Slot-1

Details Related Templates (1)

Related Templates 1
Last refreshed 4m ago.

Name	Inventory model	Available templates	Updated
card compatibilities of ESS	Nokia 7450 ESS-1 MDA CARD MODULE	ESP 20 Card Template, 4780423f54e18110f87749bbc4ad3822	2022-06-12 02:49:29

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

カードモデルにスロット占有属性があり、その値が 1 より大きい場合、[占有スロット] フィールドがフォームに表示されます。これにより、このカードがインスタンス化されたときに、他のスロットも添付されていることを識別できるようになります。このフィールドを使用すると、その機器に接続されている他のスロットが、選択しているネットワークインターフェイスと互換性があるかどうかを示すことができます。

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイステンプレートにサブスロットを追加します。詳細については、「[インターフェイスカードテンプレートへのサブスロットテンプレートの追加](#)」を参照してください。

インターフェイスカードテンプレートへのサブスロットテンプレートの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、作成したインターフェイスカードテンプレートにサブスロットを追加できます。この手順は、既存の機器在庫テンプレートに新しいカードモデルを追加するたびに実行します。

手順

インターフェイス カードが SFP(Small Form Pluggable)をサポートしている場合、カードにはスロットがあります。この関係を作成するには、機器在庫テンプレートでスロットを追加するために使用したのと同じ手順を使用できます。詳細については、「[機器在庫テンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

次の例は、サブスロットが追加された在庫カードテンプレートを示しています。

インターフェイスカードテンプレート - 関連テンプレート

Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

Details Related Templates (1)

Related Templates 1
Last refreshed just now.

Attachments

インターフェイス カード テンプレートの [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックしてサブスロット インベントリ テンプレートを作成します。

サブスロットのインベントリテンプレート

サブスロットインベントリテンプレートを送信すると、インターフェイスカードの [関連テンプレート] タブに表示されます。

関連するサブスロットを含むインターフェイスカードテンプレート

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイスをインターフェイスカードテンプレートに追加します。詳細については、「[インターフェイスカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加](#)」を参照してください。

インターフェイスカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加

インターフェイスカードがネットワークインターフェイスを直接サポートしている場合は、ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで、2 つのインターフェイス間にインターフェイステンプレートの関係を作成します。

手順

インターフェイステンプレートの [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックしてインターフェイスカードテンプレートを作成します。

インターフェイスカードのインベントリテンプレート - 関連テンプレート

[インベントリテンプレート] フォームで、アプリケーションのインターフェイスカード Telecommunications Network Inventory のインベントリテンプレートを作成します。

ネットワークインターフェイスのインベントリテンプレート

Port-1 Save ...

Details

Inventory Template

Name *
Port-1

Inventory model *
GigabitEthernet

Relationship type *
Contains::Contained by

Inventory template
Available templates
Default Field Values
Version
Name Pattern
Port-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

インベントリテンプレートを送信すると、インターフェイスカードの [関連テンプレート] タブに関係が表示されます。

関連するインターフェイスカードを含むインターフェイスカードテンプレート

Nokia ess-m10-1gb-sfp template Save ...

Details Related Templates (2)

Related Templates 2
Last refreshed 7m ago.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Port-2	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:28	Port-2
Port-1	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:23	Port-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

次のステップ

次に、インターフェイスカードをサブスロットに追加します。詳細については、「[サブスロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加](#)」を参照してください。

サブスロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加

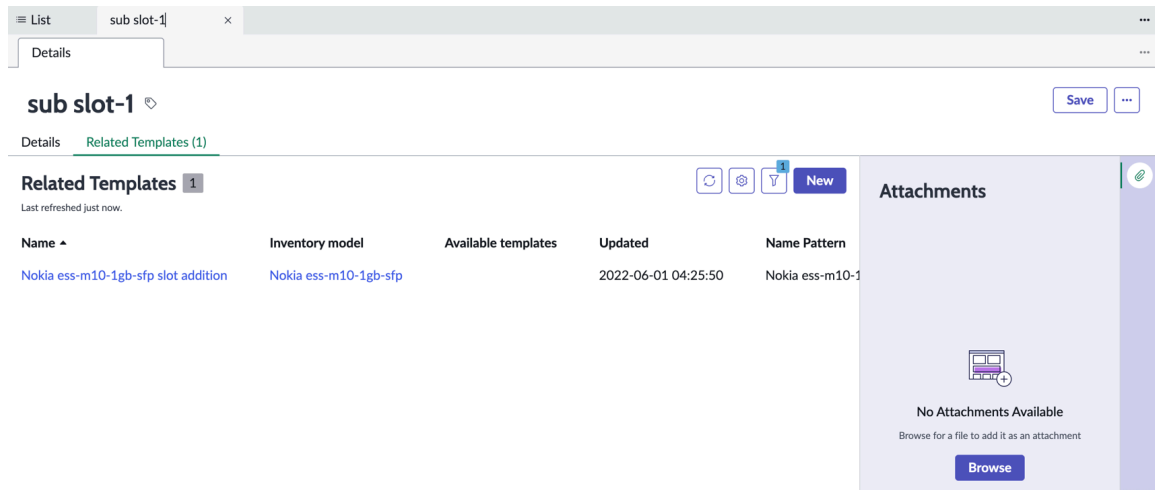
ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで、機器に関連付けられているサブスロットにインターフェイスカードを追加します。

手順

このタスクは、「関連インターフェイスカードの機器テンプレートへの追加」の手順と同じ方法で実行します。この前の手順の詳細については、次を参照してください [機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加](#)。

次の例は、サブスロットに割り当てられたインターフェイスカードモデルを示しています。

サブスロットに割り当てられたインターフェイスカード



子カードへのサブスロットの追加

サブスロットに追加するインターフェイスカードテンプレートは、子カードおよびドーターカードと呼ばれます。

- これらのサブスロット内に入るインターフェイスカードテンプレートは、子カードと呼ばれます。
- 子カード スロットにはサブスロットを含めることができ、子カードのサブスロット内に入るインターフェイス カード テンプレートは ドーター カードと呼ばれます。

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイスを子カードまたはドーターカードに追加します。詳細については、「[子カードまたはドーターカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加](#)」を参照してください。

子カードまたはドーターカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加

最後の手順として、オプションで、ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで、ネットワークインターフェイステンプレートを子およびドーターカードテンプレートに追加できます。

手順

次の例は、子カードまたはドーターカードに追加されたネットワークインターフェイステンプレートを示しています。

インベントリテンプレート - ネットワークインターフェイスカード

Nokia ess-m10-1gb-sfp template [Save] [More]

Details Related Templates (2)

Related Templates 2
Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Port-2	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:28	Port-2
Port-1	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:23	Port-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
[Browse]

i 注:

すべてのインベントリテンプレートがネットワークインターフェイステンプレートと関係があるわけではありません。一部の機器インベントリテンプレートには単一のネットワークインターフェイス関係しかありませんが、一部のインターフェイスカードテンプレートには親としてのスロットとの関係がありません。ただし、機器およびインターフェイスカードテンプレートには、モデル関係に従って定義された多数のスロットまたはインターフェイスが必要です。

次のステップ

これで、この機器の在庫テンプレート関係の作成は完了です。別の機器に対して別のインベントリテンプレートを作成するには、次のアクションを実行します。

1. そのインベントリテンプレートの関係シーケンスで使用するデフォルトテンプレートを作成します。
2. 機器モデルのインベントリテンプレートの作成トピックに進み、プロセス全体を再度繰り返します。詳細については、「[機器モデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワークインベントリをインスタンス化することで、サイトレベルでインベントリレコードを生成して検証できます。また、定義済みのインベントリテンプレートとモデルから個々のネットワークインスタンスを生成し、それらが適切に設定されていることを確認することもできます。

概要

ネットワークインベントリをインスタンス化するには、次のタスクを実行することにより、設計およびアサイン機能を使用します。

1. 変更モデルを使用して変更要求を作成します。

変更要求は、ネットワーク内の変更の理由、優先度、リスク、変更のタイプ、変更カテゴリなど、変更に関する詳細を記録します。変更要求を使用すると、既存のネットワークワークフローを変更できます。また、アプリケーション機能の拡張、新しいサービスの要求、ネットワーク構造の変更などを行うこともできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

2. 変更タスクを実行します。

タスクのリストは、変更によってトリガーされたワークフローから作成されるか、または手動で変更タスクを作成することができます。変更タスクは、要求された変更の実装に必要なさまざまなタ

スクを追跡および管理するのに役立ちます。変更タスクのリストを使用して、アクションを実行して構成アイテムを作成できるインベントリ エージェントにタスクを割り当てることができます。同時に、他のエージェントがアサインされた変更タスクに取り組むことができます。エージェントがすべてのタスクを完了してクローズした後、コメントを追加して変更要求をクローズすることもできます。詳細については、「[での変更タスクの作成および実行 Telecommunications Network Inventory](#)」を参照してください。

設計およびアサイン機能でのレコードプロデューサーの使用

選択した変更モデルにレコードプロデューサーフォームがアサインされている場合は、指定された入力に基づいて、変更要求が自動的に生成されます。レコードプロデューサーフォームが割り当てられていない場合は、レコードプロデューサーを割り当てることができます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

レコードプロデューサーは、在庫割り当てタスクを実行するために入力する必要があるデータをキャプチャします。レコードプロデューサーフォームをマッピングすると、次のタスクを実行できます。

- サードパーティアプリケーションのパラメーターをアプリケーションに Telecommunications Network Inventory 渡します。Order Management for Telecommunications and Media (OMT) 統合はその一例です。レコードプロデューサーフォームを変更モデルにアサインした後、その変更モデルを選択すると、アサイン済みフォームが表示されます。フォームに入力すると、変更要求フォームに詳細が入力され、変更タスクが自動的に作成されます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。
- 変更要求のタイプを変更します。変更タスク フォームには、変更要求のタイプを説明する [要求タイプ] フィールドが含まれています。選択に基づいて、[タスク属性] タブにフォームが表示されます。変更タスクの要求タイプ フィールドにレコード プロデューサ フォームを割り当てることにより、タイプを選択したときにどのフォームを表示するかを決定できます。選択した [要求タイプ] フィールドに基づいて、[タスク属性] タブにフォームが表示されます。フォームのフィールドに入力すると、変更要求フォームが更新されます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプのレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成

Telecommunications Network Inventory アプリケーションのネットワークインベントリワークスペースから、変更モデルの変更要求を作成、レビュー、更新、またはクローズします。ネットワークインスタンスのインスタンス化の詳細を分析することもできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

Telecommunications Network Inventory アプリケーションで変更要求タスクを作成、レビュー、更新、またはクローズできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更あり > すべて。
3. オプション: [自分にアサイン済み] を選択して、アサインされた変更タスクのリストを表示します。

注:

[変更]のリストビューには、ドメインに関係なく、すべての変更要求のリストが表示されます。Telecommunications Network Inventory (TNI) 関連の変更要求のみを表示するフィルターを追加します。

4. [新規] を選択します。

5. 検索フィールドで、フィルターを使用して、変更要求の作成対象となる次の変更モデルのいずれかを選択します。

- カードを追加
- インベントリ機器を作成
- 論理接続を作成
- 物理接続を作成
- ラックを作成
- ラックに機器を追加
- ラックから機器/シェルフを取り外す
- IP アドレス割り当て
- 電話番号割り当て

i 注:

デザインアサインリンクアグリゲーショングループと GPON ブロードバンドサービスについては、「[デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成](#)」および「[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。

6. [次へ] を選択します。

意思決定テーブルのエントリに応じて、レコードプロデューサーまたは変更要求フォームが表示されます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

7. [Save (保存)] を選択します。

変更要求が作成され、関連するタブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。

8. [概要] タブで、次のアクションを 1 つ以上実行します。

- この変更要求の概要を表示または更新します。
 - スコープを追加します。
- 詳細については、「[スコープ](#)」を参照してください。
- この変更要求をグループまたはユーザーにアサインします。

i 注:

この変更要求をアサインするには、割り当て > [アサイン先グループ] と [アサイン先] を入力します > 保存。

- この変更要求のスケジュールを設定します。詳細については、「[スケジュール](#)」を参照してください。
- この変更要求のリスクを計算します。

[リスクを計算] を選択すると、[詳細] タブの [リスク] フィールドで更新が分析されます。

- [新規] を選択して、変更タスクを表示および作成します。

詳細については、「[での変更タスクの作成および実行 Telecommunications Network Inventory](#)」を参照してください。

9. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

フィールド値の説明については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

10. [Save (保存)] を選択します。

入力された詳細情報に基づいて変更タスクが作成されます。[影響を受ける CI] や [影響するサービス/CI] など、その他の関連タブも更新されます。

11. オプション: タブを選択して、変更要求に与える影響を確認します。

次のタスク

変更タスクを作成、レビュー、更新、またはクローズします。

詳細については、「[での変更タスクの作成および実行 Telecommunications Network Inventory](#)」を参照してください。

デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成

Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用して、デザインアサインリンクアグリゲーションの変更要求を作成します。デザインアサインリンクアグリゲーショングループのコードを確認、更新、または削除することもできます。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更あり > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. [デザインアサインリンクアグリゲーショングループ] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. [レコードプロデューサー] フォームで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」のフォームを参照してください。

注:

デフォルトでは、[レコードプロデューサー] フォームがデザインおよびアサインアグリゲーショングループにアサインされます。その他の変更モデルについては、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームの割り当て](#)」を参照してください。

7. [送信] を選択します。

新しい変更要求が作成され、TNI LAG テンプレートを変更するワークフローがトリガーされます。3 つの変更タスクが作成されています。

8. [概要] タブで変更タスクセクションを展開するか、[変更タスク] タブを選択します。

注:

[概要] タブの詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

変更タスクを作成するには、「[での変更タスクの作成および実行 Telecommunications Network Inventory](#)」を参照してください。

9. タスクを開きます。

10. [詳細] タブの変更タスクフォームで、フィールドに入力します。

フィールド値の説明については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」の「変更タスクフォーム」を参照してください。

11. [影響を受ける CI] 関連タブを選択して、影響を受ける構成アイテムを作成、レビュー、更新、または削除します。
12. [Save (保存)] を選択します。

次のタスク

[リンクアグリゲーションにメンバーを追加または削除する変更要求の作成](#) を使用して LAG に対してメンバーを追加または削除します。

リンクアグリゲーションにメンバーを追加または削除する変更要求の作成

アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory、デザイン、アサイン、リンク集計、変更要求にメンバーを追加または削除するための変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更あり > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. [リンクアグリゲーションにメンバーを追加/削除] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

リンクアグリゲーションにメンバーを追加/削除

フィールド	説明
LAG	リストから LAG を選択する
帯域幅	選択した LAG のリストから帯域幅を変更または選択する
リビジョンを作成	選択した LAG のリビジョンを作成するオプション。 i 注: LAG の改訂は、すでにアクティブな改訂プロセスが行われている間は不可能です。
メンバーインターフェイス A	選択した LAG のインターフェイス A。追加または削除して、選択した LAG のメンバーインターフェイス A を変更します。 i 注: リストには、物理接続のポート A またはポート Z として設定されている子モデルインタフェースのみが表示されます。

フィールド	説明
メンバーインターフェイス Z	選択した LAG のインターフェイス Z。追加または削除して、選択した LAG のメンバーインターフェイス Z を変更します。 i 注: リストには、物理接続のポート A またはポート Z として設定されている子モデルインタフェースのみが表示されます。

7. [送信] を選択します。
8. オプション: [影響を受ける CI] タブを選択します。
9. オプション: V1 という接尾辞のある変更済み CI を選択します。
[リビジョンを作成] チェックボックスがオンになっている場合のみ、変更された CI が [影響を受ける CI] タブに追加されます。
10. オプション: 必要に応じてフィールドを変更します。
 - 新しいメンバーインターフェイスを追加すると、対応する論理インターフェイスを持つ新しい ENET が自動的に作成されます。
 - 既存の ENET 接続に属するインターフェイスを追加すると、ENET を作成する代わりに、そのインターフェイスが既存の ENET 接続に自動的にリンクされます。
11. オプション: 運用化のための変更タスクを作成します。
詳細については、「[構成アイテムの運用化](#)」を参照してください。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する

Gigabyte Passive Optical Network (GPON) ブロードバンドサービスを設計できるように、Telecommunications Network Inventory アプリケーション内で変更要求を作成します。GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用すると、GPON ブロードバンドサービスの注文要求を満たせるように、複数の変更タスクを作成できます。

始める前に

GPON ブロードバンドサービスの変更要求を確立し、関連する変更タスクを完了する前に、インベントリカタログマネージャーとテンプレートマネージャーは次のネットワーク構成セットアップを行う必要があります。

1. 移動先 [テレコムネットワークインベントリ](#) > [インベントリモデル](#) で在庫モデルを作成し、それらの関係を定義します。

詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー](#)」を参照してください。

2. 移動先 [テレコムネットワークインベントリ](#) > [ネットワークインベントリテンプレート](#) をクリックし、機器のインベントリテンプレートを作成し、テンプレートの関係を確立します。

詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートを作成しています](#)」を参照してください。

Telecommunications Network Inventory の詳細デモデータとコアデモデータをインストールします。

必要なロール: `sn_ni_core.inventory_admin`、`sn_ni_core.inventory_agent`

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 変更あり > すべて.
3. [新規] ボタンを選択します。
4. 選択 **GPON** ブロードバンドサービス > 次へ.
5. レコードプロデューサーフォームで、フィールドを更新できます。
レコードプロデューサーフォームのフィールドは自動入力されます。このデモでは、GPON ブロードバンドサービスの設計とアサインを示す構成アイテム (CI) を作成する方法を説明します。
フローは必要に応じて変更できます。フィールドの詳細については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. [保存] を選択します。
変更 (設計と割り当て) フローがトリガーされ、変更要求が作成されます。指定された入力内容に応じて、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。
7. 各変更タスクレコードを開いてレビューします。
[タスク属性] フォームのフィールドに入力します。フィールド値の説明については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
8. [送信] を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
9. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
10. [Save (保存)] を選択します。

論理接続エンドポイントの変更モデルを使用した変更要求の作成

Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用して、論理接続とその詳細を変更する論理接続エンドポイントの変更モデルを使用して変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 変更あり > すべて.
3. [新規] ボタンを選択します。
4. 選択 論理接続エンドポイントを変更 > 次へ.
5. フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. [送信] を選択します。
新しい変更要求が作成されます。さらに、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。
7. [変更タスク] タブを選択します。
8. 変更タスクレコードを開いてレビューします。
9. [タスク属性] フォームで、必要に応じて論理接続のエンドポイントと詳細を更新します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

10. [送信] を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
11. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
12. [Save (保存)] を選択します。

物理接続の変更を使用した変更要求の作成

Telecommunications Network Inventory アプリケーションを使用して、物理接続とその詳細を変更する物理接続エンドポイントの変更モデルを使用して変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更あり > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. 選択 物理接続エンドポイントを変更 > 次へ。
5. フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. [送信] を選択します。
新しい変更要求が作成されます。さらに、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連のタブ](#)」を参照してください。
7. [変更タスク] タブを選択します。
8. 変更タスクレコードを開いてレビューします。
9. [タスク属性] フォームで、必要に応じて物理接続のエンドポイントと詳細を更新します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
10. [送信] を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
11. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
12. [Save (保存)] を選択します。

デザインとアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成

アプリケーションの設計とアサイン機能 Telecommunications Network Inventory を使用して、ネットワークトポロジレコードを作成します。ネットワーク トポロジを作成することで、ネットワーク エlementがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

テンプレートをインスタンス化すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology] テーブルに作成されます。また、ルート ノードはトポロジ ルート ノード [cmdb_network_topology_root_node] テーブルに格納されます。トポロジ・データ・モ

デルの詳細については、次を参照してください [Telecommunications Network Inventory のデータモデル](#)。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更あり > すべて。
3. [新規] ボタンを選択します。
4. [トポロジの設計と割り当て] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. **[Save (保存)]** を選択します。
変更タスクが作成されます。
8. 変更タスクを開きます。
9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。
タスク属性フィールドの詳細については、「」を参照してください [変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)。
10. [送信] を選択します。

タスクの結果

トポロジおよびネットワークトポロジのルートノードレコードが作成されます。

次のタスク

トポロジは [Network Viewer] ウィンドウで表示できます。詳細については、「[ネットワーク トポロジの表示](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク トポロジ モデルの作成](#)

での変更タスクの作成および実行 **Telecommunications Network Inventory**

アプリケーションで Telecommunications Network Inventory 変更要求を作成した後、変更タスクを作成します。変更タスクを作成することで、要求された変更を完了することができます。

始める前に

- 1. 移動先 テレコムネットワークインベントリ > インベントリモデルで在庫モデルを作成し、それらの関係を定義します。

詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成およびレビュー](#)」を参照してください。

- 2. 移動先 テレコムネットワークインベントリ > ネットワークインベントリテンプレートをクリックし、機器のインベントリテンプレートを作成し、テンプレートの関係を確立します。

詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートを作成しています](#)」を参照してください。

- 必要なロー

ル:sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_cat

このタスクについて

変更要求フォームの詳細に基づいて、変更タスクが自動的に作成されます。変更タスクの表示、作成、更新、クローズは、[概要] タブまたは変更要求の [タスク の変更] タブから行うことができます。レコードプロデューサーフォームを変更タスクに割り当てることもできます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプのリコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 変更あり > すべて.
3. 変更要求を開きます。
4. [概要] タブで、下にスクロールして [変更タスク] セクションを展開します。
5. オプション: [変更タスク] タブを選択します。
6. 変更要求が作成されたら、[概要] タブで下方向にスクロールして [変更タスク] セクションを展開します。
[概要] タブに移動して、変更タスクの作成を開始することもできます。
7. **[New (新規)]** を選択します。
8. 変更タスク タイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
9. [作成] を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
10. オプション: 既存の変更タスクを選択します。
11. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
- i 注:**

リンク アグリゲーション グループと GPON ブロードバンド サービスのアサインの設計については、および[GPON ブロードバンドサービス変更モデル](#)を使用して変更要求を作成するを参照してください[デザインアサインリンクアグリゲーション](#)を使用した変更要求の作成。
12. [送信] を選択します。
指定された詳細で [詳細] タブが更新され、CI に必要な変更が実行されます。実行されたすべての変更は、作業メモで更新されます。フィールドの詳細については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
- i 注:**

ラックから機器またはシェルフを削除すると、選択した CI とともに、機器 / シェルフとラック間の関連するすべての CI 関係も削除されます。
13. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
ラックを作成したら、[構成アイテム]、[影響を受ける CI] に移動して、ラックの正面図と背面図を表示します。

14. オプション: 変更モデルがラックの場合は、構成アイテムを選択してラックを表示します。

15. **[Save (保存)]** を選択します。

構成アイテムの変更

CI を変更して、アプリケーションの既存または新規の CI Telecommunications Network Inventory を更新します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更あり > すべて。
3. 目的の変更要求を選択します。
変更要求を作成するには、次を参照してください [ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)。
4. [変更タスク] タブを選択します。
5. **[New (新規)]** を選択します。
6. 変更タスク タイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
7. [作成] を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
8. [要求タイプ] フィールドで **[CI を変更]** を選択し、他のフィールドに入力します。
その他のフィールドの詳細については、次を参照してください [変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)。
9. **[Save (保存)]** を選択します。
10. [タスク属性] フォームで、変更する **CI** のリストから CI を選択します。
11. [送信] を選択します。

注:

クローン作成プロセスとクローン作成する必要がある関連テーブルをカスタマイズするには、「」を参照してください [CI クローン作成プロセスのカスタマイズ](#)。

タスクの結果

選択した CI と関連テーブルがクローンされ、クローンされた CI 名が [構成アイテム] フィールドに入力されます。また、元の CI とクローンされた CI の両方が [影響を受ける **CI**] タブに追加されます。

次のタスク

これで、クローンされた CI を更新し、CI を運用可能にすることができます。運用化の詳細については、以下を参照してください [構成アイテムの運用化](#)。

構成アイテムの運用化

変更を完了して元の CI に適用できるように、構成アイテムを運用化します。

始める前に

- 改訂された CI があることを確認します。
- 必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. リストアイコン () を選択し、 変更あり > すべて.
3. 目的の変更要求を選択します。
変更要求を作成するには、次を参照してください [ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)。
4. [変更タスク] タブを選択します。
5. **[New (新規)]** を選択します。
6. 変更タスク タイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
7. [作成] を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
8. [要求タイプ] フィールドで **[CI の運用化]** を選択し、他のフィールドに入力します。
その他のフィールドの詳細については、次を参照してください [変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)。
9. **[Save (保存)]** を選択します。
10. [タスク属性] フォームで、[運用化する **CI**] フィールドのリストから CI を選択するか、[変更要求 ID] フィールドから変更要求を選択します。
11. [送信] を選択します。
変更タスク のステータス が [クローズ済み] に変更されます。作業メモは、運用可能な CI の詳細を反映して更新されます。



注:

変更要求を選択すると、[影響を受ける **CI**] タブにリストされているすべての改訂された構成アイテム (CI) が運用可能になり、それに応じて作業メモが更新されます。

ワークスペースでの **CMDB** ネットワークインベントリ構成アイテムの表示

Workspace を使用して CMDB 、を CMDB検索および探索し、その健全性と最近のアクティビティを調べ、組織内のタスクをサポートするためのさまざまなダッシュボードやツールにアクセスできます。

ワークスペースの CMDB 前提条件

- プラグイン:Workspace を使用する CMDB 前に、次のプラグインを有効化する必要があります。
 - CMDB CSDM サポート (com.snc.cmdb.csdm)
 - CMDB アクティベーション (com.snc.cmdb.csdm.activation)
- ロール:ワークスペースにアクセスする CMDB には、少なくとも次のいずれかのロールが必要です。
 - sn_cmdb_admin
 - sn_cmdb_editor
 - sn_cmdb_user

i 注:

ワークスペースでは CMDB、一部のダッシュボードとリストビューに、主要な管理者、エディター、またはユーザーロールに加えて特定のロールが必要です。割り当てられているロールによっては、ワークスペースで CMDB 利用可能な一部の機能にしかアクセスできない場合があります。

- 機能: CMDB ワークスペースでは、さまざまなアプリケーションや機能にアクセスできます。ただし、意味のあるレポート、概要、および傾向を提供するには、これらの機能の一部を設定して構成し、生成されたデータをワークスペースで使用できるように CMDB する必要があります。

ワークスペースへのアクセスCMDB

からアプリをインストールした後、ServiceNow Storeに移動します。ネットワークインベントリ > **CMDB Workspace**.

CI 検索

クラスの構成アイテム (ネットワーク資産 CI) を検索する条件を最大 5 つ指定します。これらの条件は、選択したクラスの属性に基づいています。結果リストでネットワーク資産 CI をクリックすると、ネットワーク資産 CI のタイムライン、健全性の概要、属性など、ネットワーク資産 CI の詳細が表示されます。

詳細については、「CI 詳細」ページのセクションを参照してください。

CI 概要

、およびServer共通のクラスカテゴリCloudApplications別にグループ化されたネットワークCMDB資産 CI の概要を取得します。

クラスグループを選択して、グループに含まれるすべてのクラスを表示してから、ネットワーク資産 CI を表示するクラスを選択します。

[結果] リストでネットワーク資産 CI をクリックすると、タイムライン、健全性の概要、およびネットワーク資産 CI の属性を含む概要ページを表示できます。詳細については、「CI 詳細」ページのセクションを参照してください。

CMDB 健全性

ネットワーク資産 CI の測定基準を取得し、関係の健全性を確認します。パーセンテージの数値をクリックすると、CMDB 健全性および CMDB 関係性の健全性ダッシュボードに移動し、次の情報を確認できます。

- 全体のパーセンテージの数値は、すべてのネットワーク資産 CI の健全性を、正確性、コンプライアンス、完全性の 3 つの重要業績評価指標 (KPI) すべてを集計として表しています。各ネットワーク資産 CI には、サブ測定基準が含まれています。
- 関係性のパーセンテージの数値は、孤立、重複、および古い関係性の KPI の集計として、関係の全体的な健全性を表します。

7 日間のアクティビティ傾向

CMDB ワークスペースには、過去 7 日間のアクティビティ CMDB の概要を示す次のチャートが含まれています。

過去 7 日間の CI アクティビティ

ネットワーク資産 CI に関連する測定基準を示すチャートが表示されます。たとえば、新規のネットワーク資産 CI、更新されたネットワーク資産 CI、および重複するネットワーク資産 CI の数の測定基準を表示できます。

7 日間のアプリケーションサービスアクティビティ

アプリケーションサービスに関連する測定基準を示すチャートを表示します。たとえば、アプリケーションサービスの合計数、新しいアプリケーションサービス、更新されたアプリケーションサービス、機能停止のあるアプリケーションサービスの数を確認できます。

自分が管理する CI

ネットワーク資産 CI クラス別にグループ化された、管理するネットワーク資産 CI のリストを表示します。ネットワーク資産 CI の属性に割り当てられているグループのメンバーである場合、ネットワーク資産 CI *Managed by Group* はこのリストに表示されます。

クイックリンク

ダッシュボードとツールへのリンク CMDB のリストを参照してください。

注:

リンクは、アプリケーションのインストール、アクティブなプラグイン、およびアサインされたロールに基づいて、条件付きで利用できます。リンクが表示されない場合は、リンクのすべての要件が満たされていることを確認してください。

- CI クラス マネージャー: 基本的なクラス定義、ならびに識別および調整 (IRE) および CMDB 健全性のためのクラス設定を表示、作成、または編集できます。
- CMDB 健全性ダッシュボード: 健全性レポートを表示し、健全性ダッシュボードで CMDB ネットワーク資産 CI が評価される健全性 KPI と測定基準を設定できます。

CI 詳細ページ

ネットワーク資産 CI レコードにドリルダウンすると、ネットワーク資産 CI の次の詳細が表示されます。

- CI タイムライン - 過去 14 日間: 変更要求などのネットワーク資産 CI アクティビティのタイムライン。
- CI 健全性: ネットワーク資産 CI の重大なインシデント、不完全な属性、古い関係性などの関連アイテムを示す、ネットワーク資産 CI の健全性のサマリー。
- 詳細: ネットワーク資産 CI 属性。キー属性、資産属性、検出属性、運用属性、その他の属性などのカテゴリにグループ化されています。

i 注:

ネットワーク資産 CI クラスのフォームビューを使用して *CMDB - Workspace*、属性の外観を設定できます。

- アクティビティ:ネットワーク資産 CI レコードの変更内容を追跡するアクティビティストリーム。
- インフラストラクチャ関係:ネットワーク資産 CI に関連するインフラストラクチャネットワーク資産 CI のリスト。
- サービスの関係:ネットワーク資産 CI が関連付けられる可能性があるビジネスアプリケーション、サービスオファリング、およびアプリケーションサービスのリスト。

CI の詳細ページでは、次のアクションを実行できます。

- 依存関係ビューを開き、ネットワーク資産 CI レコードのグラフィックインフラストラクチャビューを表示するには、[依存関係ビューを開く] をクリックします。
- マルチソースデータレポートビルダーを開き、ネットワーク資産 CI レコードのネットワーク資産 CI 属性レベルでさまざまな検出ソースによって入力される状況 CMDB を追跡するには、[マルチソースデータを表示] をクリックします。
- ネットワーク資産 CI レコードの属性への変更を保存するには、[保存] をクリックします。

CI エラーメッセージ

次の表は、CI の削除中に表示される CI エラーメッセージと、エラーの解決に使用できるソリューションを理解するのに役立ちます。

エラーメッセージ

エラー	解決
現在の操作は ERROR ステータスで終了しました。詳細:操作 (すべての TNI CI 階層の削除/終了) が次のエラーで失敗しました: エラー: 関連する CI 「XXXX/XXXX/PON アクセスパス/100Mbps/000030」があるため、CI "XXXX/XXXX/銅線リンク/000118" を削除できません (sys_script_include.989afcd1cb330110202b2c52f8076d7e.script ; 52 行目)	子または関連する CI (構成アイテム) を削除して、親 CI を削除します。 1. [関連テンプレート] の下にある関連 CI または子 CI をクリックします。 2. [削除] をクリックします。 ただし、管理者はいつでも削除アクションをカスタマイズできます。詳細については、「 削除アクションのカスタマイズ 」を参照してください。

削除アクションのカスタマイズ

削除アクションをカスタマイズすると、独自の削除プロセスを作成できます。

始める前に

必要なロール: Admin

手順

1. 移動先 **すべて > プロセス自動化 > Flow Designer > 新規 > アクション**。
2. [アクションプロパティ] フォームに入力してアクションを作成します。
3. [Submit (送信)] をクリックします。

4. [意思決定管理]→[意思決定ビルダー] に移動して、新しいアクションを適用します。
5. **[TNI CI 削除ポリシー (TNI CI Deletion Policy)]** を選択します。
6. [意思決定テーブル] で、適切な **CI** タイプに対して [アクションタイプ] を更新します。

ネットワーク図の使用

アプリケーションのネットワーク図 Telecommunications Network Inventory を使用して、回路とその基礎となる接続要素の階層マップを表示します。

ネットワーク図の詳細を表示する

接続ノードの詳細を表示し、ネットワーク図で基になる接続要素を可視化します。ネットワークインフラストラクチャの詳細な概要と、それらの接続方法を理解できます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

ネットワーク図を使用すると、次の操作を実行できます。

- ネットワーク図にドリルダウンして、基になる要素を表示します。
- ネットワーク図を構成する接続ノードの詳細を表示します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン (☰) を選択します。
3. 検索項目 **Inventory** > 物理接続 または論理接続。
4. レコードを開き、ネットワーク ダイアグラム タブを選択します。
5. 基礎となる要素または接続ノードの詳細を表示します。

ネットワーク図をダウンロードする

選択したマップに基づいてネットワーク図のキャンバス全体をダウンロードし、回路を視覚化するための参照として使用できるようにします。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

ネットワーク ダイアグラムのキャンバス全体を PNG 形式でダウンロードし、ダイアグラム全体をローカル システムに保存できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン (☰) を選択します。
3. 検索項目 **Inventory** > 物理接続 または論理接続。
4. レコードを開き、ネットワーク ダイアグラム タブを選択します。

5. 接続要素を展開して、目的のビューを取得します。
6. ノードを展開し、追加アイコン () を選択して目的のビューを取得します。
7. マップペインの右上にあるダウンロードアイコン()を選択します。

CI レコードの属性パックの使用

属性パックを使用して、アプリケーションの構成アイテム (CI) レコード Telecommunications Network Inventory に定義した属性をキャプチャし、属性値を更新します。

CI レコードで属性パックを使用する

属性パックを使用して、アプリケーションの構成アイテム (CI) レコード Telecommunications Network Inventory に対して定義した属性をキャプチャします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、新しいインベントリクラスを開きます。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[パックの追加]** を選択します。
5. **[送信]** を選択します。

タスクの結果

属性パックテーブルが「パック」 (**Packs**) タブに追加されます。

次のタスク

追加したパックテーブルのフィールドを更新できます。詳細については、「[CI レコードのパックの確認と更新](#)」を参照してください。

CI レコードのパックの確認と更新

アプリケーションの構成アイテム (CI) レコードのパックテーブルで定義した属性を確認して更新します Telecommunications Network Inventory 。

始める前に

CI レコードのパックテーブルを追加します。詳細については、「[CI レコードで属性パックを使用する](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、パックテーブル属性を更新する在庫レコードを開きます。
3. **[パック]** タブで、更新するパック テーブルを選択します。
4. フィールドに入力します。
5. **[Save (保存)]** を選択します。

ネットワーク トポロジの使用

アプリケーションのネットワークトポロジ Telecommunications Network Inventory を使用して、ネットワーク内のさまざまな要素がどのように編成され、相互に接続されているかを表示します。

ネットワーク トポロジを表示するには、トポロジ レコードを手動で作成するか、「設計と割り当て」機能を使用して作成する必要があります。詳細については、以下を参照してください。

- [ネットワーク トポロジの手動作成。](#)
- [デザインとアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成。](#)

ネットワーク トポロジの表示

ネットワーク トポロジの詳細を表示し、ネットワーク エlementがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化します。アプリケーションのトポロジ Telecommunications Network Inventory のネットワークインフラストラクチャの詳細な概要を把握できます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

手順

1. 移動先 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワーク ビューア アイコン () を選択します。
3. 検索ボックスにトポロジ名を入力して選択し、トポロジを可視化します。
複数のトポロジを選択できます。また、詳細フィルタ オプションを使用して、フィルタ アイコン () を選択してトポロジを検索することもできます。
4. 詳細を表示するノードを選択し、詳細ペインで関連情報を表示します。
5. 詳細ペインで、[詳細を表示] を選択して CI レコードにリダイレクトします (オプション)。

Telecommunications Network Inventory 参照

参照トピックには、Telecommunications Network Inventoryに関する追加情報が記載されています。

キャパシティ定義フォーム

[キャパシティ定義] フォームでは、キャパシティ定義レコードの詳細を記述できます。

キャパシティ定義フォーム

フィールド	値
名前	キャパシティ定義レコードの名前。
アプリケーション	キャパシティ機能が作成されるアプリケーション名。
アクティブ	キャパシティ計算の定義を有効にするオプション。
関数	キャパシティの計算に使用するキャパシティ機能レコード。複数の機能を選択できます。

キャパシティ定義フォーム (続く)

フィールド 値	
説明	キャパシティ定義に関する簡単な説明。
エンティティテーブル	クエリを実行しているエンティティテーブル。システムクラス名は、エンティティテーブルまたはエンティティテーブルから派生したサブクラスのいずれかである必要があります。
条件	追加のクエリ条件。キャパシティ定義を実行するには、クエリ条件が有効である必要があります。

キャパシティ機能の追加フィールド

[戦略] フィールドで選択したオプションに応じて、次のフィールドがキャパシティ機能フォームに表示されます。

静的値 - 追加フィールド

フィールド	説明
静的値	キャパシティ計算のカウント数。

集計クエリ数 - 追加フィールド

フィールド	説明
エンティティテーブル	クエリを実行するデータベース内のエンティティテーブル。
クエリー テーブル	クエリしているテーブルの名前。
クエリー条件	追加のクエリ条件。
関連フィールド	クエリしているクエリテーブル内のフィールド。リストから 1 つ選択します。

値フィールド - 追加フィールド

フィールド	説明
クエリー テーブル	クエリしているテーブルの名前。
クエリー条件	追加のクエリ条件。
値フィールド	クエリしているレコードのフィールド。リストから 1 つ選択します。

スクリプト - 追加フィールド

フィールド	説明
エンティティテーブル	クエリを実行するデータベース内のエンティティテーブル。
スクリプト	目的のデータをクエリする方法を決定するスクリプト。スクリプトには回答変数を含める必

スクリプト - 追加フィールド (続く)

フィールド	説明
	要があり、変数のタイプは数値または文字列です。

キャパシティ機能フォーム

キャパシティ機能フォームでは、キャパシティ機能レコードの詳細を記述できます。

キャパシティ機能フォーム

フィールド	値
名前	キャパシティ機能レコードの名前。
アプリケーション	キャパシティ機能が作成されるアプリケーション名。
説明	キャパシティ機能に関する簡単な説明。
関数	キャパシティ計算のタイプ。次のいずれかを選択します。 最大 ネットワーク資産の最大数。 占有済み 占有されているネットワーク資産の合計数。 利用可能 利用可能なネットワーク資産の合計数。これは、最大資産と占有資産の差です。
戦略	キャパシティ計算の方法。次のいずれかを選択します。 静的値 固定値または定数値を使用して容量を計算します。静的値アプローチでは、クエリするレコードのフィールドを考慮せずに、事前定義された測定基準を使用してキャパシティを計算します。 集計クエリカウント 集計関数を使用してキャパシティを計算するデータベースクエリ。この戦略では、エンティティテーブルに存在するレコードの関連フィールドをクエリします。このタイプのクエリは、特定の条件を満たすレコードの合計数など、テーブル内のフィールドに関する概要情報を取得するのに役立ちます。 値フィールド この戦略を使用して、データベースに存在するクエリテーブル内の特定の値を確認します。 スクリプト クエリーにスクリプトを使用する高度な戦略アプローチ。 選択した戦略に応じて、追加のフィールドがフォームに表示されます。追加フィールドの詳細については、以下を参照してください キャパシティ機能の追加フィールド。

変更要求関連のタブ

変更要求フォームの関連タブには、変更要求のコンテキストに基づいて動的に変化する関連レコードが表示されます。

[変更要求] 関連タブ

タブ	説明
影響を受ける CI	構成アイテム (CI) のリスト。これらのアイテム (から CMDB) は、変更要求の影響を受けます。影響を受ける複数の CI を変更に関連付けることができます。 i 注: • [変更要求] フォームの [影響を受ける CI] タブには、その変更要求の変更タスクによって作成されたすべての CI が一覧表示されます。このタブには、影響を受ける変更タスクのすべての CI も一覧表示されます。 • 変更タスクの影響を受ける CI リスト内の CI が手動で (または API を介して) 別の CI に変更されると、その変更は対応する変更要求の影響を受ける CI リストでも更新されます。 • 変更タスクの影響を受ける CI リスト内の CI が手動で (または API を介して) 削除されると、対応する変更要求の影響を受ける CI リストから同じ CI が削除されます。
影響するサービス/CI	ビジネスサービスや他の CI クラスなどの CI のリスト。これらのアイテムは、変更要求の影響を受ける CI の影響を受けます。影響を受ける複数の CI を変更に関連付けることができます。
承認者	承認者のリスト。これらのアイテムは、ワークフローから自動的に生成されます。タスクにアサインされている承認者のグループを表示することもできます。
タスクを変更	変更タスクのリスト。これらのアイテムはワークフローから作成されます。デフォルトのワークフローでは、[実装] ステータスでタスクが生成されます。新規変更タスクを作成することもできます。タスクの開始 予定日 と 終了予定日は、変更要求で指定された開始予定日と終了予定日の範囲内になければなりません。
CAB アジェンダアイテム	アジェンダアイテムのリストと CAB アジェンダアイテムの詳細。例としては、会議の開始時間と終了時間、会議に割り当てられた時間、会議のステータス、およびそのアジェンダアイテムに対する決定などがあります。

[変更要求] 関連タブ (続く)

タブ	説明
問題	問題の説明のリスト。変更が問題から生成された場合、このリストが自動的に生成されます。
変更により修正されたインシデント	変更の解決が必要なインシデント。
変更によるインシデント	変更の実装によって引き起こされたインシデントのリスト。
SLA タスク	特定の変更タスクに添付されている SLA のタスク SLA レコードリスト。
機能停止	CI の利用不可または機能停止のリスト。いずれかの CI アイテムで実際のダウンタイムが発生した場合は、機能停止情報が一覧表示されます。

パス計算エラーメッセージ

パス計算エラーメッセージを使用すると、パス計算中に発生するエラーメッセージを理解できます。

エラーメッセージ

エラー	解決
サイト <site1_name> と <site2_name> の間にパスが見つかりません。	サイト間の接続を作成します。

ケーブルフォーム

ケーブルフォームでは、光ファイバーケーブルレコードの詳細を記述できます。

ケーブルフォーム

フィールド	説明
名前	このケーブルレコードの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
管理担当者	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (検索  を選択し、リストからユーザーを選択します。
ライフサイクルステージ	このネットワーク資産があるライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	設計目的で使用されているネットワーク資産。 提供終了 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 Inventory ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 提供終了 欠落しており、見つけることができないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入フェーズにあるネットワーク資産。
ライフサイクル ステージステータス	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用中のネットワーク資産。 廃止処理待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	資産のモデル ID。
ドメイン	ドメイン内のデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
A 終了	このケーブルが接続されているインターフェイスやスロットなどの開始点。
Z 終端	このケーブルが接続されているインターフェイスやスロットなどの終点。
エンドコネクタ	ケーブルの始点として使用する物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC Bayonet Neill Concelman(BNC)コネクタは、ビデオおよびRFアプリケーションに使用され、同軸ケーブルネットワークで使用されています。 SC 正方形のスナップインコネクタ。 LC 小型でラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	細い被覆を剥がしたワイヤを支柱またはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。
Zエンドコネクタ	ケーブルの終端点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC Bayonet Neill Concelman(BNC)コネクタは、ビデオおよびRFアプリケーションに使用され、同軸ケーブルネットワークで使用されています。 SC 正方形のスナップインコネクタ。 LC 小型でラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェール。 ワイヤーラップ 細い被覆を剥がしたワイヤを支柱またはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。
長さ	ケーブルの全長。
長さ単位	ケーブルのルート長を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さについては、距離の測定値は表されていません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。 センチメートル 距離はセンチメートルで表されます。

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	キロメートル 距離はキロメートルで表されます。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
運用ステータス	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。

関連情報

[ケーブルの詳細を定義する](#)

ストランドフォーム

[ストランド] フォームでは、ケーブル内のストランドの詳細を記述できます。

ストランドフォーム

フィールド	説明
名前	このストランドレコードの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
管理担当者	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (検索 🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
ライフサイクル ステージ	このネットワーク資産があるライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計 設計目的で使用されているネットワーク資産。 提供終了 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 Inventory ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 提供終了 欠落しており、見つけることができないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
	購入 ライフサイクルの購入フェーズにあるネットワーク資産。
ライフサイクル ステージステータス	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用中のネットワーク資産。 廃止処理待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	資産のモデル ID。
ドメイン	ドメイン内のデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
A 終了	このストランドが接続されているインターフェイスやスロットなどの開始点。
Z 終端	このストランドが接続されているインターフェイスやスロットなどの終了点。
エンドコネクタ	より線の始点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC Bayonet Neill Concelman(BNC)コネクタは、ビデオおよびRFアプリケーションに使用され、同軸ケーブルネットワークで使用されています。 SC 正方形のスナップインコネクタ。 LC 小型でラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細い被覆を剥がしたワイヤを支柱またはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。
Zエンドコネクタ	より線の終点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC Bayonet Neill Concelman(BNC)コネクタは、ビデオおよびRFアプリケーションに使用され、同軸ケーブルネットワークで使用されています。 SC

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
	正方形のスナップインコネクタ。 LC 小型でラッチ機構を備えたプッシュ&プル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細い被覆を剥がしたワイヤを支柱またはピンに巻き付けて、接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペア ケーブルの端に使用されます。
長さ	ストランドの全長。
長さ単位	ストランドのルート長を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さについては、距離の測定値は表されていません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。 センチメートル 距離はセンチメートルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。
ストランド番号	メーカーによってストランドに割り当てられている番号。
ケーブル	ストランドに関連付けられているケーブルレコード。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
運用ステータス	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。

関連情報

[ストランドの詳細を定義](#)

ケーブル モデル フォーム

ケーブルモデルフォームでは、光ファイバーケーブルモデルレコードの詳細を記述できます。

ケーブル モデル フォーム

フィールド	説明
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	ケーブルモデルの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。
簡単な説明	定義するケーブルモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリはアプリケーションの一部です 製品カタログ。
モデル番号	メーカーがモデルに割り当てているモデル番号。
資産追跡戦略	このネットワーク資産で利用できる機器所有者ユニットの数。
バーコード	メーカーがモデルに割り当てているバーコード番号。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で利用できる機器所有者ユニットの数。
所有者	モデルの責任者。
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルを購入しました。 リース済み モデルはリースされました。 両方 このモデルは購入され、リースされました。
ステータス	モデルの生産状況: ビルド モデルを構築する必要があります。 生産中 モデルは生産中です。 販売済み モデルが販売されました。 廃止

ケーブル モデル フォーム (続く)

フィールド	説明
	このモデルは廃止されました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出は 1 回限りの支出であり、その価値は何年にもわたって実現されます。たとえばコピー機が該当します。 経費 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
減価償却	ケーブルモデルの減価償却スケジュール。
認定	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却されたときに実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
寸法単位	ディメンションを表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さについては、距離の測定値は表されていません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。
音響出力 (ベル)	ネットワーク資産のエネルギーが放出される速度 (ベル)。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の 3 次ディメンションを計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
特性	ケーブルのタイプ。次のいずれかを選択します。 オプティカル 光パルスを使用して信号を送信します。 電気関係 電流を使用して信号を送信します。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の長さ。

ケーブル モデル フォーム (続く)

フィールド	説明
	- たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の 3 次ディメンションを計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 と入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の深度。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。

関連情報

[ケーブル モデルを作成する](#)

[ストランドモデル] フォーム

[ストランドモデル] フォームでは、ストランドモデルレコードの詳細を記述できます。

[ストランドモデル] フォーム

フィールド	説明
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
名前	ストランドモデルの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。
簡単な説明	定義するストランドモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリはアプリケーションの一部です 製品カタログ。
モデル番号	メーカーがモデルに割り当てているモデル番号。
資産追跡戦略	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
バーコード	メーカーがモデルに割り当てているバーコード番号。

[ストランドモデル] フォーム (続く)

フィールド 説明	
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で利用できる機器所有者ユニットの数。
所有者	モデルの責任者。
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルを購入しました。 リース済み モデルはリースされました。 両方 このモデルは購入され、リースされました。
ステータス	モデルの生産状況: ビルド モデルを構築する必要があります。 生産中 モデルは生産中です。 販売済み モデルが販売されました。 廃止 このモデルは廃止されました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出は 1 回限りの支出であり、その価値は何年にもわたって実現されます。たとえばコピー機が該当します。 経費 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
減価償却	ストランドモデルの減価償却スケジュール。
認定	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却されたときに実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
寸法単位	ディメンションを表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さについては、距離の測定値は表されていません。

[ストランドモデル] フォーム (続く)

フィールド 説明	
	インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。
音響出力 (ベル)	ネットワーク資産のエネルギーが放出される速度 (ベル)。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の 3 次ディメンションを計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
特性	ストランドのタイプ。次のいずれかを選択します。 シングルモード シングルモードファイバーストランドは1つの信号のみを送信します。 マルチモード マルチモードファイバーストランドは、複数の信号を送信します。 POF プラスチック光ファイバー(POF)ストランドは光を透過します。 ツイストペア ツイストペアケーブルは、一対の絶縁銅線を撚り合わせたものです。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の 3 次ディメンションを計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 と入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の深度。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。

関連情報

ストランドモデルの作成

一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド

一部のネットワーク資産インスタンスフィールドは、フォームの Telecommunications Network Inventory 識別セクションで共通です。は Now Platform これらのフィールドを使用して、ネットワークインベントリ資産を識別および分類します。

在庫番号割り当てフィールド

フィールド	説明
電話番号	e164 命名規則に準拠する電話番号。詳細については、「 e164 命名規則 」を参照してください。
市外局番	国またはテリトリー内の地域を識別するコード。通常は電話番号の最初の 3 桁です。市外局番の目的は、受信者の場所に基づいて通話を宛先にルーティングすることです。たとえば、電話番号 (123) 456-7890 では、「123」は市外局番を表します。
本社コード	NXX と呼ばれるセントラル オフィス コード。電話番号の NXX 部分は、特定の地域に属するセントラル オフィスまたはローカル交換機に関する情報を提供します。各本社コードは、市外局番内の地理的な場所またはサービスプロバイダーに関連付けられています。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の場合、「456」はセントラル オフィス コードを表します。
ステータス	電話番号のステータス: • 新規: この番号が新しいことを示します。 • 予約済み: 番号がサービス用に予約されているがまだ割り当てられていないことを示します。 • 未割り当て: 番号がまだ誰にも割り当てられていないか、番号が数日間検疫ステータスになっていることを示します。 • 割り当て済み: 番号が割り当てられていることを示します。 • 検疫済み: 番号が長期間使用されていないことを示します。ネットワーク オペレーターによっては、この番号は数日後に検疫済みステータスに変わります。しばらくすると、ステータスが [未割り当て] に変わります。

在庫番号割り当てフィールド (続く)

フィールド	説明
	• Ported in: 番号が他のネットワークに属していたが、現在はこのネットワークに移動されていることを示します。 • Ported out: 番号が他のネットワークに移動したことを示します。
番号カテゴリ	カテゴリ： • 所有: これらの番号が組織によって所有されていることを示します。 • サードパーティ: これらの番号がサードパーティ組織によって提供されていることを示します。 • ポートイン: これらの番号が別のネットワークから移動されたことを示します。
配送業者	ブロック内の電話番号の範囲を所有および管理する電気通信会社またはサービス プロバイダーの名前。顧客に番号を割り当て、それらの番号に関連するコールのルーティングを処理します。
親ブロック	親ブロック (存在する場合)。
モデル ID	資産のモデル ID。
番号	子在庫を関連付ける親在庫の名前。によって Now Platform この名前が自動的に割り当てられます。 i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。
要素タイプ	VLAN または LAG 番号を関連付けるネットワークインベントリのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • Network Interface • 物理接続 • 論理接続 i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。
要素	構成に使用する要素タイプのネットワーク資産。

在庫番号割り当てフィールド (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。
シーケンス	ネットワーク接続のシーケンス番号。 i 注: このフィールドは、棚卸番号の番号要素に対してのみ使用できます。

共通識別フィールド

フィールド	説明
アラーム可能である	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
可用性	リソースが使用されているかどうかの現在のステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 • 利用可能 • 使用済み • 予約済み • 共有しました
CLEI コード	このネットワーク資産に割り当てられた共通言語機器識別 (CLEI)。CLEI コードは、グローバルに一意な 10 文字の英数字のインテリジェントコードで、構造化された命名形式で機器を識別します。CLEI コードと製造元の製品コード (ハードウェア バージョンを含む部品番号) の間には 1 対 1 の関係があります。
CLLI コード	このネットワーク資産に割り当てられた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、CLLI コードを使用して電気通信機器の場所と機能を指定します。
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。検索アイコン (🔍) を選択し、機能コードを選択します。
ライフサイクルステージ	このネットワーク資産があるライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。

共通識別フィールド (続く)

フィールド	説明
	設計 設計目的で使用されているネットワーク資産。 提供終了 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 Inventory ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 提供終了 欠落しており、見つけることができないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入フェーズにあるネットワーク資産。
ライフサイクルステータス	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用中のネットワーク資産。 廃止処理待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
ロケーション	ネットワーク サイトの地理的な場所。検索アイコン (検索 🔍) を選択し、場所階層から場所を選択します。場所階層の詳細については、「」を参照してください product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita。
管理担当者	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (検索 🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Telco 電気通信機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 コア コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。

共通識別フィールド (続く)

フィールド	説明
製品モデル	このネットワーク資産に関連付けられている製品モデル (存在する場合)。検索アイコン (検索 🔍) を選択し、製品モデルを選択します。
交換可能	このネットワーク資産が誤動作した場合やネットワーク機能停止の影響を受けた場合に、このネットワーク資産を置き換えることができるかどうかを指定するオプション。
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。検索アイコン (🔍) を選択し、ロールコードを選択します。
シリアル番号	このネットワーク資産に割り当てられたシリアル番号。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。
名前	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットのわかりやすい名前。
CIDR	サブネット、ゲートウェイの IP アドレス、およびサブネットマスクに関連付けられているクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR)。の場合 VMware、CIDR、ゲートウェイ、およびサブネットマスクのフィールドは必須です。
管理対象ネットワーク	この IP プールと IP サブネットワークに関連付けられている管理対象ネットワークの名前。
親プール	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットの親である IP プールの名前。
説明	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットに関する説明。
DNS ドメイン	IP アドレスの名前。
使用中の報告済みアドレス	この IP プールまたは IP サブネットで使用されているアドレスの数。
報告されたフリーアドレス	この IP プールまたは IP サブネットで空いているアドレスの数。
報告された予約済みアドレス	この IP プールまたは IP サブネット用に予約されているアドレスの数。

ケーブルパラメータ フォーム

フィールド	説明
ケーブルの種類	ケーブルタイプの名前。
ケーブル番号	物理接続で使用するケーブルの番号。
スタンド数	このケーブルに含まれるファイバーの数。
ケーブル長	ケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
親ケーブル	最上位層の物理接続を指定するオプション。
カラー コード	ケーブル ラインの色。
スペア長さ A	サイト A に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm))。
スペア長さ Z	サイト Z に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm))。
KML ルート	ファイバールートマップを KML 形式で指定するオプション。

一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド

これらのフィールドは、アルファベット順にリストされており、フォームの一部またはほとんどの設定セクションに共通です Telecommunications Network Inventory 。は Now Platform 、ネットワーク資産インスタンスを定義するときに、それらを使用して個々のネットワーク資産を構成します。

フィールド	説明
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、 Duty tech は Rahul Dev です。
ディメンション	ネットワーク資産の物理的な寸法。
識別名	他の関連するネットワーク資産の連結された名前と ID に基づくネットワーク資産の代替名の参照。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
モデル番号	このネットワーク資産のメーカーのモデル番号。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ 機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Telco Telco 機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 コア

フィールド	説明
	コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
業務メモ	このネットワーク資産に対する自由形式の操作メモのテキスト。たとえば、発電機のディーゼル燃料を確認します。
POTS 番号	このネットワーク サイトに関連付けられている一般電話サービス番号。
製品モデル	このネットワーク資産に関連付けられている製品モデル (存在する場合)。検索アイコン (検索 🔍) を選択し、製品モデルを選択します。
シリアル番号	このネットワーク資産に割り当てられたシリアル番号。

[会社] フォーム

[会社] フォームを使用すると、会社コードの会社詳細をレビュー、登録、および変更できます。

[会社] フォーム

フィールド	説明
名前	会社の名前
電話	会社の電話番号
FAX	会社の FAX 番号
メーカー	会社がメーカーであることを示すオプション。
ベンダー	会社がベンダーであることを示すオプション。
在庫記号	会社の 3 文字または 4 文字の銘柄記号。
株価	会社の株式が販売されている現在の価格。
番地	会社の番地
市区町村	会社が所在する市
ステータス	会社が所在する都道府県
郵便番号	会社の郵便番号
メモ	会社に関する有用な情報

[論理接続を作成] フォーム

[論理接続を作成] フォームを使用すると、論理接続変更要求の接続の詳細を確認、作成、および変更できます。

[論理接続を作成] フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	この論理接続が構成されている開始ネットワークサイト。

[論理接続を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
A 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
A 終了インターフェイス	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
論理接続モデル	この論理接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: 変更要求で論理接続を作成している場合、トポロジ接続モデルは表示されません。
Z 終了サイト	この論理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
Z 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
Z 終了インターフェイス	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
帯域幅	この論理接続の帯域幅。

[物理接続を作成] フォーム

[物理接続を作成] フォームを使用すると、物理接続変更要求の接続の詳細を確認、作成、および変更できます。

[物理接続を作成] フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	この物理接続が構成されている開始ネットワークサイト。
A 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
A 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている論理接続モデル。
Z 終了サイト	この物理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
Z 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
Z 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
帯域幅	この物理接続の帯域幅。

デフォルトテンプレートフォーム

デフォルトテンプレートフォームを使用すると、デフォルトテンプレートを作成、レビュー、変更したり、テンプレートの生成をスケジュールしたりできます。

デフォルトテンプレートフォーム

[デフォルトテンプレート] フォームでは、デフォルトテンプレートの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

デフォルトテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	このデフォルトテンプレートの名前。
テーブル	このデフォルトテンプレートの基になっている構成アイテム (CI) クラス日付を含むテーブルの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、テーブルを選択します。
アクティブ	このデフォルトテンプレートがアクティブかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	このネットワーク資産の簡単な概要。
アプリケーション	デフォルトのテンプレートが関連付けられているアプリケーションの名前。[Network Inventory Core] または [Network Inventory Advanced] は、会社が購入したライセンスに基づいて表示されます。
ドメイン	テンプレートが作成されるシステムドメイン。
ユーザー	このデフォルトテンプレートに関連付けられているユーザーの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、ユーザーを選択します。
グループ	このデフォルトテンプレートに関連付けられているユーザーグループの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、ユーザーグループを選択します。
グローバル	デフォルトのテンプレートがグローバルスコープ内にあることを示すオプション。そうでない場合は、割り当てられたスコープが表示されます。
テンプレート	テーブル属性の名前とその値。このフィールドを使用して、[テーブル] フィールドで選択したテーブルから属性を選択し、各属性に特定の値を設定できます。このテンプレートを使用して純資産インスタンスを生成するための [機器在庫を作成] 変更要求を作成すると、生成する構成に特定の値を渡すことができます。

関連情報

[デフォルトテンプレートの作成](#)

予定エンティティ生成フォーム

[エンティティ生成スケジュール] フォームを使用すると、デフォルトテンプレートのスケジュール生成の詳細を作成、確認、および変更できます。

予定エンティティ生成フォーム

フィールド	説明
名前	このスケジュール設定済みジョブを識別する名前。デフォルト値はテンプレート名です。必要に応じて、このフィールドを更新できます。
アクティブ	スケジュール設定済みジョブがアクティブであり、指定された日時に実行する必要があることを示すオプション。
アプリケーション	エンティティを含むアプリケーションの名前。エンティティがグローバルスコープ内にある場合、[グローバル] が表示されます。
実行	スケジュール設定済みジョブの実行に使用する時間間隔。詳細については、「 テンプレートから何かを自動的に生成する 」を参照してください。
時刻	スケジュール設定済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。
条件付き	関連するスクリプトで特定の条件が満たされた場合にスケジュール設定済みジョブの実行を有効にするオプション。
条件	スケジュール設定済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true または false) で評価されます。このテキスト ボックスは、[条件] を選択した場合にのみ表示されます。
これを生成	スケジュール設定済みジョブの生成元のテンプレートレコードへの参照。

関連情報

[デフォルトテンプレートの作成](#)

GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て

ギガバイトパッシブ光通信網 (GPON) ブロードバンドサービス変更モデルを使用すると、GPON ブロードバンド注文要求を実行するための自動化された一連のタスクを作成できます。

GPON ブロードバンド サービスの概要

製品マネージャーは、GPON ブロードバンド サービス変更モデルを使用して、GPON ブロードバンド サービスの在庫を設計および割り当てることができます。このモデルでは、顧客の注文やネットワーク拡張の要求を満たすことができます。

GPON ブロードバンドサービス要求の変更実行プロセス

変更要求の実行プロセスには、GPON ブロードバンドサービス要求に対して完了する必要があるタスクステージが含まれます。要求を正常に完了するには、これらのタスクステージを次の順序で実行する必要があります。

変更要求の作成

GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して、変更要求を作成します。詳細については、以下を参照してください [での変更タスクの作成および実行 Telecommunications Network Inventory](#)。

パスの計算と論理接続の作成

ネットワーク サイト間の可能なパスを特定し、各サイト間に論理的な接続を作成します。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

論理接続の作成

開始場所 (A) と終了場所 (Z) の間の物理的および論理的な接続に対して、同様のサイト選択フィールドのセットを追加します。選択できるのは、A エンドおよび Z エンドインターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみです。詳細については、次を参照してください [変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)。

物理接続を作成する

開始 (A) と終了 (Z) の場所間の物理的および論理的な接続に対して、同様のサイト選択フィールドのセットを追加して、在庫機器を構成します。選択できるのは、A エンドおよび Z エンドインターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみです。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

インターフェイスカードの追加

インターフェイス カードを追加するときに、サイトと機器モデルを選択します。[スロット] フィールドを使用して、機器モデルに追加するスロットを選択します。詳細については、次を参照してください [変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)。

機器を作成

機器のインスタンス化のためのネットワークサイトと機器モデルを選択します。インスタンス化プロセスでは、サイトレベルで機器レコードを生成して検証します。詳細については、「[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)」を参照してください。 [変更要求フォームおよび変更タスクフォーム](#)

このシーケンスを完了すると、GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当ての手順を完了できます。

このプロセスを正常に実行するには、一連の条件とシナリオを考慮する必要があります。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルのパス計算

内部パス計算関数は、GPON ブロードバンド サービス変更モデルの一部です。その目的は、ネットワーク サイト間の可能なパスを特定することです。この計算は、GPON ブロードバンドサービス変更モデルに関連付けられている各変更タスクの完了時に入力するパラメーターに基づいています。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成し、要求を保存すると、5 つのデフォルトの変更タスクが作成されます。詳細については、「[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。

次のシナリオは、GPON ブロードバンド サービス要求を完了するプロセスを実行するときに、パス計算で処理されます。

- すべての物理接続が使用可能になると、パッシブ光ネットワーク (PON) アクセス・パスが作成されます。
- スプリッターと PFP の間の物理接続が使用されると、PON アクセス・パスは失敗します。

- すべての物理接続が使用可能な場合は、PON ネットワークパスが作成されます。
- OLT と FDP 間の物理接続が使用されている場合、PON ネットワークパスの作成は失敗します。
- すべての論理接続が共有されている場合、VLAN パス検索で接続を作成できます。
- リンク アグリゲーション グループ(LAG)パスが使用されている場合、VLAN パスの検索は失敗します。

パス計算では、GPON ブロードバンドサービス変更モデルに関連付けられた各変更タスクのレコードプロデューサーを使用して、必要なデータを収集します。GPON ブロードバンド サービス変更モデルから作成した [論理接続の計算と作成] 変更タスクを完了すると、ほとんどの接続データが収集されます。

1. パス検索は、接続の A 接続端に指定した機器モデルと Z 接続で指定した機器モデルの間で行われます。
2. パス検索は、接続の A 接続端に指定した機器モデルと Z 端接続で指定した機器タイプの間で行われます。
 - 論理接続モデルは、パス計算後にどのモデルの論理接続を作成する必要があるかを示します。
 - 帯域幅とは、帯域幅テーブルを指します。
 - 許可された物理接続モデルは、パスの検索に使用できる物理接続 CI モデルをキャプチャし、パス要素に追加します。

パス計算は、次の条件で機能します。

1. インターフェイスまでの設備階層には、[在庫設備の作成] 変更モデルを使用して設備をインスタンス化すると更新される関係があります *Contains:: Contained By* 。
2. 機器はネットワークサイトに関連しています。この条件は、[在庫機器を作成] 変更モデルを使用して機器をインスタンス化する場合にも適用されます。
3. インターフェイス間に作成する物理接続は、有効なモデルに関連付けられます。
4. [物理接続の作成] 変更モデルを使用して物理接続を作成すると、サイト間に CI 関係が作成されます。
5. インターフェイス間に作成する論理接続は、有効なモデルに関連付けられます。
6. [物理接続の作成] 変更モデルを使用して論理接続を作成すると、それらのサイト間に CI 関係が作成されます。
7. 論理接続の接続要素が追加されます。これらの要素は、計算がパス検索を実行するときにサイト間の有効な物理接続である必要があります。
8. 物理接続と論理接続には、ポート A とポート Z を設定する必要があります。
9. 物理接続と論理接続の [可用性] フィールドは、それらの接続をルーティングの可能な基本パスとして認定するために使用する必要があります。この検証により、リソースが複数回使用されていないことを確認します。

パス計算で発生するエラーの詳細については、次を参照してください [パス計算エラーメッセージ](#)。

機器所有者フォーム

機器所有者フォームを使用すると、機器所有者のネットワーク資産の詳細を作成、確認、および変更できます。

機器所有者フォーム:一般

フィールド	説明
名前	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
シリアル番号	このネットワーク資産内の機器所有者ユニットの合計数 (占有中および利用可能)。
資産	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
サポートグループ	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
ライフサイクルステージ	このネットワーク資産があるライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計 設計目的で使用されているネットワーク資産。 提供終了 耐用年数の終わりを迎えているネットワーク資産。 Inventory ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 提供終了 欠落しており、見つけることができないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入フェーズにあるネットワーク資産。
管理担当者	このネットワーク資産の管理者の名前。検索アイコン (検索  を選択し、リストからユーザーを選択します。
ライフサイクルステータス	現在のライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。

機器所有者フォーム:一般 (続く)

フィールド	説明
	使用中 現在使用中のネットワーク資産。 廃止処理待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	このネットワーク資産のメーカーのモデル識別番号。
アラーム可能	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。

機器所有者フォーム:構成

フィールド	説明
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、メーカーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
占有ユニット数	このネットワーク資産内の機器所有者ユニットの合計数 (占有中および利用可能)。
モデル番号	このネットワーク資産のメーカーのモデル番号。
使用中ユニット	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
ユニットの位置	このネットワーク資産のユニット位置。
利用可能なユニット	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita>

GPON ブロードバンド変更モデルフォーム

GPON ブロードバンド変更モデルフォームを使用すると、物理接続の接続の詳細を作成、確認、および変更し、論理接続を計算および作成できます。

[物理接続を作成] フォーム

[物理接続を作成] フォームを使用すると、物理接続のネットワークの詳細を作成、確認、および変更できます。

[物理接続を作成] フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	この物理接続が構成されている開始ネットワークサイト。
A 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
A 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている物理接続モデル。
Z 終了サイト	この物理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
Z 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
Z 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
帯域幅	この物理接続の帯域幅。

論理接続の計算と作成フォーム

[論理接続の計算と作成] フォームを使用すると、論理接続の接続の詳細を作成、確認、および変更できます。

論理接続の計算と作成フォーム

フィールド	説明
開始サイト	この接続が構成されている開始ネットワークサイト。
開始機器	この接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
開始インターフェイス	この接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。

論理接続の計算と作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算と作成された論理接続を使用して自動的に設定されます。
論理接続モデル	この接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: トポロジ接続モデルはリストされません。
終了サイト	この接続が構成されている終了ネットワークサイト。
終了機器	この接続が設定されているネットワーク機器を終了します。
終了インターフェイス	この接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算と作成された論理接続を使用して自動的に設定されます。
終了機器タイプ	この接続が構成されている終了ネットワーク機器タイプ。
終了機器のロール	この接続が構成されているネットワーク機器ロールを終了します。
終了機器の機能	この接続が設定されているネットワーク機器機能を終了します。
帯域幅	この物理接続の帯域幅。
許可されている論理接続モデル	論理接続でサポートされているすべてのモデルをキャプチャするフィルター。 i 注: [モデルの関係] フィールドから論理接続モデルを選択すると、使用可能な論理接続モデルのリストが変更されます。
許可されている物理接続モデル	物理接続でサポートされているすべてのモデルをキャプチャするフィルター。 i 注: [モデル関係] フィールドから論理接続モデルを選択すると、使用可能な物理接続モデルのリストが変更されます。

インターフェイスカードフォーム

インターフェイスカードフォームを使用すると、インターフェイスカードのネットワークインターフェイスの詳細を作成、確認、および変更できます。

インターフェイスカードフォーム

フィールド	説明
名前	このネットワークインターフェイスカードの名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。
ポート	このネットワークインターフェイスカードのポートの合計数。
使用中のポート	このネットワークインターフェイスカードで使用されているポートの数。
スロット	このネットワークインターフェイスカードの合計スロット数。

関連情報

[インターフェイスカードの詳細の定義](#)

インベントリモデルフォーム

在庫モデルフォームを使用すると、機器所有者、機器、インターフェイスカード、論理接続、物理接続、ネットワークインターフェイス、およびネットワークモデル関係のモデルの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

インベントリモデルフォーム - 一般

在庫モデルフォームの [全般] セクションでは、モデルの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

一般セクション - 在庫モデルフォーム

フィールド	説明
簡単な説明	定義している機器ホルダーモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリはアプリケーションの一部です 製品カタログ。 i 注: - インスタンスは、選択したモデルカテゴリのマッピング済み CI クラスに作成されます。 - 機能を実現する Telecommunications Network Inventory には、次のいずれかのオプションを選択します。 - 機器ラック - スロット - サブスロット - カテゴリとして [機器ラック] を選択すると、[RU 名前付けパターン] フィールドと [ポスト タイプ] フィールドが情報セクションの下に表示されます。

一般セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
資産追跡戦略	モデルを追跡するプロセス。次のオプションのいずれかを選択します。 • カテゴリのまま:モデルには透明性があり、カテゴリによって資産クラスが定義されます。 • 消耗資産を作成:モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産クラスを消耗品とします。 • 資産を作成しない:モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産のインスタンス化をブロックします。
有効年限 (月数)	モデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルを購入しました。 リース済み モデルはリースされました。 両方 このモデルは購入され、リースされました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
減価償却	機器モデルの減価償却スケジュール。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却されたときに実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
モデル番号	メーカーがモデルに割り当てているモデル番号。
バーコード	メーカーがモデルに割り当てているバーコード番号。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルの生産状況: ビルド モデルを構築する必要があります。 生産中 モデルは生産中です。 販売済み モデルが販売されました。 廃止 このモデルは廃止されました。

一般セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出は 1 回限りの支出であり、その価値は何年にもわたって実現されます。たとえばコピー機が該当します。 経費 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
認定	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。
論理インターフェイスモデル	選択した論理接続モデルのすべての論理インターフェイスモデルのリスト。 i 注: 論理接続の作成中に、ポート A とポート Z の論理インターフェイスは、選択した論理インターフェイス モデルに基づいて作成されます。

関連情報

[在庫モデルの作成](#)

インベントリモデルフォーム - 情報

在庫モデルフォームの [情報] セクションでは、モデルのネットワーク資産の詳細を作成、確認、および変更できます。

情報セクション - 在庫モデルフォーム

フィールド	説明
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
音響出力 (ベル)	ネットワーク資産のエネルギーが放出される速度 (ベル)。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルを除くすべてのタイプのモデルに適用されます。
CLEI コード	このネットワーク資産に割り当てられた共通言語機器識別 (CLEI)。CLEI コードは、グローバルに一意的な 10 文字の英数字のインテリジェントコードで、構造化された命名形式で機器を識別します。CLEI コードと製造元の製品コード (ハードウェア バージョンを含む部品番号) の間には 1 対 1 の関係があります。 i 注: このフィールドは、物理接続モデル、論理接続モデル、およびネットワークインターフェイスモデルを除くすべてのタイプのモデルに適用されます。

情報セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
コネクタタイプ	ネットワークインターフェイスへのケーブルの接続に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • BNC • SC • LC • ST • ワイヤラップ • RJ45 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
高さ (U)	モデルに必要なラックユニットの数。 i 注: このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。
スロット命名パターン	機器またはカード上のスロットとインターフェイスに対して生成される名前を定義するために使用される名前パターン。これらの名前パターンはモデル レベルにあるため、既定では、そのモデルのすべてのテンプレートに適用されます。これらの名前パターンは、同じモデルの異なるインスタンスに対して編集できます。命名規則の詳細については、を参照してください 関連するテンプレートの命名規則。 名前は自動的に生成されますが、テンプレートの名前は手動で編集できます。 i 注: 1. このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。 2. 次の場合、生成された名前は空のままになります。 ○ 変数名のスペルが間違っています。 ○ 機器内のインターフェイスまたはスロットの parent_slot または equipment_slot 情報を使用します。 3. このフィールドを空のままにすると、デフォルトの命名パターンが考慮されます。ここでは、デフォルトの名前は Slot-001 で、001 はスロットの開始番号です。 このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
スロット開始	このモデルのスロットに割り当てる最初の番号。スロット名は、開始番号に応じて自動的に生成されます。

情報セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
始番号	i 注: - 入力した値は、ユニットの位置には影響しません。ユニットの位置は常に 1 から始まり、スロット命名パターンで使用されます。 - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
占有スロット	カード内で占有されているスロットの数。 i 注: このフィールドは、インターフェイスカードモデルにのみ適用されます。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の 3 次ディメンションを計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。
測定単位	資産の物理的な寸法を計測する単位。 i 注: このフィールドは、機器モデル、機器ホルダーモデル、および物理接続モデルに適用されます。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の 3 次ディメンションを計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表される、ネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドで測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 と入力します。 - は Now Platform この情報を使用して資産の立方体寸法を計算し、指定されたネットワークサイト内での物理的な配置を決定します。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の深度。

情報セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: このフィールドは、機器モデルと機器ホルダーモデルに適用されます。
インターフェイス開始番号	機器またはカードのインターフェイスに割り当てる開始番号。たとえば、20 個のインターフェイスの開始番号が 10 の場合、インターフェイス番号は Port-010、Port-011 のように 10 から始まり、Port-029 まで続きます。 注: - インターフェイス番号は、入力された値に基づいて自動的に生成されます。ユニットの位置は影響を受けません。ユニットの位置は常に 1 から始まり、インターフェイスの命名パターンで使用されます。 - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
相互接続を有効にする	機器のすべてのインターフェイスが相互接続されるように選択できるオプション。 注: - 相互接続のデフォルトのアルゴリズムは $(N/2) + 1$ で、N は機器上のインターフェイスの総数です。ポート番号が奇数の場合、システムは前の番号(N-1)としてNを取り、相互接続を作成します。たとえば、10 個のインターフェイスを持つ機器があるとしたします。このオプションを選択すると、最初のインターフェイスは 6 番目のインターフェイス(2-7、3-8、4-9、および 5-10)と相互接続されます。 - このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。 作成されたすべての相互接続は、構成アイテム (CI) 関係として一覧表示されます。
インターフェイス命名パターン	機器またはカード上のスロットとインターフェイスに対して生成される名前を定義するために使用される名前パターン。これらの名前パターンはモデル レベルにあるため、既定では、そのモデルのすべてのテンプレートに適用されます。これらの名前パターンは、同じモデルの異なるインスタンスに対して編集できます。命名規則の詳細については、を参照してください 関連するテンプレートの命名規則。 名前は自動的に生成されますが、テンプレートの名前は手動で編集できます。

情報セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルでのみ使用できます。 - 次の場合、生成された名前は空のままになります。 - 変数名のスペルが間違っています。 - 機器内のインターフェイスまたはスロットのparent_slotまたはequipment_slot情報を使用します。 - このフィールドを空のままにすると、デフォルトの命名パターンが考慮されます。ここでは、デフォルトの名前は Port-001 で、001 はインターフェイスの開始番号です。 このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルでのみ使用できます。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。 i 注: このフィールドは、機器所有者モデルにのみ適用されます。
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。 このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
最大物理接続ポート	このインターフェイスモデルに接続できる最大接続数。デフォルトでは 1 と見なされます。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
ポートの帯域幅	このネットワークインターフェイスのポートについて測定された帯域幅。検索アイコン () を選択し、帯域幅を選択します。

情報セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • Tx • Rx • Tx/Rx • バス • ブロードキャスト i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
インターフェイスタイプ	ネットワークインターフェイスのポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • イーサネット • オプティカル • シリアル番号 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
動作	接続、多重化、またはデータのモードを選択するオプション。ただし、多重化モードでは、チャンネルが自動的に作成されます。次のオプションのいずれかを選択します。 • 多重化記録 • 多重化パス • データ記録 • データパス i 注: このフィールドは、論理接続モデルにのみ適用されます。
ルーティング動作	ルーティングの適用を制御するルーティング動作属性。 • この接続タイプにルートが必要ない場合は [ルートなし] を選択します。 • 「並列順次」を選択して、接続のルーティングに使用される複数経路接続リソースを有効にします。ここでは、ルーティングされた接続にパス要素が必要です。

情報セクション - 在庫モデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、論理接続モデルにのみ適用されます。
RU 名 前 付 け パ タ ー ン	ラックテンプレートの命名パターン。 i 注: - デフォルトでは、命名パターンは &quot;RU-&quot;+position です。 - このフィールドは、機器ラック モデルカテゴリの場合にのみ表示されます。
通知 タイ プ	次のタイプのいずれかを選択します 2 支柱: ラックに垂直支柱が 2 つある場合に選択します。 4 支柱: ラックに 4 つの垂直支柱がある場合に選択します。 i 注: このフィールドは、選択した モデルカテゴリ が 機器ラックの場合にのみ適用されま

関連情報

[在庫モデルの作成](#)

在庫モデルの追加タブ

インベントリモデルの追加のタブは、モデルの作成後に表示されます。これらのタブには、モデルのすべての関連情報が表示されます。必要に応じて、いつでも情報を表示、更新、保存、および削除できます。

在庫モデルの追加タブ

名前	説明
資産	モデルに関連する資産のリスト。
構成アイテム	モデルに対して作成されたすべての構成アイテム (CI) のリスト。
モデルコンポーネント	モデルを構成するコンポーネントのリスト。
モデルのライフサイクル	モデルのライフサイクルのリスト。
ベンダーカタログアイテム	製品モデルに関連付けられたベンダーカタログアイテムのリスト。
ハードウェアモデルのライフサイクル	ハードウェアモデルのライフサイクルフェーズとライフサイクルタイプのリスト。
ネットワークモデルの関係	モデルのすべてのネットワークモデルの関係のリスト。

在庫モデルの追加タブ (続く)

名前	説明
	i 注: このフィールドは、接続モデルには適用されません。
モデル画像	モデルの画像。ここにアップロードされた画像は、このモデル用に作成された構成アイテムに表示されます。 i 注: このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。
帯域幅の互換性	それぞれの接続と互換性のある帯域幅のリスト。さらに、関連する接続モデルと帯域幅グループを作成および更新できます。 i 注: [帯域幅の互換性(Bandwidth compatibilities)] フィールドは、接続モデルにのみ適用されます。

関連情報

[在庫モデルの作成](#)

在庫番号フォーム

在庫番号フォームを使用すると、ネットワーク在庫の在庫の詳細を作成、確認、および変更できます。

在庫番号フォーム

フィールド	説明
名前	構成する在庫の名前。[タイプ] フィールドを使用して、リストから 1 つ選択します。
番号	技術標準で指定されているネットワークインベントリの最低値。
終了番号	ネットワークインベントリの最高値。
タイプ	このネットワーク資産が属するインベントリのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 VLAN 範囲 ネットワーク資産が属する VLAN 番号の範囲。 VLAN 部分範囲 ネットワーク資産が属する VLAN 番号のサブ範囲。 VLAN ネットワーク資産の VLAN 番号。 LAG 範囲

在庫番号フォーム (続く)

フィールド	説明
	ネットワーク資産が属する LAG 番号の範囲。 LAG ネットワーク資産の LAG 番号。
親	ネットワーク資産の親インベントリ番号: - 親アイテムの場合は、フィールドを空白のままにします。 - 子インベントリ番号の場合は、値 Now Platform が自動的に割り当てられます。
簡単な説明	ネットワーク在庫番号の簡単な説明。

関連情報

[在庫番号の定義](#)

場所フォーム

場所フォームを使用すると、場所階層を作成し、ネットワーク資産を追跡および管理できます。

場所フォーム

[場所] フォームを使用すると、ネットワーク資産の場所の詳細を作成、確認、および変更できます。

場所フォーム

フィールド	説明
名前	場所を識別するわかりやすい名前。
番地	この場所が示す番地。
市区町村	この場所がある市区町村の名前。
州/都道府県	この場所がある都道府県の名前。
郵便番号	この場所がある郵便番号。
国	この場所がある国の名前。
連絡先	この場所の連絡先の名前 (存在する場合)。連絡先を選択するには、検索アイコン (🔍) をクリックします。
電話	連絡先の電話番号 (存在する場合) (この場所)。
FAX	この場所の連絡先の FAX 番号 (存在する場合)。
親	この場所の親の場所 (存在する場合)。検索アイコン (🔍) をクリックし、作成済みの場所番号を選択します。このフィールドを使用すると、場所の階層を作成できます。

場所フォーム (続く)

フィールド	説明
緯度	場所の緯度 (10 進数の度数)。正の数は赤道より北の緯度を示し、負の数は赤道より南の緯度を示します。 このプロパティの値は、-90.0 ~ 90.0 の範囲でなければなりません。
経度	場所の経度 (10 進数の度数)。

場所フォーム - 親

場所フォーム (親) を使用すると、ネットワーク資産の親の場所の詳細を作成、確認、および変更できます。

場所フォーム

フィールド	説明
親	この場所の親の場所 (存在する場合)。検索アイコン (🔍) をクリックし、作成済みの場所番号を選択します。このフィールドを使用すると、場所の階層を作成できます。
緯度	場所の緯度 (10 進数の度数)。正の数は赤道より北の緯度を示し、負の数は赤道より南の緯度を示します。 このプロパティの値は、-90.0 ~ 90.0 の範囲でなければなりません。
場所タイプ	このレコードが表す場所のタイプ: • 国 • 都道府県 / 都道府県 • 市区町村 • 建物・キャンパス • サイト • 海 • 軌道
コード	この場所に割り当てられている地理コード。なしの場合は、フィールドを空のままにします。
代替コード	この場所に割り当てられている代替地理コード。なしの場合は、フィールドを空のままにします。
代替名	この場所に割り当てられている代替地理的名。なしの場合は、フィールドを空のままにします。
地域	この場所がある地域の名前。
サブリージョン	この場所があるサブリージョンの名前 (存在する場合)。

場所フォーム (続く)

フィールド	説明
中間地域	この場所がある中間リージョンの名前 (存在する場合)。

論理接続フォーム

論理接続フォームでは、論理接続の構成と接続の詳細を記述することで、論理接続を定義できます。

論理接続フォーム

論理接続フォームでは、論理接続の詳細を記述できます。

論理接続フォーム

フィールド	説明
名前	この論理接続の名前は、Now Platform この名前を使用してネットワークインベントリで論理接続を識別します。
サブスクリプションの最大割合	帯域幅に対する論理接続に許可されるサブスクリプションの割合。
トポロジ	ネットワーク接続のトポロジ: ポイントツーポイント 2つのノードを共通リンクで直接接続 ポイントツーマルチポイント 1つのポイントから複数のポイントへの複数の接続を提供します。 マルチポイントツーマルチポイント 各ノードが他の複数のノードと通信できる複雑なトポロジ 単一方向リング 信号が一方方向にのみ送信されるファイバーリング。 双方向リング 信号が両方向に同時に送信されるファイバーリング。 メッシュ インフラストラクチャー・ノードが、できるだけ多くの他のノードに直接、動的、非階層的に接続し、相互に連携してクライアントとの間でデータを効率的にルーティングするネットワーク・トポロジー トポロジグループ ノードとデバイスがネットワーク内で相互に接続する方法を定義します リニアチェーン 各デバイスが順次チェーンで次々に接続するネットワークトポロジ 無線アクセスネットワーク

論理接続フォーム (続く)

フィールド	説明
	スマートフォンなどのエンドユーザーデバイスをクラウドに接続します。 モバイルコアネットワーク 登録者が、使用する資格のあるサービスにアクセスできるようにします。加入者プロフィール情報、位置情報、サービス認証、必要なスイッチングタスクなどの重要な機能を担当します。 モバイルトランスポートネットワーク コアネットワークとモバイルネットワークのRAN(無線アクセスネットワーク)を接続します
サイト A	この接続の発信元ネットワーク サイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワーク サイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
サイト Z	この接続の宛先ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワーク サイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。

関連情報

[論理接続の詳細の定義](#)

論理接続フォーム - 構成

論理接続フォームの [構成] セクションでは、論理接続を作成できます。

論理接続フォーム - 構成

フィールド	説明
ポート A	ポート A 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細の定義 」を参照してください。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z への合計帯域幅容量。
フレーミングタイプ	接続で使用されるフレームのタイプ。次のいずれかを選択します。 - なし - AMI - B4Zの - B8zs
プロトコ	プロトコルのバージョン番号。

論理接続フォーム - 構成 (続く)

フィールド	説明
ルバー ジョン	
エンド ポイン トロー ル	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供するサービスのエンドポイントによって提供される機能です。次のオプションのいずれかを選択します。 • Metro Ethernet Forum (MEF) によって定義されている ROOT または LEAF エンドポイントの役割。 • -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合は、
ポート Z	ポート Z 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「ネットワークインターフェイスの詳細の定義」を参照してください。
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続のサイト Z からサイト A までの合計帯域幅容量。
コスト	このネットワーク資産のコスト。
距離	この接続のルートの長さは、[単位] フィールドで選択した測定単位で表されます。
単位	[距離] フィールドで接続のルート長を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さには距離測定値がありません。 マイル 距離はマイルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。

i 注:

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

関連情報

[論理接続の詳細の定義](#)

関連するテンプレートの命名規則

機器またはインターフェイスカードテンプレートを作成するときに自動的に生成される関連テンプレートの命名規則の詳細について説明します。

命名パターンでサポートされている変数

変数名	説明
位置	適用されるインターフェイスまたはスロット/ホルダーのいずれかのユニット位置。 i 注: ユニットの位置は常に 0 から始まります。インベントリ モデルで設定されたスロット/インターフェイスの開始番号は、ユニットの位置には適用されません。
parent_slot_name	スロットまたはインターフェイスがカードに属する場合、カードが挿入されるスロットの名前。
parent_slot_position	スロットまたはインターフェイスがカードに属する場合、カードが挿入されるスロットのユニット位置。
equipment_slot_name	スロットまたはインターフェイスがカードに属する場合、ベース カードが挿入されている機器のスロットの名前。現在のカードが基本カードの場合、parent_slot_nameとequipment_slot_nameは同じ値を保持します。
equipment_slot_position	スロット/インターフェイスがカードに属する場合、ベースカードが挿入されている機器上のスロットのユニット位置。現在のカードが基本カードの場合、parent_slot_numberとequipment_slot_numberは同じ値を保持します。
帯域 幅	インターフェイスの帯域幅値。

自動翻訳

ネットワークインベントリ変更要求フォーム

[変更要求] フォームを使用すると、[設計およびアサイン] 機能で通信在庫変更モデルの変更アクティビティを作成および修正できます。

変更要求フォーム

フィールド	説明
番号	変更要求番号。
要求者	変更を要求したユーザー。特定の変更を誰が要求したかを参照できるように、このフィールドは [変更要求] リストビューで利用可能です。
サービス	変更要求に対して使用できるようにするビジネスサービス。

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
サービスオフアリング	サービスレベルを一意に定義する 1 つ以上のサービスコミットメントで構成されるサービスオプション。サービスオフアリングを通じて、サービスのさまざまなレベルのパフォーマンスと機能を選択できます。利用可能なサービスオフアリングをフィルタリングするには、サービスを選択する必要があります。
構成アイテム	変更が適用される構成アイテム (CI)。
リスク	変更のリスク レベル。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 高 • 中 • 低
影響	ビジネスプロセスに対する変更の影響の測定。
簡単な説明	変更の概要。
説明	変更の詳細説明。
モデル	電気通信ネットワークインベントリ変更要求に関連付けられている変更モデル。 [変更モデル] タイルを選択すると、関連するモデルがこのフィールドに表示されます。次のいずれかのオプションを手動で選択することもできます。 インターフェイスカードを追加 機器スロットにインターフェイスカードを追加するために使用される変更モデル。 インベントリ機器を作成 サイトまたは機器所有者でインベントリテンプレートを使用するときに機器を追加するために使用される変更モデル。 論理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の論理接続を作成するために使用される変更モデル。 物理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の物理的な接続を作成するために使用される変更モデル。 緊急

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	電気通信ネットワークインベントリの緊急変更を使用される変更モデル。 GPON ブロードバンドサービス GPON ブロードバンド注文要求を実行するために使用される変更モデル。 通常 電気通信ネットワークインベントリの通常の変更を使用される変更モデル。 i 注: これらの変更モデルは、変更 > 新規作成 > 変更の要求の作成 スクリーンショットです
アサイン先グループ	変更要求に取り組んでいるグループ。
アサイン先	変更がアサインされているユーザー。アサインルールが適用される場合、変更が適切なユーザーまたはグループに自動的にアサインされます。

変更要求フォーム - [スケジュール] タブ

フィールド	説明
開始予定日	実装の予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。このフィールドのデフォルト値は現在の日付です。開始予定日を変更するには、カレンダーアイコンをクリックして新しい日付を選択します。
終了予定日	実装の終了予定日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。このフィールドのデフォルト値は、開始予定日の 1 日後です。終了予定日を変更するには、カレンダーアイコンをクリックして新しい日付を選択します。
CAB 必須	この変更要求が実装前に変更諮問委員会 (CAB) の承認を必要とするかどうかを指定するオプション。
CAB 実施日時	実装の CAB 承認日。
開始実績日	実装の実開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日	実装の実終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできませんが、開始実績日より前にすることはできません。

変更要求フォーム - [スケジュール] タブ (続く)

フィールド	説明
CAB 委任者	変更を説明するために変更諮問委員会 (CAB) 会議に出席するユーザー。
CAB の提言	CAB 会議に関連するメモまたは推奨事項。

変更要求フォーム - [メモ] タブ

フィールド	説明
ウォッチリスト	変更要求に関する通知を受け取るユーザー。通知を受信し、ウォッチトピックを表示できるユーザーの名前を追加します。
追加コメント (顧客に表示)	変更を要求したユーザーと作業メモを共有する必要があるかどうかを指定するオプション。
作業メモ	変更要求の作業メモ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を受け取ることができるユーザー。

変更要求フォーム - [クローズ情報] タブ

フィールド	説明
終了コード	この変更要求をクローズする理由を最もよく表すクローズ コード。次のオプションのいずれかを選択します。 - 成功 - 失敗した (問題あり) - 不成功
クローズメモ	この変更要求をクローズした結果を説明する追加のメモ。

変更要求フォーム - 変更タスクフォーム

フィールド	説明
番号	変更タスクの識別番号。
変更要求	この変更タスクの作成に使用された変更要求番号。
構成アイテム	変更が適用される構成アイテム (CI)。
要求タイプ	ネットワークインベントリモデルに基づく変更要求のタイプ。
簡単な説明	この注文タスクの簡単な説明。
説明	この注文タスクの説明。

変更要求フォーム - 変更タスクフォーム (続く)

フィールド	説明
ステータス	この変更タスクのステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 保留中 タスクはユーザーからのアクションを待機しています。 オープン このタスクに対するアクションはまだ実行されていません。 対応中 タスクの処理が進行中です。 クローズ済み 変更タスクが完了しました。 キャンセル 変更タスクがキャンセルされました。
アサイン先グループ	このタスクを担当するグループ名。検索アイコン (検索  をクリックして、リストからグループを選択します。
アサイン先	選択したグループに応じて、リストにアサインされているユーザーが表示されます。検索アイコン () をクリックすると、ユーザーのリストが表示されます。
作業メモ	自由形式の作業指示メモテキスト。
更新	注文タスクに加えた変更を保存するオプション。
タスクを閉じる	注文タスクのステータスを [クローズ済み] に変更するオプション。
削除	この注文タスクを削除するオプション。

[接続要素] フォーム

[接続要素] フォームでは、アプリケーションの物理接続と論理接続 Telecommunications Network Inventory の接続要素を定義できます。このフォームの要素を作成、レビュー、更新、および削除できます。

[接続要素] フォーム

フィールド	説明
論理接続	接続要素が作成される論理接続の名前。
物理接続	接続要素が作成される物理接続の名前。
要素タイプ	選択できる接続要素のタイプ:

[接続要素] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• Network Interface • 物理接続 • 論理接続 • 管理対象ネットワーク機能 • 設備
要素	要素タイプの要素。
シーケンス	シーケンスの数。
ルーティング	ルートの数。
ケーブル	物理要素用のケーブル。
ストランド番号	物理要素のケーブル番号。

ネットワーク在庫フォームの関連タブ

ネットワークインベントリフォームの関連タブには、他のネットワーク資産との接続および関係に基づいて動的に変化する関連レコードが表示されます。これらのレコードを選択的に表示、変更、または更新できます。

ネットワーク在庫フォームの関連タブ

タブ	説明
概要	電気通信機器に関する一部の情報のスナップショット。[概要] タブには、次のセクションが表示されます。 使用法 電話通信機器で開いているスロット、インターフェイスカード、およびインターフェイスの数。 イメージ 電気通信機器の画像。画像を選択すると、別のページにプレビューが表示されます。 関係 関連付けられたネットワークインベントリとの関係。[関係] セクションには、電話会社の機器に関連付けられているすべての子階層が表示されます。関係はワークスペースでのみ表示できます。

ネットワーク在庫フォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このタブは、[Telco 機器] フォームでのみ使用できます。
ラック機器の配置	この機器が配置されているラックスロットの詳細。[排他的に使用] 列の下に表示されるテキストリンクを選択することで、いつでも詳細を更新できます。 i 注: このフィールドは、すべての機器、IP ルーター、IP スイッチ、IP ファイアウォール、およびカードにのみ適用されます。
子サイト	親サイトに関連付けられている子インベントリサイトのリスト。 i 注: このタブは、ネットワークサイトフォームでのみ使用できます。
電気通信機器	ネットワークインベントリに関連付けられている電話通信機器のリスト。 i 注: このタブは、ネットワークサイトフォームでのみ使用できます。
インシデント	ネットワークインベントリに関連するインシデントレコードリスト。 i 注: このタブは、ネットワークサイトフォームでのみ使用できます。
変更要求	変更要求レコードリスト。変更要求の詳細については、次を参照してください ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成。 i 注: このタブは、[ネットワークサイト]、[Telco 機器]、および [物理接続] フォームでのみ使用できます。
関係者	ネットワークインベントリに関連付けられている責任者のリスト。

ネットワーク在庫フォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このタブは、すべての在庫フォームで使用できます。
物理接続	ネットワークインベントリに関連付けられている物理接続のリスト。 i 注: このタブは、[Telco 機器] フォームでのみ使用できます。
論理接続	ネットワークインベントリに関連付けられている論理接続のリスト。 i 注: このタブは、[Telco 機器] フォームでのみ使用できます。
注文情報	ネットワークインベントリインスタンスに関連する注文情報のリスト。 i 注: このタブは、[ネットワークインターフェイス]、[物理接続]、および [論理接続] フォームでのみ使用できます。
番号要素	仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) に関連付けられている番号要素のリスト。数値要素フィールドの詳細については、「」を参照してください 一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド。 i 注: このタブは、[Telco 機器]、[ネットワークインターフェイス]、[物理接続]、[論理接続]、および [インベントリ番号] フォームでのみ使用できます。
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素のリスト。 i 注: このタブは、[物理接続] フォームでのみ使用できます。
接続要素	論理接続に追加される接続要素のリスト。これらの要素は、計算がパス検索を実行するときにサイト間の有効な論理接続である必要があります。

ネットワーク在庫フォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	接続要素を作成すると、論理接続または物理接続と、デフォルトの関係タイプの次の要素との間に関係が作成されます。接続要素フィールドの詳細については、次を参照してください [接続要素] フォーム。 i 注: - このタブは、論理接続でのみ使用できます。 - 接続要素が変更または削除されると、関係が更新されます。たとえば、接続要素を削除すると、その関係は削除されます。デフォルトの関係タイプを変更するには、システム定義 > 決定表 > TN CI 関係定義ポリシーをクリックし、[意思決定テーブル] で、CI クラスに対する CI 関係タイプ を更新します。
インベントリ番号	ネットワークインベントリに関連付けられているインベントリ番号のリスト。number 要素の詳細については、を参照してください 在庫番号の定義。 i 注: このタブは、在庫番号フォームでのみ使用できます。
IP アドレス	ネットワークインベントリに関連付けられている IP アドレスのリスト。 i 注: この追加のタブは、機器、インターフェイスカード、ネットワークインターフェイス、および論理接続で使用できます。
インベントリグループ	すべての在庫グループのリストと詳細。 i 注: このタブは、ネットワークサイト、機器所有者、機器、インターフェイスカード、ネットワークインターフェイス、物理接続、および論理接続で使用できます。
DNS 名	IP アドレスのすべての DNS 名のリスト。 i 注: このリストは、IP アドレスについてのみ使用できます。

ネットワーク在庫フォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
CMDB グループは構成アイテムを含む	この在庫グループに追加するすべての構成アイテム (CI) のリスト。CI を複製することはできませんが、異なるインベントリグループに CI を追加することはできます。CI に優先順位を付けるには、CI の作成時に [メンバーロール] フィールドで次のいずれかの値を選択します。 • メイン • プライマリ • セカンダリ • ターシャリ • 負荷分散 • アクティブ • 受動的 i 注: インベントリエージェントとインベントリ管理者のみが、CI アイテムを確認、作成、更新、または削除できます。
親インベントリグループ	すべての親インベントリグループのリスト。
子インベントリグループ	すべての子インベントリグループのリスト。
IP プール	この親プールのすべての子 IP プールのリスト。
IP サブネットワーク	この IP プールのすべての子 IP サブネットワークのリスト。
電話番号	この電話ブロックに割り当てるすべての電話番号のリスト。
電話番号割り当て	この電話ブロックに割り当てる電話番号割り当てのリスト。このリストは自動生成されます。デフォルトでは、可用性は true で、ステータスは [新規] です。
CMDB 360 データ	CI 属性レベルのすべての検出ソースのリスト。詳細については、「 CMDB 360 」を参照してください。
パック	追加されたすべてのパックのリスト。詳細については、「 属性パック 」を参照してください。

変更の関連タブ

関連タブ

タブ名	説明
影響を受ける CI	この変更要求の影響を受けた構成アイテム (CI)。

関連タブ (続く)

タブ名	説明
影響するサービス/CI	この変更要求によって影響を受けた、影響を受けるすべてのサービスまたは CI の詳細。
承認者	すべての承認者の詳細。
変更タスク	この変更要求のために作成された変更タスク。
変更により修正されたインシデント	この変更要求により修正されたインシデント。
変更起因するインシデント	この変更要求のために作成されたインシデント。

関連情報

ネットワークインベントリワークスペースを使用したネットワークインベントリの確認と更新

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ

モデルフォームの情報セクションでは、モデルの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ

フィールド	説明
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
重量 (ポンド)	ネットワーク資産の重量 (ポンド)。
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。
コネクタタイプ	ネットワークインターフェイスへのケーブルの接続に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • BNC • SC • LC • ST • ワイヤラップ • RJ45
最大物理接続サポート	このモデルでサポートされている物理接続の最大数。
ポートの帯域幅	このネットワークインターフェイスのポートについて測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ (続く)

フィールド	説明
	• Tx • Rx • Tx/Rx • バス • ブロードキャスト
インターフェイスタイプ	ネットワークインターフェイスのポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • イーサネット • オプティカル • シリアル番号

関連情報

[ネットワークインターフェイスモデルの作成](#)

[ネットワーク モデルの関係] フィールド

[ネットワーク モデルの関係] フォームでは、ネットワーク モデルの関係を作成できます。

[ネットワークモデルの関係] フォーム

フィールド	説明
名前	モデル管理者によって指定された、メーカーが割り当てたネットワーク モデル関係の名前。
関係性タイプ	関係のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- ネットワーク モデルの関係が存在しません。 ラックからスロット ラックモデルとスロットモデルの関係。この関係性は、ラックとスロットのモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。 設備からスロット 機器モデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットの数とスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連する Telecommunications Network Inventory すべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、スロットモデルのみが表示されます。

フィールド	説明
	機器からネットワークへのインターフェイス 機器モデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、インターフェイスモデルと、機器モデルと互換性がありサポートされているインターフェイスの数を示します。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連する Telecommunications Network Inventory すべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連する Telecommunications Network Inventory すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 スロットからインターフェイスカード スロットモデルとインターフェイスカードモデルの関係。この関係は、機器モデルまたはカードモデルを選択する必要がある ルート製品モデル フィールドを強制します。 i 注: • [ルート製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連する Telecommunications Network Inventory すべての機器モデルのリストが表示されます。 • [親製品モデル] フィールドには、スロットとサブスロットの両方のモデルが表示されます。 • [子製品モデル (Child product model)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 スロットへのインターフェイスカード インターフェイスカードモデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットモデルがインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。 i 注: • [親製品モデル (Parent product model)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、サブスロットのモデルのみが表示されます。 インターフェイスカードからネットワークインターフェイス インターフェイスカードモデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、ネットワークインターフェイスモデルのインターフェイスの数がインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: • [親製品モデル (Parent product model)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 物理接続から論理接続 物理接続と論理接続のモデル間の関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 論理接続から論理接続 ある論理接続モデルから別の論理接続モデルとの関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 物理接続からネットワークインターフェイス 物理接続とネットワークインターフェイスの関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 論理接続からネットワークインターフェイス 論理接続とネットワークインターフェイスの関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 ラックスロットから機器 ラックスロットと機器の関係。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: • ルート製品モデルには、モデルカテゴリがラックであるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • 親製品モデルには、[モデルカテゴリ] が [スロット] であるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • 子製品モデルには、アプリケーションに関連する Telecommunications Network Inventory すべての機器モデルが表示されます。 ラックスロットからシェルフ ラックスロットとシェルフの関係。 i 注: • ルート製品モデルには、モデルカテゴリがラックであるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • 親製品モデルには、[モデルカテゴリ] が [スロット] であるすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 • [子製品モデル] には、[モデルカテゴリ] が [シェルフ] のすべての機器ホルダーモデルが表示されます。 キャビネットから設備 キャビネットと機器の関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、[コンテナタイプ] が [キャビネット] であるすべての機器ホルダーが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、アプリケーションに関連する Telecommunications Network Inventory すべての機器モデルが表示されます。 論理接続からチャンネル 論理接続とチャンネルの関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、チャンネルとして [動作] を持つすべての論理接続モデルのリストが表示されます。
コメント	テンプレートの作成時に親製品モデルの下に作成できる子製品モデルの数。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: この属性は、 Equipment to Slot、 Rack to Slot、 機器とネットワークインターフェイス、 インターフェイスカードとスロット、 インターフェイスカードとネットワークインターフェイス、 および 論理接続とチャンネル の関係タイプ。
ルート製品モデル	互換性のためのインターフェイスカードの祖父母モデル。機器モデルまたはインターフェイスカードモデルのいずれかを選択します。次に、検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: この属性は、 スロットとインターフェイスカード の関係タイプにのみ表示されます。
親製品モデル	子製品モデルの親である製品モデル。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: ラックとスロットの関係では、親製品モデルは、モデルカテゴリがラックである機器ホルダーモデルです。
子製品モデル	親製品モデルの子である製品モデル。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: ラックからスロットの関係では、子製品モデルは、モデルカテゴリがスロットである機器ホルダーです。
シーケンス	モデル関係の子エンティティのシーケンス番号。「カウント」フィールドに数値を入力すると、「順序」フィールドが表示されます。 デフォルト値は 1 です。親モデルに複数の関係がある場合、最初の関係のシーケンス番号は 1 に設定され、最初の関係の最大値に続く番号が連続する関係に設定されます。たとえば、機器に 2 つのスロットと 2 つのポートを持つモデル関係があるとしします。関係が作成されると、スロットとポートのシーケンス番号が 1 と 3 に設定されます。 i 注: この属性は、 [ラックからスロット]、 [機器からスロット]、 [機器からネットワークインターフェイス]、 [インターフェイスカードからスロット]、 [インターフェイスカードからネットワークインターフェイス]、 および [論理接続とチャンネル] の関係タイプにのみ必要です。
親帯域幅	親製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、 論理接続とチャンネルの関係 タイプの場合にのみ表示されます。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
子帯域幅	子製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、論理接続とチャネルの関係 タイプの場合にのみ表示されます。

関連情報

[ネットワーク モデルの関係を定義する](#)

[ネットワーク サイト] フォーム

[ネットワーク サイト] フォームでは、ネットワーク機器を格納するネットワーク サイトを定義できます。

ネットワークサイトフォーム

フィールド	説明
名前	機器が存在するネットワークサイトの名前。は Now Platform この名前を使用してネットワークインベントリを識別します。たとえば、TROY IXC POP などです。
NPANXX の	このネットワーク サイトに割り当てられた NPA-NXX コード: - このコードは、市外局番(NPA)とローカル交換機(NXX)の組み合わせです。 - 結合されたコードには、特定の地域内にある最大 10,000 の電話番号の下 4 桁を含めることができます。この地域は、割り当てられたコードの本社に関連付けられます。 - たとえば、858-335 は電話番号 858-335-9500 の NPA-NXX です。
ロケーション	ネットワーク サイトの地理的な場所。検索アイコン (検索 🔍) を選択し、場所階層から場所を選択します。場所階層の詳細については、「」を参照してください product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita 。
県	ネットワーク サイトがある郡の名前。
地域	ネットワーク サイトが配置されている地理的リージョンの名前。
POTS 番号	このネットワーク サイトに関連付けられている一般電話サービス番号 (POTS)。

i 注:

ほとんどの [在庫] フォームと [在庫番号割り当て] メニュー フォームに共通するその他の識別フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#)。

関連情報

[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita](#)

ネットワークトポロジフォーム

[ネットワークトポロジ] フォームを使用すると、ネットワークのトポロジの詳細を作成および確認できます。

ネットワークトポロジフォーム

フィールド	説明
名前	トポロジの名前。
帯域幅	トポロジの帯域幅。
ライフサイクルステージ	ネットワークインベントリ資産のライフサイクルステージ。
サポートグループ	このネットワーク資産をサポートするグループ。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータス。
管理担当者	このネットワーク資産の管理者の名前。
モデル ID	このネットワーク資産のメーカーのモデル識別番号。
コメント	コメント (ある場合)。

関連情報

[ネットワーク トポロジの手動作成](#)

物理接続フォーム

物理接続フォームでは、物理接続の構成と接続の詳細を記述することで、物理接続を定義できます。

物理接続フォーム

「物理接続」フォームでは、物理接続の詳細を記述できます。

物理接続フォーム

フィールド	説明
名前	この物理接続の名前。は Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリで識別します。
製品モデル	物理接続に関連付けられている製品モデルの名前。検索アイコン (検索 🔍) をクリックして、製品モデルを選択します。 [光ファイバケーブル(Optical Fiber Cable)] を選択した場合は、[ケーブルパラメータ (Cable parameters)] タブが表示され、追加情報を入力できます。 [ファイバーリンク] を選択した場合は、[物理接続要素] フォームの [ケーブル] フィールドと [ストランド番号] フィールドに情報を入力する必要があります。
リンクタイプ	物理接続のリンクのタイプ。たとえば、ファイバーや同軸などです。
帯域幅	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z への合計帯域幅容量。

物理接続フォーム (続く)

フィールド	説明
(昇順)	
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続のサイト Z からサイト A までの合計帯域幅容量。
サイト A	この接続の発信元ネットワーク サイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワーク サイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
サイト Z	この接続の宛先ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワーク サイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。

関連情報

[物理接続の詳細を定義する](#)

物理接続フォーム - 構成

[物理接続] フォームの [構成] セクションでは、物理接続を作成できます。

物理接続フォーム - 構成

フィールド	説明
ポート A	ポート A 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細の定義 」を参照してください。
トポロジ	ネットワーク接続のトポロジ: ポイントツーポイント 2 つのノードを共通リンクで直接接続 ポイントツーマルチポイント 1 つのポイントから複数のポイントへの複数の接続を提供します。 マルチポイントツーマルチポイント 各ノードが他の複数のノードと通信できる複雑なトポロジ 単一方向リング 信号が一方向にのみ送信されるファイバーリング。 双方向リング 信号が両方向に同時に送信されるファイバーリング。

物理接続フォーム - 構成 (続く)

フィールド	説明
	メッシュ インフラストラクチャー・ノードが、できるだけ多くの他のノードに直接、動的、非階層的に接続し、相互に連携してクライアントとの間でデータを効率的にルーティングするネットワーク・トポロジ トポロジグループ ノードとデバイスがネットワーク内で相互に接続する方法を定義します リニアチェーン 各デバイスが順次チェーンで次々に接続するネットワークトポロジ 無線アクセスネットワーク スマートフォンなどのエンドユーザーデバイスをクラウドに接続します。 モバイルコアネットワーク 登録者が、使用する資格のあるサービスにアクセスできるようにします。加入者プロフィール情報、位置情報、サービス認証、必要なスイッチングタスクなどの重要な機能を担当します。 モバイルトランスポートネットワーク コアネットワークとモバイルネットワークのRAN(無線アクセスネットワーク)を接続します
管理オプション	このエンドポイントの管理担当者または担当者を示す属性。
エンドポイントロール	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供するサービスのエンドポイントによって提供される機能です。次のオプションのいずれかを選択します。 • Metro Ethernet Forum (MEF) によって定義されている ROOT または LEAF エンドポイントの役割。 • -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合は、
ポート Z	ポート Z 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細の定義 」を参照してください。
ベンダー	ネットワーク資産のベンダーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、ベンダーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
コスト	このネットワーク資産のコスト。
距離	この接続のルートのは長さは、[単位] フィールドで選択した測定単位で表されます。

物理接続フォーム - 構成 (続く)

フィールド	説明
単位	[距離] フィールドで接続のルート長を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さには距離測定値がありません。 マイル 距離はマイルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。

i 注:

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

関連情報

[物理接続の詳細を定義する](#)

[ケーブル パラメータ(Cable Parameters)] フォーム

「ケーブルパラメータ」(Cable Parameters) フォームでは、物理接続のケーブルパラメータを定義できます。

[ケーブル パラメータ(Cable Parameters)] フォーム

フィールド	説明
ケーブルの種類	ケーブルタイプの名前。
ケーブル番号	物理接続で使用されるケーブルの番号。
スタンド数	このケーブルに含まれるファイバーの数。
ケーブル長	ケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
親ケーブル	最上位層の物理接続を指定するオプション。
カラー コード	ケーブル ラインの色。
スペアリングス A	サイト A に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm))。
スペアリングス Z(Sparelength Z)	サイト Z に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm))。
KML ルート	ファイバールートマップを KML 形式で指定するオプション。

関連情報

[物理接続の詳細を定義する](#)

[ルーター]、[スイッチ]、[ファイアウォール]、[仮想マシン]、[ロードバランサー]、および[サーバー] フォーム

機器フォームを使用すると、ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、またはサーバーのアプリケーションのネットワーク資産の詳細 Telecommunications Network Inventory を作成、確認、および変更できます。

共通フィールド

フィールド	説明
名前	ネットワークインベントリ資産の名前。
ロケーション	ネットワークインベントリ資産の場所。
説明	ネットワーク在庫資産に関する説明。
サポートグループ	このネットワーク資産をサポートするグループ。
サポート担当者	このネットワーク資産を扶養しているユーザーの名前。
管理担当者グループ	このネットワークインベントリ資産を管理するグループの名前。
環境	ネットワーク資産の現在の状態。次のオプションのいずれかを選択します。 • 開発 • 本番 • テスト
会社	このネットワークインベントリ資産を所有している会社。
モデル ID	このネットワークインベントリ資産のモデル ID。
カテゴリ	このネットワークインベントリ資産のモデルカテゴリ。
サブカテゴリ	このネットワークインベントリ資産のモデルサブカテゴリ。
部門	このネットワークインベントリ資産が属する部門。
ライフサイクルステージ	ネットワークインベントリ資産のライフサイクルステージ。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータス。
外部審査者	このネットワークインベントリ資産を証明する人物の名前。
外部審査日	証明書の日付。
証明書ステータス	証明書のステータス。
インストールステータス	ネットワークインベントリ資産のインストールのステータス。
運用ステータス	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。
不具合発生回数	障害の数。
メンテナンススケジュール	ネットワークインベントリ資産に対して実行される検査のタイプ。

共通フィールド (続く)

フィールド	説明
スケジュール	メンテナンススケジュールのタイプ。
完全修飾ドメイン名	ドメイン名は、ドメインネームシステム (DNS) のツリー階層内の正確な場所を指定します。
IP アドレス	ネットワーク上のネットワークインベントリ資産を識別する一意のアドレス。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
シリアル番号	ネットワーク在庫資産のシリアル番号。
DNS ドメイン	ドメインネームシステム (DNS) インフラストラクチャ内でデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
属性	追加の属性。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用される自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
監視	このネットワークインベントリ資産の詳細を印刷するオプション。
印刷可能	このネットワークインベントリ資産の詳細を印刷するオプション。

サーバーフィールド

次のフィールドは、サーバーフォームの [構成属性] セクションでのみ使用できます。

サーバーフィールド

フィールド	説明
OS ドメイン	構成アイテム (CI) のオペレーティングシステムドメイン。
RAM (MB)	コンピューターの RAM 容量 (メガバイト (MB))。
オペレーティングシステム	CI で実行されているオペレーティングシステム。
CPU メーカー	CPU メーカーの名前。
OS バージョン	CI で実行されているオペレーティングシステムのバージョン。
CPU タイプ	CPU のタイプ。
OS サービスパック	オペレーティングシステムにインストールされているサービスパック。
CPU 速度 (MHz)	CPU の速度 (メガヘルツ (MHz))。
CPU カウント	CPU 数。
ディスク スペース (GB)	ディスク容量 (ギガバイト (GB))。
CPU コア数	CPU コア数。

[Asset attribute (アセット属性)] フィールドの詳細については、「[Next Experience UI での作業](#)」を参照してください。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

関連情報

[電気通信機器インスタンスの作成](#)

電気通信機器フォーム

Telco 機器フォームを使用すると、機器のネットワーク資産の詳細を作成、確認、および変更できます。

構成

フィールド	説明
品番	このネットワーク資産に割り当てられた部品番号。
製造日	このネットワーク資産が製造された日付。
前回のサービスの日付	このネットワーク資産が前回サービスされた日付。
占有ラックユニット	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
ファームウェアメーカー	ファームウェアのメーカー。
ファームウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。
メモリサイズ (MB)	このネットワーク資産で使用されているメモリデバイスのサイズ (メガバイト)。たとえば、2.5 GB のメモリチップの場合は 2500 MB です。
ストレージサイズ (GB)	デバイスのストレージサイズ (ギガバイト)。たとえば、2.5 GB です。

i 注:

ほとんどの [在庫] メニュー フォームに共通するその他の設定フィールドについては、「」を参照してください [一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)。

関連情報

[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)

TNI CI 属性フォーム

[TNI CI 属性] フォームを使用すると、Telecommunications Network Inventory アプリケーションのネットワークインベントリ Telecommunications Network Inventory の属性の詳細を作成できます。

TNI CI 属性フォーム

フィールド	説明
構成アイテム	ネットワーク在庫資産の構成アイテム (CI)。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権と責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Telco Telco 機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 コア コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
インベントリカテゴリ	インベントリのタイプ。
インベントリテンプレート	インベントリテンプレート (存在する場合)。
機器 CLLI	このネットワーク資産に割り当てられた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、CLLI コードを使用して電気通信機器の場所と機能を指定します。
ネットワークサイト	ネットワークインベントリ資産がインストールされているネットワークサイト。検索アイコン (🔍) をクリックし、ネットワーク サイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
識別名	他の関連するネットワーク資産の連結された名前と ID に基づくネットワーク資産の代替名の参照。
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。検索アイコン (🔍) を選択し、ロールコードを選択します。

TNI CI 属性フォーム (続く)

フィールド	説明
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。検索アイコン () を選択し、機能コードを選択します。
ユニットの位置	このネットワーク資産のユニット位置。
アクセス識別子	適用外です。
前回のメンテナンス日	このネットワーク資産が前回サービスされた日付。
アラーム可能である	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。
交換可能	このネットワーク資産が誤動作した場合やネットワーク機能停止の影響を受けた場合に、このネットワーク資産を置き換えることができるかどうかを指定するオプション。
スペア	このネットワーク資産がスペアかどうかを指定するオプション。
業務メモ	このネットワーク資産に対する自由形式の操作メモのテキスト。たとえば、発電機のディーゼル燃料を確認します。

関連情報

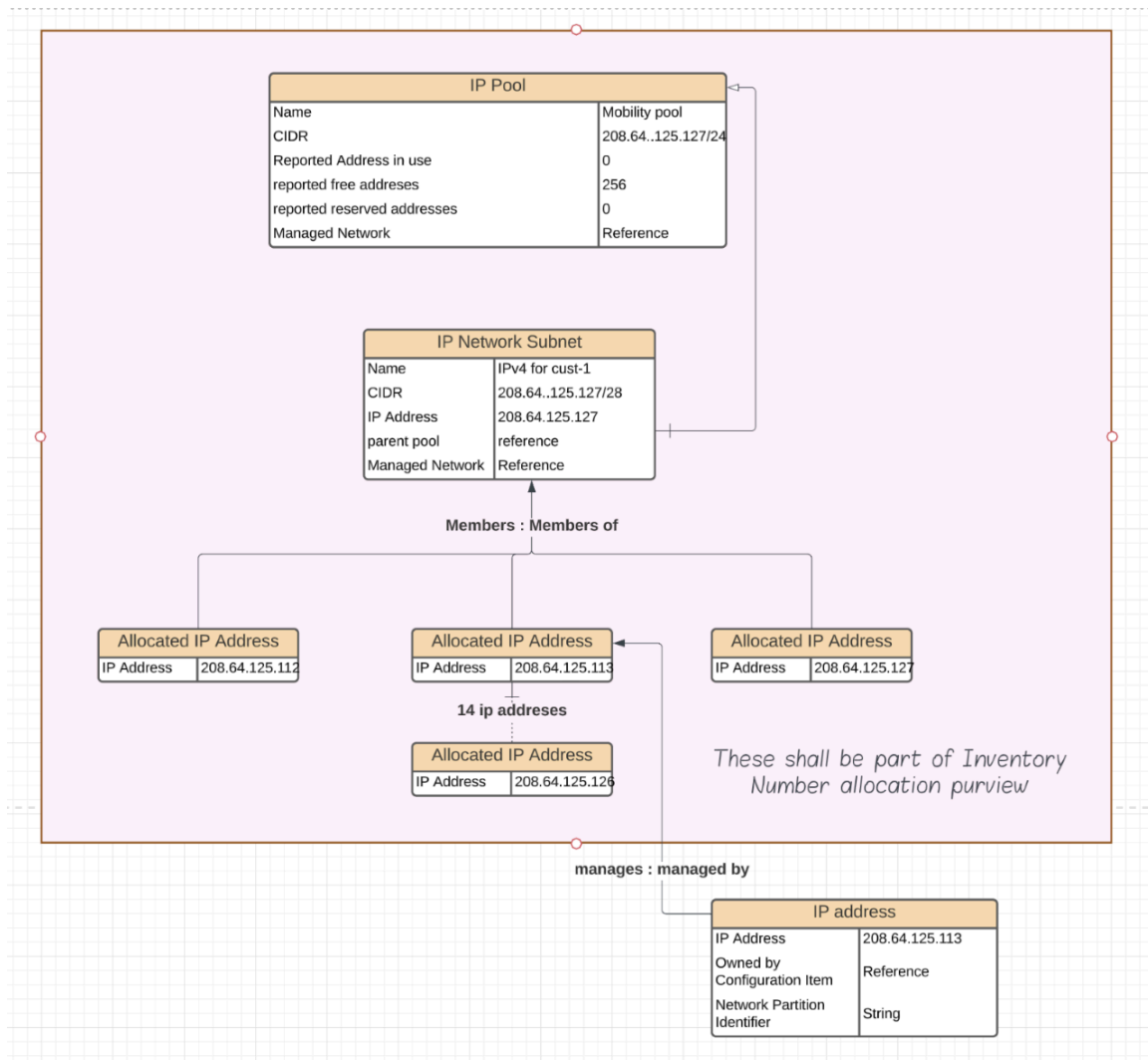
[電気通信機器インスタンスの作成](#)

IP アドレスインベントリ管理データモデル

IP アドレスインベントリ管理データモデルを使用すると、IP プール、IP サブネットワーク、割り当てられた IP アドレス、および IP アドレスに使用されるテーブルがすべて互いにどのように関連しているかを理解できます。

データモデル

次の図は、IP アドレスインベントリ管理データモデルを示しています。



このデータモデルを使用すると、IP プール、IP サブネットワークアドレス、または割り当てられた IP アドレスの関連テーブルを保存できます。また、IP プールテーブルまたは IP サブネットワークテーブルを作成して、サービスを割り当てることもできます。このタスクを実行するには、IP プールまたは IP サブネットワークを作成します。サブネットワーク内の各 IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルに作成されます。その後、割り当てられた IP アドレステーブルの IP アドレスを IP アドレステーブルに関連付けて、検出および構成アイテム (CI) マッピングを行うことができます。

IP アドレスは次のように割り当てられます。

1. 通信事業者は、外部システムから顧客の割り当てられた IP サブネットワークを取得します。この IP サブネットワークは、IP ネットワークサブネットワークテーブルに格納されます。
2. 通信事業者は、サブネットワークの IP アドレスを作成して、IP アドレスの割り当てを追跡できます。この場合、このサブネットワークの各 IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルに格納されます。
3. 割り当てられた IP アドレステーブルですぐに使用できる IP アドレスは、IP アドレステーブルのレコードに関連付けられます。

関連情報

IP アドレス割り当ての作成

Telecommunications Network Inventory 機能カタログ

機能カタログを使用すると Telecommunications Network Inventory 、ネットワークインベントリの設計と割当プロセスの自動化に役立つ機能にアクセスできます。

空き番号割り当て機能

「空き番号の割り当て」機能を使用すると、番号レコードから Telecommunications Network Inventory 空き番号を割り当てることができます。この機能を使用して、数値要素の構成アイテム (CI) に対して追加する数値を指定された範囲から割り当てます。

概要

[空き番号の割り当て]機能を使用して、次のアクションを実行します。

- 在庫レコードの番号範囲から空いている番号を割り当てます。
- 番号範囲から空き番号を取得し、在庫番号レコードを子番号として作成します。
- 数値要素の CI に対して空き番号を追加します。

この機能は、ワークフロー内のTelecommunications Network Inventoryアクションとしてフローデザイナー使用できます。

ロールと可用性

admin ロールは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクションTelecommunications Network Inventoryとして使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、[空き番号の割り当て] アクションの入力フィールドとその説明を示します。

空き番号割り当て機能の入力フィールド

フィールド名	説明	タイプ	必須
番号範囲	空き番号が必要な在庫番号レコード。	Reference.Inventory Number レコード	はい
カウント	空き番号の合計数。	整数	はい
番号タイプ	空き番号が必要なネットワーク接続の種類。 次のいずれかを選択します。 VLAN 単一の VLAN 番号レコード。 LAG 単一の LAG 番号レコード。	選択肢	はい

空き番号割り当て機能の入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	タイプ	必須
構成アイテムが所有	在庫番号レコードに関連する構成アイテム (CI)。	Reference.ConfigurationItem	いいえ
連続	連続する空き番号を返すオプション。	True/False	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	タイプ
FinalRecordList	番号範囲のインベントリ番号レコードのリストを返します。	Array.Integer

例

VLAN の番号範囲は 1 ～ 4096 で、サブ範囲は 1 ～ 1000、1001 ～ 2500、および 2510 ～ 4096 であるとして。カウントを 4 とすると、関数は 2501、2502、2503、および 2504 の在庫番号レコードのリストを返します。これらの番号は、VLAN 番号の範囲内では無料です。

[テンプレートから CI を作成] 機能

TNI テンプレートから CI を作成機能を使用すると、インベントリテンプレートを使用してインベントリをインスタンス化するとき、アプリケーションの指定されたサイトまたは機器所有者 Telecommunications Network Inventory にインベントリインスタンスを作成できます。ネットワークインベントリの設計と割り当てプロセスをインスタンス化すると、インベントリを自動的に作成できます。

概要

TNI テンプレートから CI を作成機能は、インベントリテンプレートの要件に応じて、インターフェイスカード、機器、ネットワークサイト、ネットワークインターフェイスなどの構成アイテム (CI) を作成します。

この機能は、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとしてフローデザイナー使用できます。

ルールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクション Telecommunications Network Inventory として使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、[テンプレートから CI を作成] 機能の入力フィールドとその説明を示します。

[テンプレートから CI を作成] 機能の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
ネットワークサイト	新しい CI に関連付けられているネットワークサイトレコードの sys_id。	文字列	いいえ
機器所有者	新しい CI に関連付けられている機器所有者レコード sys_id。	文字列	いいえ
インベントリテンプレート	新しい CI に関連付けられているインベントリテンプレートの sys_id。	文字列	はい
変更の要求	ネットワーク資産の新しいインスタンスをインスタンス化する変更要求。	文字列	いいえ
テンプレートの上書き	値 (存在する場合) を上書きします。	文字列	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	データタイプ
レコード ID	新しいインベントリインスタンスの sys_id を返します。	文字列

例

このフローアクションは、インベントリテンプレートを使用して機器をインスタンス化するときに、電気通信機器レコードを作成します。

カスケード更新関数

カスケード更新機能を使用すると、アプリケーションの構成アイテム (CI) 属性 Telecommunications Network Inventory を更新し、関連するすべての CI に変更をカスケードできます。を使用する フローデザイナー ときに、この機能を使用して、関連する CI のフィールド値を自動的にカスケードできます。

概要

カスケード更新機能を使用すると、インベントリレコードの任意のフィールドを更新し、インベントリレコードに記載されている階層まで変更をカスケードできます。

関連する CI で見つかった不一致などの競合がある場合、この関数はエラーを返します。たとえば、変更要求と CI を渡したが、その CI が変更要求の影響を受ける CI リストに追加されていないとします。代わりに、実行中の競合情報を含む並べ替えエラーを返します。

注:

この機能は、[ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステータス] フィールドでは機能しません。

この機能は、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとしてフローデザイナーで使用できます。

ロールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクション Telecommunications Network Inventory として使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、カスケード更新機能の入力フィールドとその説明を示します。

カスケード更新関数の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須?
変更の要求	影響を受ける CI リストに関連する変更要求。	Reference.Change Request	いいえ
CI	フィールドを更新する CI。	Reference.Configuration Item	いいえ
フィールド	カスケードする CI の属性。	文字列	いいえ
値	カスケードするフィールドの値。	文字列	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

この機能を使用して、関連するすべての CI の CI 属性を更新します。

CI のすべての共通属性のカスケードルール

次の表に、さまざまなタイプの CI のカスケードルールに関する情報を示します。

カスケードルール

CI	カスケードルール	例
電気通信機器	関連する機器ホルダー (スロット)、インターフェイスカード、電気通信機器ホルダー (サブスロット)、およびネット	機器レコードで更新される [タイプ] フィールドは、在庫レコードに記載されている階層までカスケードされます。

カスケードルール (続く)

CI	カスケードルール	例
	ワークインターフェイスレコードに対して更新される属性。	
電気通信機器の所有者	関連するインターフェイスカード、電気通信機器ホルダー (サブスロット)、およびネットワークインターフェイスレコードについて更新される属性。	機器レコードで更新される [Type] フィールドは、前述の階層までカスケードされます。
インターフェイスカード	関連する電気通信機器の所有者 (サブスロット) およびネットワークインターフェイスレコードについて更新される属性。	機器レコードで更新される [Type] フィールドは、前述の階層までカスケードされます。
Network Interface	関連するネットワークインターフェイスレコードの更新される属性。	機器レコードで更新された [Port Bandwidth] フィールドは、在庫レコードに記載されている階層までカスケードされます。
物理接続	関連する物理接続レコードの属性が更新されます。	機器レコードで更新される [Bandwidth (帯域幅)] フィールドは、在庫レコードに記載されている階層までカスケードされます。
論理接続	論理接続レコードを参照する接続要素で定義されている、次の要素 CI レコードすべてに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [Bandwidth (帯域幅)] フィールドは、在庫レコードに記載されている階層までカスケードされます。

範囲/単一番号機能の作成とアサイン

「範囲/単一番号の作成および割当」機能を使用すると、ネットワーク在庫ワークフローを処理するときに、番号範囲の在庫番号レコードを登録することができます。

概要

「範囲/単一番号の作成および割当」機能を使用して、入力開始番号と終了番号の間に棚卸番号レコードを登録します。この関数は、対応する数値要素も作成します。

この機能は、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとしてフローデザイナーで使用できます。

ルールと可用性

admin ロールは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクション Telecommunications Network Inventory として使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、[空き番号の割り当て] アクションの入力フィールドとその説明を示します。

範囲/単一番号の作成と割り当て機能の入力フィールド

フィールド名	説明	タイプ	必須
構成アイテムが所有	空き番号が必要な在庫番号レコード。	Reference.Configuration Item	はい
開始	インベントリ番号レコードの開始番号。	整数	はい
終了	インベントリ番号レコードの終了番号。範囲の場合は、値を指定する必要があります。	整数	いいえ
名前	作成する在庫番号レコードの名前。	文字列	はい
番号タイプ	空き番号が必要なネットワーク接続の種類。次のいずれかを選択します。 VLAN 範囲 VLAN 番号の範囲。 VLAN 部分範囲 VLAN 範囲全体内の VLAN 番号のサブセットまたは範囲。 VLAN 単一 VLAN 番号レコード LAG 範囲 LAG 番号の範囲。 LAG 単一の LAG 番号レコード	選択肢	はい
親番号	親番号レコード。親番号レコードを選択しない場合、関数は開始番号の在庫番号レコードのみを返します。	Reference.Inventory Number レコード	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	タイプ
インベントリ番号	インベントリ番号レコードを返します。	レコード

例

VLAN の範囲が 1 ～ 4096 で、サブ範囲が 1 ～ 1000、1001 ～ 2500、および 2510 ～ 4096 であるとして。開始番号を 2501、終了番号を 2502 とすると、関数は 2501 ～ 2502 の番号範囲を作成し、在庫番号レコードを返します。

論理インターフェイス関数を作成

論理インターフェイスの作成機能を使用すると、アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 論理インターフェイスを作成できます。

概要

論理インターフェイスの作成機能を使用して、論理接続のターミネーションポイントとして、または物理インターフェイスまたは論理インターフェイスの子として作成された論理インターフェイスを作成できます。物理インターフェイスまたは論理インターフェイスは、複数の子論理インターフェイスを持つことができます。論理インターフェイスの帯域幅は固定されておらず、必要に応じて構成できます。また、この関数は、論理ネットワークインターフェイスの仮想フラグを設定します。

この機能は、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとしてフローデザイナーで使用できます。

ルールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクション Telecommunications Network Inventory として使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、論理インターフェイスの作成機能の入力フィールドとその説明を示します。

論理インターフェイスアクションの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
親インターフェイス	論理インターフェイスとの関係を作成する親ネットワークインターフェイスレコード。追加アイコン(+)をクリックして、インターフェイスを追加します。	Array.String	はい

論理インターフェイスアクションの入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
名前	新しい論理インターフェイスの名前。 i 注: 論理インターフェイス名を入力しない場合、このフローアクションは、ユニット位置の最大数の後の番号を持つモデル名を生成します。	文字列	いいえ
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。	Reference.TRF 値	いいえ
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。	Reference.TRF 値	いいえ
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。	Reference.TRF 値	いいえ
電気通信機器	論理インターフェイスに関連付けられている機器。設備名を入力しない場合、この機能により、親インタフェースから関連設備が選択されます。	参考資料.Telco 機器	いいえ
ポートの帯域幅	この論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth	はい
製品モデル	論理インターフェイスに関連付けられているネットワークインターフェイスモデル。	参照.ネットワークインターフェイスモデル	はい
CI 関係性	CI 関係のタイプ。デフォルトでは、[論理インターフェイスを作成] フローアクション	Reference.CI 関係	いいえ

論理インターフェイスアクションの入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
	は CI 関係を [次の値を含む:次の値に含まれる] に設定します。親インターフェイスは、複数のインターフェイスレコード参照を入力としてサポートできます。同じ親 CI を複数回入力すると、親子関係の一意のセットに関連付けられます。		
集計インターフェイス	各親インターフェイスが子インターフェイスを 1 つだけ持つ必要があることを確認するオプション。	True/False	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	データタイプ
結果の ID	論理インターフェイスの Glide レコードを返します。	レコード

論理接続機能を作成

論理接続の作成機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力(インターフェイス)に基づいて、アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 論理接続レコードを作成できます。

概要

「論理接続の作成」機能を使用して、ネットワーク・インターフェース・カードに論理接続を作成できます。

インターフェイス A に入ると、この機能はサイト A、機器 A、およびポート A のデータを自動的に取得します。同様に、入力インターフェイス Z を渡した後、関数は関連するサイト Z、機器 Z、およびポート Z のデータを取得します。また、この関数は、[帯域幅] フィールドから [帯域幅 AtoZ] と [帯域幅 ZtoA] のデータを取得します。

また、この関数は接続要素を作成し、それらを論理接続に関連付けます。

ネットワーク・インターフェース、機器、物理接続、論理接続、または管理機能を接続エレメントとして構成すると、論理接続作成機能によって対応する接続エレメントが作成され、論理接続に関連付けられます。

この機能は、ワークフロー内のTelecommunications Network Inventoryアクションとしてフローデザイナー使用できます。

ロールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクションTelecommunications Network Inventoryとして使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、論理接続の作成機能の入力フィールドとその説明を示します。

論理接続作成機能の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
インターフェイス A	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
インターフェイス Z	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth	はい
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.論理接続モデル	はい
接続要素	論理接続に追加される接続要素。追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」 を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	データタイプ
論理接続	論理接続の Glide レコードを返します。	レコード

物理接続機能を作成

物理接続の作成機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 物理接続レコードを作成できます。

概要

[物理接続の作成(Create Physical Connection)] 機能を使用して、ネットワーク内のインターフェイス カードに物理ポート接続を作成できます。

インターフェイス A を入力すると、この機能は関連するサイト A、機器 A、およびポート A のデータを自動的に取得します。同様に、入力インターフェイス Z を渡した後、関数は関連するサイト Z、機器 Z、およびポート Z のデータを取得します。また、この関数は、[帯域幅] フィールドから [帯域幅 AtoZ] と [帯域幅 ZtoA] のデータを取得します。

また、この関数は接続要素を作成し、それらを物理接続に関連付けます。

物理接続要素を渡すと、このサブフローは対応する接続要素を作成し、それを物理接続に関連付けます。

この機能は、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとしてフローデザイナーで使用できます。

ロールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクション Telecommunications Network Inventory として使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、物理接続の作成機能の入力フィールドとその説明を示します。

物理接続アクションの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
インターフェイス A	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
インターフェイス Z	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth	はい
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.物理接続モデル	はい
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素の sys_id。物理接続の [接続タイプ] 属性が [ケーブル] の場	Array.String	いいえ

物理接続アクションの入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
	合は、接続要素を追加できます。追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。		
ストランド番号	物理要素のケーブル番号。 i 注: ストランド番号は、物理接続のストランド数以下である必要があります。	整数	いいえ
ペアを割り当て	2 つの物理接続要素を作成するオプション。 ストランド番号を指定して [ペアの割り当て] を選択すると、ケーブルは 2 本のストランドを使用します。ストランドの 1 つはストランド番号で、もう 1 つはストランド番号 +1 です。	True/False	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」 を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	データタイプ
物理接続	物理接続の Glide レコードを返します。	レコード

IP サブネットワーク機能を作成

「IP サブネットワークの作成」機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受け取った入力に基づいて、アプリケーション内に Telecommunications Network Inventory IP サブネットワーク・レコードを作成できます。

概要

このアクションは、ワークフローで Telecommunications Network Inventory Flow Designer アクションとして使用できます。ここで、サブネットワークを作成するために必要な入力、CIDR または最初の IP と最後の IP、または最初の IP と合計ホストのいずれかです。親 IP プールが入力に指定されている場合、この関数は、作成中のサブネットワークが指定された IP プールの下にあることを検証して確認します。

ロールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory Flow Designer アクションとして使用できます。

入力フィールド

[IP サブネットワーク関数の作成 (Create IP subnetwork function)] の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須
変更の要求	IP サブネットワークが作成される変更要求番号を指定してください	参照	いいえ
変更タスク	このタスクの変更タスク番号を指定してください	参照	いいえ
親 IP プール	このサブネットワークをアサインする親 IP プールの名前を指定します。	文字列	いいえ
CIDR	CIDR	文字列	いいえ
最初の IP	シリーズの最初の IP アドレス	IP アドレス (検証済み IPv4、IPv6)	いいえ
前回の IP	系列の最後の IP アドレス	IP アドレス (検証済み IPv4、IPv6)	いいえ
合計ホスト数	IP サブネット内のホストの数	整数	いいえ
管理対象ネットワーク	プライベート IP の管理対象ネットワーク	参照	いいえ

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	データタイプ
IP サブネットワーク	Glide a レコードを返します	レコード

CIDR から IP の範囲関数

クラスレスドメイン間範囲 (CIDR) から IP 範囲へのフローアクションを使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、アプリケーションを使用して Telecommunications Network Inventory クラスレスドメイン間範囲 (CIDR) を使用して一連の IP アドレスを作成できます。

概要

このフローアクションを呼び出すと、指定された IP サブネットワークを使用して CIDR がフェッチされます。さらに、CIDR を使用して、一連の IP アドレスが作成されます。これらの IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルにさらに格納されます。

また、この関数は、この特定の IP サブネットワークに対して作成された他の割り当て済み IP アドレスがないことも保証します。

ロールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory Flow Designer アクションとして使用できます。

入力フィールド

CIDR から IP 範囲への機能の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
変更の要求	このタスクの変更要求番号を指定してください	参照	いいえ
変更タスク	このタスクの変更タスク番号を指定してください	参照	いいえ
IP サブネットワーク	CIDR のフェッチ元となるサブネットワークの名前を指定します	文字列	はい

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	データタイプ
割り当て済み IP アドレス	Glide a レコードを返します	レコード

インターフェイスサマリー関数を取得

Get Interface Summary 関数を使用すると、入力に関連付けられているすべてのネットワークインターフェイスレコードを取得できます。この機能を使用すると、使用可能なフローデザイナーインターフェイス、接続されているインターフェイス、およびアプリケーション内の Telecommunications Network Inventory 機器の物理的な接続の詳細を自動的に取得できます。

概要

[インターフェイスサマリーを取得 (Get Interface Summary)] 機能を使用すると、サイト、ラック、機器などの入力に関連付けられているネットワークインターフェイスレコードを取得できます。出力を返すには、サイト、機器、またはラックの値を入力する必要があります。

複数の入力が一致しない場合、アクションはエラーを報告します。たとえば、機器とサイトの詳細を表示できるが、機器がサイトに属していないため、競合情報とともにエラーが報告されるとします。

この機能は、ワークフロー内のTelecommunications Network Inventoryアクションとしてフローデザイナー使用できます。

ルールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクションTelecommunications Network Inventoryとして使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、Get Interface Summary 関数の入力フィールドとその説明を示します。

Get Interface Summary 関数の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
サイト	ネットワークインターフェイスに関連付けられているネットワークサイト。	参考資料.ネットワークサイト	いいえ
ラック	ネットワークインターフェイスに関連付けられているラック。	参考資料.電気通信機器所有者	いいえ
設備	ネットワークインターフェイスに関連付けられている機器。	参考資料.Telco 機器	いいえ
可用性	ネットワーク資産のステータス。次のオプションから 1 つを選択できます。 • 利用可能 • 使用済み • 予約済み • 共有しました	選択肢	いいえ
モデル	ネットワークインターフェイスに関連付けられている物理接続モデル。	Reference.物理接続モデル	いいえ
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類す	Reference.TRF 値	いいえ

Get Interface Summary 関数の入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
	るために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。		
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。	Reference.TRF 値	いいえ
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。	Reference.TRF 値	いいえ
複数のレコードが見つかった場合のアクション	複数のレコードが見つかった場合に出力のタイプを返すオプション。[リストから最初のレコードのみを返す] を選択すると、最初のインターフェイスネットワークレコードが返されます。	選択肢	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

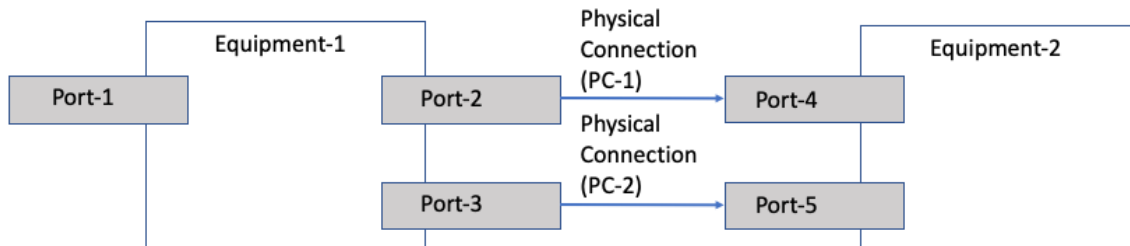
関数の出力

名前	説明	データタイプ
利用可能なインターフェイス	利用可能なネットワークインターフェイスのsys_idリストを返します。	Array.String
接続されているインターフェイス	他のネットワーク資産に接続されているネットワークインターフェイスのsys_idリストを返します。	Array.String
物理接続	物理接続のsys_idリストを返します。	Array.String

例

次の例のように、ポート 1、ポート 2、およびポート 3 が Equipment-1 に接続されているように、入力が Equipment-1 として渡された場合、ポート 4 とポート 5 は Equipment-2 に接続され、物理接続 1 はポート 2 とポート 4 の間、物理接続 2 はポート 3 とポート 5 の間に接続されます。出力は次のようになります。

- 利用可能なインターフェイス: ポート 1
- 接続されているインターフェイス: ポート 2 およびポート 3
- 物理接続 - PC-1 および PC-2



[複数のレコードが見つかった場合のアクション] として [最初のレコードのみを返す] を選択すると、それぞれ Port-1、Port-2、および PC-1 が返されます。

[次のハブをルックアップ] 機能

[次のハブをルックアップ (Lookup Next Hub)] 機能を使用すると、ネットワークインターフェイスレコードを入力として受け取り、関連する物理接続レコードの詳細を返すことができます。アプリケーションを使用するとフローデザイナー、アプリケーション内の Telecommunications Network Inventory 機器の物理的な接続と相互接続されたポートの詳細を自動的に取得できます。

概要

Lookup Next Hub 関数を使用して、以下を返すことができます。

- ポートに関連する物理接続。
- ポートに物理接続が関連付けられていない場合は、空の応答。
- 前面ポートと背面ポートの間に構成アイテム (CI) の関係がある場合は、前面ポートと背面ポートの sys_id、およびポート名。
- NextHub インターフェイスと、物理接続のもう一方の端に接続されているインターフェイス。
- NextHub 相互接続インターフェイスと、物理接続のもう一方の端に接続されている相互接続インターフェイス。

この機能は、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとしてフローデザイナーで使用できます。

ルールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクション Telecommunications Network Inventory として使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、[次のハブを検索] アクションの入力フィールドとその説明を示します。

次のハブアクションの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
Network Interface	ネットワークインターフェイスレコード。	Reference.Network Interface	いいえ
複数のレコードが見つかった場合のアクション	複数のレコードが見つかった場合のアクションを選択するオプション。[リストから 最初のレコードのみを返す]を選択すると、最初の物理接続レコードの詳細を返すことができます。	選択肢	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

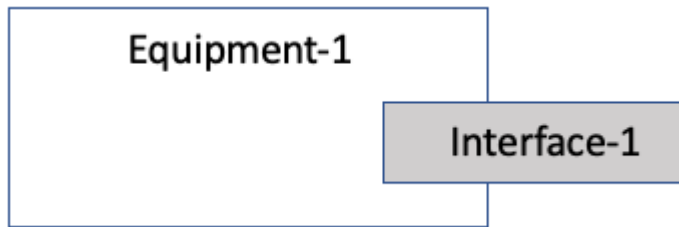
関数の出力

名前	説明	データタイプ
物理接続	ネットワークインターフェイスに関連する物理接続レコード sys_ids のリストを返します。	Array.String
相互接続ポート	ネットワークインターフェイスに相互接続されているポートの sys_ids のリストを返します。	Array.String
NextHub インターフェイス	物理接続のもう一方の端に接続されているインターフェイスの sys_ids のリストを返します。	Array.String
NextHub 相互接続インターフェイス	物理接続のもう一方の端に接続されている相互接続インターフェイスの sys_ids のリストを返します。	Array.String

例

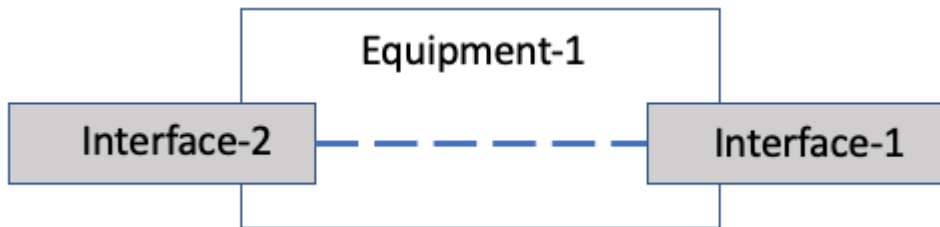
ユースケース 1

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡された場合、ネットワークインベントリには物理接続または内部接続がないため、関数は空のレコードを返します。



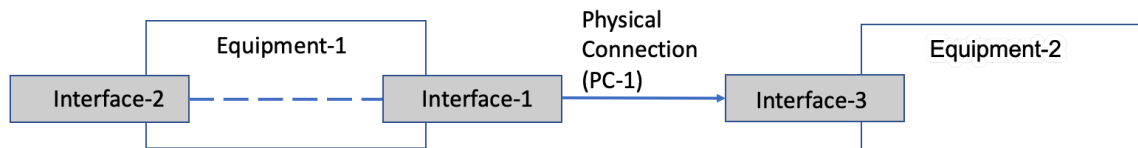
ユースケース 2

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡された場合、関数は Interface-2 のネットワーク インターフェイス レコードを返します。



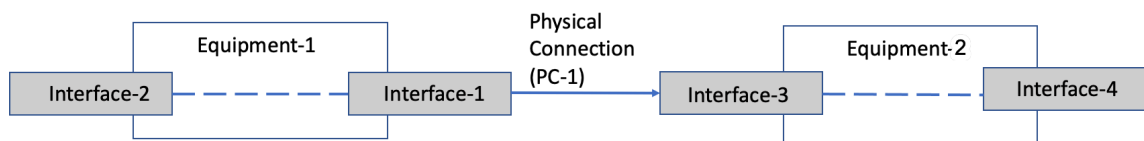
ユースケース 3

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡された場合、関数は Interface-2 のネットワーク インターフェイス レコードと PC-1 の物理接続レコードを返します。



ユースケース 4

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡される場合、NextHub インターフェイスは 3 で、NextHub 相互接続インターフェイスは 4 です。



パス検索機能

パス検索機能を使用すると、アプリケーション内の Telecommunications Network Inventory 開始サイトと終了サイトの間でパス計算関数を実行できます。この機能は、ネットワークインベントリ設計および割当を処理する際のパス計算に使用することができます。

パス検索機能を使用して、ネットワーク サイト間の可能なパスを特定できます。

パスが見つからない場合、パス検索機能は使用可能な入力を使用して、接続要素を追加せずに論理接続を作成します。終了機器を入力しない場合は、終了サイトに属する Type 属性に一致する機器が選択されます。この関数は、入力の開始インターフェイスと終了インターフェイスを使用して、論理接続のポート A とポート Z を設定します。それ以外の場合は、[Availability] フィールドで [Available] とマークされているインターフェイスを選択します。

この機能は、ワークフロー内の Telecommunications Network Inventory アクションとしてフローデザイナーで使用できます。

ロールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにアクションを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、在庫関連のデータ操作を実行できるように、アプリケーションのアクション Telecommunications Network Inventory として使用するフローデザイナーことができます。

入力フィールド

次の表に、パス検索機能の入力フィールドとその説明を示します。

パス検索機能の入力フィールド

名前	説明	データタイプ	必須？
開始サイト	この接続が構成されている開始ネットワークサイトの sys_id。	文字列	はい
終了サイト	この接続が構成されている終了ネットワークサイトの sys_id。	文字列	はい
開始機器	この接続が構成されている開始ネットワーク機器の sys_id。	文字列	はい
終了機器	この接続が設定されている終了ネットワーク機器の sys_id。	文字列	いいえ
開始インターフェイス	この接続が構成されている開始ネットワークインターフェイスの sys_id。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算を使用してインターフェイスが自動的に選択され、論理接続が作成されます。	文字列	いいえ
終了インターフェイス	この接続が構成されている終了ネットワークインターフェイスの sys_id。	文字列	いいえ

パス検索機能の入力フィールド (続く)

名前	説明	データタイプ	必須？
	注: このフィールドを空のままにすると、パス計算を使用してインターフェイスが自動的に選択され、論理接続が作成されます。		
終了機器タイプ	この接続が構成されている終了ネットワーク機器タイプのsys_id。	文字列	はい
論理接続モデル	この接続が構成されている論理接続モデルのsys_id。	文字列	はい
帯域幅	接続の帯域幅のsys_id。	文字列	はい
許可されている論理接続モデル	論理接続でサポートされているモデルのsys_id。追加アイコン () をクリックして、論理接続モデルを追加します。	Array.String	いいえ
許可されている物理接続モデル	物理接続でサポートされているモデルのsys_id。追加アイコン () をクリックして、物理接続モデルを追加します。	Array.String	いいえ
失敗アクション	機能が失敗したときのアクションを選択するオプション。リストからアクションを選択できます。デフォルトでは、[パス要素なしで論理接続を作成] が選択されています。	選択肢	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」 を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

名前	説明	データタイプ
接続 ID	論理接続レコードのsys_idを返します。	文字列

Telecommunications Network Inventory サブフロー

アプリケーションでTelecommunications Network Inventoryサブフローを使用してフローデザイナー、ネットワークインベントリの設計とアサインのプロセスを自動化できます。

論理接続作成サブフロー

論理接続を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 論理接続レコードを作成できます。

概要

論理接続サブフローを使用して、ネットワークインターフェイスカードに論理接続を作成できます。

このサブフローは、接続要素も作成し、それらを論理接続に関連付けます。

ネットワークインターフェイス、機器、物理接続、論理接続、または管理対象機能を接続要素として入力すると、論理接続作成サブフローによって対応する接続要素が作成されます。

ルールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにサブフローを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この フローデザイナー サブフローはアプリケーションで Telecommunications Network Inventory 使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、論理接続作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

論理接続作成サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
インターフェイス A	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
インターフェイス Z	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth	はい
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.論理接続モデル	はい

論理接続作成サブフローの入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
CI 関係性	構成アイテム (CI) の関係のタイプ。デフォルトでは、物理接続作成サブフローは CI 関係を Terminated::Terminated by に設定します。	Reference.CI 関係性タイプ	はい
接続要素	論理接続に追加される接続要素。接続要素を追加するには、追加アイコン () を選択します。	Array.String	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」 を参照してください。

出力

次の表に、サブフローの出力に関する情報を示します。

サブフローの出力

名前	説明	データタイプ
論理接続	論理接続の Glide レコードを返します。	レコード
インターフェイス A との CI 関係	開始ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係
インターフェイス Z との CI 関係	終了ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係

物理接続作成サブフロー

物理接続の作成サブフローを使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信した入力に基づいて、アプリケーションに Telecommunications Network Inventory 物理接続レコードを作成できます。

概要

物理接続作成サブフローを使用して、ネットワーク内のインターフェイスカードに物理ポート接続を作成できます。

このサブフローは、接続要素も作成し、それらを物理接続に関連付けます。

物理接続要素を入力すると、このサブフローは対応する接続要素を作成し、それを物理接続に関連付けます。

ロールと可用性

admin ロールを持つユーザーは、フローにサブフローを追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この フローデザイナー サブフローはアプリケーションで Telecommunications Network Inventory 使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、物理接続作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
インターフェイス A	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
インターフェイス Z	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network Interface	はい
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth	はい
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.物理接続モデル	はい
CI 関係性	構成アイテム (CI) の関係のタイプ。デフォルトでは、論理作成サブフローは CI 関係を Terminated::Terminated by に設定します。	Reference.CI 関係性タイプ	はい
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素のsys_id。物理接続の [接続タイプ] 属性が [ケーブル] の場合は、接続要素を追加できます。追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String	いいえ
ストランド番号	物理接続要素のケーブル番号。 i 注: ストランド番号は、物理接続のストランド数以下である必要があります。	整数	いいえ

サブフローの入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
ペアを割り当て	2 つの物理接続要素を作成するオプション より線番号を入力して ペアの割り当て (Allocate Pair) を選択すると、ケーブルは 2 本の撚り線を使用します。1 本のストランドはストランド番号で、もう 1 本はストランド番号 +1 です。	True/False	いいえ

変数のデータタイプについての詳細は、「[Flow Designer の入力データ変数と出力データ変数](#)」 を参照してください。

出力

次の表に、サブフローの出力に関する情報を示します。

サブフローの出力

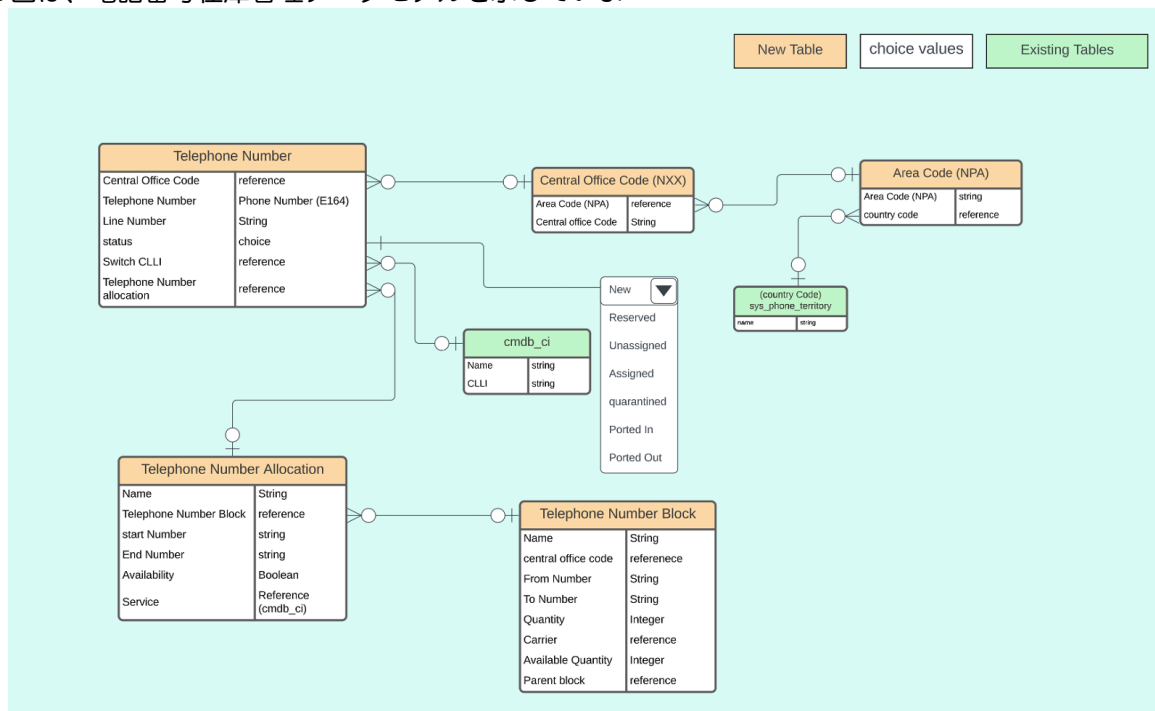
名前	説明	データタイプ
物理接続	物理接続の Glide レコードを返します。	レコード
インターフェイス Z との CI 関係	終了ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係
インターフェイス A との CI 関係	開始ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI 関係

電話番号在庫管理データモデル

電話番号在庫管理データモデルを使用すると、電話ブロック、電話番号の割り当て、および電話番号のテーブルが互いにどのように関連しているかを理解できます。

データモデル

次の図は、電話番号在庫管理データモデルを示しています



す。

データモデルは、電話番号の使用状況と可用性の概要を提供します。このデータ モデルでは、電話ブロック、割り当て、および電話番号を格納できます。

注:

カスタマーサービスの電話番号を割り当てるか、または割り当てを解除することもできます。電話番号ブロック テーブルの電話ブロックを作成する必要があります。

電話番号は次のように割り当てられます。

1. 電話番号インベントリマネージャーは、さまざまなタイプの電話番号をすべて保存するための電話番号ブロックを作成します。番号は、エリア、国、ポートインタイプ、またはポートアウトタイプに基づいて分類できます。ブロックの各レコードは、電話番号ブロックのテーブルに格納されます。
2. 次に、電話番号インベントリマネージャーは、サービスをシリーズまたは一連の番号にアサインするための電話割り当てを作成します。電話ブロックは、グループを子として持つことができます。これらの割り当ては、電話番号割り当てテーブルに作成されます。
3. 電話番号割り当てテーブルは、すぐに使用できる電話番号を電話番号テーブルのレコードに関連付けます。

関連情報

[電話インフラストラクチャの構築](#)

機器所有者拡張クラス

機器ホルダー拡張クラスは、機器ホルダーから拡張されたサブクラスです。これらのクラスの機器所有者レコードをアプリケーションで Telecommunications Network Inventory 定義できます。

機器所有者拡張クラス

クラス名	テーブル名	拡張元	説明
キャビネット	cmdb_ci_container_cabinet	cmdb_ci_equipment_holder	電気通信キャビネットは、テレコムキャビネットまたは機器キャビネットとも呼ばれ、スイッチ、ルーター、パッチパネル、電源などのさまざまな電気通信およびネットワーク機器を収容および保護するために使用される物理的なエンクロージャです。これは、ネットワークまたはデータセンター内の電気通信インフラストラクチャのインストール、管理、および相互接続のための安全で組織化された環境を提供します。
マルチラック	cmdb_ci_container_multirack	cmdb_ci_equipment_holder	マルチラックは、マルチラックシステムまたはマルチラックエンクロージャーとも呼ばれ、大量の電気通信機器またはネットワーク機器を集中的に収容および整理するために使用される、相互接続された複数の機器ラックで構成される構成です。容量と拡張性を拡張し、データセンターや通信施設内の機器の効率的な展開と管理を可能にします。
ラック	cmdb_ci_container_rack	cmdb_ci_equipment_holder	一般にサーバーラックまたは機器ラックと呼ばれるラックは、サーバー、ネットワークデバイス、ストレージユニットなど、さまざまなITおよび通信機器を安全に保持および整理するために設計されたフレームワークです。標準化されたフォームファクタにより、データセンターやその他のテクノロジー環境での機器の設置、整理、メ

機器所有者拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	拡張元	説明
			メンテナンスが容易になります。
シェルフ	cmdb_ci_container_shelf	cmdb_ci_equipment_holder	シェルフホルダーは、ラックシェルフまたは機器シェルフとも呼ばれ、ラックまたは機器キャビネット内の非ラックマウント機器またはデバイスを支えて保持するように設計されたコンポーネントです。ラックマウント機能が組み込まれていない機器に安定したプラットフォームを提供し、ラックインフラストラクチャ内のさまざまなデバイスの効率的な編成と統合を可能にします。
スロット	cmdb_ci_container_slot	cmdb_ci_equipment_holder	ハードウェアのコンテキストでは、スロットは、拡張カードやメモリモジュールなどの特定のタイプのコンポーネントを保持して収容するように設計された物理的または仮想的なセクタクルを指します。これは、コンポーネントをメインシステムまたはデバイスに挿入して接続するための標準化されたインターフェイスと場所を提供します。
サブスロット	cmdb_ci_container_subslot	cmdb_ci_equipment_holder	このコンテキストでは、カード上に存在し、子カードを収容できるスロットはサブスロットと見なされません。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita>

設備拡張クラス

機器拡張クラスは、電話通信機器、ネットワーク機器、およびハードウェアテーブルから拡張されたサブクラスです。これらのクラスの機器レコードは、Telecommunications Network Inventory アプリケーションで定義できます。

機器拡張クラス

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
パワー・オーバー・イーサネット・デバイス	cmdb_ci_power_over_ethernet_device	ethernet_switch	PoE(Power over Ethernet)は、1本のイーサネットケーブルでデータと電力の両方を伝送できる技術で、個別の電源を不要にすることで、IPカメラ、ワイヤレスアクセスポイント、VoIP電話などのネットワークデバイスの展開と接続を簡素化します。これにより、ネットワークインフラストラクチャのインストールが容易になり、柔軟性が高まります。
サービスアグリゲーションルーター	cmdb_ci_service_aggregation_router	gateway_router	サービスアグリゲーションルーターは、複数のサービスプロバイダーまたはネットワーク接続からのトラフィックを単一のネットワークインフラストラクチャに統合してルーティングするネットワークデバイスであり、エンドユーザーまたは複数の場所へのサービスの効率的な管理と配信を可能にします。これは、さまざまなソースからのトラフィックを集約および転送するための一元化されたハブとして機能し、ネットワークパフォーマンスを最適化し、ネットワーク管理を簡素化します。
レジデンシャルゲートウェイ	cmdb_ci_residential_gateway	cmdb_ci_modem_network_gateway	レジデンシャルゲートウェイは、モデム、ルーター、その他のネットワークコンポーネントの機能を組み合わせたデバイスであ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			り、インターネット接続、ローカルネットワーク管理、およびWi-Fi、ファイアウォール、音声機能などの追加サービスを住宅ユーザーや小規模ホームネットワークに提供します。これは、インターネットアクセスの主要なエントリポイントとして機能し、ホームネットワーク内のデバイスの接続と通信を可能にします。
マルチサービスネットワークルーター	cmdb_ci_multi_service_network_router	network_netgear	マルチサービスネットワークルーターは、イーサネット、MPLS、IPなどのさまざまなネットワークプロトコルまたはテクノロジーを介して、データ、音声、ビデオなどのさまざまなタイプのネットワークトラフィックをサポートおよびルーティングできる汎用性の高いネットワークデバイスです。1 つのルーター インフラストラクチャ内で複数のサービスと多様なトラフィック タイプを処理する機能を提供し、さまざまなアプリケーションやシステムの効率的な通信と接続を促進します。
ファブリック インターコネクト	cmdb_ci_fabric_interconnect	cmdb_ci_netgear	ファブリック インターコネクトは、データセンター アーキテクチャのネットワーク コンポーネントであり、複数のサーバー、ストレージ システム、およびその他のネットワーク デバイスを接続および管理するための中央スイッチとして機能します。高速通信を提供し、データセンターインフラストラクチャ内

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			のさまざまなコンポーネント間の効率的なデータフローを可能にします。
プロトコルコンバーター	cmdb_ci_protocol_converter	cmdb_ci_netgear	相互運用性を実現するために、あるデバイスの標準または独自のプロトコルを他のデバイスまたはツールに適したプロトコルに変換するために使用されるデバイス。
ネットワーク監視	cmdb_ci_network_monitoring	cmdb_ci_network_testing	ネットワーク監視ユニットは、ネットワークトラフィック、パフォーマンス、およびセキュリティをリアルタイムで継続的に監視および分析する専用のデバイスまたはソフトウェアシステムであり、管理者にネットワークインフラストラクチャの健全性とステータスに関する洞察、アラート、および可視性を提供します。最適なネットワークパフォーマンスの確保、異常の検出、問題のトラブルシューティング、ネットワークセキュリティの維持に役立ちます。
ネットワークタップ	cmdb_ci_network_tap	cmdb_ci_network_monitoring	ネットワーク タップは、特定のネットワーク リンクを通過するデータのコピーを外部の監視ツールまたは分析ツールに提供することで、ネットワークトラフィックの非侵入型の監視またはキャプチャを可能にするパッシブ ハードウェア デバイスです。これにより、ネットワーク管理者は、ネットワークの通常の運用を中断したり影響を与えたりすることなく、ネットワー

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			クトラフィックを可視化できます。
ネットワークテストユニット	cmdb_ci_network_testing	cmdb_ci_network_testing	ネットワークテストユニットは、コンピュータネットワークのパフォーマンス、機能、および信頼性を評価および評価するために使用されるデバイスまたはソフトウェアツールです。多くの場合、テストトラフィックの生成やネットワーク条件のシミュレーションを通じて、ネットワークパラメータの測定、問題の特定、構成の検証、最適なネットワークパフォーマンスの確保に役立ちます。
無線アクセスネットワーク	cmdb_ci_radio_access_network	network_ni_telco_equipment	無線アクセスネットワーク(RAN)は、ユーザーデバイスとコアネットワーク間の無線通信を担当するインフラストラクチャとコンポーネントを含むモバイル通信システムの一部であり、無線周波数を介した接続とデータ伝送を可能にします。
無線制御ハードウェア	cmdb_ci_radio_control_hardware	cmdb_ci_radio_access_network	無線制御ハードウェアとは、無線周波数信号を使用してさまざまなデバイスまたはメカニズムのリモート制御を可能にするデバイス、コンポーネント、およびシステムを指します。通常、送信機、受信機、アンテナ、および関連する回路が含まれており、ユーザーは車両、ドローン、ロボットシステム、またはその他の電子機器を離れた場所からワイヤレスで操作および制御できます。

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
分散アンテナシステム リモート	cmdb_ci_distributed_antenna_system_remote	cmdb_ci_radio_control	DASウェア は、分散アンテナシステムリモートとも呼ばれ、中央のDASユニットに接続し、無線信号を遠隔地や建物に配信することで無線ネットワークのカバレッジと容量を拡張し、それらの場所で信頼性の高い無線接続を確保するワイヤレス通信インフラストラクチャのコンポーネントです。
分散型アンテナシステム コントローラ	cmdb_ci_distributed_antenna_system_controller	cmdb_ci_radio_control	DASウェア コーラ(分散アンテナシステムコントローラ)は、分散アンテナシステムの動作を管理および制御するネットワークデバイスです。複数のDASリモートの信号配信、最適化、調整を監督し、特定のエリアまたは会場内の効率的なカバレッジ、容量、およびワイヤレス通信の品質を確保します。
スモールセル無線ゲートウェイ	cmdb_ci_small_cell_radio_gateway	cmdb_ci_radio_control	Radio スモールセル無線ゲートウェイは、スモールセル基地局とコアネットワークインフラストラクチャ間のインターフェイスとして機能するデバイスです。これにより、スモールセル無線とより広範なネットワーク間の通信が容易になり、ユーザー密度が高い地域やマクロセルのカバレッジが限られている地域でのワイヤレスカバレッジと容量の拡張が可能になります。
ベースバンドユニット	cmdb_ci_baseband_unit	cmdb_ci_radio_control	Hardware ベースバンドユニット (BBU) は、無線でデータを送受信するためのデジタルベースバンド信号を処理および管理する無線通信システム

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			ムの重要なコンポーネントです。変調、符号化、復号化、信号処理などの機能を実行し、無線アクセスネットワークの背後にあるインテリジェンスとして機能します。
EnodeB	cmdb_ci_enode_b	cmdb_ci_baseband_unit	EnodeBは、Evolved Node Bの略で、Long-Term Evolution(LTE) ネットワークアーキテクチャの主要コンポーネントであり、無線通信の基地局として機能し、ユーザーデバイスをコアネットワークに接続し、無線リソースを管理します。
GnodeB	cmdb_ci_gnode_b	cmdb_ci_baseband_unit	GNodeB(Next-Generation NodeB) とは、5Gネットワークにおいて、ユーザー機器と5Gコアネットワークをつなぐインターフェースとして機能し、高速無線通信を可能にし、大容量接続や低遅延などの高度な機能をサポートする基地局を指す用語です。
混合ノードB	cmdb_ci_mixed_node_b	cmdb_ci_baseband_unit	混合 NodeB デバイスとは、複数の無線アクセス技術をサポートする通信機器を指し、通常は 2G と 3G の両方の技術を 1 つの基地局に組み合わせます。
基地局コントローラ	cmdb_ci_base_station_controller	cmdb_ci_baseband_unit	基地局コントローラ (BSC) は、1つ以上の基地局(BTS)を管理および制御するセルラーシステム内のネットワーク要素です。無線リソース管理、呼制御、ハンドオーバー管理などのタスクを処理し、BTSとモバイル交換センター(MSC)また

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			はコアネットワーク間の効率的な運用と通信を保証します。
無線伝送ハードウェア	cmdb_ci_radio_transmission_hardware	cmdb_ci_radio_transmission_hardware	無線伝送ハードウェアとは、無線通信システムで無線信号を送信するプロセスで使用される物理的なコンポーネントおよび機器を指します。
スモールセル無線ノード	cmdb_ci_small_cell_radio_node	cmdb_ci_radio_transmission_hardware	スモールセル無線ノードは、コンパクトで低電力の基地局であり、ユーザー密度が高いエリアやマクロセルカバレッジが制限されているエリアでセルラーネットワークのカバレッジと容量を拡張します。ローカライズされたワイヤレス接続を提供し、通常は都市環境や屋内環境など、より小さな地理的領域にサービスを提供することでネットワークトラフィックをオフロードします。
リモート無線ユニット	cmdb_ci_remote_radio_unit	cmdb_ci_radio_transmission_hardware	リモート無線ヘッドは、リモート無線ヘッド(RRH)とも呼ばれ、無線周波数(RF)コンポーネントをベースバンド処理ユニットから分離する分散アンテナシステム(DAS)または無線アクセスネットワーク(RAN)のコンポーネントです。これにより、無線トランシーバーをアンテナの近くに配置できるため、信号損失が減少し、柔軟なネットワーク設計と最適化が可能になります。
リピーター	cmdb_ci_repeater	cmdb_ci_radio_transmission_hardware	リピーターは、電気通信およびネットワーキングで使用されるデバイスであり、信号を増幅

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			または再生成して到達範囲を拡大し、信号品質を向上させます。入力信号を受信して増幅し、再送信して、より長い距離をカバーしたり、有線または無線通信の信号劣化を克服したりします。
アンテナ制御	cmdb_ci_antenna_control	cmdb_ci_radio_transmission	アンテナハードウェアは、アンテナシステムの配置、構成、および動作を管理および制御するデバイスまたはコンポーネントです。アンテナの動き、アライメント、およびパラメータを調整して、通常、衛星通信、レーダーシステム、ワイヤレスネットワークなどのアプリケーションで、信号の受信、送信、およびカバレッジを最適化します。
アンテナ	cmdb_ci_antenna	cmdb_ci_radio_transmission	アンテナは電磁信号を送受信するデバイスであり、通常、電流を電波に、またはその逆に変換することにより、無線通信を容易にするために使用されます。
Ont	cmdb_ci_optical_network_device	cmdb_terminal_telco_equipment	ONT(光ネットワーク端末)は、光信号を電気信号に変換し、エンドユーザーへの高速インターネット、電話、およびテレビサービスの配信を可能にするために光ファイバーネットワークで使用されるデバイスです。
Onu	cmdb_ci_optical_network_device	cmdb_ci_ni_telco_equipment	ONU(光ネットワークユニット)は、光ファイバーネットワーク内の顧客構内に常駐し、光ネットワークと顧客のデバイス間のインターフェイスとして機能

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			し、高速インターネット、電話、およびテレビサービスの配信を可能にするデバイスです。
音声ゲートウェイ	cmdb_ci_voice_gateway	cmdb_ci_ni_telco_equipment	音声ゲートウェイは、従来のテレフォニー システム(アナログ電話回線やデジタル電話回線など)と IP ベースのネットワーク間のインターフェイスとして機能するデバイスであり、音声信号をデジタル データに変換してインターネットまたは他の IP ネットワーク経由で送信できるようにします。これにより、音声通信のIPベースの通信システムへの統合が容易になります。
光ラインアンプ	cmdb_ci_optical_line_amp	cmdb_ci_ni_telco_equipment	光増幅器は、光ファイバー通信システムで使用されるデバイスであり、光ファイバーケーブルを伝わる光信号を増幅または増幅し、電子変換を必要とせずに長距離伝送を可能にします。
バッテリー分配ヒューズベイ	cmdb_ci_battery_distribution_fuse_bay	cmdb_ci_ni_telco_equipment	バッテリー分配ヒューズベイは、さまざまな回路に電力を制御および分配し、安全な動作を確保し、過電流状態による損傷を防ぐことにより、バッテリーに接続された電気システムを保護するように設計されたヒューズを収容するコンパートメントまたはエンクロージャーです。
コールサーバ	cmdb_ci_call_server	cmdb_ci_ni_telco_equipment	コールサーバは、テレフォニー ネットワークまたは VoIP(Voice over Internet Protocol)システム内で、コールを

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			管理および制御し、適切な宛先にルーティングし、コールのセットアップ、終了、およびその他のコール関連機能処理する集中型通信システムです。
チャンネルバンク	cmdb_ci_channel_bank	cmdb_ci_ni_telco_equipment	チャンネル バンクは、複数のアナログまたはデジタル通信チャンネルを T1 や E1 回線などの 1 つの伝送媒体に多重化および逆多重化して、音声またはデータ信号の効率的な伝送と管理を可能にするために電気通信で使用するデバイスです。
メディアコンバータ	cmdb_ci_media_converter	cmdb_ci_ni_telco_equipment	メディアコンバータは、銅線ケーブルと光ファイバーケーブル間の信号変換など、さまざまなタイプのネットワークメディアをブリッジし、異なるネットワークテクノロジー間のシームレスな通信を可能にし、ネットワーク接続の範囲を拡張するデバイスです。
デジタルクロスコネク トシステム	cmdb_ci_digital_cross_connect	cmdb_ci_ni_telco_equipment	デジタルクロスコネク トシステム(DCS)は、ネットワーク内のデジタル音声またはデータチャンネルの効率的なルーティングと管理を可能にする通信デバイスです。これにより、通信パスの柔軟な相互接続と再構成が可能になり、複雑なネットワーク環境での信頼性と拡張性に優れた接続が促進されます。
エコーキャンセレー ションシステム	cmdb_ci_echo_cancellation	cmdb_ci_ni_telco_equipment	エコーキャンセレー ションシステムは、送信されたオーディオ信号が送信者に反射することによって引き起こされるエコー効果を低

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			減または排除する信号処理技術またはデバイスです。不要なエコーを抑制し、会話の全体的な明瞭度を向上させることで、音声通信のオーディオ品質と明瞭度を向上させます。
音声アクティビティ検出装置	cmdb_ci_voice_activity_detection	cmdb_ci_ni_telco_equipment	音声アクティビティ検出(VAD)機器は、音声信号を分析して人間の音声の有無を判断するシステムまたはデバイスです。音声通信システム、音声制御デバイス、音声認識システムなどのさまざまなアプリケーションで一般的に使用され、音声セグメントと非音声セグメントを正確に検出して区別します。
メディアゲートウェイ	cmdb_ci_media_gateway	cmdb_ci_ni_telco_equipment	メディアゲートウェイは、異なるタイプのネットワーク間で通信プロトコルを変換してブリッジするネットワークデバイスであり、従来のテレフォニーネットワークや Voice over IP (VoIP) ネットワークなどの多様なシステム間のシームレスな通信を可能にします。これにより、さまざまなネットワークを介した音声、ビデオ、およびデータの変換と送信が容易になり、相互運用性と効率的な通信が保証されます。
マルチサービススイッチ	cmdb_ci_multi_service_switch	cmdb_ci_ni_telco_equipment	マルチサービススイッチは、音声、データ、ビデオなどの複数のタイプのトラフィックを 1 つのネットワークインフラストラクチャ上で処理するための統合スイッチング機能を提供するネットワークデ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			バイスです。効率的で柔軟なトラフィック管理が可能になり、さまざまなサービスを統一されたプラットフォームに統合できます。
モビリティ管理エンティティ	cmdb_ci_mobility_management_entity	cmdb_ci_entity_telco_equipment	モバイル管理エンティティ(MME)は、LTE (Long-Term Evolution) および 5G ワイヤレスネットワークの主要コンポーネントであり、認証、モビリティ管理、セッション管理、セキュリティなど、モバイルデバイスのコントロールプレーン機能処理します。これは、ネットワーク内のモバイルデバイスの動きを管理および調整するための主要な制御ポイントとして機能します。
モバイルスイッチングセンター	cmdb_ci_mobile_switching_center	cmdb_ci_entity_telco_equipment	モバイル交換センター(MSC)は、モバイルデバイスを公衆交換電話網(PSTN)またはその他のモバイルネットワークに接続するセルラーネットワークのコアコンポーネントです。コールルーティング、スイッチング、およびシグナリング機能を実行し、シームレスな接続を確保し、モバイル加入者とのネットワーク間の音声およびデータ通信を可能にします。
マイクロ波無線機器	cmdb_ci_microwave_radio_equipment	cmdb_ci_entity_telco_equipment	マイクロ波無線機器とは、高周波のマイクロ波信号を使用してデータを送受信する無線通信システムで使用されるハードウェアを指します。これにより、物理的なケーブルを必要とせずに、音声、ビデオ、およびデータ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			の長距離伝送が容易になり、ポイントツーポイントまたはポイントツーマルチポイントのワイヤレス接続が可能になります。
ネットワークインターフェイスデバイス	cmdb_ci_network_interfacedevice	cmdb_device_telco_equipment	NID (ネットワーク インターフェイス デバイス) は、サービス プロバイダーのネットワークと顧客の内部ネットワークの間の分界点として機能する、顧客の構内に配置された通信デバイスです。物理的な接続を提供し、多くの場合、接続のトラブルシューティングと監視のためのテストおよび診断機能が含まれています。
ネットワークインターフェイスユニット	cmdb_ci_network_interfacedevice	cmdb_unitni_telco_equipment	NIU (Network Interface Unit) は、通信ネットワークで使用されるデバイスであり、サービスプロバイダーのネットワークと顧客の施設間のインターフェイス(通常はデータサービス用)を提供します。これには、信号処理、プロトコル変換、ライン終端などの機能が含まれており、信頼性の高いデータ伝送を促進します。
構内電話交換機	cmdb_ci_private_branchexchange	cmdb_exchange_telco_equipment	PBX (構内交換機) は、組織内で使用されるテレフォニーシステムであり、異なる内線番号間の内部通信を可能にし、公衆電話ネットワークに接続することで外部通話を容易にします。コール ルーティング、コール転送、およびその他のテレフォニー機能を管理し、企業に効率的で一元化されたコミュニケーション

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			ン ソリューションを提供します。
信号転送ポイント	cmdb_ci_signal_transfecmdb_ci_ni_telco_equip	cmdb_ci_ni_telco_equip	信号転送ポイント (STP) は、異なるネットワーク間でのシグナリングメッセージのルーティングと転送を容易にし、さまざまな通信システム間の相互接続と相互運用性を可能にする電気通信ネットワーク要素です。これは、シグナリングトラフィックを管理し、ネットワーク内の異なるノード間の効率的な通信を確保するための中央ハブとして機能します。
ネットワークタイミン グ	cmdb_ci_network_timingcmdb_ci_ni_telco_equip	cmdb_ci_ni_telco_equip	ネットワークタイミン グデバイスは、ネットワークタイムサーバーまたは時刻同期デバイスとも呼ばれ、ネットワーク接続されたデバイスおよびシステムに正確で同期された時刻情報を提供するデバイスです。これにより、ネットワーク内のさまざまなデバイスが、ロギング、認証、ネットワークアクティビティの調整などのタスクに対して、一貫性のある正確な時間を維持できます。
ボイスメール装置	cmdb_ci_voicemail_equipcmdb_ci_ni_telco_equip	cmdb_ci_ni_telco_equip	ボイスメール機器とは、電気通信ネットワークで音声メッセージを録音、保存、および取得するために使用されるハードウェアまたはシステムを指します。これにより、発信者は着信側が不在のときに録音されたメッセージを残すことができ、受信者は都合の良いときにこれらのメッ

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			セージを聞いて管理できます。
通信配信パネル	cmdb_ci_communication_distribution_panel	cmdb_ci_communication_distribution_panel	通信配信パネルは、建物または敷地内で、電話、データ、ビデオなどのさまざまな通信信号を整理および配信するために使用される集中型デバイスです。これは、通信回線を接続および管理するためのハブとして機能し、ネットワークインフラストラクチャのアクセス、整理、およびトラブルシューティングを容易にします。
ファイバーパネル	cmdb_ci_fiber_distribution_panel	cmdb_ci_communication_distribution_panel	ファイバーパネルは、光ファイバーパッチパネルとも呼ばれ、光ファイバーケーブルの終端、整理、管理の中心点を提供するために光ファイバーネットワークで使用されるハードウェアコンポーネントです。これにより、効率的な接続、簡単なメンテナンス、および光ファイバー接続のルーティングとパッチ適用の柔軟性が可能になります。
ファイバーサービングターミナル	cmdb_ci_fiber_serving_terminal	cmdb_ci_communication_distribution_panel	ファイバーサービング端末 (FST) は、サービスプロバイダーの光ファイバーインフラストラクチャと顧客の内部ネットワークの間の分界点として機能する、光ファイバーネットワーク内の顧客構内にあるデバイスです。光ファイバーケーブルの終端および接続ポイントを提供し、顧客の場所への高速ブロードバンドサービスの提供を容易にします。

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
PFPの	cmdb_ci_primary_flexibility_point	city_point_communication	電気通信インフラストラクチャのコンテキストでは、主要なフレキシビリティポイント(PFP)は、通信ケーブルと経路が収束して、アクセスと将来の変更を容易にする指定された場所です。ケーブルのルーティング、終端、および分配の中央ハブとして機能し、ネットワーク設備に柔軟性と拡張性を提供します。
サービング エリア インターフェイス	cmdb_ci_serving_area_interface	interface_communication	サービスエリアインターフェイス (SAI) は、電気通信サービスプロバイダーのネットワークが顧客のオンプレミスまたは内部ネットワークに接続する境界または分界点です。これは、ネットワークを維持するサービスプロバイダーの責任と、構内の配線と機器に対する顧客の責任との間の移行を示します。
デジタル・クロス・コネクต์・パッチ・パネル	cmdb_ci_digital_cross_connect_patch_panel	connect_patch_panel	デジタルクロスコネククトパッチパネルは、DCSパッチパネルとも呼ばれ、デジタル回路またはチャネルの相互接続と管理を容易にするために電気通信ネットワークで使用されるハードウェアコンポーネントです。これにより、デジタル信号の再構成とルーティングが容易になり、ネットワークインフラストラクチャ内の通信パスの効率的なプロビジョニングとトラブルシューティングが可能になります。
ファイバークロスコネククトパネル	cmdb_ci_fiber_cross_connect_patch_panel	connect_patch_panel	ファイバークロスコネククトパネルは、光ファイバーケーブルの相互

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			接続と管理を容易にするために光ファイバーネットワークで使用されるデバイスです。個々の光ファイバーストランドを整理、ルーティング、および相互接続するための一元化された場所を提供し、光ファイバーネットワークの設置における効率的なメンテナンス、スケーラビリティ、および柔軟性を可能にします。
RJ45パッチパネル	cmdb_ci_rj45_patch_panel	cmdb_ci_communication_distribution_panel	RJ45パッチパネルは、イーサネットシステムのネットワーク接続を終端および管理するために使用されるハードウェアコンポーネントです。複数のRJ45ポートを備えているため、イーサネットケーブルの整理された便利な終端が可能で、ネットワーク接続のパッチ適用と再配置が容易です。
V35パッチパネル	cmdb_ci_v35_patch_panel	cmdb_ci_communication_distribution_panel	V.35パッチパネルは、V.35 ケーブルの終端と管理を容易にするために電気通信およびネットワーキングで使用されるハードウェアコンポーネントです。V.35 接続の整理された便利な終端を可能にする複数の V.35 ポートを提供し、V.35 回線のパッチ適用と再配置を容易にします。
デジタル配電盤	cmdb_ci_digital_distribution_panel	cmdb_ci_communication_distribution_panel	デジタル配電盤 (デジタル配線盤とも呼ばれ、通常は T1 または E1 回線の形式でデジタル信号を終端、管理、および配信するために電気通信ネットワークで使用されるデバイスです。デジタル

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			回路を整理および相互接続するための一元化されたポイントを提供し、ネットワーク内のデジタル通信の効率的な送信と管理を容易にします。
マルチプレクサ	cmdb_ci_multiplexer	cmdb_ci_ni_telco_equip	マルチプレクサは、マルチプレクサとも呼ばれ、電気通信およびデータ伝送で 사용되는デバイスであり、複数の信号またはデータストリームを単一の複合信号に結合して、共有メディアを介してより効率的に伝送します。これにより、1つのチャネルで異なる信号やデータストリームを同時に送信できるため、通信システムの容量と効率が向上します。
Dslam	cmdb_ci_dslam	cmdb_ci_multiplexer	DSLAM(Digital Subscriber Line Access Multiplexer) は、サービスプロバイダーのネットワーク内の複数のデジタル加入者線(DSL)を集約および管理するために電気通信で使用するネットワークデバイスです。音声トラフィックとデータトラフィックを分離し、適切な宛先にルーティングすることで、既存の銅線電話回線で高速ブロードバンドサービスを提供できます。
IP DSLAM	cmdb_ci_ipdslam	cmdb_ci_multiplexer	IP DSLAM(Internet Protocol Digital Subscriber Line Access Multiplexer) は、IPベースのサービスをサポートする DSLAMであり、デジタル加入者線を介して高速ブロードバンド

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			インターネットサービスを配信できます。IP ベースのトラフィックを処理するために必要なIPルーティングおよび処理機能を提供し、エンドユーザーへのインターネット接続の効率的かつスケーラブルな配信を可能にします。
Wdm	cmdb_ci_wdm	cmdb_ci_multiplexer	WDM(Wavelength Division Multiplexing) は、複数の波長の光を同時に伝送することで、1本の光ファイバーの容量を増大させる光ファイバー通信システムで使用される技術です。これにより、さまざまな光信号の多重化と逆多重化が可能になり、データ伝送速度が向上し、光ファイバーインフラストラクチャの効率的な利用が可能になります。
DWDM (追加)	cmdb_ci_dwdm	cmdb_ci_multiplexer	DWDM(Dense Wavelength Division Multiplexing)は、光ファイバー通信システムで使用される技術で、各信号に異なる波長を割り当てることにより、1本のファイバーで複数の信号を同時に送信し、システム全体の容量と効率を向上させます。
Olt	cmdb_ci_optical_line_terminal	cmdb_ci_multiplexer	OLT(Optical Line Terminal)は、光ファイバー通信システムで使用されるネットワークデバイスで、パッシブ光ネットワーク(PON)のエンドポイントとして機能します。サービスプロバイダーのネットワークを加入者の施設に接続し、光信号の配信を管理および

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			制御し、サービスプロバイダーとPON内の複数のONU(光ネットワークユニット)またはONT(光ネットワーク端末)間の通信を容易にします。
オプティカルスプリッター	cmdb_ci_optical_splitter	cmdb_ci_multiplexer	光スプリッターは、ビームスプリッターとも呼ばれ、光ファイバーネットワークで使用される受動デバイスであり、着信光信号を等しいまたは異なる電力レベルの複数の出力信号に分割します。これにより、1つの光ファイバー接続を複数のユーザーまたはデバイスで共有できるため、ネットワーク内の光信号の効率的な配信が可能になります。
光キャリアトランスポートノード	cmdb_ci_optical_carrier	cmdb_ci_optical_multiplexer	光キャリア トランスポート ノードは、OXC (光クロスコネクト) ノードまたは OTN (光トランスポート ネットワーク) ノードとも呼ばれ、光トランスポート ネットワーク内の大容量光信号のルーティング、グルーミング、およびスイッチオフを容易にするネットワーク要素です。これにより、光チャネルを効率的かつ柔軟に管理でき、通信ネットワークでの長距離にわたる大量のデータの転送が可能になります。
ファンシェルフ	cmdb_ci_fan_module	cmdb_ci_hardware	ファン シェルフは、ラックまたは機器キャビネット内のアクティブな冷却とエアフロー管理を提供するように設計されたハードウェア コンポーネントです。通常、機器から

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			発生する熱を放散し、適切な換気を確保し、過熱を防ぐのに役立つ複数のファンが含まれています。
監視ユニットシェルフ	cmdb_ci_monitoring_unit	cmdb_ci_hardware	モニタリングユニットシェルフは、モニタリングユニットラックまたはシャーシとも呼ばれ、ネットワークのモニタリングと管理の目的で使用されるモニタリングユニットまたはデバイスを収容するために設計された専用のエンクロージャです。ネットワークアナライザー、プローブ、監視アプリケーションなどの監視装置をインストールおよび整理するための一元化された安全な場所を提供し、ネットワークトラフィックとパフォーマンスの効率的な監視と分析を可能にします。
キーボードビデオマウススイッチ	cmdb_ci_keyboard_video_mouse	cmdb_ci_hardware	キーボード ビデオ マウス (KVM) スイッチは、ユーザーが 1 組のキーボード、モニター、およびマウス デバイスを使用して複数のコンピューターまたはサーバーを制御できるようにするハードウェア デバイスです。これにより、中央のワークステーションから複数のシステムをシームレスに切り替えて管理できます。
GPRSサポートノードの提供	cmdb_ci_serving_gprs_support_node	cmdb_ci_modelco_equipment	GSM (Global System for Mobile Communications) または GPRS (General Packet Radio Service) ネットワーク内のネットワークノード。Serving GPRS Support Node(SGSN)

機器拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張する	説明
			は、サービスエリア内のモバイルステーションとの間でデータパケットを配信する役割を担っています。これは、パケット交換ネットワークで重要な役割を果たし、スマートフォンやその他のモバイル通信デバイスなどのデバイスのモビリティおよびセッション情報を管理します。
論理コンポジット	cmdb_ci_logical_compo	電気通信ネットワーク内の論理要素、コンポーネント、またはエンティティのグループまたは組み合わせ。これらの論理コンポジットは、多くの場合、特定の機能またはサービスを実行するために連携して動作するように設計されています。	
スプライスクロージャー	cmdb_ci_splice_closure	光ファイバのスプライス部分を覆い、保護するために使用される保護筐体。スプライス クロージャーは、光ファイバー ネットワークに不可欠なコンポーネントであり、スプライスされたファイバーを湿気、ほこり、温度変動などの環境要因から物理的に保護します。	

※LTEはETSIの商標です。

関連情報

[電気通信機器インスタンスの作成](#)

変更要求フォームおよび変更タスクフォーム

変更要求フォームを使用すると、変更を要求できます。

変更モデルの変更タスクフォーム

変更モデル	説明
インターフェイスカードを追加	インターフェイスカードを追加するための変更要求を作成する変更モデル。詳細については、「」の 変更要求フォームおよび変更タスクフォーム カード追加フォームを参照してください。
在庫機器を作成	モデルを変更して、インベントリ機器を作成するための変更要求を作成します。詳細については、の 変更要求フォームおよび変更タスクフォーム 機器の作成フォームを参照してください。 i 注: 論理接続の計算と作成フォームを表示するには、「」を参照してください 論理接続の計算と作成フォーム。
論理接続を作成	論理接続を作成するための変更要求を作成する変更モデル。詳細については、「」 変更要求フォームおよび変更タスクフォーム を参照してください。 i 注: - 論理接続 CI を更新または変更するには、「」を参照してください 構成アイテムの変更。 - 論理接続エンドポイントを変更するには、「」を参照してください 論理接続エンドポイントの変更モデルを使用した変更要求の作成。
物理接続を作成	物理接続を作成するための変更要求を作成する変更モデル。詳細については、「変更要求フォームおよび変更タスクフォーム」を参照してください。 i 注: - 物理接続 CI を更新または変更するには、「」を参照してください 構成アイテムの変更。 - 物理接続エンドポイントを変更するには、を参照してください 物理接続の変更を使用した変更要求の作成。
ラックを作成	変更モデルを使用して、ラックを作成および可視化するための変更要求を作成します。詳細については、「 変更要求フォームおよび変更タスクフォーム 」を参照してください。

変更モデルの変更タスクフォーム (続く)

変更モデル	説明
	i 注: 1. ラックを作成するには、以下が存在することを確認してください。 ○ モデルカテゴリが機器ラックである機器ホルダーモデルのモデル。 ○ 関係タイプがラックからスロットまでのネットワーク モデル関係の関係。 ○ インベントリモデルにラックモデルがあるインベントリテンプレートのテンプレート。 テンプレートで選択したラックモデルに基づいてラックが作成され、ラックテンプレートに基づいてラックスロットが作成されます。 2. ラックに装置を追加するには、「」を参照してください ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成。
ラックに機器を追加	モデルを変更して、新規または既存の機器をラックに追加します。詳細については、「 変更要求フォームおよび変更タスクフォーム 」を参照してください。
ラックから機器またはシェルフを取り外す	モデルを変更して、ラックスロットから機器またはシェルフを取り外します。詳細については、「変更要求フォームおよび変更タスクフォーム」を参照してください。 i 注: シェルフは、機器に関連している場合は削除できません。
IP アドレスの割り当て	IP アドレス割り当ての変更要求を作成する変更モデル。詳細については、「」の 変更要求フォームおよび変更タスクフォーム IP アドレス割り当てフォームを参照してください。
電話番号の割り当て	電話番号割り当ての変更要求を作成する変更モデル。詳細については、「」の [変更要求フォームおよび変更タスクフォーム 電話番号の管理] フォームを参照してください。

GPON ブロードバンド・レコードプロデューサーフォーム

フィールド	説明
顧客サイト	ネットワーク サイト。
ONT 機器テンプレート	機器テンプレート。

GPON ブロードバンド - レコードプロデューサーフォーム (続く)

フィールド	説明
スプリッター	機器。
スプリッターポート	ポート インターフェイス。
PON ネットワークパス	Pon 論理接続。
ISPN VLAN	ISPN VLAN 論理接続。
ISP EVPN VPWS	ISP EVPN VPWS 論理接続。
IP バージョン	IP バージョン。
IP アドレスの数	IP アドレスの合計数。
開始 IP アドレス	開始 IP アドレス。

レコードプロデューサーフォーム - デザインアサイン リンク集計グループ

フィールド	説明
期日	この要求の終了予定日。
サイト A	ソース サイトを選択できるテキスト フィールド。
機器 A	ソース機器を選択できるテキストフィールド。 i 注: このリストは、選択したサイト A によって異なります。
インターフェイス A	ソースインターフェイスを選択できるテキストフィールド。 i 注: - このリストは、選択した機器によって異なります。 - 仮想としてマークされたインターフェイスは、このリストには表示されません。
帯域幅	送信元インターフェイスと宛先インターフェイス間で送信する合計帯域幅を選択できるテキスト フィールド。
開始日	この要求の開始予定日。
サイト Z	宛先サイトを選択できるテキスト フィールド。
機器 Z	宛先機器を選択できるテキストフィールド。
インターフェイス Z	宛先インターフェイスを選択できるテキストフィールド。

レコードプロデューサーフォーム - デザインアサイン リンク集計グループ (続く)

フィールド	説明
	i 注: インターフェイス Z リストには、仮想としてマークされたインターフェイスは表示されません。

変更要求フォーム

フィールド	説明
番号	変更要求番号。
要求者	変更を要求したユーザー。特定の変更を誰が要求したかを参照できるように、このフィールドは [変更要求] リストビューで利用可能です。
カテゴリ	この変更要求のカテゴリ。カテゴリがリストにない場合は、[その他] を選択します。
サービス	この変更要求に対して使用できるようにするビジネスサービス。
サービスオフファリング	サービスレベルを一意に定義する 1 つ以上のサービスコミットメントで構成されるサービスオプション。サービスオフファリングを通じて、サービスのさまざまなレベルのパフォーマンスと機能を選択できます。利用可能なサービスオフファリングをフィルタリングするには、サービスを選択する必要があります。
構成アイテム	変更が適用される構成アイテム (CI)。
優先度	この変更要求の優先度。
リスク	変更のリスク レベル。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 高 • 中 • 低
影響	ビジネスプロセスに対する変更の影響の測定値。
簡単な説明	変更の概要。
説明	変更の詳細説明。
モデル	変更要求に関連付けられている Telecommunications Network Inventory 変更モデル。 [変更モデル] タイルを選択すると、関連するモデルがこのフィールドに表示されます。次のい

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	いずれかのオプションを手動で選択することもできます。 インターフェイスカードを追加 機器スロットにインターフェイスカードを追加するために使用される変更モデル。 インベントリ機器を作成 サイトまたは機器所有者でインベントリテンプレートを使用するときに機器を追加するために使用される変更モデル。 論理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の論理接続を作成するために使用される変更モデル。 物理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の物理的な接続を作成するために使用される変更モデル。 緊急 電気通信ネットワークインベントリの緊急変更で使用される変更モデル。 GPON ブロードバンドサービス ギガバイトパッシブ光通信網 (GPON) ブロードバンド注文要求を実行するために使用される変更モデル。 通常 通常の変更に使用される Telecommunications Network Inventory 変更モデル。 i 注: これらの変更モデルは、変更あり > すべて > 新規 スクリーンショットです
ステータス	この変更要求の現在のステータスは、「新規」または「クローズ済み」です。
アサイン先グループ	変更要求に取り組んでいるグループ。
アサイン先	変更がアサインされているユーザー。アサインルールが適用される場合、変更が適切なユーザーまたはグループに自動的にアサインされます。

変更要求フォーム - [スケジュール] タブ

フィールド	説明
開始予定日	実装の予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。このフィールドのデフォルト値は現在の日付です。開始予定日を変更するには、カレンダーアイコン  を選択し、新しい日付を選択します。
終了予定日	実装の終了予定日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。このフィールドのデフォルト値は、開始予定日の 1 日後です。終了予定日を変更するには、カレンダーアイコン  を選択し、新しい日付を選択します。
CAB 必須	この変更要求が実装前に変更諮問委員会 (CAB) の承認を必要とするかどうかを指定するオプション。
CAB 実施日時	実装の CAB 承認日。
開始実績日	実装の実開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日	実装の実終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできませんが、開始実績日時より前にすることはできません。
CAB 委任者	変更を説明するために変更諮問委員会 (CAB) 会議に出席するユーザー。
CAB の提言	CAB 会議に関連するメモまたは推奨事項。

変更要求フォーム - [メモ] タブ

フィールド	説明
ウォッチリスト	変更要求に関する通知を受け取るユーザー。通知を受信し、ウォッチトピックを表示できるユーザーの名前を追加します。
追加コメント (顧客に表示)	変更を要求したユーザーと作業メモを共有する必要があるかどうかを指定するオプション。
作業メモ	変更要求の作業メモ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を受け取ることができるユーザー。

変更要求フォーム - [クローズ情報] タブ

フィールド	説明
終了コード	この変更要求をクローズする理由を最もよく表しているコードを閉じます。次のオプションのいずれかを選択します。

変更要求フォーム - [クローズ情報] タブ (続く)

フィールド	説明
	- 成功 - 失敗した (問題あり) - 不成功
クローズメモ	この変更要求をクローズした結果を説明する追加のメモ。

タスクを変更フォーム

フィールド	説明
番号	変更タスクの識別番号。
変更要求	この変更タスクの作成に使用された変更要求番号。
構成アイテム	変更が適用される構成アイテム (CI)。
要求タイプ	要求タイプ。選択に応じて、タスク属性の下のレコードプロデューサーフォームが更新されます。このフィールドは、変更要求のタイプを表します。次のいずれかを選択します。 CI を変更 このタイプの要求定義では、変更する CI を選択し、選択した CI の詳細と関連アイテムをクローンすることができます。[Configuration item] フィールドは、クローンされた CI 名にサフィックスが改訂された後に自動的に更新されます。 これで、CI に加えられたすべての変更がクローンされた CI に適用されます。また、元の CI と重複した CI の両方が [影響を受ける CI] タブの下にあります。クローン作成プロセスをカスタマイズするには、「」を参照してください CI クローン作成プロセスのカスタマイズ。 カードの追加 このタイプの要求定義では、インターフェイスカードを追加するときにサイトと機器モデルを選択できます。機器のインスタンス化の詳細については、以下を参照してください 電気通信の設計と割り当て。

タスクを変更フォーム (続く)

フィールド	説明
	機器を作成 このタイプの要求定義では、機器のインスタンス化のためのネットワークサイトとインベントリテンプレートを選択できます。機器をラック内に配置する場合は、機器ホルダーを選択できます。 物理接続の作成と論理接続の作成 これらのタイプの要求定義には、開始 (A) と終了 (Z) の場所間の物理的または論理的な接続に対して、同様のサイトと機器の選択フィールドのセットがあります。選択できるのは、A 開始インターフェイスと Z 終了インターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみです。 物理接続または論理接続のインスタンス化では、2 つのサイト間に作成する接続のタイプに応じて、物理接続モデルまたは論理接続モデルを選択する必要があります。論理接続の場合、この内部コードによって CI レコードと追加のパス要素が作成されます。 論理接続: パスコンピューティング このタイプの要求定義には、開始場所と終了場所の一連のサイトフィールドと備品フィールドがあります。 論理接続のパス計算を開始するには、論理接続モデルを選択する必要があります。詳細については、「論理接続の計算と作成フォーム」を参照してください。 IP アドレス割り当て このタイプの要求定義を使用すると、IP アドレス割り当てをインスタンス化し、IP アドレスに新しいサービスを割り当てることができます。詳細については、の 変更要求フォームおよび変更タスクフォーム IP アドレス割り当てフォームを参照してください。 電話番号割り当て

タスクを変更フォーム (続く)

フィールド	説明
	このタイプの要求定義を使用すると、電話番号割り当てをインスタンス化できます。外部から提供される番号の割り当て、割り当て解除、および作成を行うことができます。詳細については、「」の[変更要求フォームおよび変更タスクフォーム電話番号の管理] フォームを参照してください。
簡単な説明	この注文タスクの簡単な説明。
説明	この注文タスクの説明。
ステータス	この変更タスクのステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 保留中 タスクはユーザーからのアクションを待機しています。 オープン このタスクに対するアクションはまだ実行されていません。 対応中 タスクの処理が進行中です。 クローズ済み 変更タスクが完了しました。 キャンセル 変更タスクがキャンセルされました。
アサイン先グループ	このタスクを担当するグループの名前。検索アイコン (検索  を選択して、リストからグループを選択します。
アサイン先	選択したグループに応じて、リストにアサインされているユーザーが表示されます。検索アイコン () を選択すると、ユーザーのリストが表示されます。
作業メモ	自由形式の作業指示メモテキスト。
更新	注文タスクに加えた変更を保存するオプション。
タスクを閉じる	注文タスクのステータスを [クローズ済み] に変更するオプション。
削除	この注文タスクを削除するオプション。

在庫機器を作成/ラックを作成 - タスク属性

フィールド	説明
インベントリテンプレート	機器モデルのインベントリテンプレートの名前。インスタンス化プロセスでは、これを使用して、指定されたネットワークサイトにネットワーク資産インスタンスを生成します。 i 注: • 選択した在庫テンプレートに応じて、オプションのテンプレートのリストがフォームの下部に表示されます。 • オプションのテンプレートを選択すると、現在のテンプレート値が上書きされます。 • このフィールドは、在庫設備の作成にのみ適用されます。
機器所有者	電気通信機器の所有者の名前。機器を設置できるラックまたはキャビネットを選択します。 i 注: • Telco 機器ホルダー フィールドには、すべてのラックとキャビネットが一覧表示されます。 • このフィールドは、在庫設備の作成にのみ適用されます。
ネットワークサイト	プロセスが機器をインスタンス化するネットワークサイトの名前。
ラックテンプレート	すべてのスロットを追加するラックテンプレートのテンプレート名。 i 注: • 選択した ラックテンプレート、 倉庫の場所、および 資産 に基づいて、スロット、ネットワークサイト、および関連ネットワークサイトが追加されます。 • このフィールドは、[ラックの作成] にのみ適用されます。
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。 詳細については、「Telecommunications Network Inventory と ハードウェア資産管理との統合」を参照してください。

在庫機器を作成/ラックを作成 - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。 詳細については、「Telecommunications Network Inventory と ハードウェア資産管理との統合」を参照してください。

カードフォームの追加 - タスク属性

フィールド	説明
サイト	このカードをインストールするサイト。
設備	このカードを取り付ける装置。
スロット	このカードを挿入するスロット。
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。詳細については、「Telecommunications Network Inventory と ハードウェア資産管理との統合」を参照してください。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。詳細については、「Telecommunications Network Inventory と ハードウェア資産管理との統合」を参照してください。

IP アドレス割り当てフォーム - タスク属性

フィールド	説明
操作タイプ	操作のタイプ次のオプションのいずれかを選択します。 • IPネットワーク・サブネットの作成: CIDR値を使用してネットワーク・サブネットを作成します。 i 注: IP ネットワークサブネットを作成すると、[IP サブネットワークフローを作成] アクションが開始されます。詳細については、「IP サブネットワーク機能を作成」を参照してください。

IP アドレス割り当てフォーム - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	• CIDR を IP アドレスに変換: 単一または複数の CIDR を IP アドレスに変換し、IP アドレス割り当てに格納します。 i 注: CIDR から IP アドレスへの変換では、CIDR から IP 範囲フローアクションが開始されます。詳細については、「CIDR から IP の範囲関数」を参照してください。
名前	この IP 割り当ての名前。
IP プール	この IP アドレス割り当ての親プール。
IP ネットワークサブネット CIDR	CIDR 値。
管理対象ネットワーク	選択してネットワークを割り当てることができる IP アドレスまたは割り当て。
構成アイテムが所有	この割り当てを所有する構成アイテム。
IP ネットワークサブネット	CIDR から IP アドレスに変換するために検索して選択したネットワークサブネット。 i 注: このフィールドは、CIDR から IP アドレスへの変換にのみ使用されます。

電話番号の管理 - タスク属性

フィールド	説明
アクション	選択できるアクション: • 割り当て:ブロックから番号を割り当てます • 割り当て解除:番号の割り当てを解除します。番号のステータスが [隔離] に変更されます。 i 注: このアクションを選択するときは、割り当てを解除する割り当てまたは選択した番号を選択する必要があります。このアクションにより、ステータスが [隔離] に変更されます。 • 移植済み: 別のオペレーターから移動された番号が含まれます。番号は、電話番号のみの電話番号割り当てに保存されます。

電話番号の管理 - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	i 注: 番号が一連の番号に含まれていない場合、複数の割り当てが作成されます。また、デフォルトでは、番号はアサイン済みまたは移植済みステータスに変更されます。 • [作成]: 外部電話ブロックに割り当てられている番号の電話番号割り当てを作成します。ネットワークインベントリベースの電話番号割り当てに番号を割り当てています。
サービス	これらの番号のサービス。選択したサービスが番号に割り当てられます。 i 注: この電話番号のサービスが作成されていることを確認します。詳細については、「xNF および xNF インスタンスの作成」を参照してください。
数量	必要な電話番号の合計数。 i 注: このフィールドは、割り当て解除されたアクションでは表示されなくなります。
電話番号の割り当て	入力した指定された情報に基づく利用可能な番号割り当て。回線番号の電話番号割り当てを選択できます。
行番号	必要な行番号を xxxx-xxxx または xxx-xxx または xxx, xxx-xxx の形式で入力します。 i 注: 行番号が一連の番号に含まれていない場合、複数の電話番号割り当てが作成されます。また、これらの番号のステータスは [アサイン済み] または [移植済み] のいずれかに更新され、可用性は [いいえ] になります。

トポロジの設計と割り当てフォーム - タスク属性

フィールド	説明
名前	トポロジの名前。
トポロジモデル	トポロジに関連付けられたインベントリモデル。

トポロジの設計と割り当てフォーム - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
帯域幅	トポロジの帯域幅。
トポロジサイト	トポロジに関連付けられたサイト。複数のサイトを選択できます。
トポロジノード	トポロジに関連付けられた機器 (ノード)。複数のノードを選択できます。
ルートノード	トポロジノードの中のルートノード。
トポロジ接続タイプ	接続のタイプ次のいずれかを選択します。 • 論理接続 • 物理接続
トポロジ接続	トポロジに関連付けられている接続。複数の接続レコードを選択できます。

[論理/物理接続] フォーム - タスク属性 / 物理/論理接続の変更 - タスク属性

フィールド	説明
論理接続モデル	この論理接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: 変更要求で論理接続を作成している場合、トポロジ接続モデルは表示されません。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている物理接続モデル。
論理接続テンプレート	選択した論理接続モデルに基づくすべてのテンプレートのリスト。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z への合計帯域幅容量。
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z への合計帯域幅容量。
A 終了サイト	この論理接続が構成されている開始ネットワークサイト。
Z 終了サイト	この論理接続が構成されている終了ネットワークサイト。
A 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
Z 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
親ポート A	新しい論理インターフェイスが接続のポート A を表すネットワーク インターフェイス。

[論理/物理接続] フォーム - タスク属性 / 物理/論理接続の変更 - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	i 注: 新しい論理インターフェイスは、選択した論理/物理接続モデルに基づいて既定で作成され、論理接続または物理接続の [構成] セクションの [ポート A] フィールドに入力されます。論理インターフェイスは、ポート名と子ポートの数、および選択したポートの1つを示します。
親ポート Z	新しい論理インターフェイスが接続の ポート Z を表すネットワーク インターフェイス。 i 注: 新しい論理インターフェイスは、選択した論理/物理接続モデルに基づいて既定で作成され、[構成] セクションの [論理接続または物理接続] の [ポート Z] フィールドに入力されます。論理インターフェイスは、ポート名と子ポートの数、および選択したポートの1つを示します。
オーバーレイ接続を移動	変更された接続のすべての依存接続を現在のインターフェイスから新しいインターフェイスに移動するオプション。このチェックボックスの選択を解除して、論理接続を手動で更新することもできます。 i 注: このフィールドは、物理接続エンドポイントの変更モデルにのみ適用されます。

自動翻訳

論理/物理接続変更要求フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	開始ネットワーク ([サイト A] フィールド) この選択した論理接続または物理接続が構成されているサイト。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
Z 終了サイト	この選択した論理接続または物理接続が構成されている終了ネットワーク サイト ([サイト Z] フィールド)。

論理/物理接続変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
A 終了機器	この論理接続または物理接続が構成されている開始ネットワーク (サイト A フィールド) 機器。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
Z 終了機器	この論理接続または物理接続が構成されている終了ネットワーク (サイト Z フィールド) 機器。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
エンド インターフェイス	この論理接続または物理接続が構成されている開始インターフェイス (サイト A フィールド)。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
Z エンド インターフェイス	終了インターフェイス ([サイト Z] フィールド) この論理接続または物理接続が構成されているポイント。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動入力されます。
論理接続	変更が必要な論理接続をリストから選択します。

論理/物理接続変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: - このリストには、論理接続とそのリビジョンの両方が含まれます。論理接続のリビジョンを選択すると、「リビジョンを作成」(Create Revision) チェックボックスが消えます。 - このフィールドは、選択したサイト、機器、またはインターフェイスに基づいて自動入力されます。
物理接続	変更が必要な物理接続をリストから選択します。 i 注: - リストには、物理的なリビジョンとそのリビジョンの両方が含まれます。物理接続のリビジョンを選択すると、「リビジョンを作成」(Create Revision) チェックボックスが消えます。 - このフィールドは、物理的な接続変更フォームにのみ適用されます。 - このフィールドは、選択したサイト、機器、またはインターフェイスに基づいて自動入力されます。
リビジョンを作成	リビジョンプロセスを有効または無効にするオプション。

論理/物理接続変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: - このチェック ボックスをオンにすると、次のようになります。 - リビジョンプロセスが開始されます。詳細については、「構成アイテムの改訂、運用化、および廃止」を参照してください。 - 変更とリビジョンの 2 つの変更タスクが、それぞれオープンとクローズのステータスで作成されます。 - 論理接続または物理接続の変更変更タスクを開いて、重複した論理接続または物理接続の変更を開始し、さらに運用可能にします。詳細については、「構成アイテムの運用化」を参照してください。 - 物理接続変更の改訂の過程で、物理接続ポートに関連付けられた論理接続は、運用化プロセス中に更新されます。

ラックへの機器の追加/機器の削除またはラックからのシェルフ:タスク属性

フィールド	説明
ネットワークサイト	追加または削除する機器またはシェルフが含まれているネットワークサイト。 i 注: - このフィールドは、ラックへの機器の追加とラックからの機器またはシェルフの取り外しにのみ適用されます。 - リストには、ラックがあるサイトのみが表示されます。
機器ラック	追加または削除する機器またはシェルフのラック名。 i 注: このフィールドは、ラックへの機器の追加とラックからの機器の取り外しにのみ適用されます。
機器/シェルフ	選択したラックに追加または削除する機器またはシェルフ。

ラックへの機器の追加/機器の削除またはラックからのシェルフ:タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、ラックへの機器の追加とラックからの機器の取り外しにのみ適用されます。
正面図	選択したラックの正面図。デフォルトでは、これは [はい] として選択されています。
排他的に使用	デフォルトでは、[はい] が選択されています。ラックユニットを複数の機器に使用する場合は、「いいえ」を選択します。また、このフィールドを選択しない場合は、ラックの前面と背面の両方に機器を配置できます。 i 注: 「はい」を選択すると、選択した機器がラック・ユニットの前面と背面の両方を占めます。 - 複数の機器は、シェルフ 機器ホルダータイプにのみ配置できます。詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita」を参照してください。
ラックスロット	選択した機器を取り付けるために使用できるラックユニットのリスト。

ラックへの機器の追加/機器の削除またはラックからのシェルフ:タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	i 注: • 選択した機器のラックユニットは、モデルの高さ (U) フィールドに基づいて自動的に入力されます。たとえば、選択した機器に 2 つのラック ユニットが必要であることがフィールドに示されている場合、1 つのラック ユニット RU-10 のみが明示的に選択されていても、システムは機器を収容するために RU-10 と RU-11 の両方を自動的に予約します。 • 機器の連続ラックユニットを必ず選択してください。 • [高さ (U)] フィールドを空のままにすると、ここで指定したラック スロットが代わりに使用されます。 • ラックが複数のネットワーク モデル関係にリンクされている場合、ラックに割り当てられるラック スロットの合計数は、各モデル関係に指定された [カウント] 値を合計することによって決定されます。 • ラック スロットの数を変更するには、関連する [カウント(Count)] 値を調整し、それに応じて余分なスロットを管理します。ラックスロット数が未定義の場合、ラックスロットの作成と削除は無制限です。

管理対象ネットワークフォーム

管理対象ネットワークフォームを使用すると、アプリケーションで Telecommunications Network Inventory ネットワークを管理できます。

管理対象ネットワークフォーム

フィールド	説明
OT 資産の詳細	この OT 資産の資産重要度、オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産タイプ、Purdue レベル、および OT 検出ソース名。
発注書番号	このネットワークの発注書番号。
管理担当者	このネットワークを扱うエンジニア。
ベンダー	このネットワークのベンダー名。
環境	開発、本番、テストなど、このネットワークが利用可能な環境。

管理対象ネットワークフォーム (続く)

フィールド	説明
コスト	このネットワークの総コスト。
監視	このネットワークの詳細を監視するオプション。
検出ソース	構成アイテム (CI) を更新する検出ソース名。
インストール日	このネットワークのインストール日時。
属性	このネットワークの属性のリスト。
最新の検出	最新の検出 (last_discovered)。最新の検出が指定されている場合、入力された時間値が の時間値よりも新しい場合にのみ、指定された値で CI が更新されます 構成管理データベース (CMDB)。last_discoveredが指定されていない場合、last_discovered属性は現在のタイムスタンプで更新されます。
モデル ID	このネットワークインベントリ資産のモデル ID。
チェック イン日時	このネットワークのチェックイン日時。
サービス提供開始日	注文を受領した日時。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
注文済み	このネットワークのオーダーが行われた日時。
CI に含まれる	このネットワークが存在する構成アイテム (CI)。
修正済み期限	このネットワークの期間制限。
シリアル番号	このネットワークのシリアル番号。
アサイン先	このネットワークが割り当てられているエンジニアの名前。
完全修飾ドメイン名	ドメイン名は、ドメインネームシステム (DNS) のツリー階層内の正確な場所を指定します。
サポート担当者	このネットワーク資産を扶養しているユーザーの名前。
外部審査者	このネットワークインベントリ資産を証明する人物の名前。
IP アドレス	このネットワークの IP アドレス
カテゴリ	このネットワークのモデルカテゴリ。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータス。
コメント	このネットワークに入力するコメント。
管理担当者グループ	このネットワークを管理するグループの名前。
コスト通貨	このネットワークのコストの通貨。
保証の有効期限	このネットワークの保証の有効期限。

管理対象ネットワークフォーム (続く)

フィールド	説明
名前	このネットワークの名前。
DNS ドメイン	ドメインネームシステム (DNS) インフラストラクチャ内でデバイスに割り当てられた一意の名前またはアドレス。
購入日	このネットワークの購入日。
事業部門	このネットワークが属する組織の部門。
資産タグ	アイテムの資産タグ。 i 注: 資産管理番号を入力すると、その資産を含む倉庫のみが表示されます。
リース契約	このネットワークの請負業者。
不具合発生回数	障害の数。
チェックアウト日時	このネットワークがチェックアウトされた日時。
開始日	このネットワークの開始日。
メンテナンススケジュール	このネットワークのメンテナンスのためにサーバーに割り当てられたスケジュール。
証明書ステータス	証明書のステータス。
インストールステータス	インストールのステータス。
関連 ID	ローカルレコードを更新するためにデータ値を使用する必要があるリモートレコードを識別する関連 ID。ローカルシステムとリモートシステムに別々の関連 ID 値を指定します。
モデル番号	デバイスのモデル番号。
部門	このネットワークインベントリ資産が属する部門。
次の複製	このネットワークが属する構成アイテム (CI)。
オーナー	このネットワークを所有しているユーザーの名前。
説明	このネットワークの説明。
変更グループ	このグループをアサインするグループ名。
サポートグループ	このネットワーク資産をサポートするグループ。
GL アカウント	総勘定元帳アカウント [itfm_gl_accounts] テーブルのアカウント。
外部審査日	このネットワークが証明された日付。
理由	このネットワークの理由。

管理対象ネットワークフォーム (続く)

フィールド	説明
ドメイン	このネットワークのドメイン名。
アサイン済み	このネットワークが割り当てられた日付。
承認グループ	承認要求を送信するときに表示されるグループの名前。
ロケーション	このネットワークの場所。
サブカテゴリ	このネットワークのモデルサブカテゴリ。
会社	このネットワークを所有している会社
メーカー	このネットワークのメーカーの名前
請求書番号	このネットワークの請求書番号。
コストセンター	このネットワークのコストセンター。
印刷可能	このネットワークの詳細を印刷するオプション。
運用ステータス	このネットワークの運用ステータス。
ライフサイクルステージ	ネットワークのライフサイクルステージ。
TNI CI 属性	このネットワークの属性の詳細を作成する Telecommunications Network Inventory ために選択できる構成 (CI)。

関連情報

[管理対象ネットワークを作成](#)

バックテーブル

バック テーブルを使用して、5G ネットワークのモデル化に役立つテーブルについて学習します。

バックテーブル

テーブル名	説明
*pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 配布ユニット識別子
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB ID の長さ
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 配布ユニット名
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB ID の長さ
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB 制御装置名
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	携帯電話国コード
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	モバイルネットワークコード
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	X2 ブロックリスト

パケットテーブル (続く)

テーブル名	説明
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	X2 許可リスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	XN ブロックリスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	XN 許可リスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	xn ブロックリストなし
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	Dapsho 制御フラグ
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	CHO 制御フラグ
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB 制御装置ユーザプレーン識別子
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB ID の長さ
pack_3gpp_nrcellcu	セルのローカル識別子
pack_3gpp_nrcellcu	PLMN 情報リスト
pack_3gpp_nrcelldu	名前
pack_3gpp_nrcelldu	PLMN 情報リスト
pack_3gpp_nrcelldu	管理状態
pack_3gpp_nrcelldu	セルの状態
pack_3gpp_nrcelldu	セルのローカル識別子
pack_3gpp_nrcelldu	物理セル ID
pack_3gpp_nrcelldu	市外局番の追跡
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック頻度
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック周期性
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロックサブキャリア間隔
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック期間
pack_3gpp_nrcelldu	運用ステータス
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号ダウンリンク
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号補足アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅ダウンリンク
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロックオフセット
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅補足アップリンク
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能インスタンス ID
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能タイプ
pack_3gpp_managed_element	ハートビートタイマー
pack_3gpp_managed_element	認証情報

パケットテーブル (続く)

テーブル名	説明
pack_3gpp_managed_element	ホストアドレス
pack_3gpp_managed_element	有効なネットワーク機能タイプ
pack_3gpp_managed_element	有効なネットワーク機能ドメイン
pack_3gpp_managed_element	市区町村
pack_3gpp_managed_element	キャパシティ
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能セット識別子
pack_3gpp_managed_element	提供範囲
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能は負荷をサポートします
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能は過負荷をサポートします
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能の回復時間
pack_3gpp_managed_element	SCP ドメイン
pack_3gpp_managed_element	ベンダー識別子
pack_3gpp_amf_function	AMF (Access and Mobility Management Function) 地域識別子
pack_3gpp_amf_function	SBI 完全修飾ドメイン名
pack_3gpp_amf_function	AMF セット識別子
pack_3gpp_amf_function	CNSI 識別子
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF (Access and Mobility Management Function) 携帯電話国コード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF モバイルネットワークコード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF 識別子
pack_3gpp_amf_function	バックアップ削除 AMF モバイル国コード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ削除 AMF モバイルネットワークコード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ削除 AMF 識別子
pack_3gpp_smf_function	市外局番の追跡
pack_3gpp_smf_function	SBI 完全修飾ドメイン名
pack_3gpp_smf_function	PDN ゲートウェイ FQDN
pack_3gpp_smf_function	アクセスタイプ
pack_3gpp_smf_function	優先度
pack_3gpp_smf_function	CNSI 識別子
pack_3gpp_smf_function	訪問済み SMF サポートインジケータ
pack_3gpp_upf_function	ネットワーク機能インスタンス識別子
pack_3gpp_upf_function	市外局番の追跡

パケットテーブル (続く)

テーブル名	説明
pack_3gpp_upf_function	CNSI 識別子
pack_3gpp_upf_function	SMF サービスエリア
pack_3gpp_upf_function	EPS とのインタワーキングをサポート
pack_3gpp_upf_function	PDU セッションタイプ
pack_3gpp_upf_function	アクセス トラフィックのステアリング、スイッチング、および分割
pack_3gpp_upf_function	マルチパス TCP
pack_3gpp_upf_function	PMT なしで RTT を実行
pack_3gpp_upf_function	UELP アドレスインジケータ
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能 IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能 IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能の FQDN
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイントの FQDN
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能の FQDN
pack_3gpp_upf_function	優先度
pack_3gpp_upf_function	冗長 GPRS トンネリングプロトコル
pack_3gpp_upf_function	IP アップストリーム
pack_3gpp_upf_function	データ転送
pack_3gpp_upf_function	パケット転送制御プロトコルをサポート
pack_3gpp_upf_function	ベアメタルオーケストレーターをサポート
pack_3gpp_ep_rp	ローカルポート
pack_3gpp_ep_rp	ローカル IPv4 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	ローカル IPv6 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	ローカル VLAN
pack_3gpp_ep_rp	リモート IPv4 アドレス

バックテーブル (続く)

テーブル名	説明
pack_3gpp_ep_rp	リモート IPv6 アドレス

※3GPPはETSIの商標です。

パス計算エラーメッセージ

パス計算エラーメッセージを使用すると、パス計算中に発生するエラーメッセージを理解できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ

エラー	解決
サイト <site1_name> と <site2_name> の間にパスが見つかりません。	サイト間の接続を作成します。

関連テンプレートフォーム

[関連テンプレート] フォームを使用すると、スロット、備品、および棚の [関連テンプレート] タブのすべてのフィールドを把握できます。

インベントリテンプレート

フィールド	説明
名前	シェルフまたは機器の名前
インベントリモデル	ラックの選択したラックユニットに基づくすべての子製品モデルのリスト。子製品モデルは、ラックユニットの各インベントリモデルのネットワークモデル関係で定義されます。 検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。詳細については、「在庫モデルの作成」を参照してください。 i 注: 在庫モデルがモデルリレーションシップで定義されていない場合は、すべての製品モデルのリストが表示されます。
関係性タイプ	CI 関係のタイプ。既定では、リレーションシップは Contains::Contained By に設定されています。
インベントリテンプレート	選択したインベントリモデルのテンプレート。 検索アイコン (🔍) を選択し、テンプレートを選択します。

インベントリテンプレート (続く)

フィールド	説明
親	シェルフまたは機器の親。このシェルフまたは機器が作成されるスロットの名前が自動的に入力されます。
利用可能なテンプレート	シェルフまたは備品で利用可能なテンプレート
デフォルトのフィールド値	デフォルトの CI 属性値を定義できるデフォルトのテンプレート。リスト内の値は、選択したインベントリモデルによって異なります。 検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。詳細については、「デフォルトテンプレートの作成」を参照してください。 i 注: このフィールドは、機器にのみ適用されます。
スロットスパン	機器またはシェルフが占有するために必要なスロットを選択します i 注: このフィールドは、機器にのみ適用されます。
名前パターン	シェルフ、スロット、または機器の名前パターン

関連情報

[インベントリテンプレートを作成する](#)[デフォルトテンプレートの作成](#)